

# 青森県健康増進計画「健康あおもり21」

## 最終評価報告書

平成24年8月

青 森 県

## 【目次】

I	はじめに	1
1	健康あおもり21の概要	1
	(1) 計画の趣旨	
	(2) 概要	
	1) 基本指針	
	2) 策定年度	
	3) 計画の期間	
	4) 対象領域の設定	
	5) 推進体制	
	(3) これまでの経過	
2	健康づくり施策の実施状況	3
	(1) これまでの国の主な施策の推移	
	(2) 青森県の重点課題の取組状況	
	1) 肥満対策	
	2) 喫煙対策	
	3) 自殺予防対策	
II	最終評価の目的及び方法	4
1	最終評価の目的	4
2	最終評価の方法	4
III	最終評価の結果	5
1	全体の目標達成状況等の評価	5
	(1) 総括的評価	
	(2) 領域全体の目標達成状況の評価	
2	領域別の評価	8
	(1) 栄養・食生活	
	(2) 身体活動・運動	
	(3) こころの健康づくり	
	(4) たばこ	
	(5) アルコール	
	(6) 歯の健康	
	(7) 糖尿病	
	(8) 循環器病	
	(9) がん	

3	取組状況の評価	24
	(1) 県の取組状況の評価	
	1) 推進体制	
	2) 施策の取組に係る評価	
	(2) 市町村の取組状況	
	1) 健康増進計画の策定状況	
	2) 健康づくり施策の推進、評価の体制	
	3) 健康づくり施策の取組状況	
IV	おわりに 一次期青森県健康づくり運動にむけて	27
	【参考資料】	28
	1. 「健康あおもり21」最終評価	29
	2. 最終評価分析資料	31
	3. 健康づくり事業一覧（平成13～24年度）	182
	4. 健康寿命アップ計画推進委員会設置要領、委員名簿	188

## I はじめに

### 1 健康あおもり21の概要

#### (1) 計画の趣旨

県民一人ひとりが健やかな生命と心を育み、豊かな暮らしを送ることができる、活力ある長寿県の実現をめざして、発病を予防する一次予防を重視し、早世の減少と健康寿命の延伸を目標に、住民主体の健康づくり運動を進めていくため、県民健康づくり運動として「健康あおもり21」を策定しました。

※一次予防：病気にならないように、普段から健康増進に努め、病気の原因となるものを予防・改善することです。

※健康寿命：認知症や寝たきりなどの介護を必要とする状態にならずに生活できる期間です。

#### (2) 概要

##### 1) 基本指針

人口の高齢化の進行により、疾病の治療や介護に係る社会的負担の増大を見込み、これまで以上に健康を増進し、疾病の発病を予防する「一次予防」に重点を置き、健康づくり関係者が保健・医療上の課題に対する取り組むべき具体的目標の設定及び評価を行うこととし、社会全体で健康づくりが効果的に推進できるよう、健康づくり支援のための環境整備を行うこととしました。

(ア) 一次予防の重視

(イ) 目標値・行動目標の設定と評価

(ウ) 健康づくり支援のための環境整備

##### 2) 策定年度

平成12年度（平成13年1月）

##### 3) 計画の期間

計画策定時の計画期間は、平成13年度から10年間としましたが、平成20年度から施行された保健医療計画、医療費適正化計画、がん対策推進計画との整合性を図るため、計画の期間を延長し、平成24年度までの12年間としました。

##### 4) 対象領域の設定

生活習慣とこころの健康づくりに関する9つの領域を設定しました。

(ア) 栄養・食生活

(イ) 身体活動・運動

(ウ) こころの健康づくり（自殺予防対策）

(エ) たばこ

(オ) アルコール

(カ) 歯の健康

(キ) 糖尿病

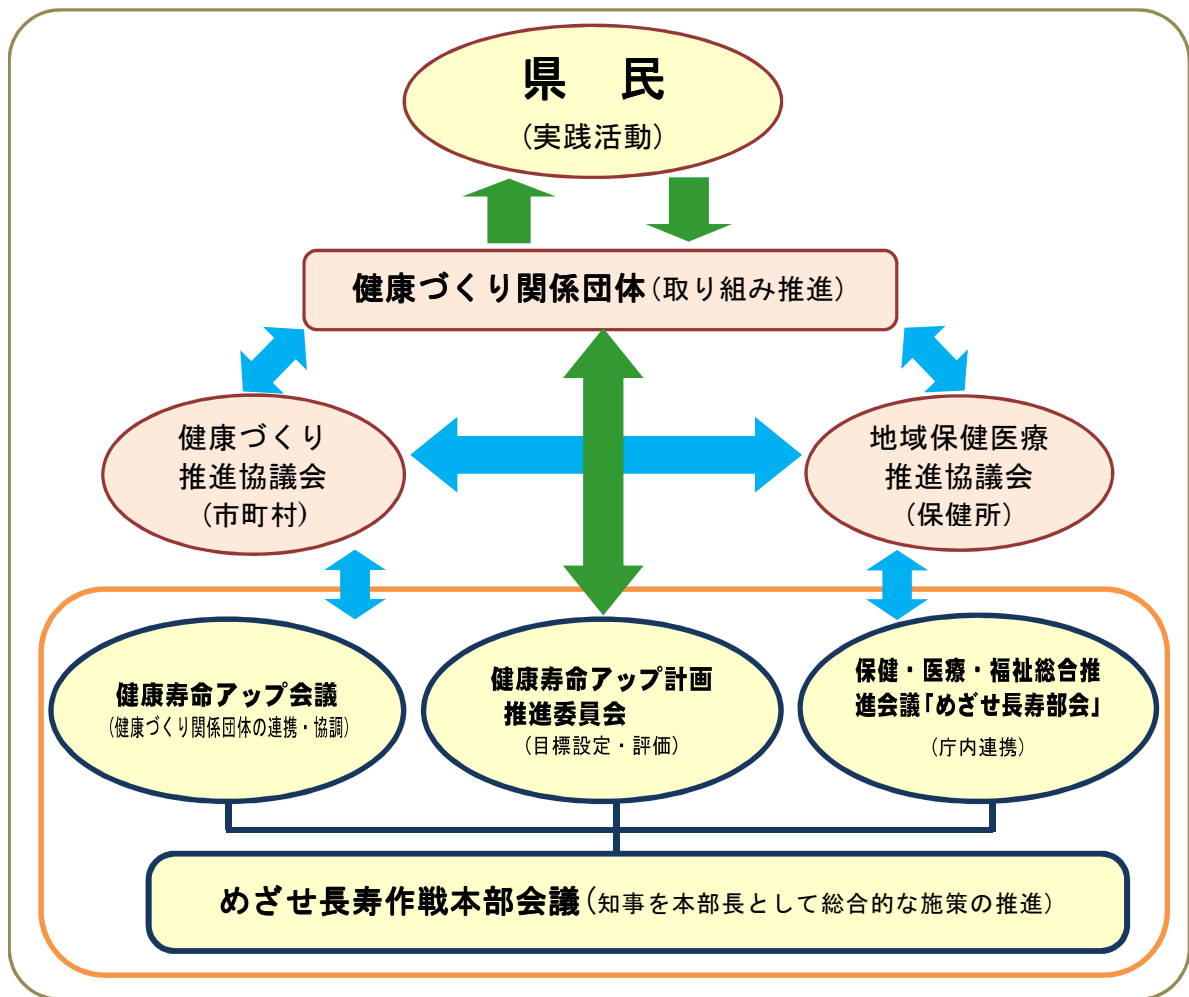
(ク) 循環器病

(ケ) がん

### 5) 推進体制

健康寿命の延伸とともに、平均寿命を全国レベルに引き上げるために、県、市町村、医療機関、学校、民間団体、健康保険組合、企業、マスメディア、非営利団体といった広範な健康関連団体等に参加・協力を働きかけ、それぞれの機能を活かして、効果的に個人の健康づくりを支援する体制を整備して推進してきました。

#### 「健康あおもり21」推進組織体制図



### (3) これまでの経過

平成 13 年 1 月 青森県健康増進計画である「健康あおもり21」を策定。  
平成 19 年 3 月 計画の中間評価・見直しを行い、改定版を策定。  
平成 20 年 3 月 国の医療制度改革を踏まえ、メタボリックシンドロームに関する項目を追加した「追補版」を策定。

「健康日本21」、「青森県保健医療計画」、「青森県がん対策推進計画」及び「青森県医療費適正化計画」との整合性を図るため、計画期間を平成24年度まで延長。

## 2 健康づくり施策の実施状況

### (1) これまでの国の主な施策の推移

国は、平成 11 年度に「21 世紀における国民健康づくり運動『健康日本 2 1』」を策定し、それ以降、関連する施策の実施により、国民の健康づくりを推進してきました。

本県では、「早世の減少と健康寿命の延伸」を目標とし、国の関連施策等と連携・調整を図りながら、健康寿命に影響を与える生活習慣病対策として、食生活の改善、身体活動・運動の定着、喫煙対策等の一次予防を重視した生涯を通じた健康づくりの推進に取り組んできました。

#### 1) 主な施策

- ア) 健康フロンティア戦略（平成 16 年 5 月とりまとめ）
- イ) たばこの規制に関する世界保健機構枠組条約（平成 17 年 2 月発効）
- ウ) 食育基本法（平成 17 年 7 月施行）
- エ) 自殺対策基本法（平成 18 年 10 月施行）
- オ) がん対策基本法（平成 19 年 4 月施行）
- カ) 医療制度改革（平成 20 年 4 月施行）
- キ) 歯科口腔保健の推進に関する法律（平成 23 年 8 月施行）

### (2) 青森県の重点課題の取組状況

平成 18 年度の中間評価時においては、がん、心疾患、脳血管疾患、糖尿病といった生活習慣病が、本県の平均寿命に大きな影響を与えていることから、生活習慣病の要因である「肥満」及び「喫煙」、さらには、自殺死亡率が全国上位に位置している「自殺」を、重点課題として設定し、対策を推進してきました。

#### 1) 肥満予防対策

本県は、生活習慣病による死亡率が高く、また、BMI25 以上の成人肥満者の割合も全国平均より高く推移していることから、食に関する教育や指導の充実、運動習慣の定着に努めるとともに、肥満から発症する糖尿病や脂質異常症等の生活習慣病を早期に発見するための健診受診率の向上等を推進してきました。

#### 2) 喫煙防止対策

本県では、全国に比べ成人男性の喫煙率が高く推移していることから、喫煙による健康影響等の普及啓発や公共的施設の受動喫煙防止のための環境整備等に取り組んできました。また、平成 15 年 5 月の健康増進法の施行等により、たばこを取り巻く環境が変化したこともあり、平成 19 年度の医療制度改革に伴い策定した追補版に「成人の喫煙率の減少」を指標として設定し、対策のより一層の推進に繋がりました。

#### 3) 自殺予防対策

本県の自殺者数は、平成 15 年に 576 人とピークになり、その後は漸次減少してきています。県では、計画初年度の平成 13 年度から自殺予防対策の重点事業に取り組み、12 年間継続して、知識の普及や相談体制の充実を図るとともに、職場や教育現場における精神保健の充実を図る取組を推進してきました。

## II 最終評価の目的及び方法

### 1 最終評価の目的

健康あおもり21は、策定から5年後の平成18年度に、計画全体の進行と達成状況の中間評価を行い、計画を見直しました。さらに、平成20年度から糖尿病等の予防に着目した特定健診・特定保健指導の実施に伴い、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者や予備群の減少率や、特定健診・特定保健指導の実施率並びに食生活、運動及び喫煙等に関する目標設定を行い、指標の追加・見直し等の改定を行いました。

そこで、健康あおもり21の最終評価は、これまで設定してきた領域毎の指標項目について、達成状況や取組の状況の評価するとともに、これまでの課題を整理し平成25年度以降の県民健康づくり運動の推進に反映させることを目的としました。

表1 指標数の推移

領域	年次 平成12年度 策定時	平成18年度 中間評価時	平成19年度 医療制度改革追補後	平成24年度 最終評価時
栄養・食生活	10	10	16	16
身体活動・運動	9	9	7	7
こころの健康づくり	6	6	7	7
たばこ	28	30	32	32
アルコール	4	4	4	4
歯の健康	24	26	24	22
糖尿病	11	11	37	27
循環器病	17	13	55	44
がん	11	13	13	13
(領域共通)			8	0
計	120	122	201	172

### 2 最終評価の方法

最終評価を行うにあたり、「平成22年度青森県県民健康・栄養調査」、「平成22年度歯科疾患実態調査」、「平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査」、「平成23年度小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査」、「平成23年度受動喫煙防止対策実施状況調査」を実施し、その結果や各種統計から得られたデータをもとに、9領域の指標項目(172指標)について、以下のとおり評価を行いました。

- A：目標値に達した
- B：目標値に達していないが、改善傾向にある
- C：変わらない
- D：悪化している
- E：中間評価時に新たに設定した指標又は把握方法が異なるため評価が困難

### Ⅲ 最終評価の結果

#### 1 全体の目標達成状況等の評価

##### (1) 総括的評価

健康あおもり21は、「早世の減少と健康寿命の延伸」を目標としており、これらの状況は以下のとおりです。

本県の早世（65歳未満の死亡）の状況について、特に壮年期（25～44歳）及び中年期（45～64歳）の総死亡率の推移を平成12年以降10年間の人口動態統計でみると、全国は減少傾向にあります。本県は、男女ともほぼ横ばいで推移しています。男性は、全国に比べ高い状態で推移しており、また、女性は、ここ2,3年微増となっています。男女とも脳血管疾患は減少傾向にあります。悪性新生物、心疾患の死亡率は減少していません。

また、平成22年の三大死因の死亡率を年齢階級（10歳階級）別に全国と比較してみると、悪性新生物及び心疾患については、男性で40代から、女性で50代から全国との差が顕著となっており、脳血管疾患については、男性が40代から、女性が60代から全国との差が顕著になっています。（表2）

死因別の死亡状況については、平成22年都道府県別年齢調整死亡率によると悪性新生物が男女とも第1位であり、心疾患は男性1位、女性8位、脳血管疾患が男性2位、女性3位となっており、本県では三大死因がいずれも全国の上位を占めています。

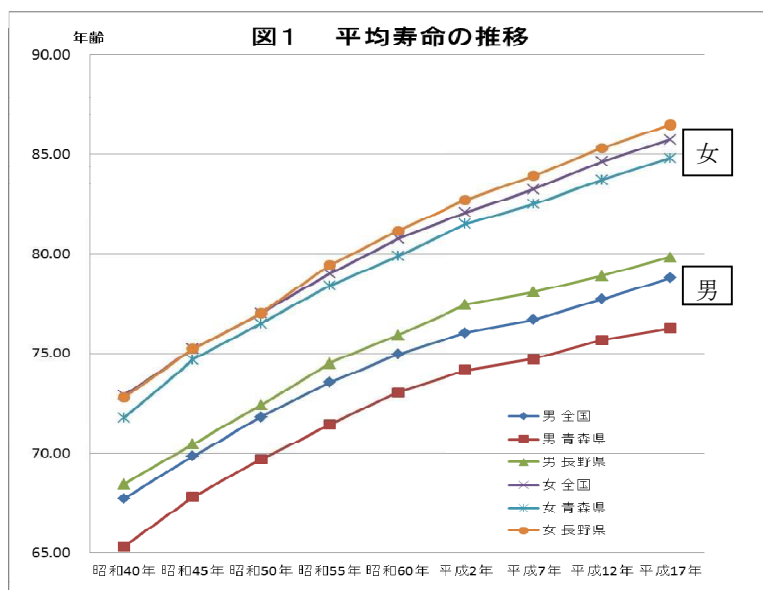
これら三大死因の他に、男性は、肺炎、腎不全、糖尿病においても第1位であり、男性に対する健康対策が急務となっています。

自殺の年齢調整死亡率の全国順位は男性2位、女性10位となっています。平成22年の自殺死亡者数は403人、そのうち男性の41.4%（123人）が40～59歳、女性の49.1%（52人）が65歳以上です。自殺死亡者数は平成15年をピークに年々減少していますが、継続した対策の推進が重要です。

三大死因に影響があると考えられている生活習慣について、平成22年国民健康・栄養調査の平成18年から22年の5年分のデータを年齢調整して高い方（上位群）から低い方（下位群）に4区分して全国比較した結果、本県では、男性が肥満者・

習慣的に喫煙している者・飲酒習慣者の割合が上位群にあります。また、1日の食塩摂取量は男女ともに上位群であり、野菜摂取量や歩数は男女ともに下位群にあるなど、生活習慣に課題の多いことがうかがわれます。

本県の平均寿命は、平成17年都道府県別生命表によると男性が76.27歳、女性が84.80歳となっています。平均寿命は年々改





善されていますが、男女とも全国最下位となっており、特に男性は、昭和50年以降、最下位の状態が続いています。

健康寿命については、平成24年度厚生労働科学研究費補助金による「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究班」が、「日常生活に制限のない期間の平均（平成22年の健康寿命）」を算定しており、本県は、男性が68.95歳（47位）、女性が73.34歳（31位）となっており、全国（男性70.42歳、女性73.62歳）と比較すると、それぞれ1.47歳と0.28歳短くなっています。

表2 主な死因・年齢階級（10歳階級）別死亡率（人口10万対）

			0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～
総数	男	青森県	44.5	29.4	81.2	111.8	321.5	668.8	1,440.2	3,699.4	11,066.3
		全国	38.6	21.1	63.7	88.3	192.9	515.5	1,168.2	3,022.1	10,159.4
		差	5.9	8.3	17.5	23.5	128.6	153.3	272.0	677.3	906.9
	女	青森県	32.7	13.8	31.8	61.8	125.3	300.4	557.0	1,523.2	7,113.3
		全国	32.8	11.8	27.6	49.4	103.4	239.8	483.9	1,362.9	7,074.4
		差	-0.1	2.0	4.2	12.4	21.9	60.6	73.1	160.3	38.9
悪性新生物	男	青森県	0.0	5.9	6.5	13.2	62.4	241.7	644.5	1,487.9	2,723.3
		全国	2.0	2.6	4.8	10.4	41.0	190.2	539.2	1,241.3	2,573.6
		差	-2.0	3.3	1.7	2.8	21.4	51.5	105.3	246.6	149.7
	女	青森県	1.9	3.1	6.7	23.0	56.5	172.2	283.6	576.6	1,246.2
		全国	1.8	1.9	3.9	16.1	49.5	135.9	252.5	510.1	1,195.9
		差	0.1	1.2	2.8	6.9	7.0	36.3	31.1	66.5	50.3
心疾患	男	青森県	1.9	2.9	4.9	10.8	50.6	114.7	205.0	504.1	1,882.7
		全国	1.6	1.1	3.6	9.7	26.9	71.5	155.1	394.3	1,551.5
		差	0.3	1.8	1.3	1.1	23.7	43.2	49.9	109.8	331.2
	女	青森県	3.9	0.0	1.7	2.4	13.5	28.7	59.3	243.2	1,421.8
		全国	1.2	0.6	1.0	2.9	7.1	18.5	48.3	206.0	1,452.3
		差	2.7	-0.6	0.7	-0.5	6.4	10.2	11.0	37.2	-30.5
脳血管疾患	男	青森県	0.0	1.5	0.0	6.0	31.8	58.4	137.4	408.8	1,303.4
		全国	0.1	0.3	1.3	5.0	17.7	44.8	92.1	283.6	1,081.9
		差	-0.1	1.2	-1.3	1.0	14.1	13.6	45.3	125.2	221.5
	女	青森県	0.0	0.0	0.0	1.2	14.7	23.9	54.7	165.6	1,030.1
		全国	0.2	0.2	0.7	2.3	7.9	18.4	38.5	135.0	877.3
		差	-0.2	-0.2	-0.7	-1.1	6.8	5.5	16.2	30.6	152.8
自殺	男	青森県	0.0	2.9	35.7	40.9	76.5	59.4	58.1	63.6	53.5
		全国	0.0	5.6	32.2	33.6	43.1	53.3	44.7	37.4	43.6
		差	0.0	-2.7	3.5	7.3	33.4	6.1	13.4	26.2	9.9
	女	青森県	0.0	3.1	6.7	20.6	12.4	15.3	11.1	22.0	33.4
		全国	0.0	2.9	11.9	13.7	14.3	15.2	16.9	17.9	19.6
		差	0.0	0.2	-5.2	6.9	-1.9	0.1	-5.8	4.1	13.8

資料：厚生労働省「人口動態統計」を用いて企画政策部が作成

※分母となる人口は、総務省統計局公表の平成22年国勢調査による基準人口（日本人）（平成22年10月1日現在）を使用。

※太枠は全国との差が10（人/10万人）以上

## （2）領域全体の目標達成状況の評価

健康あおもり21では、策定時に、生活習慣病とこころの健康づくりに関する9つの領域で120の具体的な指標を設定し推進してきましたが、最終的には9領域172指標に

ついて最終評価（表 3）を行いました。その結果、目標値に達した指標は 13.4%（23 指標）にとどまり、その主なものは「歯の健康」のむし歯のない幼児・児童生徒の割合の増加、幼児の一人当たりむし歯数の減少等や「こころの健康づくり」の抑うつ状態や引きこもり状態にある者への訪問を実施する市町村・自殺に関する啓発及び相談等を実施する市町村の割合の増加などでした。

また、目標値に達していないが改善傾向にある指標は 26.7%（46 指標）で、その主なものは、「たばこ」の未成年者と妊婦の喫煙率の減少、公共の場及び職場における禁煙・効果の高い分煙の割合の増加でした。目標値に達し又は改善傾向にある指標の割合は、全体の 4 割となっています。

変わらない指標は 27.3%（47 指標）であり、「栄養・食生活」の成人の肥満者の割合、小児の肥満者の割合、朝食欠食率や「たばこ」の喫煙が健康に及ぼす影響について知っている人の割合などでした。さらに、悪化している指標は、16.9%（29 指標）で「循環器病」の糖尿病・高血圧症・高脂血症有病者の推定数や「がん」の各種がん検診受診率などでした。

なお、評価が困難な指標が 15.7%（27 指標）あり、これは、策定段階で目標値が把握できず、追加調査が必要な指標などであり、指標を設定する際には、将来の調査予定などを見通しつつ、通常業務で把握できる指標を積み重ねていくことが重要であるといえます。

表 3 領域別の評価結果

評価結果 領域	A 目標値に達した	B 目標値に達していないが、改善傾向にはある	C 変わらない	D 悪化している	E 中間評価時に新たに設定した指標または把握方法が異なるため、評価が困難	合計	AとBの割合
栄養・食生活	2	3	10	1		16	31.3%
身体活動・運動	1		1	5		7	14.3%
こころの健康づくり	2		3		2	7	28.6%
たばこ	1	19	10	1	1	32	62.5%
アルコール		3	1			4	75.0%
歯の健康	10	4	5	2	1	22	63.6%
糖尿病	1	5	8	3	10	27	22.2%
循環器病	4	11	7	9	13	44	34.1%
がん	2	1	2	8		13	23.1%
合計	23	46	47	29	27	172	40.1%
%	13.4%	26.7%	27.3%	16.9%	15.7%	100.0%	

## 2 領域別の評価

※ 本文中の「A」「B」「C」「D」「E」は、P.4 の「2 最終評価の方法」に記載のある評価内容と同じである。

### (1) 栄養・食生活

10項目16指標のうち、「A」は2指標、「B」は3指標、「C」は10指標、「D」は1指標でした。

学齢期の1日の野菜摂取量は、中間評価で「順調に改善」を経て、最終的には目標値を達成しました。また、食塩摂取量も減少し、目標値に近づきつつあります。

朝食欠食率や小児及び成人肥満者の割合については、多少の増減は見られるものの目標値には達していません。

なお、カルシウムの摂取量や成人期の1日の野菜摂取量は、さらに減少し、目標値から遠い現状となりました。

栄養改善業務を担う市町村栄養士の配置については、平成12年度は19市町村23名であったものが、平成23年度は28市町村46名に増加しました。

#### <主な取組>

- 1人あたりの食塩摂取量を1日10g未満に改善するため、「スピードアップ減塩推進県民運動事業」を実施
- 食生活改善推進員等食に関するボランティア団体及び市町村栄養士の人材育成
- 子どもの頃からのよい食習慣の定着に向けた事業の実施
- 肥満予防に向けた栄養バランスのよいメニューの普及啓発

#### <今後の課題>

- 肥満者の割合に改善傾向はみられないことから、今後も生活習慣の改善に向けて積極的な取り組みを進めていく必要があります。
- 適切な食習慣を定着させるためには、子どもの頃からの取組が大切であることから、子どもやその保護者世代に対して、市町村栄養士やボランティア団体が、重点的に支援する必要があります。また、その役割を担う市町村栄養士が、全市町村に配置されることが望まれます。
- よい食習慣が維持されるよう、減塩対策の継続や栄養バランスのよいメニューの提案など、栄養・食生活に関する正しい情報を随時提供できる体制が必要です。

指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価
項 目	区 分		基準値	出典	現状値	出典	最終値	出典	
学齢期おやつ1日のエネルギー摂取の減少	学齢期 (7~14歳)	総摂取エネルギーの10%以内 200kcal/日程度	293 kcal/日	ウー1	324 kcal/日	イー2	265 kcal/日	イー3	B
成人の肥満者の割合の減少 (BMI及び腹囲を基準)	男性 (①BMI25以上で腹囲85cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ85cm以上)	40%以下	51.0% (①30.7% ② 1.8% ③18.5%)	オー2	51.0% (①30.7% ② 1.8% ③18.5%)	オー2	48.20% 28.4% 3.2% 16.60%	カー3	C
	女性 (①BMI25以上で腹囲90cm以上 ②BMIのみ25以上 ③腹囲のみ90cm以上)	25%以下	29.0% (①14.5% ②10.0% ③ 4.5%)		29.0% (①14.5% ②10.0% ③ 4.5%)		30.6% 15.5% 11.2% 3.9%		
成人の肥満者の割合の減少 (従来のBMI25以上を基準)	男性	25%以下	37.3%	オー1	33.7%	イー2	36.9%	イー3	C
	女性	20%以下	38.2%		27.1%		24.5%		C

指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価
項 目	区 分		基 準 値	出 典	現 状 値	出 典	最 終 値	出 典	
成人の1日の食塩摂取量の減少	成人	10g/日未満	12.2g/日	ウー1	11.6g/日	イー2	10.5g/日	イー3	B
1日のカルシウム摂取量の増加		600mg/日以上	552mg/日	イー1	507mg/日	イー2	472mg/日	イー3	D
1日の野菜の摂取量の増加	学齢期(7~14歳)	250g/日以上	154.3g/日	イー1	215g/日	イー2	253g/日	イー3	A
	青少年期以降	350g/日以上	289.3g/日		277g/日		266g/日		C
成人の脂肪エネルギー比率の減少	40歳未満	25%以下	26.9%	イー1	25.8%	イー2	27.8%	イー3	C
	40歳以上	25%以下	22.3%		22.4%		23.1%		A
市町村栄養士の配置		市町村栄養士配置率100%	19市町村 23人	カー1	26市町村 37人(51.1%)	キー2	28市町村 46人(70%)	ケー3	B
適切な生活習慣を有する率	朝食欠食率	学齢期(7~14歳)	0%	イー2	—		4.4%	イー3	C
		青少年期以降	5%		10.3%		—		10.4%
内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	肥満者の推定数(小児)	7.0%	男性	キー1	—		7,787人	ケー3	C
			(14.9%)		—		13.2%		
			女性		8,200人		—		6,496人
			(13.1%)		—		11.4%		C

【データの出典】

- イー1 平成8年度県民栄養調査
- ウー1 平成13年度県民健康度調査
- カー1 平成12年度市町村調査
- キー1 平成18年度体格・体力・ライフスタイル調査
- イー2 平成17年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査
- オー2 平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査
- キー2 平成19年度市町村栄養士配置状況
- イー3 平成22年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査
- カー3 平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)
- ケー3 平成22年度学校保健統計調査

## (2) 身体活動・運動

4項目7指標のうち、「A」は1指標、「B」は0指標、「C」は1指標、「D」は5指標でした。

小中学生女子の1週間の運動時間数の割合は目標値に達しましたが、それ以外は変化がないか悪化しており、領域全般にわたって悪化している現状です。

また、県民の運動習慣の定着を目指し、運動に関する関係団体と連携し、健康運動指導士等の養成を行ってきましたが、運動習慣を身につけている県民の増加には至っておりません。

### <主な取組>

- 運動習慣を定着させるために、幼児を対象とした運動プログラムの作成と普及
- 「歩く」ことを運動として取り組むための「歩育」という手法の普及啓発
- 健康運動指導士・健康運動実践者の養成及び資質向上に向けた研修会の開催

### <今後の課題>

- 運動習慣の定着に向けて、県民が季節に関係なく、また身近な場所で運動ができるよう、既存の運動施設の利活用の工夫など、環境整備を推進する必要があります。
- 自分にあった運動を選択できるように、さまざまな運動手法を提供し、運動の有効性について広く普及啓発を行う必要があります。

- 運動するきっかけを作るために、運動に関する指導者育成の必要があります。
- 肥満予防という観点から考えると、運動習慣の定着と併せて、食事のバランスを考える必要性について継続した普及啓発を行う必要があります。

指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価
項 目	区 分		基 準 値	出 典	現 状 値	出 典	最 終 値	出 典	
健康の維持・増進のために運動(身体活動)をする人の割合の増加	男性	70%以上	41.5%	ウー1	36.7%	イー2	37.9%	イー3	C
	女性	70%以上	40.4%		21.7%		29.9%		D
日常生活における1日の歩数の増加	男性	8,000歩/日以上	7,188歩/日	ウー1	7,347歩/日	イー2	6,037歩/日以上	イー3	D
	女性	8,000歩/日以上	6,655歩/日		6,774歩/日		5,213歩/日以上		D
身体活動や運動による1日の消費エネルギーの増加		200~250 キカロリー/日程度 (3.6~5.6Ex程度)	220~340 キカロリー/日	ウー1	120~250 キカロリー/日 (2.5~3.7Ex)	イー2	120~210 キカロリー/日 (2.3~3.2Ex)	イー3	D
学齢期1週間の運動時間数の割合の増加	小中学生男子 14時間以上	50%以上	40.3%	ウー1	35.7%	イー2	29.5%	イー3	D
	小中学生女子 10時間以上	50%以上	40.3%		47.1%		55.3%		A

【データの出典】

- ウー1 平成13年度県民健康度調査
- ウー1 平成8年度県民健康基礎調査
- イー2 平成17年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査
- イー3 平成22年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査

### (3) こころの健康づくり

6項目7指標のうち、「A」は2指標、「B」は0指標、「C」は3指標、「D」0指標、「E」は2指標でした。

自殺者数は、平成15年をピークに減少傾向にありますが、自殺死亡率は依然として全国下位グループとなっています。

計画策定時は、自殺予防に取り組む市町村は一部でしたが、最終評価時は、全市町村が抑うつ状態や引きこもり状態にある者への訪問や自殺に関する啓発・相談を実施するようになりました。

外出に対して積極的な態度を持つ60歳以上の者割合については、基準値と比較して変化なしとなっていますが、「積極的」かどうかという意識を問う評価方法は今後検討する必要があります。

また、評価困難となった指標については、次期計画において評価指標とするかの是非も含め、長い期間の中で把握可能な方法を考慮する必要があります。

#### <主な取組>

- 電話相談体制の充実（「こころの電話」（県立精神保健福祉センター）、「あおもりのいのちの電話」（NPO法人））
- 弁護士や司法書士による法律相談の実施

- 人材育成のための市町村相談業務担当者や医療従事者等に対する研修会の実施
- 関係者による意見交換・情報交換を行い、関係団体とのネットワーク強化を図るための連絡調整会議の開催
- 事業所と連携した、壮年期男性に対するうつ病予防等の普及啓発

<今後の課題>

- 市町村が主体的に取り組む自殺予防活動への支援、特に自殺率の高い市町村における対策の強化を図っていくことが必要です。
- 県民一人ひとりが自殺問題について考えることを目的に、普及啓発、ゲートキーパー育成等の人材養成及び自殺対策に関わる民間団体ネットワークの構築を図っていく必要があります。
- 様々な専門職と連携した相談窓口をさらに充実させる一方で、今後は、地域に向いて相談を受けるなど、アウトリーチ的な視点を取り入れた相談体制を整備していく必要があります。
- 町内会等の小さなコミュニティ単位の活動との連携を図るなどにより、高齢者を地域で孤立させないための取組を充実させ、高齢者の自殺予防や引きこもり又は抑うつ対策につなげていくことが求められます。
- 睡眠による十分な休養を取ることにについて啓発していく保健活動を、より一層、充実させ、働く世代の自殺予防につなげていくことが必要です。

健康あおもり21の指標とそれに伴う状況調査について

指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価
項 目	区 分		基 準 値	出 典	現 状 値	出 典	最 終 値	出 典	
自殺者数の減少		294人以下	479人	アー1	527人	アー2	403人	アー3	C
自殺を考える傾向にある65歳以上の者の割合の減少	65歳以上	10%以下	12.6%	エー1	4.9%	イー2	7.7%	イー3	E
外出について積極的な態度を持つ高齢者の割合の増加	60歳以上の男性	70%以上	41.1%	ウー1	53.7%	イー2	50.9%	イー3	C
	60歳以上の女性	70%以上	34.6%		43.3%		47.1%		C
抑うつ状態や引きこもり状態にある者への訪問を実施する市町村の割合の増加	市町村	100%	77.5%	ウー2	—		100%	ウー3	A
自殺に関する啓発及び相談等を実施する市町村の割合の増加	市町村	100%	55.0%	エー2	—		100%	エー3	A
適切な生活習慣を有する率	睡眠による休養が不足している者の割合	成人	16%	20歳以上 17.8%	オー2	—	—	カー3	E
			16%				40～74歳 15.0% 1,284人		

【データの出典】

- アー1 平成11年人口動態統計
- ウー1 平成13年度県民健康度調査
- エー1 平成11年郡部での調査
- アー2 平成17年人口動態統計
- イー2 平成17年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査
- ウー2 平成18年度市町村事業実施状況調査
- エー2 平成18年度障害福祉課調べ
- オー2 平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査
- アー3 平成22年人口動態統計
- イー3 平成22年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査
- ウー3 平成23年度市町村事業実施状況調査
- エー3 平成23年度障害福祉課調べ

(4) たばこ

6項目 32指標のうち、「A」は1指標、「B」は19指標、「C」は10指標、「D」は1指標、「E」は1指標でした。

成人男性、未成年者、妊婦の喫煙率は、目標値に達していないものの減少していますが、成人女性の喫煙率は横ばいであり、減少とはなっていません。喫煙が及ぼす健康への影響については、知っている人の割合が増加しているものの、有意に増加しているものが少なく、目標値に達していません。

公共の場及び職場の受動喫煙防止対策実施状況については、敷地内あるいは施設内禁煙を実施している施設が増加しており、特に、学校や医療機関、保健センター、体育施設での取り組みが進んでいます。一方、事業所においては、進んではいるものの目標値には遠い現状となっています。

防煙教室等の普及については、学習指導要領に基づき実施することとなっている教育機関の実施率は増加しているものの、他の施設においては十分実施されていません。

<主な取組>

- 受動喫煙防止対策として、空気クリーン施設認証を実施
- 未成年者の喫煙防止対策として、未成年者喫煙防止対策検討会や防煙教室を実施
- 禁煙支援対策として、禁煙治療医療機関従事者の資質向上のための研修会や事業所における禁煙教室を実施
- 現状把握として、受動喫煙防止対策実施状況調査や小、中、高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査を実施

<今後の課題>

- 喫煙率は低下してきているものの、本県は全国と比較して高い状況が続いていることから、県民に対して、県の現状及び正しい知識を情報提供していく必要があります。
- 未成年者の喫煙率については、小、中、高等学校の児童生徒を対象とした調査を継続して実施していくことが必要です。また、妊婦の喫煙には配偶者の喫煙が大きく影響することから、配偶者の喫煙についても評価していく必要があります。
- 喫煙が健康へ及ぼす影響について知っている人の割合については、学校における指導内容をさらに充実させていく必要があります、特に妊娠に及ぼす影響について知っている人の割合は100%となることが望まれます。
- 公共の場及び職場における受動喫煙防止対策については、少なくとも建物内は100%禁煙とすべきであり、今後も空気クリーン施設の増加を図るなど、受動喫煙防止対策を推進していく必要があります。

指 標		目標値	基準値		中間評価値		最終評価値		評価
項 目	区 分		基準値	出典	現状値	出典	最終値	出典	
成人の喫煙率の減少	男性	25%以下	39.4%	イ-2	—		36.1%	イ-3	B
	女性	5%以下	8.2%		—		7.9%		C

指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価
項 目	区 分		基 準 値	出 典	現 状 値	出 典	最 終 値	出 典	
喫煙が健康に及ぼす影響について知っている人の割合の増加	肺がん (成人)	100%	63.5%	ウー 1	65.2%	イー 2	73.2%	イー 3	C
	(中学生以上)	100%	—		67.3%		73.3%		
	喘息 (成人)	100%	41.9%		45.1%		49.1%		C
	(中学生以上)	100%	—		45.9%		48.6%		
	気管支炎 (成人)	100%	44.1%		46.8%		50.5%		C
	(中学生以上)	100%	—		48.2%		50.2%		
	心臓病 (成人)	100%	30.7%		38.4%		39.9%		C
	(中学生以上)	100%	—		38.7%		40.1%		
	脳卒中 (成人)	100%	25.7%		37.6%		42.0%		C
	(中学生以上)	100%	—		39.1%		42.5%		
	胃潰瘍 (成人)	100%	27.8%		29.6%		32.1%		C
	(中学生以上)	100%	—		30.0%		32.3%		
	妊娠関連の異常 (成人)	100%	72.4%		66.6%		74.6%		C
	(中学生以上)	100%	—		68.1%		74.2%		
	歯周病 (成人)	100%	24.4%		25.5%		29.5%		C
	(中学生以上)	100%	—		27.6%		30.6%		
未成年者と妊婦の喫煙率の減少	男子(中学1年)	0%	0.4%	カー 2	—	—	0.4%	キー 3	B
	女子(中学1年)	0%	0.5%		—		0.2%		B
	男子(高校3年)	0%	11.6%		—		2.7%		B
	女子(高校3年)	0%	4.8%		—		1.1%		B
	妊婦	0%	20.0%	ネー 1	10.3%	ソー 2	6.5%	チー 3	B
公共の場及び職場における禁煙・効果の高い分煙の割合の増加 上段：禁煙+分煙 下段：完全禁煙	県庁舎	100%	100.0%*	ノー 1	52.6%*	ター 2	—	ツー 3	B
			—		19.3%		50.9%		
	市町村庁舎	100%	49.3%*		27.7%*		—		B
			—		8.5%		45.0%		
	文化施設(ホール等)	100%	72.6%*		21.8%*		—		B
			—		12.0%		78.1%		
	教育・保育施設	100%	60.9%*		91.2%*		—		B
			—		65.8%		92.0%		
	医療施設	100%	66.6%*		70.6%*		—		B
			—		45.6%		73.3%		
保健施設	100%	90.0%*	70.5%*	—	B				
		—	54.5%	86.1%					
体育施設	100%	78.4%*	35.9%*	—	B				
		—	33.1%	87.6%					



指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価			
項 目	区 分		基 準 値	出 典	現 状 値	出 典	最 終 値	出 典				
公共の場及び職場における禁煙・効果の高い分煙の割合の増加 上段：禁煙+分煙 下段：完全禁煙	事業所(50人以上)	100%	55.1%*	ノー1	21.4%*	ター2	—	ツー3	B			
			—		0.0%		17.6%					
	事業所(50人未満)	100%	51.1%*		24.8%*		—		B			
			—		15.4%		27.5%					
公共交通機関	100%	100.0%*	—		—		B					
防煙・禁煙(喫煙防止教育)支援プログラムの普及 喫煙防止教育を行っている学校等の割合の増加 禁煙支援プログラムが提供されている機関の割合の増加	小学校	100%	64.1%		ノー1		67.7%		ター2	100.0%	ツー3	A
	中学校	100%	81.4%				89.6%			99.4%		B
	高等学校	100%	87.9%				89.5%			95.1%		B
	短大・大学・その他の学校	100%	61.9%				57.4%			37.0%		C
	幼稚園・保育所等	100%	11.7%				12.9%			19.5%		B
	市町村	100%	40.7%	72.3%		57.5%	E					
	医療機関	100%	34.1%	37.2%		19.9%	D					

\*基準値(平成13年度調査)と中間評価値(平成17年度調査)では、調査の質問項目に違いがあるため比較はできません。

【データの出典】

- ウー1 平成13年度県民健康度調査
- ネー1 平成12年度妊婦連絡票
- ノー1 たばこに関するアンケート調査
- イー2 平成17年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査
- カー2 平成19年度小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査
- ソー2 平成17年度妊婦連絡票
- ター2 平成17年度公共の場及び職場等の喫煙対策調査
- イー3 平成22年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査
- キー3 平成23年度小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査
- チー3 平成22年度妊婦連絡票
- ツー3 平成23年度受動喫煙防止対策実施状況調査

(5) アルコール

4項目4指標のうち、「A」は0指標、「B」は3指標、「C」は1指標、「D」0指標でした。

多量飲酒者の割合については、基準値との比較では、男性は減少していますが、女性は増加しています。未成年者の飲酒割合は、目標値には達していませんが、全ての階層で有意に減少しています。

節度ある適度な飲酒について知っている人の割合は、基準値との比較では有意に増加しています。

<主な取組>

- 適正飲酒の普及を図るための研修会の実施
- 未成年者、青年層の飲酒実態調査の実施

<今後の課題>

- 依然として飲酒による事件や事故等の社会的トラブルもあることから、適正飲酒についての普及啓発活動は継続して行く必要があります。

- 女性の多量飲酒者の割合が増加していることから、ターゲットを女性の多量飲酒者に絞った対策を進めていく必要があります。
- 未成年者の飲酒割合を 0%とするため、学校や家庭、地域に対して啓発を行っていく必要があります。

指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価
項 目	区 分		基 準 値	出 典	現 状 値	出 典	現 状 値	出 典	
多量飲酒者の割合の減少 (1日に平均純アルコールで60g(日本酒で約3合)を超えて飲酒する人)	男性	6.6%以下	13.2%	イー1	7.7%	イー2	8.1%	イー3	B
	女性	0.3%以下	0.7%		0.5%		1.4%		C
未成年者の飲酒割合の減少		0%	小学5年生 3.6% 中学1年生 6.7% 中学3年生 12.7% 高校3年生 33.8%	カー2	—		小学5年生 2.5% 中学1年生 4.1% 中学3年生 8.2% 高校3年生 14.6%	キー3	B
節度ある適度な飲酒について知っている人の割合の増加		100%	46.0%	ウー1	65.7%	イー2	61.9%	イー3	B

【データの出典】

- イー1 平成8年度県民栄養調査
- ウー1 平成13年度県民健康度調査
- イー2 平成17年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査
- カー2 平成19年度小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査
- イー3 平成22年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査
- キー3 平成23年度小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査

(6) 歯の健康

14項目 22指標のうち、「A」は10指標、「B」は4指標、「C」は5指標、「D」は2指標、「E」は1指標でした。

幼児の1歳6ヶ月児及び児童生徒のむし歯のない者の割合は増加し目標値に達成しましたが、幼児の3歳児は増加しているものの目標値に届きませんでした。幼児(1歳6ヶ月児、3歳児)1人あたりのむし歯数は減少しており、子どもたちのむし歯については、全国レベルには未だ届かないものの、改善の方向で推移しています。

一方、大人では、進行した歯周炎を有する人の割合は、35歳から44歳については目標に達していますが、45から54歳、55から64歳については悪化しています。

毎日2回以上歯磨きをする人の割合は増加傾向にありますが、歯間部清掃器具を使用する人の割合や定期的に歯科健康診査の為に歯科医療機関を受診する人割合は、変わらない状況にあります。

80歳（75～84歳）で20歯以上の自分の歯を有する人の割合は、目標値に達しましたが、60歳（55～64歳）で24歯以上の自分の歯を有する人の割合は変化がありませんでした。

<主な取組>

- 幼児期の取組として、母と子のよい歯のコンクール及び幼児間食摂取状況等調査の実施
- 学童期の取組として、歯・口の健康児童の表彰及び学校歯科保健優良校表彰の実施や学校歯科保健研究大会の開催による普及啓発
- 成人期の取組として、若年成人に対する歯科健診及び保健指導の実施や市町村に対する歯科健診実施の勧奨（歯周疾患検診を含む）

<今後の課題>

- 幼児のう蝕有病率の減少のためには、まず両親等家族に対する歯の健康の重要性と予防についての具体的な方法を普及するとともに、特に1歳6ヶ月から3歳までの間の対策が必要となっています。
- 学童期のう蝕予防については、学校保健と連携した取組の強化が重要となっています。
- 改善が見られなかった、壮年期の歯周病予防について、歯科専門職のアプローチによる普及啓発のほか具体的な防止対策について検討が必要です。
- 歯科専門職との連携により、乳幼児や児童生徒に対するむし歯予防対策を進める必要があります。

指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価
項 目	区 分		基 準 値	出 典	現 状 値	出 典	最 終 値	出 典	
むし歯のない幼児の割合の増加	1歳6ヶ月児	96%以上	92.64%	サー1	95.64%	クー2	96.40%	コー3	A
	3歳児	70%以上	42.80%		55.60%		62.55%		B
1人当たりのむし歯数の減少	1歳6ヶ月児	0.12歯以下	0.24歯	サー1	0.14歯	クー2	0.11歯	コー3	A
	3歳児	1.80歯以下	2.98歯		2.11歯		1.53歯		A
むし歯のない児童生徒の割合の増加	小学生	30%以上	14.96%	シー1	21.7%	ケー2	30.2%	サー3	A
	中学生	30%以上	17.24%		32.5%		41.7%		A
	高校生	20%以上	10.89%		22.8%		31.5%		A
1人当たりのむし歯数の減少 下段は、学校保健調査	12歳児	1.5歯以下	3.1歯 (3.44歯)	スー1	2.13歯	ケー2	1.74歯	サー3	B
歯肉の経過観察及び治療を要する児童生徒の割合の減少	小中学生の平均	10%以下	18.31%	セー1	19.15%	コー2	青森 21.9% 八戸市 3.5%	シー3	E

指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価
項 目	区 分		基 準 値	出 典	現 状 値	出 典	最 終 値	出 典	
進行した歯周炎を有する人の割合の減少 ( ) は、平成12年度歯科疾患実態調査	35～44歳	25%以下	36.36% (28.05%)	ソー1	25.00%	イー2	22.73%	イー3	A
	45～54歳	31%以下	45.45% (30.99%)		51.85%		46.35%		D
	55～64歳	36%以下	52.78% (37.51%)		54.41%		53.43%		D
20歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加	75～84歳	20%以上	18.18%	ソー1	7.7%	イー2	22.00%	イー3	A
24歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加	55～64歳	50%以上	40.30%		44.1%		37.00%		C
フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の割合の増加	3歳児	40%以上	29% (27.9%)	ター1	34.9%	シー2	48.30%	セー3	A
間食として甘味食品を頻回摂取する幼児の割合の減少	1歳6ヶ月児	20%以下	27.3%	コー1	24.3%	シー2	21.60%	セー3	B
間食に時間を決めている幼児の割合の増加	1歳6ヶ月児	70%以上	50.66%	チー1	63.5%	シー2	70.30%	セー3	A
毎日2回以上歯磨きをする人の割合の増加		80%以上	57.76% (67.2%)	ソー1	73.31%	イー2	75.55%	イー3	B
歯間部清掃用器具を使用する人の割合の増加	30～39歳	35%以上	23.9%	ソー1	25.5%	イー2	25.7%	イー3	C
	40～49歳	40%以上	21.9%		30.4%		28.1%		C
	50～59歳	45%以上	20.2%		22.3%		30.2%		C
定期的に歯科健康診査のために歯科医療機関を受診する人の割合の増加		30%以上	15.6%	テー1	19.0%	イー2	17.40%	イー3	C

#### 【データの出典】

- コー1 平成13年度幼児間食摂取状況調査
- サー1 平成10年度市町村幼児歯科健康診査結果
- シー1 平成11年度学校保健統計調査
- スー1 平成10年度学校保健統計調査
- セー1 平成13年度青森市及び八戸市の歯肉炎と歯肉炎になる可能性のある要観察及び要指導児の割合
- ソー1 平成11年度市町村成人歯科健康診査及び平成11年歯科疾患実態調査
- ター1 平成13年度青森市・弘前市・八戸市の3歳児歯科健康診査
- チー1 平成12年度青森市・弘前市・八戸市1歳6ヶ月児健診
- ツー1 平成13年度健康行動・健康習慣調査
- テー1 平成11年度事業所歯科健康診査
- イー2 平成17年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査
- クー2 平成18年度市町村幼児歯科健康診査結果
- ケー2 平成18年度児童生徒の健康・体力・学校保健調査
- コー2 平成17年度青森市及び八戸市の歯肉炎と歯肉炎になる可能性のある要観察及び要指導児の割合
- シー2 平成18年度幼児間食摂取状況等調査
- セー2 平成17年度基本健康診査受診者、労働衛生規範に基づく報告、英府所管健康保険生活習慣病予防健診、全国労働衛生団体連合会の健診、国民健康保険者の健康診査の合計
- イー3 平成22年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査
- コー3 平成22年度市町村幼児歯科健康診査結果
- サー3 平成23年度児童生徒の健康・体力・学校保健調査
- シー3 平成23年度青森市及び八戸市の歯肉炎と歯肉炎になる可能性のある要観察及び要指導児の割合
- セー3 平成22年度幼児間食摂取状況等調査

#### (7) 糖尿病

15項目27指標のうち、「A」は1指標、「B」は5指標、「C」は8指標、「D」は3指標、「E」は10指標でした。

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の概念を知っている人の割合は、40～74歳では基準値に比べ、男女ともに有意に増加していました。

糖尿病予備群の推定数は、男性は減少傾向にあるものの、女性は増加傾向となっており、男女ともに50歳代で予備群が増加しています。

糖尿病有病者の推定数は、男性は変わりませんが、女性は目標値を上回る改善が見られました。健診の結果、要医療と診断された者の医療機関受診率については、男女とも目標値に達していないものの増加していました。

糖尿病による人工透析新規導入率（人口10万対）は、有意差は認められず、ほぼ横ばいでした。

平成19年度の医療制度改革に伴って新たに指標となった多くの項目については、基準値と直近実績値では対象者が異なったり、比較するデータがない等の理由で比較が困難となっています。

#### <主な取組>

- 小規模事業所就業者に対する意識調査・健康相談・健康教育の実施
- メタボリックシンドロームを啓発するためのシンポジウムの開催
- 肥満予防啓発用教材の作成
- 保健指導従事者に対する技術研修の実施
- 親子で楽しむ運動プログラムの作成・普及

<今後の課題>

- 糖尿病予備群は男女とも50代が増加しており、壮年層にターゲットを絞った地域・職域における対策が必要です。
- 男性に糖尿病有病者が多いため、男性の発病予防対策を充実・強化させ、予備群から有病者になる割合を減少させる必要があります。40代男性の要医療者の医療機関受診率が他の年齢層や女性と比較して低いため、受診率向上に向けた対策が必要です。
- 新規人工透析患者のうち、糖尿病性腎症によるものの割合が年々高くなっていることから、慢性腎臓病も含めた普及啓発や、糖尿病診断時の患者教育の強化、地域における医療連携体制の推進を図り、重症化を防ぐことが必要です。
- メタボリックシンドロームに関する普及啓発により、メタボリックシンドロームについて知っている者の割合は増えてきているものの、積極的に体を動かすなど、予防に向けて取り組んでいる者の割合は増加していないことから、行動変容につながる取り組みが必要とされます。

指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価	
項 目	区 分		基 準 値	出 典	現 状 値	出 典	最 終 値	出 典		
成人の肥満者の割合の減少 (BMI及び腹囲を基準)	男性 女性	栄養・食生活領域参照						C C		
成人の肥満者の割合の減少(従 来のBMI25以上を基準)	男性 女性	栄養・食生活領域参照						C C		
日常生活における1日の歩数の 増加	男性 女性	身体活動・運動領域参照						D D		
糖尿病にかかわる健診の促進  健診受診者の増加		517,000人以上	344,600人	ナー1	371,241人	セー2	85,021人 (参考値)	ナー3	E	
糖尿病にかかわる健診受診後の 事後指導の促進  異常所見者事後指導受診率の 増加		100%	54.4%	トー1	71.9%	スー2	32.4% (参考値)	ナー3	E	
普及啓発 による知 識浸透率	メボリックシンドローム(内 臓脂肪症候群)の概 念を知っている人の 割合 上段は20歳以上、 ( )は40歳~74歳	男性	42.3% (41.3%)	オー2	—		(53.3%)	オー3	B	
	女性	45.1% (48.5%)	—		(65.6%)		B			
内臓脂肪 型肥満に 着目した 生活習慣 病の有病 者・予備 群の数	肥満者の推定数(小 児)	男性 女性	栄養・食生活領域参照						C C	
	メボリックシンドローム(内 臓脂肪症候群)予備 群の推定数 ( )は、参酌標準 による推定数	男性*	10%減少 (平成20年度比)	80,000人**	オー2	—		143,622人 (53,489人)	カー3	E
		女性*		38,000人**		—		143,469人 (27,474人)		E
	糖尿病予備群の推定 数 ( )は、参酌標準 による推定数	男性*	10%減少	44,000人	オー2	—		40,842人 (57,053人)	カー3	B
女性*		49,000人		—		49,378人 (58,170人)		D		

指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価
項 目	区 分		基 準 値	出 典	現 状 値	出 典	最 終 値	出 典	
内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	メタリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者の推定数（ ）は、参酌標準による推定数	男性*	10%減少 (平成20年度比)	45,000人**	オー2	—	85,944人 (68,621人)	カー3	E
		女性*		26,000人**		—			91,249人 (30,694人)
	糖尿病有病者の推定数（ ）は、参酌標準による推定数	男性*	10%減少	40,000人	オー2	—	39,824人 (48,872人)	カー3	C
		女性*		36,000人		—			25,469人 (29,065人)
健診・保健指導の実績	特定健診実施率	男性*	68%	33.50%	ソー3	—	28.2% (参考値)	ナー3	E
		女性*				—			E
	特定保健指導実施率	男性*	45%	9.80%	ソー3	—	32.4% (参考値)	ナー3	E
		女性*				—			E
	医療機関受診率 ( )は、参酌標準により再計算	男性*	90%	55.1% (62.0%)	オー2	—	(84.1%)	オー3	B
		女性*		78.7% (81.7%)		—			(89.1%)
合併症率	糖尿病による人工透析新規導入率（人口10万対）	10%減少	13.1	二一1			14.6	ター3	C

\* 対象年齢は40～74歳です。

\*\* 平成20年度を基準としますので、現状値は参考値として示しています。

\*\*\* 糖尿病性腎症による新規導入透析患者数（（社）日本透析医学会 統計調査委員会「わが国の慢性透析療法の現状（2006年12月31日現在）」）÷青森県人口（平成18年10月総務省推計人口）×100,000

#### 【データの出典】

- ト一 平成10年度基本健康診査後の生活習慣改善指導実施率
- ナー1 平成10年度基本健康診査受診者、労働衛生規範に基づく報告、政府所管健康保険生活習慣病予防健診、全国労働衛生団体連合会の健診、国民健康保険者の健康診査の合計
- ニ一 日本透析医学会糖尿病性腎症による新規導入透析患者数（2006年）
- オー2 平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査
- スー2 平成16年度老人保健事業実績補足調査
- セー2 平成17年度基本健康診査受診者、労働衛生規範に基づく報告、政府所管健康保険生活習慣病予防健診、全国労働衛生団体連合会の健診、国民健康保険者の健康診査の合計
- オー3 平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（アンケート調査）
- カー3 平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ）
- ソー3 平成20年度特定健康診査・特定保健指導実施状況
- ター3 日本透析医学会糖尿病性腎症による新規導入透析患者数（2010年）
- ナー3 平成22年度特定健康診査・特定保健指導実施状況（市町村国保分）

### （8）循環器病

24項目44指標のうち、「A」は4指標、「B」は11指標、「C」は7指標、「D」は9指標、「E」は13指標でした。

カリウム摂取量は、男女ともに減少しており、悪化している状況です。

平均最大血圧値は基準値と比較して低下していますが、高血圧者の割合は、血圧の分類変更以降の中間評価時と比較すると男女ともに増加傾向にあります。

高血圧症及び高脂血症有病者の推定数については、平成19年度の医療制度改革に伴う改訂時に追加となった指標ですが、男女ともに増加しています。

脳血管疾患受療率（人口 10 万対）は、入院、通院とも減少し、目標を達成しています。  
 虚血性心疾患受療率（人口 10 万対）については、入院は基準値と比較して増加していますが、通院は減少しており目標値を達成しています。

<主な取組>

- 脳卒中フォーラム・セミナーの開催による普及啓発
- 発症時の早期受診を啓発するためのテレビ CM 放送

<今後の課題>

- 手軽に野菜摂取ができるような調理方法等の普及啓発を行い、野菜摂取量（カリウム摂取量）の増加を図る必要があります。また、学校での食育（栄養指導）を徹底する必要があります。
- 高血圧症予備群から有病者に移行させないために、血圧コントロールや食生活・運動といった生活習慣の改善についての普及啓発の徹底を図る必要があります。
- 虚血性心疾患の再発を防止するために、たばこ対策の強化に取り組む必要があります。

指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価	
項 目	区 分		基 準 値	出 典	現 状 値	出 典	最 終 値	出 典		
成人の1日の食塩摂取量の減少	成人	栄養・食生活領域参照							B	
1日のカリウム摂取量の増加	男性	3,500mg/日以上	3,000mg/日	イ-1	2,373mg/日	イ-2	2,222mg/日	イ-3	D	
	女性		2,900mg/日		2,194mg/日		2,046mg/日		D	
成人の肥満者の割合の減少 (BMI及び腹囲を基準)	男性 女性	栄養・食生活領域参照							C C	
成人の肥満者の割合の減少 (従来のBMI25以上を基準)	男性 女性	栄養・食生活領域参照							C C	
身体活動や運動による1日の消費エネルギーの増加		身体活動・運動領域参照							D	
高血圧の改善	平均最大血圧値の低下		125.5mmHg以下	129.7mmHg	ヌ-1	131.2mmHg	ヌ-1	126.8mmHg	カー3	B
	高血圧者の割合の減少	男性	14%以下	28.7%	イ-1	47.5%	イ-2	50.8%	イ-3	E
		女性	10%以下	20.7%		34.1%		35.6%		E
たばこ対策の充実		たばこ領域参照								
飲酒対策の充実		アルコール領域参照								
健診受診者の増加		糖尿病領域参照							E	
普及啓発による知識浸透率	メボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の概念を知っている人の割合	男性 女性	糖尿病領域参照							B B



指 標		目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価	
項 目	区 分		基 準 値	出 典	現 状 値	出 典	最 終 値	出 典		
内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数	肥満者の推定数(小児)		栄養・食生活領域参照						C C	
	メタリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予備群の推定数	男性 女性	糖尿病領域参照						E E	
	糖尿病予備群の推定数	男性 女性	糖尿病領域参照						B D	
	高血圧症予備群の推定数	男性*	10%減少	58,000人	オー 2	—		(40,241人)	カー 3	E
		女性*		49,000人		—		(41,010人)		E
	メタリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者の推定数	男性 女性	糖尿病領域参照						E E	
	糖尿病有病者の推定数	男性 女性	糖尿病領域参照						C A	
	高血圧症有病者の推定数	男性*	10%減少	132,000人	オー 2	—		161,786人	カー 3	D
		女性*		130,000人		—		154,150人		D
	高脂血症有病者の推定数 ( ) は、参酌標準による推定数	男性*	10%減少	41,000人	オー 2	—		51,723人 (151,208人)	カー 3	D
女性*		33,000人		—		78,218人 (183,096人)		D		
健診・保健指導の実績	特定健診実施率	男性*	糖尿病領域参照						E	
		女性*	糖尿病領域参照						E	
	特定保健指導実施率	男性* 女性*	糖尿病領域参照						E E	
医療機関受診率	男性*	糖尿病領域参照						B		
	女性*	糖尿病領域参照						B		
疾患受療率	脳血管疾患受療率(人口10万対)	入院	10%減少	179	テー 2	—		160	トー 3	A
		外来		189		—		64		A
	虚血性心疾患受療率(人口10万対)	入院	10%減少	14	テー 2	—		17	トー 3	D
		外来		76		—		65		A
死亡率	脳卒中による死亡率(年齢調整死亡率)(人口10万対)	男性	35%減少	84.0	アー 2	—		67.1	アー 3	B
		女性		45.3		—		34.0		B
	虚血性心疾患による死亡率(年齢調整死亡率)(人口10万対)	男性	15%減少	108.0	アー 2	—		98.8	アー 3	B
		女性		50.2		—		44.9		B

\* 対象年齢は40～74歳です。

【データの出典】

- イー1 平成8年度県民栄養調査
- ヌー1 青森県総合健診センターデータより
- アー2 平成17年都道府県別年齢調整死亡率の概況
- オー2 平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査
- テー2 平成17年患者調査
- アー3 平成22年都道府県別年齢調整死亡率の概況
- イー3 平成22年度県民健康・栄養調査、歯科疾患実態調査
- カー3 平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ）
- トー3 平成20年患者調査

(9) がん

13項目 13指標のうち、「A」は2指標、「B」は1指標、「C」は2指標、「D」は8指標でした。

他の領域で評価している項目以外の指標についてみると、がん検診受診者はカバー率でみると、大腸がん（男性）と子宮がん（女性）では増加傾向にありますが、そのほかは減少傾向にあり、受診率でみると、平成19年度に国の医療制度改革が行われたこともあり、厳密な比較はできませんが、男性の大腸がんではほぼ横ばいである以外は、全てにおいて減少傾向にあります。

<主な取組>

- がんの予防としては、喫煙対策の推進、生活習慣の改善や青森県がん情報サービスを開設し、がん患者の体験談を掲載するなどの予防教育を実施
- がんの早期発見のための取組みとしては、がん検診の受診率の向上にむけて、県民の意識調査や企業等と連携したがん検診受診の広報・啓発活動を実施

<今後の課題>

- がん検診については、検診受診者の実数（職場検診や個別検診、かかりつけ医での検診受診者）や未受診者の理由を把握し、検診受診者の増加のための普及啓発活動等を行う必要があります。また、検診受診率の向上を図るため、がんに関する正しい知識を普及させることや居住地に関わらずがん検診を受診できるような体制を整備する必要があります。
- がんの実態把握のため、がん登録の充実・強化を図るとともに、がん医療従事者を対象とした研修会等の開催による人材育成を図る必要があります。
- がんになっても安心した生活を送れるようがん患者団体等の活性化を図り、がん患者等に対する支援を促進する必要があります。
- 喫煙、食生活、アルコールに関しては、それぞれの領域と同様の対策を実施していく事が重要です。

指 標		目標値	基準値		中間評価値		最終評価値		評価
項 目	区 分		基準値	出典	現状値	出典	最終値	出典	
たばこ対策の充実		たばこ領域参照							
成人の1日の食塩摂取量の減少	成人	栄養・食生活領域参照							
1日の野菜の摂取量の増加	学齢期(7~14歳)	栄養・食生活領域参照							
	青少年期以降								

指 標			目 標 値	基 準 値		中 間 評 価 値		最 終 評 価 値		評 価	
項 目	区 分	基 準 値		出 典	現 状 値	出 典	最 終 値	出 典			
成人の脂肪エネルギー比率の減少	40歳未満	栄養・食生活領域参照	30%	10.4%	(10.3%)	10.2%	(10.2%)	10.0%	C		
	40歳以上									A	
飲酒対策の充実			アルコール領域参照								
がん検診カバール率	胃がん	男性	30%	10.4%	(10.3%)	10.2%	(10.2%)	10.0%	D		
		女性								15.8%	(15.8%)
	大腸がん	男性		10.7%	(10.7%)		11.1%			(11.1%)	11.7%
		女性		16.4%	(16.4%)		15.9%			(15.9%)	15.3%
	肺がん	男性		11.8%	(11.8%)		11.3%			(11.2%)	10.1%
		女性		18.8%	(18.6%)		15.7%			(15.7%)	12.7%
	子宮がん	女性		11.9%	(12.0%)		14.3%			(7.1%)	13.7%
	乳がん	女性		12.6%	(12.7%)		14.7%			(7.1%)	10.9%
がん検診率	胃がん	男性	50%	22.9%	22.9%	22.9%	20.9%	D			
		女性							28.8%	28.8%	22.6%
	大腸がん	男性		24.9%					24.9%	24.2%	
		女性		32.5%					32.5%	27.7%	
	肺がん	男性		25.5%					25.5%	21.2%	
		女性		32.6%					32.6%	23.3%	
	子宮がん	女性		33.6%					33.6%	25.8%	
	乳がん	女性		31.6%					31.6%	18.8%	

【データの出典】

- ハー1 平成11年度地域保健・老人保健事業報告
- チー2 平成17年度地域保健・老人保健事業報告
- テー3 平成21年度地域保健・健康増進事業報告

### 3 取組状況の評価

#### (1) 県の取組状況の評価

##### 1) 推進体制

健康あおもり21を推進するにあたっては、推進母体となる「めざせ長寿作戦本部」のもと、各領域の専門家で構成される「健康寿命アップ計画推進委員会」が計画の策定に係る提言を行い、その後は計画の進捗状況や健康課題の整理、施策の評価等計画全体の進行管理を行ってきました。

また、健康づくり関係団体で構成される「健康寿命アップ会議」は、各団体がそれぞれの役割に応じた健康づくり運動を展開するための情報共有や意見交換等を行い、健康づくり運動を推進してきました。これらの取組は各保健所単位で設置されている「地域保健医療推進協議会」や市町村の健康づくり推進協議会と連動して推進されてきました。しかしながら、平成20年4月に実施された「青森県民の意識に関する調査

(1 万人アンケート)」では、8 割の方が健康の保持、疾病の予防と早期発見・治療のための情報提供に満足していないとの結果を踏まえれば、健康づくり運動を推進する体制の強化が求められています。

## 2) 施策の取組に係る評価

健康あおもり 21 に係る県の施策の取組について、この 12 年間を振り返ると、健康づくりに係る県の役割として、主に担い手の育成や知識の普及啓発、空気クリーン施設の認証制度や保健・医療・福祉の連携体制等の環境整備により力点を置き、国の法制度に基づいて策定された各種計画に基づく施策を中心に推進されてきました。

各領域別にみると、こころの健康づくりや糖尿病、循環器、がん領域等疾病対策については、法制度の整備等に伴い予算が増え、取組内容の見直しが進み関係機関との連携が強化されたこと等により充実されてきました。

また、たばこ領域は、健康増進法の施行も相俟って受動喫煙防止対策が進み、未成年者に対する取組が学校関係者と連携して推進されるなど充実されてきました。

なお、栄養・食生活、身体活動・運動、歯の健康領域については、個人の生活習慣に関わりが深い分、県の施策としての取組に工夫が必要であり、今後、これらの領域に係る取組をいかに推進していくか、長期的な視点を持って、より実効性のある取組を検討する必要があります。

## (2) 市町村の取組状況

### 1) 健康増進計画の策定状況

市町村における健康増進計画は、健康増進法第 8 条第 2 項において「当該市町村の住民の健康増進に関する市町村健康増進計画を定めるよう努めるものとする。」とされています。

平成 23 年 7 月現在、県内 40 市町村のうち 39 市町村 (97.5%) が策定しています。策定していない 1 市町村については、健康増進計画としては策定していないものの、当該市町村の基本計画に健康づくりに係る事項を明記しています。

### 2) 健康づくり施策の推進、評価の体制

平成 23 年 7 月現在で、庁内に部局横断的な組織体制があるとした市町村は 1 市に止まる一方、関係団体や民間企業、住民組織が参加する協議会・連絡会があるとした市町村は 36 市町村となっています。

また、市町村計画を評価する体制があるとした市町村は 34 市町村、これまでに中間評価等を行った市町村は 33 市町村となっています。

### 3) 健康づくり施策の取組状況

平成 23 年 7 月現在、各領域の項目のうち、「充実した」と回答した市町村の割合が高い主な項目は、「メタボリックシンドローム (内蔵脂肪症候群) を認知している住民の割合」(25 市町村)、「自殺者の減少」(32 市町村)、「公共の場及び職場における分煙の徹底及び効果の高い分煙に関する知識」(28 市町村)、「健康診断を受ける人の増加」(25 市町村)、「がん健診受診者の増加」(26 市町村) となっています。

「充実した」と回答した市町村の割合が低い項目は、「脂肪エネルギー比率の減少」

(9市町村)、「禁煙支援プログラムの普及」(9市町村)、「未成年者の飲酒をなくす」(7市町村)となっています。

表4 市町村における健康づくり施策の取組状況

	充実した	縮小した	変わらない	未実施
<b>① 栄養・食生活</b>				
・適正体重を維持している人の増加	19	0	18	3
・脂肪エネルギー比率の減少	9	0	10	21
・野菜の摂取量の増加	17	0	15	8
・朝食を欠食する人の減少	19	0	16	5
・メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)を認知している国民の割合の増加	25	0	4	11
<b>② 身体活動・運動</b>				
・日常生活における歩数の増加(成人、高齢者)	16	0	14	10
・運動習慣者の増加	23	0	14	3
<b>③ こころの健康づくり</b>				
・睡眠による休養を十分にとれていない人の減少	16	0	16	8
・自殺者の減少	32	0	6	2
<b>④ たばこ</b>				
・未成年者の喫煙をなくす	15	0	18	7
・公共の場及び職場における分煙の徹底及び効果の高い分煙に関する知識の普及	28	1	7	4
・禁煙支援プログラムの普及	8	0	20	12
・喫煙をやめたい人がやめる	12	0	19	9
<b>⑤ アルコール</b>				
・多量に飲酒する人の減少	10	0	26	4
・未成年者の飲酒をなくす	7	0	22	11
<b>⑥ 歯の健康</b>				
・(学齢期のう蝕予防)一人平均歯数の減少	16	0	17	7
・(歯の喪失防止)80歳で20歯以上、60歳で24歯以上の自分の歯を有する人の増加	13	1	15	11
<b>⑦ 糖尿病</b>				
・糖尿病検診受診後の事後指導の推進	21	0	10	9
・メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者・予備群の減少	18	0	12	10
・メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念を導入した健診・保健指導の受診者数の向上	23	0	8	9
・糖尿病有病者の増加の抑制(推計)	11	0	18	11
<b>⑧ 循環器病</b>				
・健康診断を受ける人の増加	25	1	12	2
・高脂血症の減少	14	0	20	6
・生活習慣の改善等による循環器病の減少(推計)	11	0	19	10
<b>⑨ がん</b>				
・がん検診の受診者の増加	26	0	9	5

(資料)平成23年7月「健康日本21」を踏まえた健康増進施策取組状況等の調査(厚生労働省健康局総務課)

#### IV おわりに ー次期青森県健康づくり運動に向けてー

次期計画の策定に当たっては、次の点に留意して検討を進めていきます。

① 青森県が目標とするめざすべき姿

青森県基本計画でもめざしているように、県民が健康的な生活習慣づくりや疾病予防に取り組むことにより、早世の減少と健康寿命の延伸をめざします。

② 目標を達成するための重点課題の設定

平均寿命に影響を与えている三大死因（がん、心疾患、脳血管疾患）による死亡率及び全国上位にある自殺死亡率の改善に向けて重点課題を設定し、対策を推進することにより、目標の達成をめざします。

③ 重点課題に取り組むための対策

重点課題を解決するため、10年後のあるべき姿を目標に、各課題について取り組むべき年代、性別、短期的目標を大まかな工程表として提示し、共通認識を持って対策を推進することにより、目標の達成をめざします。

④ 定期的に計画の進捗状況进行评估するための仕組み

達成状況を定期的かつ的確に捕捉することのできる指標を設定し、定期的に計画の進捗状況进行评估できる仕組みをつくります。

⑤ 県民運動とするために必要な環境整備の具体化

広範な健康関連団体等がそれぞれの機能を活かし、県民の積極的な健康づくりを効果的に推進するための環境整備を進めます。

## 参考資料

1. 「健康あおもり21」最終評価経過
2. 最終評価分析資料
3. 健康づくり事業一覧（平成13～24年度）
4. 健康寿命アップ計画推進委員会設置要領、委員名簿

## 1. 「健康あおもり21」最終評価経過



## 「健康あおもり21」最終評価経過

### 1 最終評価に向けた実態調査の実施状況

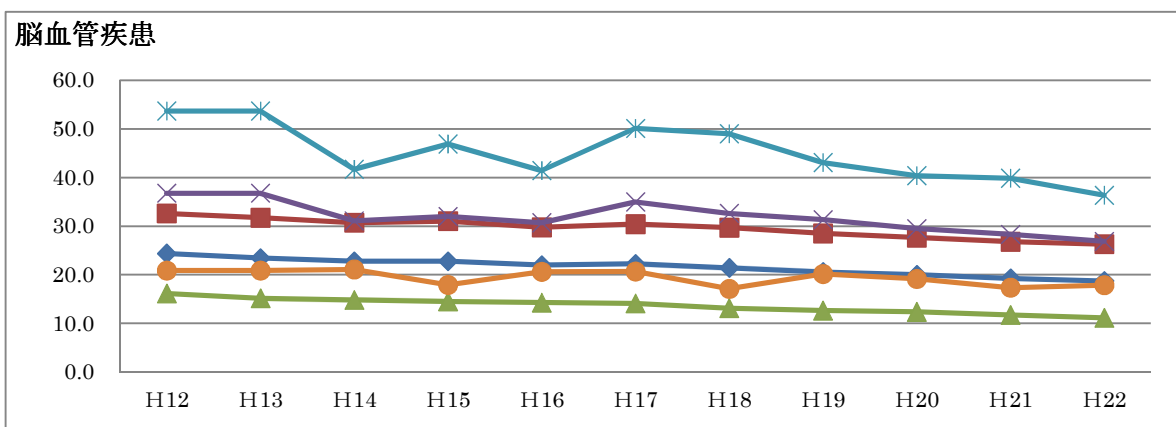
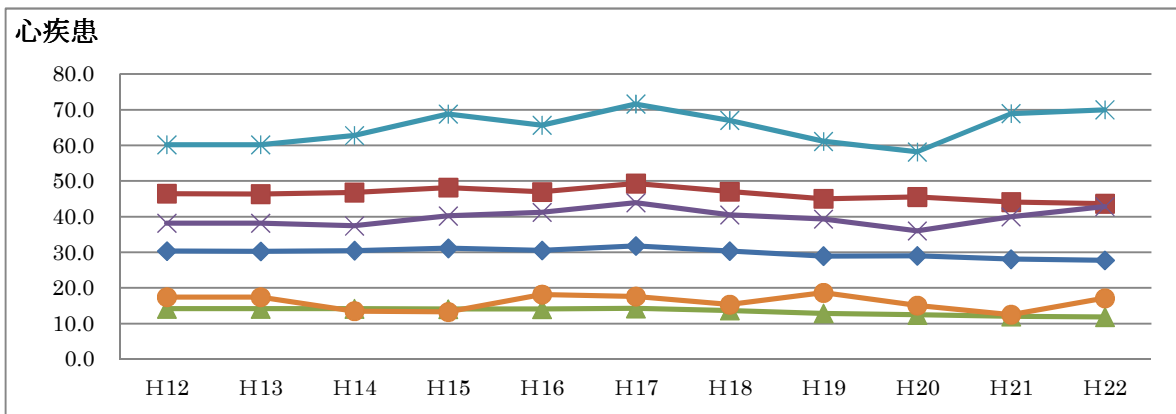
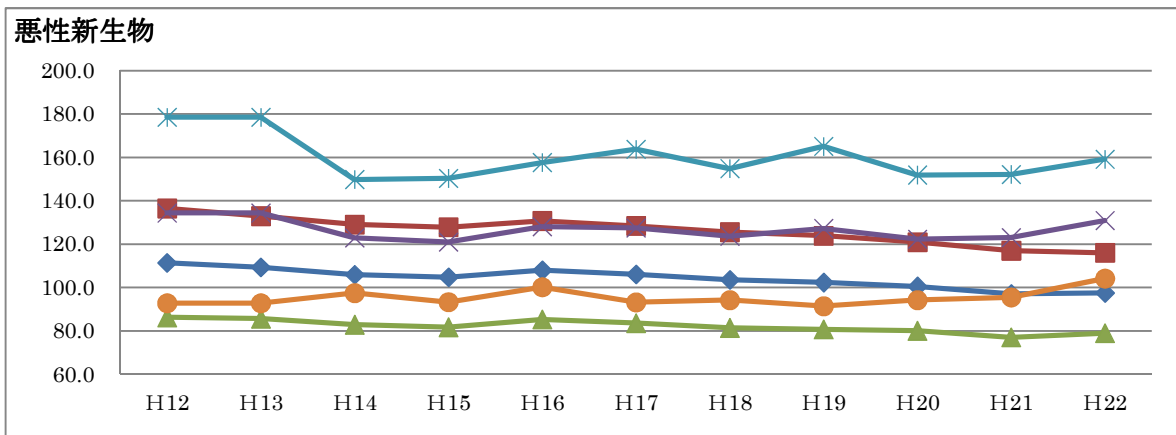
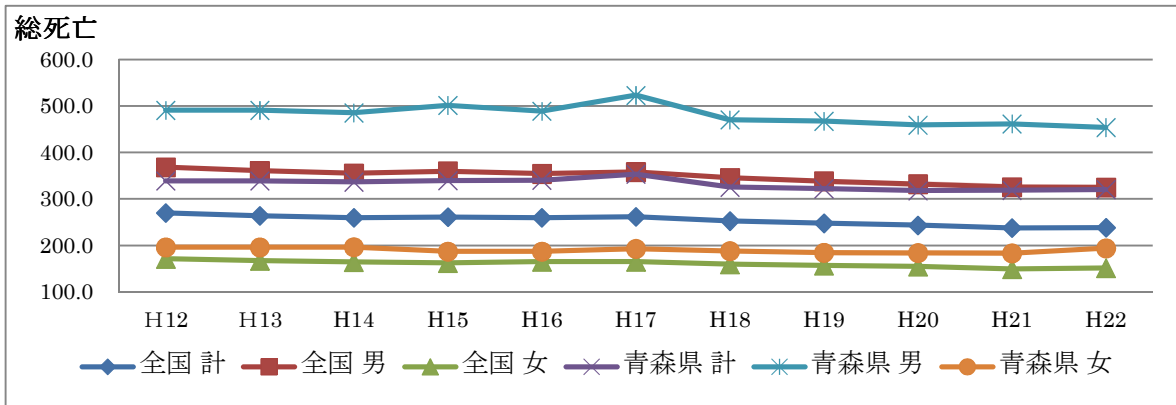
実施時期	調査名	内 容
平成 22 年 10～11 月	県民健康・栄養調査 歯科疾患実態調査	栄養摂取状況、身体状況、生活習慣、歯科疾患の実態把握について、県内 12 地区、338 世帯、1,001 人を調査。
平成 23 年 4～7 月	内臓脂肪症候群等実態調査	県内 38 市町村、8,059 人の特定健診受診者に対して、受診状況、メタボリックシンドロームの概念の認知度等についてアンケート調査を実施。 県内 40 市町村、90,236 件分の特定健診データの評価・分析を実施。
平成 23 年 9 月	公立小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査	県内 180 校、16,962 人（小 1、中 1、中 3、高 3）の児童生徒について、飲酒・喫煙状況の実態を調査。
平成 23 年 12 月	受動喫煙防止対策実施状況調査	県内 730 ヶ所の官公庁、学校、保育施設、事業所、医療機関について、受動喫煙防止対策の実態を調査。

### 2 最終評価検討経過

実施時期	会議等名	内 容
平成 24 年 1～2 月	健康寿命アップ計画推進委員会 食生活・運動部会 歯科部会 こころ・アルコール部会 糖尿病・循環器病部会 がん・たばこ部会	「健康あおもり21」に掲げる指標の達成状況の評価
平成 24 年 3 月	健康寿命アップ計画推進委員会 (全体会)	各部会の評価結果の検討
平成 24 年 6 月	健康寿命アップ計画推進委員会 (全体会)	「健康あおもり21」最終評価報告書(案)の検討

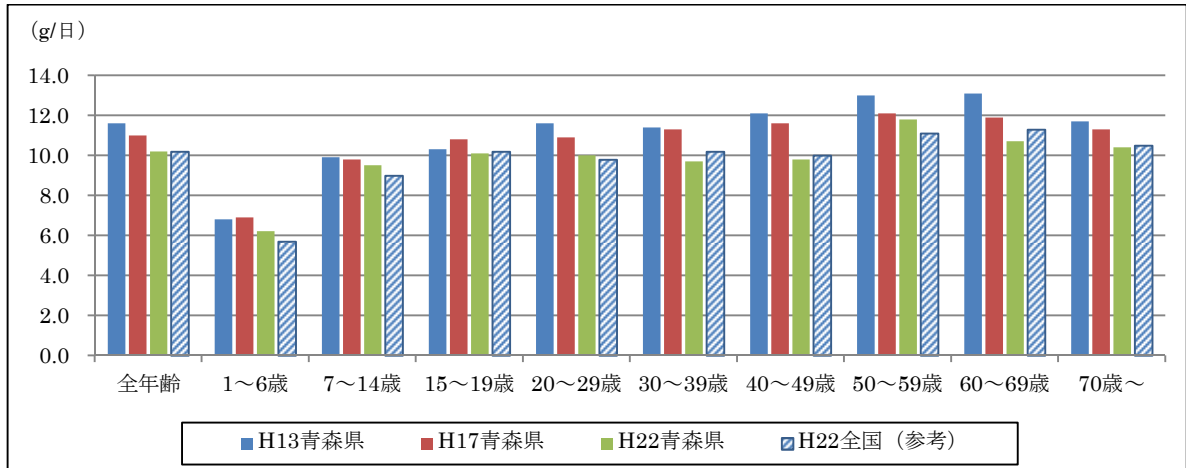
## 2. 最終評価分析資料

【年代別(25～64歳)死亡率(人口10万対)の推移】



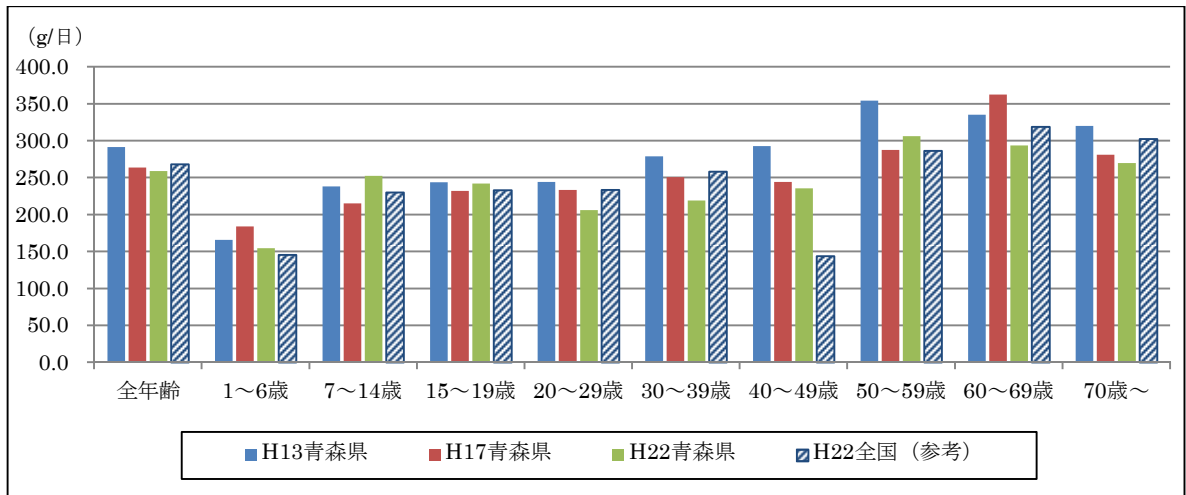
※ 人口動態統計(厚生労働省)

### 【食塩の摂取量の年次推移】



※ 国民健康・栄養調査（厚生労働省）、県民健康・栄養調査（青森県）

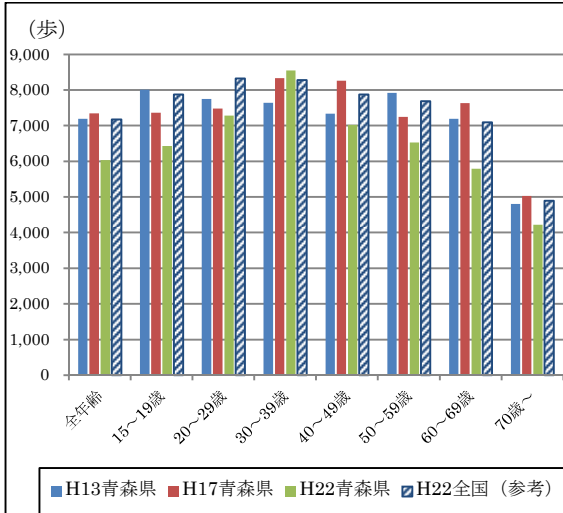
### 【野菜の摂取量の年次推移】



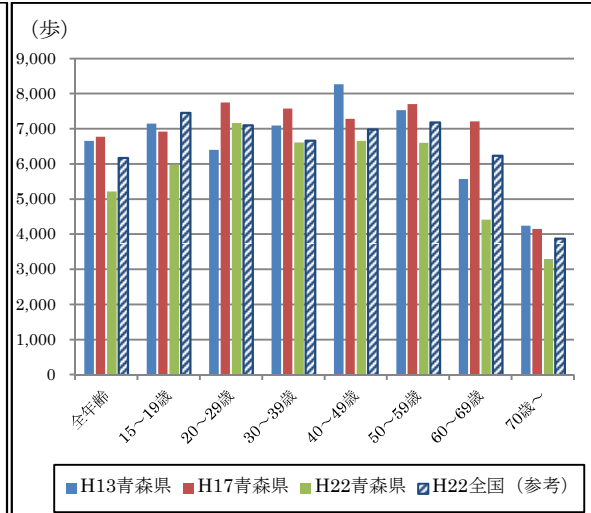
※ 国民健康・栄養調査（厚生労働省）、県民健康・栄養調査（青森県）

### 【一日の歩行数の年次推移】

(男性)



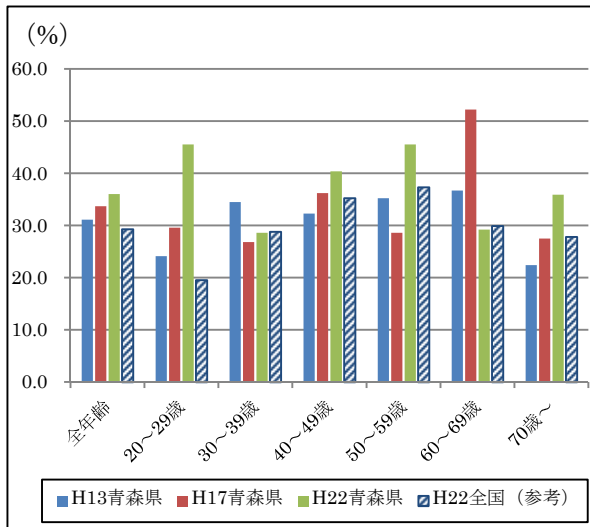
(女性)



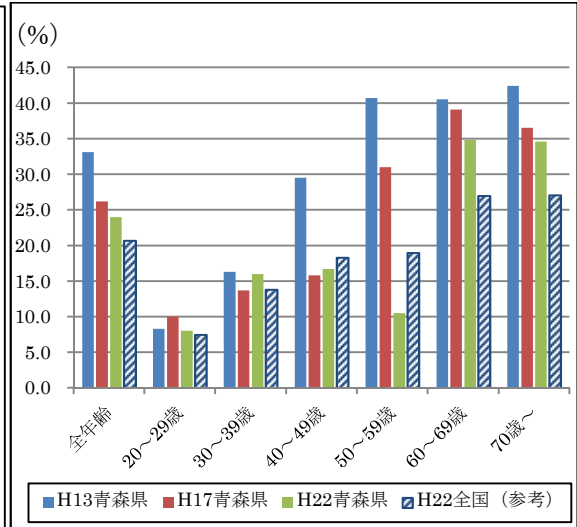
※ 国民健康・栄養調査（厚生労働省）、県民健康・栄養調査（青森県）

### 【年代別肥満者の割合】

(男性)

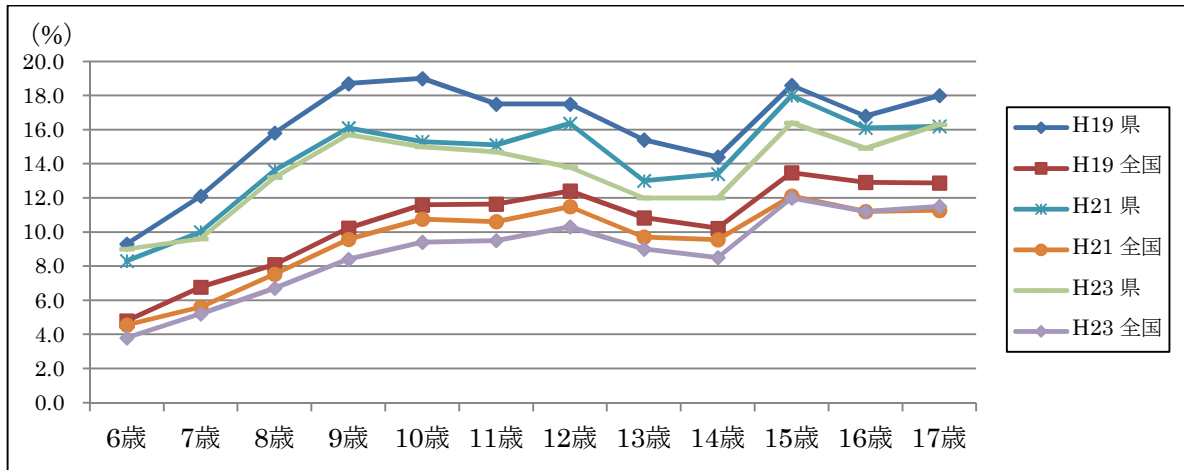


(女性)



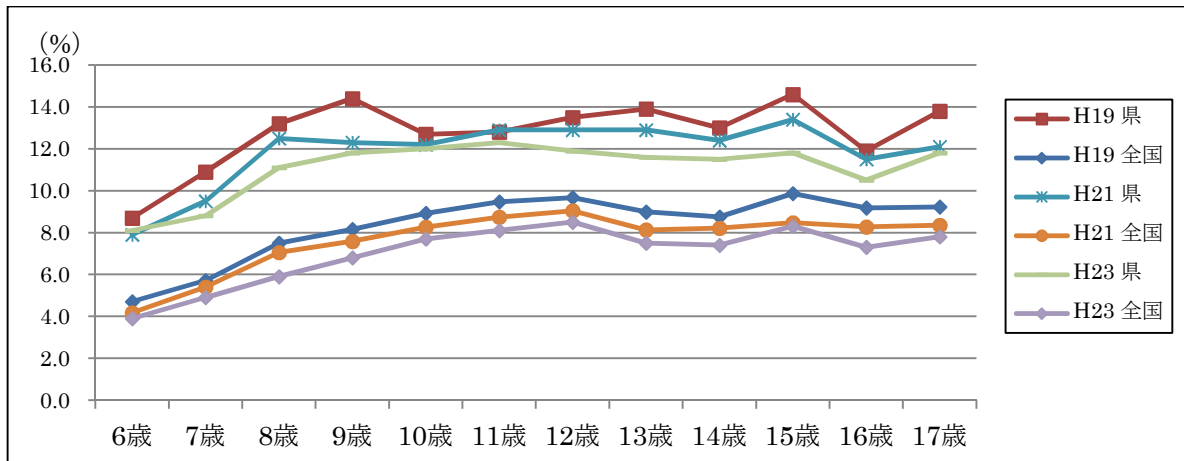
※ 国民健康・栄養調査 (厚生労働省)、県民健康・栄養調査 (青森県)

### 【年齢別肥満傾向児の出現率 (男子)】



※ 全国学校保健統計調査 (文部科学省)、青森県学校保健調査 (青森県)

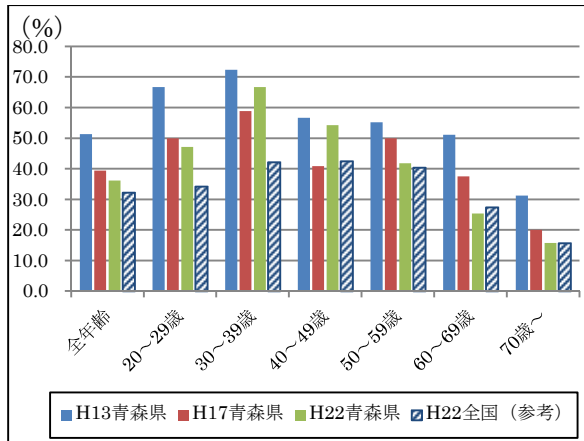
### 【年齢別肥満傾向児の出現率 (女子)】



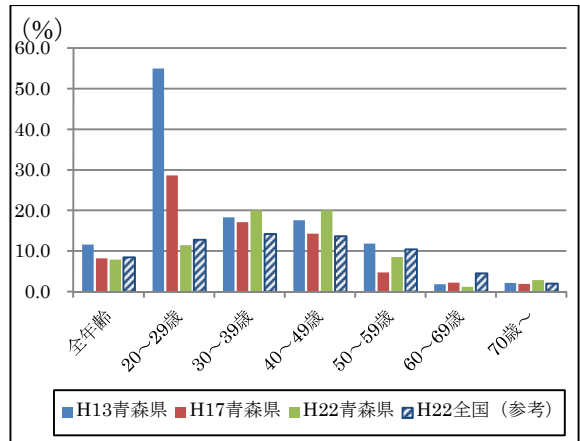
※ 全国学校保健統計調査 (文部科学省)、青森県学校保健調査 (青森県)

### 【年代別習慣喫煙者の割合】

(男性)

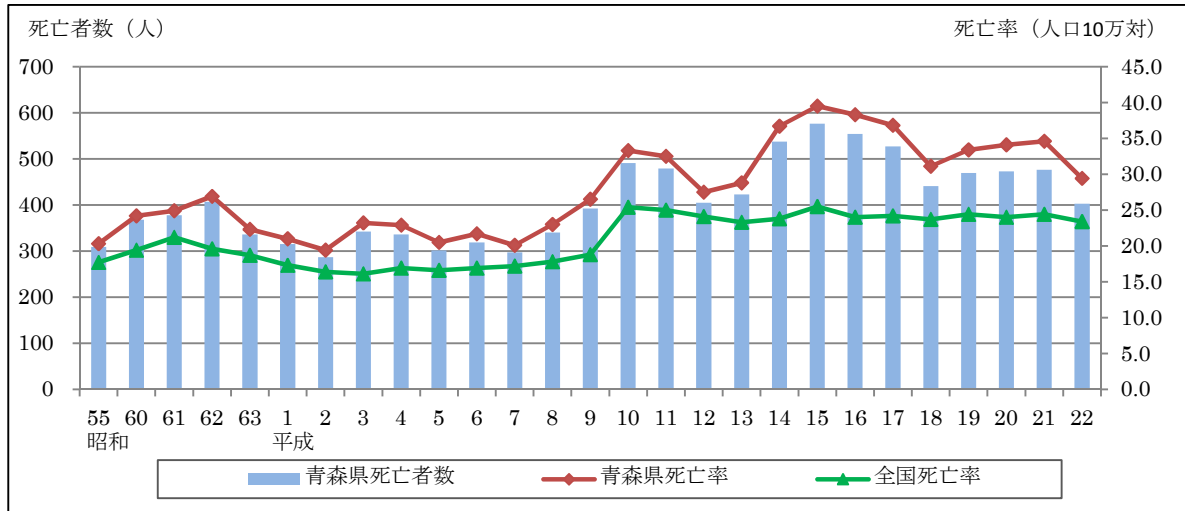


(女性)



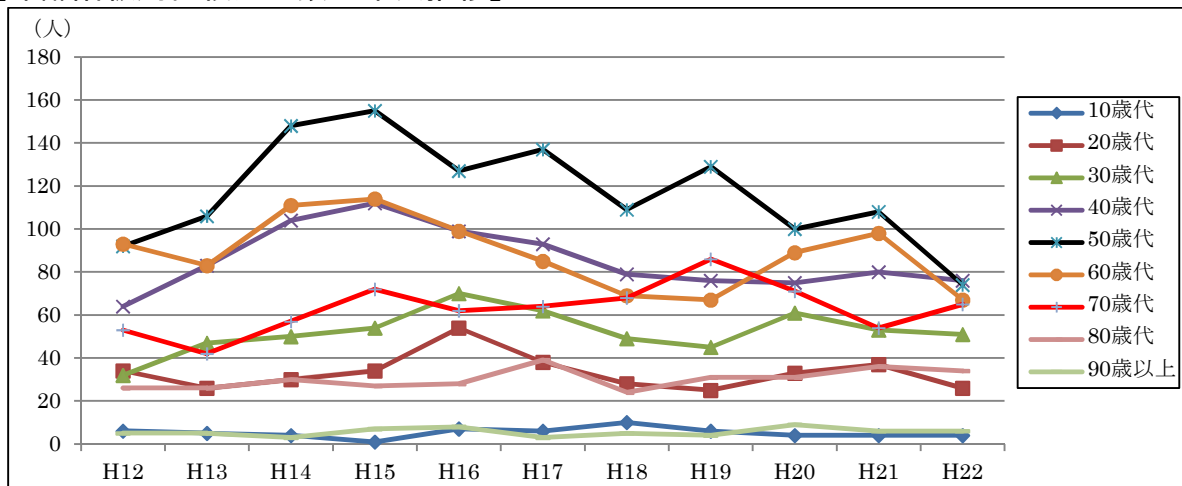
※ 国民健康・栄養調査 (厚生労働省)、県民健康・栄養調査 (青森県)

### 【自殺による死亡者数・死亡率の年次推移】



※ 人口動態統計 (厚生労働省)

### 【年齢階級別自殺死亡数の年次推移】



※ 人口動態統計 (厚生労働省)

## 榮養 · 食生活

評価シート

領域項目	1 栄養・食生活		
目標項目	1-1 学齢期おやつの一日のエネルギー摂取の減少		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
総摂取エネルギーの10%以内 200キロカロリー／日程度	学齢期(7～14歳) 293キロカロリー／日	324キロカロリー／日	265キロカロリー／日
平成24年度	平成13年度 県民健康・栄養調査	平成17年度 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	○有意な変化は見られなかった。(片側P値=0.229) ○中間評価の値と比較し、有意な減少はみられなかった。(片側P値=0.059)		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○年々調査実施者が減少している。 (平成13年度:150名→平成17年度:76名→平成22年度:45名)		
(3)その他データ分析に係るコメント	○平成22年度県民健康・栄養調査 学齢期(7～14歳)の総エネルギー摂取量 1,814キロカロリーであり、総摂取エネルギーの10%以内で計算すると、約180キロカロリーとなる。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○基準値と比較して改善傾向にあるが、目標値には達していない。		B
(5)今後の課題及び対策の抽出	○年々調査実施者が減少していることから、調査方法について検討が必要と思われる。		



健康あおもり 21 現状値の推移

領域	栄養・食生活							
目標項目	1-1 学齢期おやつの日々のエネルギー摂取の減少							
基準値	学齢期（7～14歳） 293キロカロリー／日 （平成13年度県民健康度調査）							
現状値	265キロカロリー／日 （平成22年度県民健康・栄養調査）							
目標値 （平成24年度）	総摂取エネルギーの10%以内 200キロカロリー／日 程度							
根拠データ	<p>◎間食から摂取しているエネルギーの平均値</p> <table border="1"> <tr> <td>平成13年度県民健康度調査結果（7～15歳）（N=150）</td> <td>293.2キロカロリー</td> </tr> <tr> <td>平成17年度県民健康・栄養調査結果（7～14歳）（N=76）</td> <td>324.1キロカロリー</td> </tr> <tr> <td>平成22年度県民健康・栄養調査結果（7～14歳）（N=45）</td> <td>264.5キロカロリー</td> </tr> </table>		平成13年度県民健康度調査結果（7～15歳）（N=150）	293.2キロカロリー	平成17年度県民健康・栄養調査結果（7～14歳）（N=76）	324.1キロカロリー	平成22年度県民健康・栄養調査結果（7～14歳）（N=45）	264.5キロカロリー
平成13年度県民健康度調査結果（7～15歳）（N=150）	293.2キロカロリー							
平成17年度県民健康・栄養調査結果（7～14歳）（N=76）	324.1キロカロリー							
平成22年度県民健康・栄養調査結果（7～14歳）（N=45）	264.5キロカロリー							
特記事項	平成18年度改定版より、学齢期を7～14歳とし、項目名「学齢期おやつの日々のエネルギー摂取」から変更							

評価シート

領域項目	1 栄養・食生活 7 糖尿病 8 循環器病		
目標項目	1-2 成人肥満者の割合の減少 (7-1 8-3)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
① BMI及び腹囲を基準 男性 40% 以下 女性 25% 以下	①BMI及び腹囲を基準 男性 51.0 % 女性 29.0 %  ①BMI25以上で腹囲85(女性90)cm以上 男性 30.7 % 女性 14.5 % ②BMIのみ25以上 男性 1.8 % 女性 10.0 % ③腹囲のみ85(女性90)cm以上 男性 18.5 %	①BMI及び腹囲を基準 男性 51.7 % 女性 32.7 %  ①BMI25以上で腹囲85(女性90)cm以上 男性 29.6 % 女性 16.7 % ②BMIのみ25以上 男性 2.6 % 女性 11.0 % ③腹囲のみ85(女性90)cm以上 男性 19.5 %	① BMI及び腹囲を基準 男性 48.2 % 女性 30.6 %  ①BMI25以上で腹囲85(女性90)cm以上 男性 28.4 % 女性 15.5 % ②BMIのみ25以上 男性 3.2 % 女性 11.2 % ③腹囲のみ85(女性90)cm以上 男性 16.6 %
	平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査(20歳～)	平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査(40～74歳)	平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)
② BMI25以上を基準 男性 25% 以下 女性 20% 以下	② BMI25以上を基準 男性 37.3 % 女性 38.2 %	② BMI25以上を基準 男性 33.7 % 女性 27.1 %	② BMI25以上を基準 男性 36.9% 女性 24.5%
平成24年度	平成8年度県民健康基礎調査データ再計算	平成17年度県民健康・栄養調査	平成22年度県民健康・栄養調査
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	○基準値の実績値の実数把握がないため検定できないが、BMIのみを基準とした場合、男性は1.3ポイント下がった。女性は14.2ポイント下がった。 ○中間評価の値と比較し、男女とも有意な差はみられなかった。(男:片側P値=0.225、女:片側P値=0.221) ○BMI及び腹囲を基準とした場合、男性は、2.8ポイント下がった。女性は、1.6ポイント上がった。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査の対象者は、市町村健康まつり参加者及び県庁職員、市町村健診の対象者であるため、20歳からのデータとなっている。 ○平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査の対象者は、特定健診の対象者であるため、40～70歳である。		
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○男女とも基準値と比較し、変わらず、目標値に達していない。		C
(5)今後の課題及び対策の抽出	○現在特定保健指導が実施されており、今後その結果を踏まえて対応すべきである。		

## 健康あおり 21 現状値の推移

領域	栄養・食生活																																																																																																																																																																															
目標項目	1-2 成人の肥満者の割合の減少 (7-1 8-3)																																																																																																																																																																															
基準値	・BMI及び腹囲を基準 (平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査) 男性 51.0% 女性 29.0% (①BMI25以上で腹囲85cm以) (30.7%) (14.5%) (②BMIのみ25以上) (1.8%) (10.0%) (③腹囲のみ90cm以上) (18.5%) (4.5%)																																																																																																																																																																															
	・従来のBMI25以上を基準 (平成8年度県民健康基礎調査データを再計算) 男性 37.3% 女性 38.2%																																																																																																																																																																															
現状値	・BMI及び腹囲を基準 (平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査) 男性 48.2% 女性 30.6% (①BMI25以上で腹囲85cm以) (28.4%) (15.5%) (②BMIのみ25以上) (3.2%) (11.2%) (③腹囲のみ90cm以上) (16.6%) (3.9%)																																																																																																																																																																															
	・従来のBMI25以上を基準 男性 36.9% 女性 24.5% 15歳以上の肥満度の判定：肥満 BMI25.0以上 (BMIによる判定：日本肥満学会2000) (平成22年度県民健康・栄養調査)																																																																																																																																																																															
目標値 (平成24年度)	・BMI及び腹囲を基準 男性 40%以下 女性 25%以下 ・従来のBMI25以上を基準 男性 25%以下 女性 20%以下																																																																																																																																																																															
根拠データ	*出典：平成8年度県民健康基礎調査 (%) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>区分</th> <th>総数</th> <th>～29歳</th> <th>30～49歳</th> <th>50～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">男</td> <td>～19.99</td> <td>12.7</td> <td>25.0</td> <td>8.5</td> <td>8.5</td> <td>19.4</td> </tr> <tr> <td>20～23.99</td> <td>50.1</td> <td>49.7</td> <td>50.0</td> <td>50.4</td> <td>50.5</td> </tr> <tr> <td>24～26.39</td> <td>23.1</td> <td>13.3</td> <td>24.4</td> <td>27.2</td> <td>20.4</td> </tr> <tr> <td>26.4～</td> <td>14.1</td> <td>11.9</td> <td>17.1</td> <td>13.9</td> <td>9.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女</td> <td>～19.99</td> <td>17.6</td> <td>42.4</td> <td>16.8</td> <td>8.7</td> <td>15.4</td> </tr> <tr> <td>20～23.99</td> <td>47.6</td> <td>45.0</td> <td>52.9</td> <td>43.8</td> <td>47.4</td> </tr> <tr> <td>24～26.39</td> <td>19.8</td> <td>6.8</td> <td>18.3</td> <td>27.2</td> <td>18.3</td> </tr> <tr> <td>26.4～</td> <td>15.1</td> <td>5.9</td> <td>12.0</td> <td>20.3</td> <td>18.6</td> </tr> </tbody> </table> <平成8年度データ 再計算> (%) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>区分</th> <th>総数</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">男</td> <td>～18.5未満</td> <td>13.4</td> <td>9.5</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2.4</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>18.5～25未満</td> <td>57.4</td> <td>52.4</td> <td>62.9</td> <td>64.0</td> <td>55.1</td> <td>63.5</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>25.0以上</td> <td>29.2</td> <td>38.1</td> <td>37.1</td> <td>36.0</td> <td>44.9</td> <td>34.1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女</td> <td>～18.5未満</td> <td>11.9</td> <td>20.5</td> <td>4.8</td> <td>4.5</td> <td>2.8</td> <td>0.8</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>18.5～25未満</td> <td>53.4</td> <td>59.0</td> <td>79.4</td> <td>60.0</td> <td>44.9</td> <td>54.6</td> <td>52.9</td> </tr> <tr> <td>25.0以上</td> <td>34.7</td> <td>20.5</td> <td>15.9</td> <td>35.5</td> <td>52.3</td> <td>44.6</td> <td>45.1</td> </tr> </tbody> </table> <平成13年度データ> 出典：平成13年度県民健康度調査 (%) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>区分</th> <th>総数</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">男</td> <td>～18.5未満</td> <td>3.0</td> <td>5.6</td> <td>1.8</td> <td>1.0</td> <td>5.5</td> <td>3.1</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>18.5～25未満</td> <td>65.9</td> <td>70.4</td> <td>63.6</td> <td>66.7</td> <td>59.3</td> <td>60.2</td> <td>75.5</td> </tr> <tr> <td>25.0以上</td> <td>31.1</td> <td>24.1</td> <td>34.5</td> <td>32.3</td> <td>35.2</td> <td>36.7</td> <td>22.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女</td> <td>～18.5未満</td> <td>6.3</td> <td>20.8</td> <td>6.3</td> <td>4.5</td> <td>4.1</td> <td>3.8</td> <td>7.6</td> </tr> <tr> <td>18.5～25未満</td> <td>60.6</td> <td>70.8</td> <td>77.5</td> <td>65.9</td> <td>55.3</td> <td>55.7</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>25.0以上</td> <td>33.1</td> <td>8.3</td> <td>16.3</td> <td>29.5</td> <td>40.7</td> <td>40.5</td> <td>42.4</td> </tr> </tbody> </table>		区分	総数	～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳～	男	～19.99	12.7	25.0	8.5	8.5	19.4	20～23.99	50.1	49.7	50.0	50.4	50.5	24～26.39	23.1	13.3	24.4	27.2	20.4	26.4～	14.1	11.9	17.1	13.9	9.7	女	～19.99	17.6	42.4	16.8	8.7	15.4	20～23.99	47.6	45.0	52.9	43.8	47.4	24～26.39	19.8	6.8	18.3	27.2	18.3	26.4～	15.1	5.9	12.0	20.3	18.6		区分	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	男	～18.5未満	13.4	9.5	0	0	0	2.4	0	18.5～25未満	57.4	52.4	62.9	64.0	55.1	63.5	0	25.0以上	29.2	38.1	37.1	36.0	44.9	34.1	0	女	～18.5未満	11.9	20.5	4.8	4.5	2.8	0.8	2.0	18.5～25未満	53.4	59.0	79.4	60.0	44.9	54.6	52.9	25.0以上	34.7	20.5	15.9	35.5	52.3	44.6	45.1		区分	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	男	～18.5未満	3.0	5.6	1.8	1.0	5.5	3.1	2.0	18.5～25未満	65.9	70.4	63.6	66.7	59.3	60.2	75.5	25.0以上	31.1	24.1	34.5	32.3	35.2	36.7	22.4	女	～18.5未満	6.3	20.8	6.3	4.5	4.1	3.8	7.6	18.5～25未満	60.6	70.8	77.5	65.9	55.3	55.7	50.0	25.0以上	33.1	8.3	16.3	29.5	40.7	40.5	42.4
	区分	総数	～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳～																																																																																																																																																																										
男	～19.99	12.7	25.0	8.5	8.5	19.4																																																																																																																																																																										
	20～23.99	50.1	49.7	50.0	50.4	50.5																																																																																																																																																																										
	24～26.39	23.1	13.3	24.4	27.2	20.4																																																																																																																																																																										
	26.4～	14.1	11.9	17.1	13.9	9.7																																																																																																																																																																										
女	～19.99	17.6	42.4	16.8	8.7	15.4																																																																																																																																																																										
	20～23.99	47.6	45.0	52.9	43.8	47.4																																																																																																																																																																										
	24～26.39	19.8	6.8	18.3	27.2	18.3																																																																																																																																																																										
	26.4～	15.1	5.9	12.0	20.3	18.6																																																																																																																																																																										
	区分	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																																																																																																								
男	～18.5未満	13.4	9.5	0	0	0	2.4	0																																																																																																																																																																								
	18.5～25未満	57.4	52.4	62.9	64.0	55.1	63.5	0																																																																																																																																																																								
	25.0以上	29.2	38.1	37.1	36.0	44.9	34.1	0																																																																																																																																																																								
女	～18.5未満	11.9	20.5	4.8	4.5	2.8	0.8	2.0																																																																																																																																																																								
	18.5～25未満	53.4	59.0	79.4	60.0	44.9	54.6	52.9																																																																																																																																																																								
	25.0以上	34.7	20.5	15.9	35.5	52.3	44.6	45.1																																																																																																																																																																								
	区分	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																																																																																																								
男	～18.5未満	3.0	5.6	1.8	1.0	5.5	3.1	2.0																																																																																																																																																																								
	18.5～25未満	65.9	70.4	63.6	66.7	59.3	60.2	75.5																																																																																																																																																																								
	25.0以上	31.1	24.1	34.5	32.3	35.2	36.7	22.4																																																																																																																																																																								
女	～18.5未満	6.3	20.8	6.3	4.5	4.1	3.8	7.6																																																																																																																																																																								
	18.5～25未満	60.6	70.8	77.5	65.9	55.3	55.7	50.0																																																																																																																																																																								
	25.0以上	33.1	8.3	16.3	29.5	40.7	40.5	42.4																																																																																																																																																																								

\* 出典：平成17年度県民健康・栄養調査 (%)

	区分	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～
男	～18.5未満	2.7	0	2.4	6.4	0	4.3	2.0
	18.5～25未満	63.6	70.4	70.8	57.4	71.4	43.5	70.5
	25.0以上	33.7	29.6	26.8	36.2	28.6	52.2	27.5
女	～18.5未満	5.7	16.7	13.7	5.3	3.4	0.0	3.5
	18.5～25未満	67.2	73.3	72.6	78.9	65.6	60.9	60.0
	25.0以上	27.1	10.0	13.7	15.8	31.0	39.1	36.5

\* 出典：平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査

国民健康・栄養調査における方法（＝日本肥満学会の診断基準）により、「立位のへその高さ」で腹囲測定を行い、次の3項目に該当する者の割合をそれぞれ求める。

①BMI 2.5以上で腹囲男性85cm以上、女性90cm以上＝「上半身肥満の疑い」

②BMIのみ2.5以上

③腹囲のみ超えている（男性85cm以上、女性90cm以上）

単位：千人、%

性別	年齢区分	2005年人口 (平成17年 国勢調査)	該当者の割合 (① BMI2.5以上 で腹囲基準 値以上)	2006年 (平成 18年) 推定数	該当者の割合 (②BMI のみ2.5以 上)	2006年 (平成 18年) 推定数	該当者の割合 (③腹囲 のみ基準値 以上)	2006年 (平成 18年) 推定数
男性	20～24歳	36	33.3%	12	0.0%	0	0.0%	0
	25～29歳	40	20.0%	8	0.0%	0	40.0%	16
	30～34歳	45	53.8%	24	0.0%	0	3.8%	2
	35～39歳	42	31.9%	14	2.1%	1	14.9%	6
	40～44歳	44	31.5%	14	3.3%	1	15.2%	7
	45～49歳	47	30.6%	14	3.2%	2	12.9%	6
	50～54歳	54	25.1%	14	1.8%	1	25.7%	14
	55～59歳	56	35.3%	20	2.0%	1	18.9%	11
	60～64歳	42	28.0%	12	3.8%	2	21.3%	9
	65～69歳	41	30.4%	12	1.4%	1	17.6%	7
	70～74歳	39	26.5%	10	3.3%	1	25.4%	10
	75歳以上	51	21.4%	11	0.9%	0	23.2%	12
	合計	539	30.7%	165	1.8%	10	18.5%	99
女性	20～24歳	35	0.0%	0	16.7%	6	0.0%	0
	25～29歳	40	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0
	30～34歳	45	8.9%	4	8.9%	4	0.0%	0
	35～39歳	44	11.8%	5	3.5%	2	0.0%	0
	40～44歳	46	10.2%	5	10.2%	5	0.7%	0
	45～49歳	50	11.0%	5	14.1%	7	1.8%	1
	50～54歳	57	15.3%	9	13.3%	8	2.0%	1
	55～59歳	60	15.9%	10	11.6%	7	5.2%	3
	60～64歳	50	23.5%	12	10.6%	5	7.9%	4
	65～69歳	50	21.4%	11	8.8%	4	9.6%	5
	70～74歳	51	20.1%	10	8.6%	4	7.8%	4
	75歳以上	95	21.4%	20	11.2%	11	10.5%	10
	合計	623	14.5%	91	10.0%	62	4.5%	28

<参考資料> 15歳以上の肥満度の判定：BMI判定（日本肥満学会2000）

判定	BMI値
やせ	18.5未満
普通	18.5～25未満
肥満	25以上

\*出典：平成22年度県民健康・栄養調査 (%)

	区分	総数	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～
男	～18.5未満	6.4	18	9.5	8.5	2.3	4.2	3.8
	18.5～25未満	57.6	36.3	61.9	51.1	52.2	66.6	60.3
	25.0以上	36.0	45.5	28.6	40.4	45.5	29.2	35.9
女	～18.5未満	8.2	16.0	12.0	4.8	10.5	4.3	8.7
	18.5～25未満	67.8	76.0	72.0	78.5	79.0	60.9	56.7
	25.0以上	24.0	8.0	16.0	16.7	10.5	34.8	34.6

\*出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査

国民健康・栄養調査における方法（＝日本肥満学会の診断基準）により、「立位のへその高さ」で腹囲測定を行い、次の3項目に該当する者の割合をそれぞれ求める。

- ①BMI 2.5以上で腹囲男性85cm以上、女性90cm以上＝「上半身肥満の疑い」
- ②BMIのみ2.5以上
- ③腹囲のみ超えている（男性85cm以上、女性90cm以上）

単位：千人、%

性別	年齢区分	2010年人口 (平成22年 国勢調査)	該当者の割合 (① BMI2.5以上 で腹囲基準 値以上)	2010年 (平成 22年) 推定数	該当者の割合 (②BMI のみ2.5以 上)	2010年 (平成 22年) 推定数	該当者の割合 (③腹囲 のみ基準値 以上)	2010年 (平成 22年) 推定数
男性	40～49歳	84	33.3%	28	3.4%	3	12.8%	11
	50～59歳	97	30.2%	29	3.5%	3	15.4%	15
	60～69歳	94	27.5%	26	3.3%	3	16.9%	16
	70歳以上	37	26.8%	10	2.7%	1	18.7%	7
	合計	312	28.4%	89	3.2%	10	16.6%	52
女性	40～49歳	88	11.0%	10	10.2%	9	1.1%	1
	50～59歳	104	13.6%	14	11.1%	12	2.3%	2
	60～69歳	107	15.4%	17	11.5%	12	4.1%	4
	70歳以上	48	18.6%	9	10.8%	5	5.5%	3
	合計	348	15.5%	54	11.2%	39	3.9%	14

特記事項

平成18年度改定版より、項目名「成人の肥満者出現率」、目標値「男性15%以下」から変更  
さらに、平成19年度改定で、「BMI及び腹囲を基準」とした項目を追加し、「①BMI 2.5以上で腹囲85cm以上 ②BMIのみ2.5以上 ③腹囲のみ85cm以上」の区分による目標値を設定

評価シート

領域項目	1 栄養・食生活 8 循環器病 9 がん		
目標項目	1-3 成人の1日の食塩摂取量の減少 (8-1 9-2)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
10g/日未満	12. 2g/日	11. 6g/日	10. 5g/日
平成24年度	平成13年度 県民健康・栄養調査	平成17年度 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	○基準値の実績値の実数把握がないため、検定はできないが、1. 7g減少している。 ○中間評価の値と比較し、有意に減少している。(片側P値<0. 001)		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント	○直近値では、男性(319人)は11. 4g、女性(401人)は9. 8gである。 ○直近値では、男性は50代(54人)が13. 1g、女性は50代(66人)が10. 7gで最も高い。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○基準値と比較し、改善傾向にあるが、目標値には達成していない。		B
(5)今後の課題及び対策の抽出	○減塩に関する教育は引き続き行う必要がある。 ○地域格差(津軽と南部)もあると思われるので、今後検討が必要ではないか。 ○他県の先行事例も、参考としてはどうか。		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	栄養・食生活																																																																																																										
目標項目	1-3 成人の1日の食塩摂取量の減少 (8-1 9-2)																																																																																																										
基準値	12.2g/日 (平成13年度県民健康・栄養調査)																																																																																																										
現状値	10.5g/日 (平成22年度県民健康・栄養調査)																																																																																																										
目標値 (平成24年度)	10g/日未満																																																																																																										
根拠データ	<p>* 出典：平成8年度県民栄養調査 年代別食塩摂取量 (g)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>全年齢</th> <th>～9歳</th> <th>10～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> <tr> <td>14.11</td> <td>8.62</td> <td>11.98</td> <td>12.73</td> <td>13.79</td> <td>15.16</td> <td>16.67</td> <td>16.06</td> <td>14.60</td> </tr> </table> <p>* 出典：平成13年度県民健康度調査 年代別食塩摂取量 (g)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>全年齢</th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> <tr> <td>11.6</td> <td>6.8</td> <td>9.9</td> <td>10.3</td> <td>11.6</td> <td>11.4</td> <td>12.1</td> <td>13.0</td> <td>13.1</td> <td>11.7</td> </tr> </table> <p>* 出典：平成17年度県民健康・栄養調査 年代別食塩摂取量 (g)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>全年齢</th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> <tr> <td>11.0</td> <td>6.9</td> <td>9.8</td> <td>10.8</td> <td>10.9</td> <td>11.3</td> <td>11.6</td> <td>12.1</td> <td>11.9</td> <td>11.3</td> </tr> </table> <p>* 出典：平成22年度県民健康・栄養調査 年代別食塩摂取量 (g) 上段：食塩摂取量 (g) 下段：対象者数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> <th>再掲 20歳以上</th> </tr> <tr> <th>全年齢</th> <td>10.2 (851)</td> <td>6.2 (37)</td> <td>9.5 (68)</td> <td>10.1 (26)</td> <td>10.0 (48)</td> <td>9.7 (74)</td> <td>9.8 (113)</td> <td>11.8 (120)</td> <td>10.7 (133)</td> <td>10.4 (232)</td> <td>10.5 (720)</td> </tr> <tr> <th>男性</th> <td>11.0 (387)</td> <td>6.3 (19)</td> <td>8.9 (33)</td> <td>12.2 (16)</td> <td>11.9 (15)</td> <td>10.5 (36)</td> <td>10.4 (58)</td> <td>13.1 (54)</td> <td>12 (57)</td> <td>10.9 (99)</td> <td>11.4 (319)</td> </tr> <tr> <th>女性</th> <td>9.6 (464)</td> <td>6.2 (18)</td> <td>10.1 (35)</td> <td>6.8 (10)</td> <td>9.2 (33)</td> <td>8.9 (38)</td> <td>9.2 (55)</td> <td>10.7 (66)</td> <td>9.8 (76)</td> <td>10.0 (133)</td> <td>9.8 (401)</td> </tr> </table>	全年齢	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	14.11	8.62	11.98	12.73	13.79	15.16	16.67	16.06	14.60	全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	11.6	6.8	9.9	10.3	11.6	11.4	12.1	13.0	13.1	11.7	全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	11.0	6.9	9.8	10.8	10.9	11.3	11.6	12.1	11.9	11.3		合計	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	再掲 20歳以上	全年齢	10.2 (851)	6.2 (37)	9.5 (68)	10.1 (26)	10.0 (48)	9.7 (74)	9.8 (113)	11.8 (120)	10.7 (133)	10.4 (232)	10.5 (720)	男性	11.0 (387)	6.3 (19)	8.9 (33)	12.2 (16)	11.9 (15)	10.5 (36)	10.4 (58)	13.1 (54)	12 (57)	10.9 (99)	11.4 (319)	女性	9.6 (464)	6.2 (18)	10.1 (35)	6.8 (10)	9.2 (33)	8.9 (38)	9.2 (55)	10.7 (66)	9.8 (76)	10.0 (133)	9.8 (401)
全年齢	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																																			
14.11	8.62	11.98	12.73	13.79	15.16	16.67	16.06	14.60																																																																																																			
全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																																		
11.6	6.8	9.9	10.3	11.6	11.4	12.1	13.0	13.1	11.7																																																																																																		
全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																																		
11.0	6.9	9.8	10.8	10.9	11.3	11.6	12.1	11.9	11.3																																																																																																		
	合計	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	再掲 20歳以上																																																																																																
全年齢	10.2 (851)	6.2 (37)	9.5 (68)	10.1 (26)	10.0 (48)	9.7 (74)	9.8 (113)	11.8 (120)	10.7 (133)	10.4 (232)	10.5 (720)																																																																																																
男性	11.0 (387)	6.3 (19)	8.9 (33)	12.2 (16)	11.9 (15)	10.5 (36)	10.4 (58)	13.1 (54)	12 (57)	10.9 (99)	11.4 (319)																																																																																																
女性	9.6 (464)	6.2 (18)	10.1 (35)	6.8 (10)	9.2 (33)	8.9 (38)	9.2 (55)	10.7 (66)	9.8 (76)	10.0 (133)	9.8 (401)																																																																																																
特記事項	平成18年度改定版より、対象を「成人」とし、項目名「食塩摂取量」から変更																																																																																																										

評価シート

領域項目	1 栄養・食生活		
目標項目	1-4 1日のカルシウム摂取量の増加		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
600mg/日以上	552mg/日	507mg/日	472mg/日
平成24年度	平成8年度 県民栄養調査	平成17年度 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	○基準値の実績値の実数把握がないため検定できないが、80mg減少している。 ○中間評価の値と比較し、有意に減少している。(片側P値=0.002)		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○直近値で見ると、30代(74人)で394mgと最も低く、学齢期(7~14歳)(68人)で667mgと最も高い。		
(3)その他データ分析に係るコメント	○平成8年度に比較し、直近値では、カルシウム供給源と考えられる食品のうち、豆類(81→61g)、乳類(119→106g)、魚類(140→90g)が減少している。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○基準値と比較し、さらに不足し、悪化している		D
(5)今後の課題及び対策の抽出	○カルシウムの摂取については、妊産婦、子ども、高齢者を考慮した検討が必要である。		



## 健康あおり 21 現状値の推移

領域	栄養・食生活																																																																																																						
目標項目	1-4 1日のカルシウム摂取量の増加																																																																																																						
基準値	552mg/日 (平成8年度県民栄養調査)																																																																																																						
現状値	472mg/日 (平成22年度県民健康・栄養調査)																																																																																																						
目標値 (平成24年度)	600mg/日以上																																																																																																						
根拠データ	<p>* 出典：平成8年度県民栄養調査 年代別カルシウム摂取状況 (mg)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>全年齢</th> <th>～9歳</th> <th>10～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>551.6</td> <td>511.9</td> <td>576.7</td> <td>463.5</td> <td>495.3</td> <td>559.7</td> <td>589.4</td> <td>613.1</td> <td>533.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 出典：平成13年度県民健康度調査 年代別カルシウム摂取状況 (mg)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>全年齢</th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>507.5</td> <td>557.0</td> <td>690.7</td> <td>477.5</td> <td>410.2</td> <td>428.4</td> <td>462.7</td> <td>522.5</td> <td>524.5</td> <td>487.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 出典：平成17年度県民健康・栄養調査 年代別カルシウム摂取状況 (mg)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>全年齢</th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>507</td> <td>509</td> <td>686</td> <td>524</td> <td>409</td> <td>461</td> <td>463</td> <td>498</td> <td>560</td> <td>468</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 出典：平成22年度県民健康・栄養調査 年代別カルシウム摂取状況 上段：カルシウム摂取量 (mg) 下段：対象者数 (人)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>合計</th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全年齢</td> <td>472 (851)</td> <td>439 (37)</td> <td>667 (68)</td> <td>437 (26)</td> <td>428 (48)</td> <td>394 (74)</td> <td>418 (113)</td> <td>492 (120)</td> <td>510 (133)</td> <td>451 (232)</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>489 (387)</td> <td>463 (19)</td> <td>677 (33)</td> <td>526 (16)</td> <td>401 (15)</td> <td>418 (36)</td> <td>389 (58)</td> <td>531 (54)</td> <td>542 (57)</td> <td>468 (99)</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>458 (464)</td> <td>414 (18)</td> <td>658 (35)</td> <td>296 (10)</td> <td>440 (33)</td> <td>371 (38)</td> <td>449 (55)</td> <td>459 (66)</td> <td>487 (76)</td> <td>438 (133)</td> </tr> </tbody> </table>	全年齢	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	551.6	511.9	576.7	463.5	495.3	559.7	589.4	613.1	533.5	全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	507.5	557.0	690.7	477.5	410.2	428.4	462.7	522.5	524.5	487.2	全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	507	509	686	524	409	461	463	498	560	468		合計	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢	472 (851)	439 (37)	667 (68)	437 (26)	428 (48)	394 (74)	418 (113)	492 (120)	510 (133)	451 (232)	男性	489 (387)	463 (19)	677 (33)	526 (16)	401 (15)	418 (36)	389 (58)	531 (54)	542 (57)	468 (99)	女性	458 (464)	414 (18)	658 (35)	296 (10)	440 (33)	371 (38)	449 (55)	459 (66)	487 (76)	438 (133)
全年齢	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																															
551.6	511.9	576.7	463.5	495.3	559.7	589.4	613.1	533.5																																																																																															
全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																														
507.5	557.0	690.7	477.5	410.2	428.4	462.7	522.5	524.5	487.2																																																																																														
全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																														
507	509	686	524	409	461	463	498	560	468																																																																																														
	合計	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																													
全年齢	472 (851)	439 (37)	667 (68)	437 (26)	428 (48)	394 (74)	418 (113)	492 (120)	510 (133)	451 (232)																																																																																													
男性	489 (387)	463 (19)	677 (33)	526 (16)	401 (15)	418 (36)	389 (58)	531 (54)	542 (57)	468 (99)																																																																																													
女性	458 (464)	414 (18)	658 (35)	296 (10)	440 (33)	371 (38)	449 (55)	459 (66)	487 (76)	438 (133)																																																																																													
特記事項	平成18年度改定版より、項目名「カルシウム摂取量」から変更																																																																																																						

評価シート

領域項目	1 栄養・食生活 9 がん		
目標項目	1-5 1日の野菜の摂取量の増加 (9-4)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
学齢期(7~14歳)250g/日以上 青少年期以降350g/日以上	青少年期以降 289.3g/日	学齢期(7~14歳) 215g/日 青少年期以降 277g/日	学齢期(7~14歳) 253g/日 青少年期以降 266g/日
平成24年度	平成8年度 県民栄養調査	平成17年度 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	<p>○基準値の実績値の実数把握がないため、検定できないが、青少年期以降で23g減少している。</p> <p>○中間評価の値と比較し、青少年期以降で有意な変化はみられなかった。(片側P値=0.113)</p> <p>○中間評価の値と比較し、学齢期(7~14歳)で有意に増加している。(片側P値=0.011)</p>		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント	<p>○平成13年度学齢期(7~14歳)の結果は、238gである。</p> <p>○直近値では、20代(48人)が最も低く、206gである。</p>		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	<p>○学齢期は目標値に達した。</p> <p>○青少年期以降は基準値と比較し、目標値に達していない。</p>		学齢期 A 青少年期以降 C
(5)今後の課題及び対策の抽出	<p>○子どものころからの食育の充実が必要である。</p> <p>○青少年期以降は努めて毎日野菜を必ずとるように指導をする必要がある。</p>		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	栄養・食生活																																																																																																																																																																												
目標項目	1-5 1日の野菜の摂取量の増加 (9-4)																																																																																																																																																																												
基準値	学齢期(7~14歳) 154.3 g/日 青少年期以降 289.3 g/日 (平成8年度県民栄養調査)																																																																																																																																																																												
現状値	学齢期(7~14歳) 253 g/日 青少年期以降 266 g/日 (平成22年度県民健康・栄養調査)																																																																																																																																																																												
目標値 (平成24年度)	学齢期(7~14歳) 250 g/日以上 青少年期以降 350 g/日以上																																																																																																																																																																												
根拠データ	<p>* 出典：平成8年度県民栄養調査</p> <p style="text-align: center;">年代別野菜類摂取状況 (g)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>全年齢</th> <th>～9歳</th> <th>10～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑黄色野菜</td> <td>90.8</td> <td>46.4</td> <td>70.8</td> <td>84.3</td> <td>88.1</td> <td>89.0</td> <td>116.1</td> <td>106.0</td> <td>102.7</td> </tr> <tr> <td>その他の野菜</td> <td>191.1</td> <td>107.9</td> <td>162.6</td> <td>168.1</td> <td>188.4</td> <td>220.8</td> <td>218.6</td> <td>218.2</td> <td>191.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>281.9</td> <td>154.3</td> <td>233.4</td> <td>252.4</td> <td>276.5</td> <td>309.8</td> <td>334.7</td> <td>324.2</td> <td>294.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 出典：平成13年度県民健康度調査</p> <p style="text-align: center;">年代別野菜類摂取状況 (g)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>全年齢</th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑黄色野菜</td> <td>90.6</td> <td>63.4</td> <td>63.5</td> <td>79.8</td> <td>81.6</td> <td>77.6</td> <td>81.9</td> <td>118.1</td> <td>98.0</td> <td>111.6</td> </tr> <tr> <td>その他の野菜</td> <td>168.8</td> <td>93.1</td> <td>165.2</td> <td>145.5</td> <td>136.5</td> <td>168.4</td> <td>175.3</td> <td>196.2</td> <td>197.0</td> <td>162.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>291.6</td> <td>165.8</td> <td>238.2</td> <td>243.5</td> <td>244.1</td> <td>278.8</td> <td>292.7</td> <td>354.4</td> <td>335.1</td> <td>320.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 出典：平成17年度県民健康・栄養調査</p> <p style="text-align: center;">年代別野菜類摂取状況 (g)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>全年齢</th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑黄色野菜</td> <td>85.1</td> <td>84.6</td> <td>61.7</td> <td>65.0</td> <td>63.4</td> <td>74.3</td> <td>78.1</td> <td>80.7</td> <td>133.2</td> <td>97.3</td> </tr> <tr> <td>その他の野菜</td> <td>159.8</td> <td>96.1</td> <td>146.8</td> <td>156.3</td> <td>160.3</td> <td>158.8</td> <td>148.9</td> <td>183.2</td> <td>203.7</td> <td>149.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>263.5</td> <td>183.7</td> <td>215.1</td> <td>231.8</td> <td>233.2</td> <td>250.5</td> <td>244.3</td> <td>287.4</td> <td>362.4</td> <td>280.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 出典：平成22年度県民健康・栄養調査</p> <p style="text-align: center;">年代別野菜類摂取状況 (g)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>全年齢 (対象者数)</th> <th>1～6歳 (37)</th> <th>7～14歳 (68)</th> <th>15～19歳 (26)</th> <th>20～29歳 (48)</th> <th>30～39歳 (74)</th> <th>40～49歳 (113)</th> <th>50～59歳 (120)</th> <th>60～69歳 (133)</th> <th>70歳～ (232)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緑黄色野菜</td> <td>90.1</td> <td>59.1</td> <td>77.3</td> <td>71.3</td> <td>74.3</td> <td>68.2</td> <td>76.9</td> <td>106.8</td> <td>112</td> <td>96.4</td> </tr> <tr> <td>その他の野菜</td> <td>156.5</td> <td>93.3</td> <td>168.4</td> <td>168.8</td> <td>123.1</td> <td>144.7</td> <td>147.8</td> <td>183.3</td> <td>167.7</td> <td>156.4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>258.9</td> <td>154.6</td> <td>252.5</td> <td>242.0</td> <td>206.1</td> <td>218.9</td> <td>235.4</td> <td>306.1</td> <td>293.7</td> <td>269.9</td> </tr> </tbody> </table>		全年齢	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	緑黄色野菜	90.8	46.4	70.8	84.3	88.1	89.0	116.1	106.0	102.7	その他の野菜	191.1	107.9	162.6	168.1	188.4	220.8	218.6	218.2	191.4	計	281.9	154.3	233.4	252.4	276.5	309.8	334.7	324.2	294.1		全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	緑黄色野菜	90.6	63.4	63.5	79.8	81.6	77.6	81.9	118.1	98.0	111.6	その他の野菜	168.8	93.1	165.2	145.5	136.5	168.4	175.3	196.2	197.0	162.5	計	291.6	165.8	238.2	243.5	244.1	278.8	292.7	354.4	335.1	320.1		全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	緑黄色野菜	85.1	84.6	61.7	65.0	63.4	74.3	78.1	80.7	133.2	97.3	その他の野菜	159.8	96.1	146.8	156.3	160.3	158.8	148.9	183.2	203.7	149.5	計	263.5	183.7	215.1	231.8	233.2	250.5	244.3	287.4	362.4	280.8		全年齢 (対象者数)	1～6歳 (37)	7～14歳 (68)	15～19歳 (26)	20～29歳 (48)	30～39歳 (74)	40～49歳 (113)	50～59歳 (120)	60～69歳 (133)	70歳～ (232)	緑黄色野菜	90.1	59.1	77.3	71.3	74.3	68.2	76.9	106.8	112	96.4	その他の野菜	156.5	93.3	168.4	168.8	123.1	144.7	147.8	183.3	167.7	156.4	計	258.9	154.6	252.5	242.0	206.1	218.9	235.4	306.1	293.7	269.9
	全年齢	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																																																																																																				
緑黄色野菜	90.8	46.4	70.8	84.3	88.1	89.0	116.1	106.0	102.7																																																																																																																																																																				
その他の野菜	191.1	107.9	162.6	168.1	188.4	220.8	218.6	218.2	191.4																																																																																																																																																																				
計	281.9	154.3	233.4	252.4	276.5	309.8	334.7	324.2	294.1																																																																																																																																																																				
	全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																																																																																																			
緑黄色野菜	90.6	63.4	63.5	79.8	81.6	77.6	81.9	118.1	98.0	111.6																																																																																																																																																																			
その他の野菜	168.8	93.1	165.2	145.5	136.5	168.4	175.3	196.2	197.0	162.5																																																																																																																																																																			
計	291.6	165.8	238.2	243.5	244.1	278.8	292.7	354.4	335.1	320.1																																																																																																																																																																			
	全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																																																																																																			
緑黄色野菜	85.1	84.6	61.7	65.0	63.4	74.3	78.1	80.7	133.2	97.3																																																																																																																																																																			
その他の野菜	159.8	96.1	146.8	156.3	160.3	158.8	148.9	183.2	203.7	149.5																																																																																																																																																																			
計	263.5	183.7	215.1	231.8	233.2	250.5	244.3	287.4	362.4	280.8																																																																																																																																																																			
	全年齢 (対象者数)	1～6歳 (37)	7～14歳 (68)	15～19歳 (26)	20～29歳 (48)	30～39歳 (74)	40～49歳 (113)	50～59歳 (120)	60～69歳 (133)	70歳～ (232)																																																																																																																																																																			
緑黄色野菜	90.1	59.1	77.3	71.3	74.3	68.2	76.9	106.8	112	96.4																																																																																																																																																																			
その他の野菜	156.5	93.3	168.4	168.8	123.1	144.7	147.8	183.3	167.7	156.4																																																																																																																																																																			
計	258.9	154.6	252.5	242.0	206.1	218.9	235.4	306.1	293.7	269.9																																																																																																																																																																			
特記事項	平成18年度改定版より、学齢期を7～14歳とし、項目名「野菜の摂取量」から変更																																																																																																																																																																												

評価シート

領域項目	1 栄養・食生活 9 がん		
目標項目	1-6 成人の脂肪エネルギー比率の減少 (9-5)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
40歳未満 25%以下 40歳以上 25%以下	40歳未満 26.9 % 40歳以上 22.3 %	40歳未満 25.8 % 40歳以上 22.4 %	40歳未満 27.8 % 40歳以上 23.1 %
平成24年度	平成8年度 県民栄養調査	平成17年度 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	<p>○40歳未満で有意な変化はみられなかった(片側P値=0.333)</p> <p>○40歳以上で有意な変化はみられなかった(片側P値=0.352)</p> <p>○中間評価の値と比較し、40歳未満で有意な変化はみられなかった(片側P値=0.389)</p> <p>○中間評価の値と比較し、40歳以上で有意な変化はみられなかった(片側P値=0.346)</p>		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント	○男性は30代(36人)が28.4%、女性は20代(33人)が28.9%と最も高い。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	<p>○40歳未満では、基準値と比較し、変化はなく、目標値に達していない。</p> <p>○40歳以上では、基準値の時点で、目標に達しており、引き続き目標値を維持している。</p>		<p>40歳未満 C</p> <p>40歳以上 A</p>
(5)今後の課題及び対策の抽出	○男性の30代、女性の20代については、脂肪エネルギーの摂取比率が高いため、重点的なアプローチが必要である。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	栄養・食生活									
目標項目	1-6 成人の脂肪エネルギー比率の減少 (9-5)									
基準値	40歳未満		26.9%			40歳以上		22.3%		
	(平成8年度県民栄養調査)									
現状値	40歳未満		27.8%			40歳以上		23.1%		
	(平成22年度県民健康・栄養調査)									
目標値 (平成24年度)	40歳未満		25%以下			40歳以上		25%以下		
根拠データ	* 出典：平成8年度県民栄養調査									
	年代別脂肪エネルギー比率 (%)									
	全年齢	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	
	24.2	28.0	27.9	25.7	25.9	23.6	22.8	21.5	21.3	
	* 出典：平成13年度県民健康度調査									
年代別脂肪エネルギー比率 (%)										
全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	
23.9	27.6	28.1	27.1	27.9	25.2	24.5	23.4	19.7	19.4	
* 出典：平成17年度県民健康・栄養調査										
年代別脂肪エネルギー比率 (%)										
全年齢	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	
24.7	27.4	30.1	30.1	26.8	25.2	25.3	24.0	20.2	20.1	
* 出典：平成22年度県民健康・栄養調査										
年代別脂肪エネルギー比率										
	合計	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～
全年齢	24.7 (851)	28.1 (37)	29.9 (68)	29.7 (26)	28.2 (48)	27.5 (74)	25.9 (113)	24 (120)	23 (133)	21.3 (232)
男性	24.4 (387)	28.0 (19)	28.8 (33)	29.0 (16)	26.7 (15)	28.4 (36)	24.7 (58)	24.2 (54)	22.2 (57)	20.8 (99)
女性	25.0 (464)	28.2 (18)	30.9 (35)	30.8 (10)	28.9 (33)	26.7 (38)	27.2 (55)	23.9 (66)	23.6 (76)	21.7 (133)
特記事項	平成18年度改定版より、項目名「脂肪エネルギー比率」から変更									

評価シート

領域項目	1 栄養・食生活		
目標項目	1-7 市町村栄養士の配置		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
市町村配置率 100%	19/67市町村 (28.4%) 23人	26/40市町村 (65.0%) 37人	28/40市町村 (70.0%) 46人
平成24年度	平成12年度市町村調査	平成19年度 市町村栄養士配置状況	平成23年度 市町村栄養士配置状況
コメント			
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対し てどのような動きになっている か。)	○市町村合併があったため、単純にポイントでの比較はできない。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に 係るコメント	○直近値で46人中、管理栄養士23名、栄養士23名。また正職員31名、正職員以外15名となっている。 ○複数配置は、H12年度:3市町、H19年度:7市町、H23:7市町となっている。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○基準値に比較して、改善傾向にあるが、目標値には達成していない。		B
(5)今後の課題及び対策の抽出	○人口規模の小さい町村ほど、配置の効果が高いので、継続して配置(複数配置も含む)の働きかけが必要である。		

## 健康あおもり 2.1 現状値の推移

領域	栄養・食生活		
目標項目	1-7 市町村栄養士の配置		
基準値	19市町村 23人 (28.4%) (平成12年度市町村調査)		
現状値	28市町村 46人 (70.0%) (平成23年度市町村栄養士配置状況)		
目標値 (平成24年度)	市町村栄養士配置率 100%		
根拠データ	平成12年度	19市町村 23人	市町村調査
	平成13年度	20市町村 21人	市町村栄養士配置状況 H13.7.1
	平成14年度	31市町村 37人 (臨時含む)	市町村栄養士配置状況 H14.7.1
	平成15年度	29市町村 35人 (臨時含む)	市町村栄養士配置状況 H15.7.1
	平成16年度	30市町村 37人 (臨時含む)	市町村栄養士配置状況 H16.7.1
	平成17年度	24市町村 32人 (臨時含む)	市町村栄養士配置状況 H17.7.1
	平成18年度	調査なし	
	平成19年度	26市町村 37人 (臨時含む)	市町村栄養士配置状況 H19.7.1
	平成20年度	26市町村 39人 (臨時含む)	市町村栄養士配置状況 H20.7.1
	平成21年度	26市町村 40人 (臨時含む)	市町村栄養士配置状況 H21.7.1
	平成22年度	27市町村 42人 (臨時含む)	市町村栄養士配置状況 H22.7.1
	平成23年度	28市町村 46人 (臨時含む)	市町村栄養士配置状況 H23.7.1
	●厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室による行政栄養士等の調査結果から		
特記事項	平成18年度改定版より、目標値「67市町村」から変更		

評価シート

領域項目	1 栄養・食生活		
目標項目	1-8 適切な生活習慣を有する率 朝食欠食率		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
学齢期(7~14歳) 0% 青少年期以降 5%	学齢期(7~14歳) 3.0% 青少年期以降 10.3%		学齢期(7~14歳) 4.4% 青少年期以降 10.4%
平成24年度	平成17年度 県民健康・栄養調査	(平成19年度 改定による新指標)	平成22年度 県民健康・栄養調査
コメント			
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に 対してどのような動きに なっているか。)	○学齢期(7~14歳)も、青少年期以降も、有意な変化はみられなかった。 (学齢期:片側P値=0.054、青少年期:片側P値=0.473)		
(2)データ等分析上の課 題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)	○欠食の定義は「何も食べない」、「菓子・果物のみ」、「錠剤などのみ」と回答 したものの合計である。		
(3)その他データ分析に 係るコメント	○朝食欠食は、20代(49人中)が24.5%、30代(74人中)が23.0%と高 い。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	○学齢期、青少年期以降とも、基準値に比較し、変 化がなく、目標値に達していない。		学齢期 (7~14歳) C 青少年期以降 C
(5)今後の課題及び対 策の抽出	○保護者に対して、朝食を摂取することの大切さを普及啓発し、子どもに対し ては、食に関する教育を通じて普及啓発を行う。		



## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	栄養・食生活																																																																																																																																																			
目標項目	1-8 適切な生活習慣を有する率      朝食欠食率																																																																																																																																																			
基準値	学齢期（7～14歳） 3.0%      青少年期以降 10.3% (平成17年度県民健康・栄養調査)																																																																																																																																																			
現状値	学齢期（7～14歳） 4.4%      青少年期以降 10.9% (平成22年度県民健康・栄養調査)																																																																																																																																																			
目標値 (平成24年度)	学齢期（7～14歳） 0%      青少年期以降 5%																																																																																																																																																			
根拠データ	<p>*出典：平成17年度県民健康・栄養調査 年齢階級別朝昼夕別にみた1日の食事構成比（%）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">年 齢 区 分 食 事 区 分</th> <th>総 数</th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> <tr> <th>実数（人）</th> <th>1,002</th> <th>75</th> <th>100</th> <th>56</th> <th>73</th> <th>137</th> <th>127</th> <th>148</th> <th>134</th> <th>152</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">朝</td> <td>家庭食</td> <td>86.3</td> <td>93.3</td> <td>93.0</td> <td>82.1</td> <td>67.1</td> <td>70.1</td> <td>89.0</td> <td>85.8</td> <td>96.3</td> <td>93.4</td> </tr> <tr> <td>外 食</td> <td>3.6</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>3.6</td> <td>6.8</td> <td>5.8</td> <td>3.9</td> <td>2.0</td> <td>0.7</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>欠 食</td> <td>10.1</td> <td>2.7</td> <td>3.0</td> <td>14.3</td> <td>26.0</td> <td>24.1</td> <td>7.1</td> <td>12.2</td> <td>3.0</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">昼</td> <td>家庭食</td> <td>61.5</td> <td>37.3</td> <td>12.0</td> <td>64.3</td> <td>60.3</td> <td>51.1</td> <td>66.9</td> <td>66.9</td> <td>88.8</td> <td>80.9</td> </tr> <tr> <td>外 食</td> <td>34.9</td> <td>62.7</td> <td>86.0</td> <td>30.4</td> <td>32.9</td> <td>41.6</td> <td>29.9</td> <td>29.7</td> <td>9.7</td> <td>15.8</td> </tr> <tr> <td>欠 食</td> <td>3.5</td> <td>0.0</td> <td>2.0</td> <td>5.4</td> <td>6.8</td> <td>7.3</td> <td>2.4</td> <td>3.4</td> <td>1.5</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>不 明</td> <td>0.1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.8</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">夕</td> <td>家庭食</td> <td>92.8</td> <td>96.0</td> <td>97.0</td> <td>94.6</td> <td>84.9</td> <td>87.6</td> <td>89.8</td> <td>90.5</td> <td>98.5</td> <td>96.1</td> </tr> <tr> <td>外 食</td> <td>6.3</td> <td>4.0</td> <td>3.0</td> <td>5.4</td> <td>15.1</td> <td>8.8</td> <td>9.4</td> <td>7.4</td> <td>1.5</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>欠 食</td> <td>0.8</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>3.6</td> <td>0.0</td> <td>2.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> </tr> <tr> <td>不 明</td> <td>0.1</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>0.8</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>*欠食とは、「何も食べない」、「菓子・果物などのみ」、「錠剤などのみ」と回答した者の合計数である。</p>	年 齢 区 分 食 事 区 分		総 数	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	実数（人）	1,002	75	100	56	73	137	127	148	134	152	朝	家庭食	86.3	93.3	93.0	82.1	67.1	70.1	89.0	85.8	96.3	93.4	外 食	3.6	4.0	4.0	3.6	6.8	5.8	3.9	2.0	0.7	3.3	欠 食	10.1	2.7	3.0	14.3	26.0	24.1	7.1	12.2	3.0	3.3	昼	家庭食	61.5	37.3	12.0	64.3	60.3	51.1	66.9	66.9	88.8	80.9	外 食	34.9	62.7	86.0	30.4	32.9	41.6	29.9	29.7	9.7	15.8	欠 食	3.5	0.0	2.0	5.4	6.8	7.3	2.4	3.4	1.5	3.3	不 明	0.1	-	-	-	-	-	0.8	-	-	-	夕	家庭食	92.8	96.0	97.0	94.6	84.9	87.6	89.8	90.5	98.5	96.1	外 食	6.3	4.0	3.0	5.4	15.1	8.8	9.4	7.4	1.5	3.9	欠 食	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	2.0	0.0	0.0	不 明	0.1	-	-	-	-	-	0.8	-	-	-
	年 齢 区 分 食 事 区 分			総 数	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																																																																							
			実数（人）	1,002	75	100	56	73	137	127	148	134	152																																																																																																																																							
	朝	家庭食	86.3	93.3	93.0	82.1	67.1	70.1	89.0	85.8	96.3	93.4																																																																																																																																								
		外 食	3.6	4.0	4.0	3.6	6.8	5.8	3.9	2.0	0.7	3.3																																																																																																																																								
		欠 食	10.1	2.7	3.0	14.3	26.0	24.1	7.1	12.2	3.0	3.3																																																																																																																																								
	昼	家庭食	61.5	37.3	12.0	64.3	60.3	51.1	66.9	66.9	88.8	80.9																																																																																																																																								
		外 食	34.9	62.7	86.0	30.4	32.9	41.6	29.9	29.7	9.7	15.8																																																																																																																																								
		欠 食	3.5	0.0	2.0	5.4	6.8	7.3	2.4	3.4	1.5	3.3																																																																																																																																								
		不 明	0.1	-	-	-	-	-	0.8	-	-	-																																																																																																																																								
夕	家庭食	92.8	96.0	97.0	94.6	84.9	87.6	89.8	90.5	98.5	96.1																																																																																																																																									
	外 食	6.3	4.0	3.0	5.4	15.1	8.8	9.4	7.4	1.5	3.9																																																																																																																																									
	欠 食	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	2.0	0.0	0.0																																																																																																																																									
	不 明	0.1	-	-	-	-	-	0.8	-	-	-																																																																																																																																									
<p>*出典：平成22年度県民健康・栄養調査 年齢階級別朝昼夕別にみた1日の食事構成比（%）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">年 齢 区 分 食 事 区 分</th> <th>総 数</th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> <tr> <th>実数（人）</th> <th>859</th> <th>37</th> <th>68</th> <th>26</th> <th>49</th> <th>74</th> <th>114</th> <th>121</th> <th>138</th> <th>232</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">朝</td> <td>家庭食</td> <td>86.1</td> <td>89.2</td> <td>91.2</td> <td>84.6</td> <td>69.4</td> <td>74.3</td> <td>78.9</td> <td>81.0</td> <td>90.6</td> <td>95.3</td> </tr> <tr> <td>外 食</td> <td>3.5</td> <td>0.0</td> <td>4.4</td> <td>3.8</td> <td>6.1</td> <td>2.7</td> <td>3.5</td> <td>6.6</td> <td>3.6</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>欠 食</td> <td>10.4</td> <td>10.8</td> <td>4.4</td> <td>11.5</td> <td>24.5</td> <td>23.0</td> <td>17.5</td> <td>12.4</td> <td>5.8</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">昼</td> <td>家庭食</td> <td>67.2</td> <td>29.7</td> <td>10.3</td> <td>61.5</td> <td>71.4</td> <td>68.9</td> <td>67.5</td> <td>69.4</td> <td>75.4</td> <td>82.8</td> </tr> <tr> <td>外 食</td> <td>28.4</td> <td>70.3</td> <td>89.7</td> <td>30.8</td> <td>26.5</td> <td>28.4</td> <td>25.4</td> <td>25.6</td> <td>17.4</td> <td>13.4</td> </tr> <tr> <td>欠 食</td> <td>4.4</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>7.7</td> <td>2.0</td> <td>2.7</td> <td>7.0</td> <td>5.0</td> <td>7.2</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">夕</td> <td>家庭食</td> <td>94.6</td> <td>94.6</td> <td>97.1</td> <td>92.3</td> <td>87.8</td> <td>94.6</td> <td>93.0</td> <td>96.7</td> <td>94.2</td> <td>95.7</td> </tr> <tr> <td>外 食</td> <td>4.7</td> <td>5.4</td> <td>2.9</td> <td>7.7</td> <td>12.2</td> <td>4.1</td> <td>5.3</td> <td>2.5</td> <td>5.1</td> <td>3.9</td> </tr> <tr> <td>欠 食</td> <td>0.7</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>1.4</td> <td>1.8</td> <td>0.8</td> <td>0.7</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>*欠食とは、「何も食べない」、「菓子・果物などのみ」、「錠剤などのみ」と回答した者の合計数である。</p>	年 齢 区 分 食 事 区 分		総 数	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	実数（人）	859	37	68	26	49	74	114	121	138	232	朝	家庭食	86.1	89.2	91.2	84.6	69.4	74.3	78.9	81.0	90.6	95.3	外 食	3.5	0.0	4.4	3.8	6.1	2.7	3.5	6.6	3.6	1.7	欠 食	10.4	10.8	4.4	11.5	24.5	23.0	17.5	12.4	5.8	3.0	昼	家庭食	67.2	29.7	10.3	61.5	71.4	68.9	67.5	69.4	75.4	82.8	外 食	28.4	70.3	89.7	30.8	26.5	28.4	25.4	25.6	17.4	13.4	欠 食	4.4	0.0	0.0	7.7	2.0	2.7	7.0	5.0	7.2	3.9	夕	家庭食	94.6	94.6	97.1	92.3	87.8	94.6	93.0	96.7	94.2	95.7	外 食	4.7	5.4	2.9	7.7	12.2	4.1	5.3	2.5	5.1	3.9	欠 食	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.8	0.8	0.7	0.4																							
年 齢 区 分 食 事 区 分			総 数	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																																																																																								
		実数（人）	859	37	68	26	49	74	114	121	138	232																																																																																																																																								
朝	家庭食	86.1	89.2	91.2	84.6	69.4	74.3	78.9	81.0	90.6	95.3																																																																																																																																									
	外 食	3.5	0.0	4.4	3.8	6.1	2.7	3.5	6.6	3.6	1.7																																																																																																																																									
	欠 食	10.4	10.8	4.4	11.5	24.5	23.0	17.5	12.4	5.8	3.0																																																																																																																																									
昼	家庭食	67.2	29.7	10.3	61.5	71.4	68.9	67.5	69.4	75.4	82.8																																																																																																																																									
	外 食	28.4	70.3	89.7	30.8	26.5	28.4	25.4	25.6	17.4	13.4																																																																																																																																									
	欠 食	4.4	0.0	0.0	7.7	2.0	2.7	7.0	5.0	7.2	3.9																																																																																																																																									
夕	家庭食	94.6	94.6	97.1	92.3	87.8	94.6	93.0	96.7	94.2	95.7																																																																																																																																									
	外 食	4.7	5.4	2.9	7.7	12.2	4.1	5.3	2.5	5.1	3.9																																																																																																																																									
	欠 食	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	1.8	0.8	0.7	0.4																																																																																																																																									
特記事項	平成19年度改定による新規指標																																																																																																																																																			

評価シート

領域項目	1 栄養・食生活 7 糖尿病 8 循環器		
目標項目	1-9 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数肥満者の出現率(小児) (7-9 8-12)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
7 %	男性 14.9% (9,700人) 女性 13.1% (8,200人)	—	男性 13.2% (7,787人) 女性 11.4% (6,496人)
平成24年度	平成18年度体格・体力・ ライフスタイル調査	(平成19年度 改定による新指標)	平成22年度 学校保健統計調査
コメント			
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対し てどのような動きになっている か。)	○男性も女性も、1.7ポイント下がった。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)	○基準値の調査は、抽出データから推定されたものである。 ○直近値は、全生徒を対象としたデータである。		
(3)その他データ分析に 係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	○基準値に比較し、男性も女性も変化はなく、目標 値に達していない。		C
(5)今後の課題及び対 策の抽出	○子どもころからの肥満対策として、運動量を増加させる必要がある。 ○甘味飲料の摂り過ぎは、肥満の原因となることから、適切な飲み方につ いて普及啓発することが必要。		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	栄養・食生活					
目標項目	1-9 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数 肥満者の出現率（小児）（7-9 8-12）					
基準値	男性 14.9%（9,700人） 女性 13.1%（8,200人） （平成18年度体格・体力・ライフスタイル調査）					
現状値	男性 13.2%（7,787人） 女性 11.4%（6,496人） （平成22年度学校保健統計調査）					
目標値 （平成24年度）	7%					
根拠データ	*平成18年度体格・体力・ライフスタイル調査による「肥満傾向児の出現率と生徒数（青森県教育委員会「学校一覧」（平成18年5月1日現在））から推計					
	男性					
	年齢	学年	生徒数（A）	体格、体力、ライフスタイル調査		出現推定数 （A）×（B）
				標本数	出現率（B）	
	6	小1	6,597	750	8.67	572
	7	小2	6,864	793	11.48	788
	8	小3	6,875	822	13.99	962
	9	小4	7,248	902	16.74	1,213
	10	小5	7,073	851	16.33	1,155
	11	小6	7,594	936	15.92	1,209
	12	中1	7,430	1,492	18.66	1,386
	13	中2	7,558	1,458	15.57	1,177
	14	中3	7,701	1,497	16.03	1,235
		合計	64,940	9,501	14.93	9,697
	女性					
年齢	学年	生徒数（A）	体格、体力、ライフスタイル調査		出現推定数 （A）×（B）	
			標本数	出現率（B）		
6	小1	6,360	760	9.47	602	
7	小2	6,666	792	11.62	775	
8	小3	6,692	775	14.19	950	
9	小4	6,724	790	14.18	954	
10	小5	7,008	833	13.45	943	
11	小6	7,281	836	11.84	862	
12	中1	7,202	1,350	14.81	1,067	
13	中2	7,191	1,361	14.11	1,015	
14	中3	7,545	1,435	13.45	1,015	
	合計	62,669	8,932	13.05	8,181	
*平成22年度学校保健調査による「肥満傾向児の出現率と生徒数（青森県教育委員会「学校一覧」（平成22年5月1日現在））から推計						
男性						
年齢	学年	生徒数（A）	出現率（B）	出現数 （A）×（B）		
6	小1	5,878	8.3	488		
7	小2	6,209	10.3	640		
8	小3	6,401	13.3	851		
9	小4	6,350	15.7	997		
10	小5	6,513	15.1	984		
11	小6	6,763	15	1,015		
12	中1	6,787	14.6	991		
13	中2	7,166	13.1	939		
14	中3	7,017	12.6	884		
	合計	59,084	13.2	7,787		
女性						
年齢	学年	生徒数（A）	出現率（B）	出現数 （A）×（B）		
6	小1	5,611	7.7	432		
7	小2	5,807	9.2	534		
8	小3	6,124	11.6	710		
9	小4	6,213	13.2	820		
10	小5	6,300	11.9	750		
11	小6	6,585	12.1	797		
12	中1	6,615	12.6	834		
13	中2	6,662	12.2	813		
14	中3	6,956	11.6	807		
	合計	56,873	11.4	6,496		
特記事項	平成19年度改定による新規指標					

## 身体活動・運動

評価シート

領域項目	2 身体活動・運動		
目標項目	2-1 健康維持・増進のために運動(身体活動)をする人の割合の増加		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
男性 70%以上 女性 70%以上	男性 41.5% 女性 40.4%	男性 36.7% 女性 21.7%	男性 37.9% 女性 29.9%
平成24年度	平成8年度 県民健康基礎調査	平成17年度 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	<p>○策定時と、中間評価時及び直近値では、質問内容と選択肢が異なるため、分析できない。</p> <p>○中間評価の値と比較し、男性で有意な変化はみられなかった。(片側P値=0.417)</p> <p>○中間評価の値と比較し、女性で有意に増加している。(片側P値=0.025)</p>		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	<p>○男性は基準値と比較し変わらない。</p> <p>○女性は悪化している。</p>	<p>男性 C</p> <p>女性 D</p>	
(5)今後の課題及び対策の抽出	<p>○既存の運動施設を有効活用できる環境整備をし、季節に関係なく運動できるようにする。できれば、運動指導士や栄養士といった指導者がいることが望ましい。</p>		

健康あおもり 2 1 現状値の推移

領域	身体活動・運動																																																											
目標項目	2-1 健康維持・増進のために運動（身体活動）をする人の割合の増加																																																											
基準値	男性 41.5% 女性 40.4% (平成8年度県民健康基礎調査)																																																											
現状値	男性 37.9% 女性 29.2% (平成22年度県民健康・栄養調査)																																																											
目標値 (平成24年度)	男性 70%以上 女性 70%以上																																																											
根拠データ	<策定時値> * 平成8年度県民健康基礎調査（問25） あなたは日頃から、日常生活の中で、健康の維持・増進のために意識的に身体を動かすなど運動をしていますか。（ただし、学校の授業などで行っているものは除きます。） 1 いつもしている 2 時々している 3 以前はしていたが、現在はしていない 4 まったくしたことがない  (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>総数</th> <th>～29歳</th> <th>30～49歳</th> <th>50～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">男性</td> <td>いつも</td> <td>14.9</td> <td>13.1</td> <td>9.5</td> <td>18.1</td> <td>22.1</td> </tr> <tr> <td>時々</td> <td>26.4</td> <td>34.5</td> <td>23.8</td> <td>25.5</td> <td>25.7</td> </tr> <tr> <td>以前</td> <td>16.8</td> <td>20.2</td> <td>22.5</td> <td>12.3</td> <td>10.1</td> </tr> <tr> <td>しない</td> <td>41.9</td> <td>32.2</td> <td>44.2</td> <td>44.1</td> <td>42.1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">女性</td> <td>いつも</td> <td>11.7</td> <td>9.3</td> <td>6.8</td> <td>1.0</td> <td>14.6</td> </tr> <tr> <td>時々</td> <td>28.7</td> <td>28.8</td> <td>28.4</td> <td>31.0</td> <td>23.6</td> </tr> <tr> <td>以前</td> <td>15.6</td> <td>27.2</td> <td>20.3</td> <td>9.0</td> <td>8.5</td> </tr> <tr> <td>しない</td> <td>44.1</td> <td>34.7</td> <td>44.5</td> <td>44.0</td> <td>53.3</td> </tr> </tbody> </table>			総数	～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳～	男性	いつも	14.9	13.1	9.5	18.1	22.1	時々	26.4	34.5	23.8	25.5	25.7	以前	16.8	20.2	22.5	12.3	10.1	しない	41.9	32.2	44.2	44.1	42.1	女性	いつも	11.7	9.3	6.8	1.0	14.6	時々	28.7	28.8	28.4	31.0	23.6	以前	15.6	27.2	20.3	9.0	8.5	しない	44.1	34.7	44.5	44.0	53.3		
			総数	～29歳	30～49歳	50～69歳	70歳～																																																					
	男性	いつも	14.9	13.1	9.5	18.1	22.1																																																					
		時々	26.4	34.5	23.8	25.5	25.7																																																					
		以前	16.8	20.2	22.5	12.3	10.1																																																					
		しない	41.9	32.2	44.2	44.1	42.1																																																					
	女性	いつも	11.7	9.3	6.8	1.0	14.6																																																					
		時々	28.7	28.8	28.4	31.0	23.6																																																					
		以前	15.6	27.2	20.3	9.0	8.5																																																					
		しない	44.1	34.7	44.5	44.0	53.3																																																					
	* 平成17年度県民健康・栄養調査（身体状況調査） 運動 1 健康上の理由で運動ができない 2 上記以外の理由で運動ができない 3 運動の習慣有り  (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>総数</th> <th>～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">男性</td> <td>運動の習慣あり</td> <td>36.7</td> <td>40.0</td> <td>33.3</td> <td>36.4</td> <td>36.0</td> <td>53.1</td> <td>22.9</td> </tr> <tr> <td>運動できない（健康上の理由）</td> <td>4.1</td> <td>0.0</td> <td>5.6</td> <td>0.0</td> <td>4.0</td> <td>3.1</td> <td>8.6</td> </tr> <tr> <td>運動できない（その他の理由）</td> <td>59.2</td> <td>60.0</td> <td>61.0</td> <td>63.6</td> <td>60.0</td> <td>43.8</td> <td>68.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女性</td> <td>運動の習慣あり</td> <td>21.7</td> <td>21.1</td> <td>14.3</td> <td>14.3</td> <td>27.3</td> <td>37.0</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>運動できない（健康上の理由）</td> <td>9.7</td> <td>5.3</td> <td>8.6</td> <td>7.1</td> <td>4.5</td> <td>4.3</td> <td>22.2</td> </tr> <tr> <td>運動できない（その他の理由）</td> <td>68.6</td> <td>73.7</td> <td>77.1</td> <td>78.6</td> <td>68.2</td> <td>58.7</td> <td>64.8</td> </tr> </tbody> </table>			総数	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	男性	運動の習慣あり	36.7	40.0	33.3	36.4	36.0	53.1	22.9	運動できない（健康上の理由）	4.1	0.0	5.6	0.0	4.0	3.1	8.6	運動できない（その他の理由）	59.2	60.0	61.0	63.6	60.0	43.8	68.6	女性	運動の習慣あり	21.7	21.1	14.3	14.3	27.3	37.0	13.0	運動できない（健康上の理由）	9.7	5.3	8.6	7.1	4.5	4.3	22.2	運動できない（その他の理由）	68.6	73.7	77.1	78.6	68.2	58.7	64.8
			総数	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																			
男性	運動の習慣あり	36.7	40.0	33.3	36.4	36.0	53.1	22.9																																																				
	運動できない（健康上の理由）	4.1	0.0	5.6	0.0	4.0	3.1	8.6																																																				
	運動できない（その他の理由）	59.2	60.0	61.0	63.6	60.0	43.8	68.6																																																				
女性	運動の習慣あり	21.7	21.1	14.3	14.3	27.3	37.0	13.0																																																				
	運動できない（健康上の理由）	9.7	5.3	8.6	7.1	4.5	4.3	22.2																																																				
	運動できない（その他の理由）	68.6	73.7	77.1	78.6	68.2	58.7	64.8																																																				
<参考資料> 運動習慣の考え方（平成17年度県民健康・栄養調査調査員必携） ○「運動習慣あり」とは、現在、継続的に次の3項目全部が該当する者をいう。 ア 運動の実施頻度として、週2回以上 イ 運動の継続時間として、30分以上 ウ 運動の継続時間として、1年以上 ○「上記以外の理由で運動できない（運動なし）」には、運動する時間がない、運動するのが嫌だから運動しない者などが含まれる。																																																												
* 平成22年度県民健康・栄養調査（身体状況調査） 運動 1 健康上の理由で運動ができない 2 上記以外の理由で運動ができない 3 運動の習慣有り  (%) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>総数</th> <th>～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">男性</td> <td>運動の習慣あり</td> <td>37.9</td> <td>0.0</td> <td>28.6</td> <td>33.3</td> <td>30.0</td> <td>40.6</td> <td>41.8</td> </tr> <tr> <td>運動できない（健康上の理由）</td> <td>6.4</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>11.1</td> <td>0.0</td> <td>12.5</td> <td>5.5</td> </tr> <tr> <td>運動できない（その他の理由）</td> <td>55.7</td> <td>100.0</td> <td>71.4</td> <td>55.5</td> <td>70.0</td> <td>46.9</td> <td>52.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">女性</td> <td>運動の習慣あり</td> <td>29.2</td> <td>33.3</td> <td>25.0</td> <td>5.3</td> <td>25.6</td> <td>29.2</td> <td>36.8</td> </tr> <tr> <td>運動できない（健康上の理由）</td> <td>10.4</td> <td>0.0</td> <td>8.3</td> <td>5.9</td> <td>4.7</td> <td>6.3</td> <td>19.7</td> </tr> <tr> <td>運動できない（その他の理由）</td> <td>60.3</td> <td>64.3</td> <td>66.7</td> <td>89.4</td> <td>69.7</td> <td>64.6</td> <td>43.4</td> </tr> </tbody> </table>			総数	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	男性	運動の習慣あり	37.9	0.0	28.6	33.3	30.0	40.6	41.8	運動できない（健康上の理由）	6.4	0.0	0.0	11.1	0.0	12.5	5.5	運動できない（その他の理由）	55.7	100.0	71.4	55.5	70.0	46.9	52.7	女性	運動の習慣あり	29.2	33.3	25.0	5.3	25.6	29.2	36.8	運動できない（健康上の理由）	10.4	0.0	8.3	5.9	4.7	6.3	19.7	運動できない（その他の理由）	60.3	64.3	66.7	89.4	69.7	64.6	43.4	
		総数	～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																				
男性	運動の習慣あり	37.9	0.0	28.6	33.3	30.0	40.6	41.8																																																				
	運動できない（健康上の理由）	6.4	0.0	0.0	11.1	0.0	12.5	5.5																																																				
	運動できない（その他の理由）	55.7	100.0	71.4	55.5	70.0	46.9	52.7																																																				
女性	運動の習慣あり	29.2	33.3	25.0	5.3	25.6	29.2	36.8																																																				
	運動できない（健康上の理由）	10.4	0.0	8.3	5.9	4.7	6.3	19.7																																																				
	運動できない（その他の理由）	60.3	64.3	66.7	89.4	69.7	64.6	43.4																																																				
<参考> 運動習慣の考え方（平成17年度県民健康・栄養調査調査員必携と同様）																																																												
特記事項	平成18年度改定版より、項目名「健康維持・増進のために運動（身体活動）をする人の割合」から変更																																																											

評価シート

領域項目	2 身体活動・運動 7 糖尿病		
目標項目	2-2 日常生活における1日の歩数の増加 (7-2)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
男性 8,000歩以上 女性 8,000歩以上	男性 7,188歩/日 女性 6,655歩/日	男性 7,347歩/日 女性 6,774歩/日	男性 6,037歩/日 女性 5,213歩/日
	平成13年度 県民健康度調査	平成17年度 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
	コメント		
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対し てどのような動きになっている か。)	○男性、女性とも有意に減少した。(片側P値<0.001)		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)	○調査実施数が、男性で基準値では587名、直近値では311名である。 ○調査実施数が、女性で基準値では724名、直近値では375名である。		
(3)その他データ分析に 係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したかを簡 潔に記載。	○男性、女性とも悪化している。		男性 D 女性 D
(5)今後の課題及び対 策の抽出	○既存の運動施設を有効活用できる環境整備が必要。 ○運動の有効性を普及啓発する。運動のきっかけを作ってあげる。そのため には、指導者の養成も必要である。		

健康あおもり 2 1 現状値の推移

領域	身体活動・運動									
目標項目	2-2 日常生活における1日の歩数の増加 (7-2)									
基準値	男性 7,188歩/日 女性 6,655歩/日 (平成13年度県民健康度調査)									
現状値	男性 6,037歩/日 女性 5,213歩/日 (平成22年度県民健康・栄養調査)									
目標値 (平成24年度)	男性 8,000歩/日以上 女性 8,000歩/日以上									
根拠データ	* 平成17年度県民健康・栄養調査(身体状況調査)									
	1日の歩数(15歳以上)									
	○1日の歩数別・年齢別割合(%)、平均歩数									
		総数	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳~	
	男性 (341)	~1,999歩	6.7	4.5	5.9	0.0	3.4	4.7	9.6	18.9
		2,000歩~	15.5	13.6	11.8	13.8	8.6	20.3	13.5	24.5
		4,000歩~	23.8	27.3	20.6	22.4	24.1	21.9	21.2	30.2
		6,000歩~	16.7	13.6	20.6	19.0	20.7	15.6	15.4	11.3
		8,000歩~	15.0	13.6	20.6	17.2	13.8	17.2	15.4	7.5
		10,000歩~	22.3	27.3	20.6	27.6	29.3	20.3	25.0	7.5
平均歩数		7,347	7,360	7,476	8,335	8,258	7,244	7,630	5,024	
女性 (415)	~1,999歩	12.0	11.5	0.0	1.6	3.2	6.8	7.1	40.5	
	2,000歩~	15.7	11.5	14.7	17.5	9.5	17.6	14.3	20.2	
	4,000歩~	20.5	19.2	26.5	20.3	31.7	14.9	22.9	13.1	
	6,000歩~	16.6	19.2	20.6	20.3	19.0	16.2	17.1	9.5	
	8,000歩~	16.9	15.4	17.6	17.2	15.9	25.7	17.1	9.5	
	10,000歩~	18.3	23.1	20.6	23.4	20.6	18.9	21.4	7.1	
	平均歩数	6,774	6,916	7,752	7,580	7,285	7,707	7,211	4,149	
※ 未測定者は除く										
* 平成22年度県民健康・栄養調査(身体状況調査)										
1日の歩数(15歳以上)										
○1日の歩数別・年齢別割合(%)、平均歩数										
	総数	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳~		
男性 (311)	~1,999歩	17.7	0.0	23.1	3.0	13.2	9.8	19.6	30.4	
	2,000歩~	23.8	30.8	23.1	6.1	15.1	23.5	23.2	34.8	
	4,000歩~	16.1	23.1	15.4	15.2	15.1	21.6	12.5	15.2	
	6,000歩~	14.5	30.8	0.0	18.2	17.0	15.7	23.2	5.4	
	8,000歩~	10.9	0.0	7.7	33.3	17.0	11.8	3.6	5.4	
	10,000歩~	17.0	15.4	30.8	24.2	22.6	17.6	17.9	8.7	
	平均歩数	6,037	6,431	7,277	8,548	7,019	6,529	5,785	4,221	
女性 (375)	~1,999歩	20.0	25.0	9.7	5.7	5.7	1.6	20.3	43.4	
	2,000歩~	23.5	12.5	19.4	17.1	18.9	23.0	28.4	26.5	
	4,000歩~	24.3	12.5	32.3	28.6	28.6	27.9	29.7	14.2	
	6,000歩~	11.5	12.5	9.7	17.1	17.1	16.4	9.5	5.3	
	8,000歩~	9.9	0.0	9.7	14.3	14.3	16.4	6.8	7.1	
	10,000歩~	10.9	37.5	19.4	17.1	17.1	14.8	5.4	3.5	
	平均歩数	5,213	5,973	7,168	6,612	6,653	6,599	4,410	3,291	
※ 未測定者は除く										
特記事項	平成18年度改定版より、項目名「日常生活における歩数の増加」、目標値「6,000~8,000歩」から変更									



評価シート

領域項目	2 身体活動・運動 8 循環器		
目標項目	2-3 身体活動や運動による一日の消費エネルギーの量 (8-4)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
200~250キロカロリー／日程度 (3.1~4.8Mets)	220~340 キロカロリー／日	120~250 キロカロリー／日 (2.3~3.9Mets)	120~210 キロカロリー／日 (2.3~3.2Mets)
平成24年度	平成13年県健康度調査	平成17年度 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
コメント			
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	○100キロカロリー程度消費エネルギー量が減少している		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○歩数を元に算出していることから、歩数減少に伴い減少している。 (平成13年度:男性7188歩、女性:6655歩 → 平成22年度:6037歩、女性:5213歩)		
(3)その他データ分析に係るコメント	○平成13年度の摂取エネルギー量に対し、直近値では132キロカロリー減少している。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○悪化している		D
(5)今後の課題及び対策の抽出	○既存の運動施設を有効活用できる環境整備が必要。 ○運動の有効性を普及啓発する。運動のきっかけを作ってあげる。そのためには、指導者の養成も必要と思われる。 (2-2と同じ)		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	身体活動・運動																																																																																	
目標項目	2-3 身体活動や運動による1日の消費エネルギーの増加(8-4)																																																																																	
基準値	220～340 キロカロリー/日 (平成13年度県民健康度調査)																																																																																	
現状値	120～210 キロカロリー/日(2.3～3.2 Mets) (平成22年度県民健康・栄養調査)																																																																																	
目標値 (平成24年度)	200～250キロカロリー/日程度(3.1～4.8Mets程度)																																																																																	
根拠データ	<p>前回までの現状値 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1日 220～340キロカロリー</span></p> <p>15歳以上の平均歩数は、男性7,188歩、女性6,655歩となっている。男性の平均体重63kg、女性の平均体重52kgとして、正常歩(70m/分)とした場合に、平均歩数から、算定して、男性340キロカロリー、女性220キロカロリーとなる。</p> <p>* 平成13年度県民健康度調査</p> <p>○1日の平均歩数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>7,188</td> <td>8,004</td> <td>7,746</td> <td>7,643</td> <td>7,332</td> <td>7,918</td> <td>7,193</td> <td>4,803</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>6,655</td> <td>7,149</td> <td>6,399</td> <td>7,091</td> <td>8,269</td> <td>7,533</td> <td>5,569</td> <td>4,244</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 平成17年度県民健康・栄養調査(身体状況調査)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1日の歩数(15歳以上)</span></p> <p>○1日の平均歩数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>7,347</td> <td>7,360</td> <td>7,476</td> <td>8,335</td> <td>8,258</td> <td>7,244</td> <td>7,630</td> <td>5,024</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>6,774</td> <td>6,916</td> <td>7,752</td> <td>7,580</td> <td>7,285</td> <td>7,707</td> <td>7,211</td> <td>4,149</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 平成22年度県民健康・栄養調査(身体状況調査)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1日の歩数(15歳以上)</span></p> <p>○1日の平均歩数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>総数</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>6,037</td> <td>6,431</td> <td>7,277</td> <td>8,543</td> <td>7,019</td> <td>6,529</td> <td>5,785</td> <td>4,221</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>5,213</td> <td>5,973</td> <td>7,168</td> <td>6,612</td> <td>6,653</td> <td>6,599</td> <td>4,410</td> <td>3,291</td> </tr> </tbody> </table>		総数	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	男性	7,188	8,004	7,746	7,643	7,332	7,918	7,193	4,803	女性	6,655	7,149	6,399	7,091	8,269	7,533	5,569	4,244		総数	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	男性	7,347	7,360	7,476	8,335	8,258	7,244	7,630	5,024	女性	6,774	6,916	7,752	7,580	7,285	7,707	7,211	4,149		総数	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	男性	6,037	6,431	7,277	8,543	7,019	6,529	5,785	4,221	女性	5,213	5,973	7,168	6,612	6,653	6,599	4,410	3,291
	総数	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																										
男性	7,188	8,004	7,746	7,643	7,332	7,918	7,193	4,803																																																																										
女性	6,655	7,149	6,399	7,091	8,269	7,533	5,569	4,244																																																																										
	総数	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																										
男性	7,347	7,360	7,476	8,335	8,258	7,244	7,630	5,024																																																																										
女性	6,774	6,916	7,752	7,580	7,285	7,707	7,211	4,149																																																																										
	総数	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～																																																																										
男性	6,037	6,431	7,277	8,543	7,019	6,529	5,785	4,221																																																																										
女性	5,213	5,973	7,168	6,612	6,653	6,599	4,410	3,291																																																																										
特記事項	平成18年度改定版より、項目名「運動習慣者の増加(身体活動や運動による1日の消費エネルギー)」、目標値「200～250キロカロリー」から変更																																																																																	

評価シート

領域項目	2 身体活動・運動		
目標項目	2-4 学齢期1週間の運動時間数の割合の増加		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
小中学生 男子 14時間以上 50 % 小中学生 女子 10時間以上 50 %	小中学生 男子 14時間以上 40.3 % 小中学生 女子 10時間以上 40.3 %	小中学生 男子 14時間以上 35.7 % 小中学生 女子 10時間以上 47.1 %	小中学生 男子 14時間以上 29.5 % 小中学生 女子 10時間以上 55.3 %
平成24年度	平成13年度 県民健康度調査	平成17年度 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
<b>コメント</b>			
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	<p>○男子は10.8ポイント下がった。 ○女子は、15.0ポイント上がった。 ○中間評価の値と比較して、男子で有意な変化はみられなかった。(片側P値=0.244) ○中間評価の値と比較して、女子で有意な変化はみられなかった。(片側P値=0.221)</p>		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	<p>○男子は女子に比べ、運動時間数が3時間長い条件になっている。 ○男子の実施数は、H17年度:70人、H22年度:44人である。 ○女子の実施数は、H17年度:51人、H22年度:38人である。</p>		
(3)その他データ分析に係るコメント	<p>○男子の時間と女子の時間の差をなくし、男子も女子と同じ時間で見て見ると、男女とも同じような比率になる。</p>		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	<p>○小中学生男子は、悪化してる。 ○小中学生女子は、目標値に達した。</p>		<p>小中学生 男子 D 小中学生 女子 A</p>
(5)今後の課題及び対策の抽出	<p>○小学生と中学生の比率で値に大きな差がでてくるので、そのまま比較するのは無理がある。 ○今後は項目の設定・時間の再検討が必要である。</p>		

## 健康あおもり21 現状値の推移

領域	身体活動・運動					
目標項目	2-4 学齢期 1 週間の運動時間数の割合の増加					
基準値	小中学生 男子	1 4 時間以上	4 0 . 3 %			
	小中学生 女子	1 0 時間以上	4 0 . 3 %			
	(平成 1 3 年度県民健康度調査)					
現状値	男子	1 4 時間以上	2 9 . 5 %			
	女子	1 0 時間以上	5 5 . 3 %			
	(平成 2 2 年度県民健康・栄養調査)					
目標値 (平成 2 4 年度)	小中学生 男子	1 4 時間以上	5 0 % 以上			
	小中学生 女子	1 0 時間以上	5 0 % 以上			
根拠データ	* 平成 1 7 年度県民健康・栄養調査 (生活習慣調査)					
	学校の体育の時間以外に、遊びやスポーツで1週間にどのくらい体を動かしていますか。 (クラブ活動をしている時間も含まます) 小学生及び中学生のみ回答					
	1	1 週間に 1 4 時間以上	2	1 週間に 1 0 時間以上 1 4 時間未満		
	3	1 週間に 8 時間以上 1 0 時間未満	4	8 時間未満		
	(%)					
			割合総数 (人数)	6 ~ 1 1 歳	1 2 ~ 1 4 歳	1 5 歳
	男性	1 4 時間以上	35.7 (25)	31.7	46.2	0.0
		1 0 ~ 1 4 時間未満	25.7 (18)	24.4	26.9	33.3
		8 ~ 1 0 時間未満	18.6 (13)	26.8	3.8	33.3
		8 時間未満	20.0 (14)	17.1	23.1	33.3
女性	1 4 時間以上	25.5 (13)	26.7	27.8	0.0	
	1 0 ~ 1 4 時間未満	21.6 (11)	23.3	16.7	33.3	
	8 ~ 1 0 時間未満	9.8 (5)	13.3	0.0	33.3	
	8 時間未満	43.1 (22)	36.7	55.6	33.3	
※記入なしは除く						
* 平成 2 2 年度県民健康・栄養調査 (生活習慣調査)						
学校の体育の時間以外に、遊びやスポーツで1週間にどのくらい体を動かしていますか。 (クラブ活動をしている時間も含まます) 小学生及び中学生のみ回答						
1	1 週間に 1 4 時間以上	2	1 週間に 1 0 時間以上 1 4 時間未満			
3	1 週間に 8 時間以上 1 0 時間未満	4	8 時間未満			
(%)						
		割合総数 (人数)	6 ~ 1 1 歳	1 2 ~ 1 4 歳	1 5 歳	
男性	1 4 時間以上	29.5 (13)	30.8	25.0	33.3	
	1 0 ~ 1 4 時間未満	18.2 (8)	15.4	25.0	16.7	
	8 ~ 1 0 時間未満	22.7 (10)	26.9	16.7	16.7	
	8 時間未満	29.5 (13)	26.9	33.3	33.3	
女性	1 4 時間以上	31.6 (12)	23.8	46.7	0.0	
	1 0 ~ 1 4 時間未満	23.7 (9)	14.3	26.7	100.0	
	8 ~ 1 0 時間未満	7.9 (3)	4.8	13.3	0.0	
	8 時間未満	36.8 (14)	57.1	13.3	0.0	
※記入なしは除く						
特記事項	平成 1 8 年度改定版より、項目名「児童・生徒 1 週間の運動時間の増加」、目標値「小学生 男子 1 4 時間以上 女子 1 0 時間以上」、基準値「小学生 男子 1 1 ~ 1 2 時間 女子 8 時間」から変更					

# こころの健康づくり (自殺対策)

評価シート

領域項目	3 こころの健康づくり		
目標項目	3-1 自殺者数の減少		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
294人以下	479人	527人	403人
平成24年度	平成11年人口動態統計	平成17年人口動態統計	平成22年人口動態統計
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	<p>○現状値(直近実績値)は、目標値に到達していない。</p> <p>○基準値から現状値(直近実績値)までの11年間では、大きな流れでは、減少傾向が見られる。</p>		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○目標項目を自殺者数としたため、比較検討できない。		
(3)その他データ分析に係るコメント	○平成15～16年のピーク時と比較して、自殺者数、自殺死亡率共に、減少傾向にある。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○基準値と比較して減少しているが、目標値には到達していない。 しかし、全国順位を見ると、下位グループで、改善しているとはいえない。	C	
(5)今後の課題及び対策の抽出	<p>○平成15～16年のピーク時と比較して、自殺者数、自殺死亡率共に、減少傾向にあり、行政による自殺対策が、ある程度効果を表していると思われるが、自殺死亡率の全国順位は、ここ数年、下から2位～3位と固定化してきており、対策の継続が必要である。</p> <p>○ハイリスク(離職者等)者への対策(効率的、集中的な働き掛け)が必要である。</p> <p>○自殺未遂者対策も必要である。</p> <p>○今後の指標としては、「自殺死亡率」とした方がよい。</p>		

### 健康あおもり 2 1 現状値の推移

領域	こころの健康づくり				
目標項目	3-1 自殺者数の減少				
基準値	479人 (平成11年人口動態統計)				
現状値	403人 (平成22年人口動態統計 確定値)				
目標値 (平成24年度)	294人以下				
根拠データ	※ 人口動態統計				
		自殺者数	自殺死亡率	全国順位	備考
	平成11年	479人	32.5	4位	確定値
	平成12年	405人	27.5	6位	確定値
	平成13年	423人	28.8	6位	確定値
	平成14年	537人	36.7	2位	確定値
	平成15年	576人	39.4	2位	確定値
	平成16年	554人	38.3	2位	確定値
	平成17年	527人	36.8	2位	確定値
	平成18年	441人	31.1	6位	確定値
	平成19年	469人	33.4	3位	確定値
	平成20年	473人	34.1	2位	確定値
	平成21年	475人	34.5	2位	確定値
	平成22年	403人	29.4	3位	確定値
自殺率：人口10万対					
特記事項	平成18年度改定の結果、項目名「自殺者数」より変更				

評価シート

領域項目	3 こころの健康づくり		
目標項目	3-2 自殺を考える傾向にある65歳以上の者の割合の減少		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
65歳以上 10%以下	12.6 %	4.9 %	7.7 %
平成24年度	平成11年郡部での調査	平成17年度県民健康・栄養調査	平成22年度県民健康・栄養調査
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	<p>○直近実績値は、目標値を達成している。</p> <p>○基準値とは調査方法が異なるため、中間評価(n=323、割合21.4%)と直近実績値(n=305、割合7.9%)との比較では、P値&lt;0.05で、有意に増加した。</p>		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○基準値は、郡部での調査結果に基づいており、必ずしも全県としての基準とはなっていない。		
(3)その他データ分析に係るコメント	○ベースラインとなる調査が、郡部での調査であり、評価することはできなかった。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○把握方法が異なるため、評価が困難。		E
(5)今後の課題及び対策の抽出	<p>○中間評価と比較して、直近実績値が、有意に増えており、65歳以上の自殺率は、増加傾向にあることから、自殺予防対策は手を緩めないで継続していく。</p> <p>○65歳以上だけでなく、40歳～64歳までの年齢層での指標を設定するか、議論が必要ではないか。</p>		



### 健康あおもり 2 1 現状値の推移

領域	こころの健康づくり				
目標項目	3-2 自殺を考える傾向にある65歳以上の者の割合の減少				
基準値	65歳以上 12.6% (平成11年郡部での調査)				
現状値	65歳以上 7.7% (平成22年度県民健康・栄養調査)				
目標値 (平成24年度)	65歳以上 10%以下				
根拠データ	自分がいらない方が他人に迷惑をかけなくてよいと思うことがありますか。 (60歳以上の方がお答え下さい)				
	* 平成17年度県民健康・栄養調査 (生活習慣調査 問10)				
		65歳以上実数	65歳以上%		
	総計	ない	186		※ 記入なしを除く回答者数 323人 うち、枠内の回答者数 69人 (21.4%)
		たまにある	68		
		時々ある	33		
		かなりある	16	4.9%	
		いつもそう思う	20		
		記入なし	1089		
	計		1412		
男性	ない	73			
	たまにある	26			
	時々ある	9			
	かなりある	8			
	いつもそう思う	15			
	記入なし	594			
計		725			
女性	ない	113			
	たまにある	42			
	時々ある	24			
	かなりある	8			
	いつもそう思う	5			
	記入なし	495			
計		687			
* 平成22年度県民健康・栄養調査 (生活習慣調査 問12)					
	65歳以上実数	65歳以上%			
総計	ない	231		※ 記入なしを除く回答者数 305人 うち、枠内の回答者数 24人 (7.9%)	
	たまにある	50			
	時々ある	16			
	かなりある	3	7.7%		
	いつもそう思う	5			
	記入なし	6			
計		311			
男性	ない	98			
	たまにある	26			
	時々ある	2			
	かなりある	1			
	いつもそう思う	2			
	記入なし	2			
計		131			
女性	ない	133			
	たまにある	24			
	時々ある	14			
	かなりある	2			
	いつもそう思う	3			
	記入なし	4			
計		180			
特記事項	平成18年度改定の結果、項目名「自殺を考える傾向にある者の割合」より変更				

評価シート

領域項目	3 こころの健康づくり		
目標項目	3-3 外出について積極的な態度を持つ高齢者の割合の増加		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
60歳以上の男女とも 70%以上	60歳以上の男性 41.1 % 60歳以上の女性 34.6 %	60歳以上の男性 53.7 % 60歳以上の女性 43.3 %	60歳以上の男性 50.9 % 60歳以上の女性 47.1 %
平成24年度	平成13年度県民健康度 調査	平成17年度県民健康・ 栄養調査	平成22年度県民健康・ 栄養調査
	コメント		
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対し てどのような動きになっている か。)	○現状値(直近実績値)は、目標値に到達していない。 ○現状値(直近実績値)は、中間評価値と比較して、男性2.8ポイント減、女性3.8ポイント増となっている。男性(片側P値=0.320)、女性(片側P値=0.221)ともに有意な変化は見られない。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。			
(3)その他データ分析に 係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	○基準値と比較して、変わらない。	C	
(5)今後の課題及び対 策の抽出	○「積極的に外出する」だけのカウントの仕方でよいか、検討が必要である。 ○「積極的に外出する」「誘われれば外出する」を含めると、70%以上になるので、高齢者(高齢者夫婦、単身世帯)が地域の中で孤立しないように、地域が連携して積極的に声掛けを行っていく。 ○今後の課題として、高齢者夫婦、単身世帯への対策でよいか、検討していく。		

## 健康あおもり 2 1 現状値の推移

領域	こころの健康づくり							
目標項目	3-3 外出について積極的な態度を持つ高齢者の割合の増加							
基準値	60歳以上の男性 41.1%		60歳以上の女性 34.6% (平成13年度県民健康度調査)					
中間評価	60歳以上の男性 53.7%		60歳以上の女性 43.3% (平成17年度県民健康・栄養調査)					
現状値	60歳以上の男性 50.9%		60歳以上の女性 47.1% (平成22年度県民健康・栄養調査)					
目標値 (平成24年度)	60歳以上の男女とも70%以上							
根拠データ	<p>あなたは、日常生活の中で外出の状況についてどれにあてはまると思いますか。 (60歳以上の方がお答え下さい)</p> <p>1 自分から積極的に外出する方である 2 家族や他の人から誘われたり、仲間がいれば外出する方である 3 家族や他の人から誘われれば、仕方なく外出する方である 4 家族や他の人から誘われても極力外出しない方である 5 外出することはほとんどない</p>							
	H17年度県民健康・栄養調査		実数		割合			
			総数	60～69	70歳以上	総数	60～69	70歳以上
	男女計	積極的に外出	146	74	72	47.4%	53.2%	42.6%
		誘われれば外出	98	46	52	31.8%	33.1%	30.8%
		仕方なく外出	19	7	12	6.2%	5.0%	7.1%
		極力外出しない	16	3	13	5.2%	2.2%	7.7%
		外出しない	29	9	20	9.4%	6.5%	11.8%
	合計		308	139	169			
	男性	積極的に外出	65	35	30	53.7%	60.3%	47.6%
		誘われれば外出	32	14	18	26.4%	24.1%	28.6%
		仕方なく外出	6	3	3	5.0%	5.2%	4.8%
		極力外出しない	7	1	6	5.8%	1.7%	9.5%
		外出しない	11	5	6	9.1%	8.6%	9.5%
合計		121	58	63				
女性	積極的に外出	81	39	42	43.3%	48.1%	39.6%	
	誘われれば外出	66	32	34	35.3%	39.5%	32.1%	
	仕方なく外出	13	4	9	7.0%	4.9%	8.5%	
	極力外出しない	9	2	7	4.8%	2.5%	6.6%	
	外出しない	18	4	14	9.6%	4.9%	13.2%	
合計		187	81	106				
H22年度県民健康・栄養調査		実数		割合				
		総数	60～69	70歳以上	総数	60～69	70歳以上	
男女計	積極的に外出	188	76	112	48.7%	52.4%	46.5%	
	誘われれば外出	129	48	81	33.4%	33.1%	33.6%	
	仕方なく外出	22	7	15	5.7%	4.8%	6.2%	
	極力外出しない	13	5	8	3.4%	3.4%	3.3%	
	外出しない	34	9	25	8.8%	6.2%	10.4%	
合計		386	145	241				
男性	積極的に外出	84	34	50	50.9%	54.0%	49.0%	
	誘われれば外出	47	17	30	28.5%	27.0%	29.4%	
	仕方なく外出	10	4	6	6.1%	6.3%	5.9%	
	極力外出しない	6	2	4	3.6%	3.2%	3.9%	
	外出しない	18	6	12	10.9%	9.5%	11.8%	
合計		165	63	102				
女性	積極的に外出	104	42	62	47.1%	51.2%	44.6%	
	誘われれば外出	82	31	51	37.1%	37.8%	36.7%	
	仕方なく外出	12	3	9	5.4%	3.7%	6.5%	
	極力外出しない	7	3	4	3.2%	3.7%	2.9%	
	外出しない	16	3	13	7.2%	3.7%	9.4%	
合計		221	82	139				
特記事項	<p>平成18年度改定の結果、項目名「外出について積極的な態度を持つ高齢者の割合」より変更 ①計画策定時「高齢者の日常生活に関する調査」(総務省)から、60歳以上の男女の基準値、目標値を設定した。 ②平成19年度に、医療制度改革に伴う改定の際、60歳が、65歳に誤って変更(誤植)された。 ③最終評価時に、60歳以上に訂正、基準値、中間評価値を再計算した。</p>							

評価シート

領域項目	3 こころの健康づくり		
目標項目	3-4 抑うつ状態や引きこもり状態にある者への訪問を実施する市町村の割合の増加		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
訪問を実施する市町村の割合を100%	77.5 %	—	100 %
平成24年度	平成18年度市町村事業実施状況調査	—	平成23年度市町村事業実施状況調査
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	○現状値(直近実績値)は、目標値に到達している。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント	○今後、質的な向上について検証する必要がある。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○目標値に到達している。		A
(5)今後の課題及び対策の抽出	○抑うつや引きこもり対策に、全市町村が取り組んでいる。今後は、質的な充実を図る必要がある。 ○行政だけの取り組みではなく、町内会など地域での活動を促進していく。		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	こころの健康づくり																								
目標項目	3-4 抑うつ状態や引きこもり状態にある者への訪問を実施する市町村の割合の増加																								
基準値	77.5 % (平成18年度市町村事業実施状況調査)																								
現状値	100 % 40市町村 (平成23年度市町村事業実施状況調査)																								
目標値 (平成24年度)	訪問を実施する市町村の割合を100%																								
根拠データ	<p>※ 高齢者自殺予防事業は、平成14年度から16年度の3年間事業であり終了している。</p> <p>※ 自殺対策は、高齢者から壮年期の自殺対策事業へと展開されていることから、この目標を継続するかどうか検討が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成18年度市町村事業実施状況調査 (各保健所を通じて把握した訪問実施市町村数)</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">保健所</th> <th style="width: 10%;">数</th> <th style="width: 70%;">内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東地方保健所</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td>青森市、今別町、蓬田村、外ヶ浜町</td> </tr> <tr> <td>弘前保健所</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>弘前市、西目屋村、大鱈町、田舎館村、板柳町</td> </tr> <tr> <td>八戸保健所</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td>八戸市、おいらせ町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村</td> </tr> <tr> <td>五所川原保健所</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>五所川原市、つがる市、鯨ヶ沢町、深浦町、中泊町、鶴田町</td> </tr> <tr> <td>上十三保健所</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td>十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町</td> </tr> <tr> <td>むつ保健所</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td>むつ市、大間町、風間浦村</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">(77.5 %)</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成23年度市町村事業実施状況調査結果 実施市町村数 40市町村 (障害福祉課調査)</li> </ul>	保健所	数	内訳	東地方保健所	4	青森市、今別町、蓬田村、外ヶ浜町	弘前保健所	5	弘前市、西目屋村、大鱈町、田舎館村、板柳町	八戸保健所	7	八戸市、おいらせ町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村	五所川原保健所	6	五所川原市、つがる市、鯨ヶ沢町、深浦町、中泊町、鶴田町	上十三保健所	6	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町	むつ保健所	3	むつ市、大間町、風間浦村		31	(77.5 %)
保健所	数	内訳																							
東地方保健所	4	青森市、今別町、蓬田村、外ヶ浜町																							
弘前保健所	5	弘前市、西目屋村、大鱈町、田舎館村、板柳町																							
八戸保健所	7	八戸市、おいらせ町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村																							
五所川原保健所	6	五所川原市、つがる市、鯨ヶ沢町、深浦町、中泊町、鶴田町																							
上十三保健所	6	十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町																							
むつ保健所	3	むつ市、大間町、風間浦村																							
	31	(77.5 %)																							
特記事項																									

評価シート

領域項目	3 こころの健康づくり		
目標項目	3-5 自殺に関する啓発及び相談等を実施する市町村の割合の増加		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
啓発及び相談等を実施する市町村の割合の増加として100%	55.0 %	—	100 %
平成24年度	平成18年度障害福祉課調べ	—	平成23年度障害福祉課調べ
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	○現状値(直近実績値)は、目標値に到達している。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント	○今後は、質的な向上について、検証する必要がある。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○目標値に到達している。	A	
(5)今後の課題及び対策の抽出	<p>○これからは、対策の質的な充実を図る必要がある。</p> <p>○住民一人一人の意識を変えていく事ができるよう、如何に正しい情報を伝えていく事ができるか、検討が必要である。</p> <p>○アウトリーチ的な視点を入れた、相談体制を整備する必要がある。</p> <p>○例えば、離職者などが、ワンストップサービスで、様々なサービスが受けられるように、領域の違う関係者が連携していく仕組み作りが必要である。</p>		

## 健康あおもり 2 1 現状値の推移

領域	こころの健康づくり																								
目標項目	3-5 自殺に関する啓発及び相談等を実施する市町村の割合の増加																								
基準値	55.0% (22市町村 / 40市町村) (平成18年度障害福祉課調べ)																								
現状値	100% (40市町村 / 40市町村) (平成23年度障害福祉課調べ)																								
目標値 (平成24年度)	啓発及び相談等を実施する市町村の割合の増加として100%																								
根拠データ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成18年度こころのヘルスアップ事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自殺予防地域支援強化事業実施市町村の中で研修会、講習会を開催した市町村</li> </ul> </li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">保健所</th> <th style="width: 10%;">数</th> <th style="width: 65%;">内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東地方保健所</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td>平内町、外ヶ浜町</td> </tr> <tr> <td>弘前保健所</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>弘前市、西目屋村、大鱈町、田舎館村、板柳町</td> </tr> <tr> <td>八戸保健所</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td>三戸町、南部町、田子町</td> </tr> <tr> <td>五所川原保健所</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td>五所川原市、つがる市、深浦町</td> </tr> <tr> <td>上十三保健所</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td>十和田市、六戸町、七戸町、東北町</td> </tr> <tr> <td>むつ保健所</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td>むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">22</td> <td>(55%)</td> </tr> </tbody> </table>	保健所	数	内訳	東地方保健所	2	平内町、外ヶ浜町	弘前保健所	5	弘前市、西目屋村、大鱈町、田舎館村、板柳町	八戸保健所	3	三戸町、南部町、田子町	五所川原保健所	3	五所川原市、つがる市、深浦町	上十三保健所	4	十和田市、六戸町、七戸町、東北町	むつ保健所	5	むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村		22	(55%)
保健所	数	内訳																							
東地方保健所	2	平内町、外ヶ浜町																							
弘前保健所	5	弘前市、西目屋村、大鱈町、田舎館村、板柳町																							
八戸保健所	3	三戸町、南部町、田子町																							
五所川原保健所	3	五所川原市、つがる市、深浦町																							
上十三保健所	4	十和田市、六戸町、七戸町、東北町																							
むつ保健所	5	むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村																							
	22	(55%)																							
特記事項	平成18年度改定の結果、項目名「自殺に関する啓発及び相談体制の充実」より変更																								

評価シート

領域項目	3 こころの健康づくり		
目標項目	3-6 適切な生活習慣を有する率 睡眠による休養が不足している者の割合		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
成人 17.8 %	20歳～ 17.8 %	—	—
成人 16 %	40～74歳の成人 15.0 % (1,284人)	—	40～74歳の成人 31.0 % (参考値)
平成24年度	平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査	(中間評価時に設定)	平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	○基準値の上段は、平成18年度の内臓脂肪症候群等実態調査のアンケート調査の(20歳～)結果である。 ○基準値の下段は、直近実績値(40歳～74歳)との比較をするために、平成18年度の内臓脂肪症候群実態調査を(40～74歳)で再計算したものである。 ○直近実績値は、平成22年度の市町村特定健康診査における問診表による回答結果であり、調査内容、方法、対象者が平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査と異なっているため、比較検定できない。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○調査方法が異なっている。平成18年度では4択、平成22年度は2択である。 ○調査対象は、基準値は、成人(20歳～)、今回は、特定健康診査受診者(40～74歳)である。		
(3)その他データ分析に係るコメント	○中間評価時からの設定指標であるが、調査対象、調査方法が異なることから、単純な比較はできないことから、直近実績値は参考値としている。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	調査方法が異なることから、比較することができなかった。	E	
(5)今後の課題及び対策の抽出	○睡眠の重要性について、さらに啓発する必要がある。 ○生活習慣としての睡眠について、以前と意識が変わってきている。睡眠について、満足度と要求度が違ってきている。		



## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	こころの健康づくり																																																																																																																									
目標項目	3-6 適切な生活習慣を有する率 睡眠による休養が不足している者の割合																																																																																																																									
基準値	40～74歳 15% (1,284人) (平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査)																																																																																																																									
現状値	40～74歳 31% (24,707人) ※参考値 (平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査)																																																																																																																									
目標値 (平成24年度)	成人 16%																																																																																																																									
根拠データ	<p>* 出典：平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査</p> <p>問 ここ1ヶ月間、あなたは睡眠で休養が充分とれていますか。                  1 充分とれている 2 まあまあとれている 3 あまりとれていない                  4 まったくとれていない</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>1 十分取 れている</th> <th>2 まあま あ取れて いる</th> <th>3 あまり 取れてい ない</th> <th>4 まった くとれて いない</th> <th>合計数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">男女</td> <td>40～49歳</td> <td>390</td> <td>898</td> <td>354</td> <td>14</td> <td>1,656</td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>905</td> <td>1,438</td> <td>462</td> <td>30</td> <td>2,835</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>1,327</td> <td>1,232</td> <td>272</td> <td>25</td> <td>2,856</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>613</td> <td>465</td> <td>122</td> <td>5</td> <td>1,205</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,235</td> <td>4,033</td> <td>1,210</td> <td>74</td> <td>8,552</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td><b>1,284</b></td> <td><b>15.0%</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">男性</td> <td>40～49歳</td> <td>130</td> <td>311</td> <td>124</td> <td>7</td> <td>572</td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>306</td> <td>422</td> <td>136</td> <td>4</td> <td>868</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>442</td> <td>310</td> <td>61</td> <td>5</td> <td>818</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>222</td> <td>154</td> <td>30</td> <td>0</td> <td>406</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,100</td> <td>1,197</td> <td>351</td> <td>16</td> <td>2,664</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>367</td> <td>13.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">女性</td> <td>40～49歳</td> <td>260</td> <td>587</td> <td>230</td> <td>7</td> <td>1,084</td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>599</td> <td>1,016</td> <td>326</td> <td>26</td> <td>1,967</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>885</td> <td>922</td> <td>211</td> <td>20</td> <td>2,038</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>391</td> <td>311</td> <td>92</td> <td>5</td> <td>799</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>2,135</td> <td>2,836</td> <td>859</td> <td>58</td> <td>5,888</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>917</td> <td>15.6%</td> </tr> </tbody> </table>			1 十分取 れている	2 まあま あ取れて いる	3 あまり 取れてい ない	4 まった くとれて いない	合計数	男女	40～49歳	390	898	354	14	1,656	50～59歳	905	1,438	462	30	2,835	60～69歳	1,327	1,232	272	25	2,856	70～74歳	613	465	122	5	1,205	合計	3,235	4,033	1,210	74	8,552						<b>1,284</b>	<b>15.0%</b>	男性	40～49歳	130	311	124	7	572	50～59歳	306	422	136	4	868	60～69歳	442	310	61	5	818	70～74歳	222	154	30	0	406	合計	1,100	1,197	351	16	2,664						367	13.8%	女性	40～49歳	260	587	230	7	1,084	50～59歳	599	1,016	326	26	1,967	60～69歳	885	922	211	20	2,038	70～74歳	391	311	92	5	799	合計	2,135	2,836	859	58	5,888						917	15.6%
			1 十分取 れている	2 まあま あ取れて いる	3 あまり 取れてい ない	4 まった くとれて いない	合計数																																																																																																																			
	男女	40～49歳	390	898	354	14	1,656																																																																																																																			
		50～59歳	905	1,438	462	30	2,835																																																																																																																			
		60～69歳	1,327	1,232	272	25	2,856																																																																																																																			
		70～74歳	613	465	122	5	1,205																																																																																																																			
		合計	3,235	4,033	1,210	74	8,552																																																																																																																			
						<b>1,284</b>	<b>15.0%</b>																																																																																																																			
	男性	40～49歳	130	311	124	7	572																																																																																																																			
		50～59歳	306	422	136	4	868																																																																																																																			
60～69歳		442	310	61	5	818																																																																																																																				
70～74歳		222	154	30	0	406																																																																																																																				
合計		1,100	1,197	351	16	2,664																																																																																																																				
					367	13.8%																																																																																																																				
女性	40～49歳	260	587	230	7	1,084																																																																																																																				
	50～59歳	599	1,016	326	26	1,967																																																																																																																				
	60～69歳	885	922	211	20	2,038																																																																																																																				
	70～74歳	391	311	92	5	799																																																																																																																				
	合計	2,135	2,836	859	58	5,888																																																																																																																				
					917	15.6%																																																																																																																				
	<p>※ 平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">性別</th> <th rowspan="3">年齢区分</th> <th colspan="4">問診票による記入 睡眠で休養がとれている</th> </tr> <tr> <th colspan="2">はい</th> <th colspan="2">いいえ</th> </tr> <tr> <th>健診データ実数</th> <th>%</th> <th>健診データ実数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">男女</td> <td>40～49歳</td> <td>4,227</td> <td>5.3%</td> <td>2,409</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>9,694</td> <td>12.2%</td> <td>4,775</td> <td>6.0%</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>26,992</td> <td>33.9%</td> <td>11,857</td> <td>14.9%</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>14,043</td> <td>17.6%</td> <td>5,666</td> <td>7.1%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>54,956</td> <td>69.0%</td> <td><b>24,707</b></td> <td><b>31.0%</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">男性</td> <td>40～49歳</td> <td>2,117</td> <td>6.4%</td> <td>1,089</td> <td>3.3%</td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>4,307</td> <td>13.1%</td> <td>1,785</td> <td>5.4%</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>10,974</td> <td>33.3%</td> <td>4,283</td> <td>13.0%</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>6,150</td> <td>18.7%</td> <td>2,254</td> <td>6.8%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>23,548</td> <td>71.4%</td> <td>9,411</td> <td>28.6%</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">女性</td> <td>40～49歳</td> <td>2,110</td> <td>4.5%</td> <td>1,320</td> <td>2.8%</td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>5,387</td> <td>11.5%</td> <td>2,990</td> <td>6.4%</td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>16,018</td> <td>34.3%</td> <td>7,574</td> <td>16.2%</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>7,893</td> <td>16.9%</td> <td>3,412</td> <td>7.3%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>31,408</td> <td>67.2%</td> <td>15,296</td> <td>32.8%</td> </tr> </tbody> </table>	性別	年齢区分	問診票による記入 睡眠で休養がとれている				はい		いいえ		健診データ実数	%	健診データ実数	%	男女	40～49歳	4,227	5.3%	2,409	3.0%	50～59歳	9,694	12.2%	4,775	6.0%	60～69歳	26,992	33.9%	11,857	14.9%	70～74歳	14,043	17.6%	5,666	7.1%	合計	54,956	69.0%	<b>24,707</b>	<b>31.0%</b>	男性	40～49歳	2,117	6.4%	1,089	3.3%	50～59歳	4,307	13.1%	1,785	5.4%	60～69歳	10,974	33.3%	4,283	13.0%	70～74歳	6,150	18.7%	2,254	6.8%	合計	23,548	71.4%	9,411	28.6%	女性	40～49歳	2,110	4.5%	1,320	2.8%	50～59歳	5,387	11.5%	2,990	6.4%	60～69歳	16,018	34.3%	7,574	16.2%	70～74歳	7,893	16.9%	3,412	7.3%	合計	31,408	67.2%	15,296	32.8%																													
性別	年齢区分			問診票による記入 睡眠で休養がとれている																																																																																																																						
				はい		いいえ																																																																																																																				
		健診データ実数	%	健診データ実数	%																																																																																																																					
男女	40～49歳	4,227	5.3%	2,409	3.0%																																																																																																																					
	50～59歳	9,694	12.2%	4,775	6.0%																																																																																																																					
	60～69歳	26,992	33.9%	11,857	14.9%																																																																																																																					
	70～74歳	14,043	17.6%	5,666	7.1%																																																																																																																					
	合計	54,956	69.0%	<b>24,707</b>	<b>31.0%</b>																																																																																																																					
男性	40～49歳	2,117	6.4%	1,089	3.3%																																																																																																																					
	50～59歳	4,307	13.1%	1,785	5.4%																																																																																																																					
	60～69歳	10,974	33.3%	4,283	13.0%																																																																																																																					
	70～74歳	6,150	18.7%	2,254	6.8%																																																																																																																					
	合計	23,548	71.4%	9,411	28.6%																																																																																																																					
女性	40～49歳	2,110	4.5%	1,320	2.8%																																																																																																																					
	50～59歳	5,387	11.5%	2,990	6.4%																																																																																																																					
	60～69歳	16,018	34.3%	7,574	16.2%																																																																																																																					
	70～74歳	7,893	16.9%	3,412	7.3%																																																																																																																					
	合計	31,408	67.2%	15,296	32.8%																																																																																																																					
特記事項	平成19年度改定による新規指標																																																																																																																									

たばこ

評価シート

領域項目	4 たばこ 8 循環器 9 がん		
目標項目	4-1 成人の喫煙率の減少		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
男性25%以下 女性5%以下	男性 39.4% 女性 8.2%		男性 36.1% 女性 7.9%
平成24年度	平成17年度 県民健康・栄養調査		平成22年度 県民健康・栄養調査
<b>コメント</b>			
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値がベースライン値 に対してどのような動きになっ ているか。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性は有意に減少しているが、女性は喫煙率は有意な変化は見られなかった。(男性:P=0.00、女性:P=0.161)</li> <li>・喫煙率の目標値には達していない。</li> </ul>		
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に 係るコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成18年度中間評価の新規指標となった項目である。</li> <li>・平成17年度は、県民健康・栄養調査の身体状況調査協力者(直接会場に会場した人)を対象に聞き取りにより把握していたが、平成22年度は、県民健康・栄養調査の生活習慣調査票(自宅で記入できるアンケート調査)により把握している。</li> </ul>		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男性は減少しているが、女性は横ばいとなっている。</li> <li>・男女とも目標値に達していない。</li> </ul>		男性 B 女性 C
(5)今後の課題及び対 策の抽出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙率は改善しているものの、本県は全国的に喫煙率が高い状態が続いていることから、喫煙対策については今後も継続して取り組んでいく必要がある。</li> </ul>		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	たばこ																																																										
目標項目	4-1 成人の喫煙率の減少																																																										
基準値	男性 39.4%      女性 8.2% (平成17年度県民健康・栄養調査)																																																										
現状値	男性 36.1%      女性 7.9% (平成22年度県民健康・栄養調査)																																																										
目標値 (平成24年度)	男性 25%以下      女性 5%以下																																																										
根拠データ	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">男性</th> <th colspan="2">平成17年度</th> <th colspan="2">平成22年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>割合</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吸っていない</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: center;">26.8</td> <td style="text-align: center;">83</td> <td style="text-align: center;">24.8</td> </tr> <tr> <td>以前は吸っていた</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">33.8</td> <td style="text-align: center;">131</td> <td style="text-align: center;">39.1</td> </tr> <tr> <td>吸っている</td> <td style="text-align: center;">56</td> <td style="text-align: center;">39.4</td> <td style="text-align: center;">121</td> <td style="text-align: center;">36.1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">142</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">335</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">女性</th> <th colspan="2">平成17年度</th> <th colspan="2">平成22年度</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>割合</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>吸っていない</td> <td style="text-align: center;">191</td> <td style="text-align: center;">86.8</td> <td style="text-align: center;">351</td> <td style="text-align: center;">83.8</td> </tr> <tr> <td>以前は吸っていた</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">5.0</td> <td style="text-align: center;">35</td> <td style="text-align: center;">8.4</td> </tr> <tr> <td>吸っている</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">8.2</td> <td style="text-align: center;">33</td> <td style="text-align: center;">7.9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td style="text-align: center;">220</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">419</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">                     *平成17年度は、県民健康・栄養調査の身体状況調査協力者（直接会場に来場した人）を対象に聞き取りにより把握していた。                      *平成22年度は、県民健康・栄養調査の生活習慣調査票（自宅で記入できるアンケート調査）により把握している。（身体状況調査協力者314人）                 </p>	男性	平成17年度		平成22年度		人数	割合	人数	割合	吸っていない	38	26.8	83	24.8	以前は吸っていた	48	33.8	131	39.1	吸っている	56	39.4	121	36.1	計	142	100	335	100	女性	平成17年度		平成22年度		人数	割合	人数	割合	吸っていない	191	86.8	351	83.8	以前は吸っていた	11	5.0	35	8.4	吸っている	18	8.2	33	7.9	計	220	100	419	100
男性	平成17年度		平成22年度																																																								
	人数	割合	人数	割合																																																							
吸っていない	38	26.8	83	24.8																																																							
以前は吸っていた	48	33.8	131	39.1																																																							
吸っている	56	39.4	121	36.1																																																							
計	142	100	335	100																																																							
女性	平成17年度		平成22年度																																																								
	人数	割合	人数	割合																																																							
吸っていない	191	86.8	351	83.8																																																							
以前は吸っていた	11	5.0	35	8.4																																																							
吸っている	18	8.2	33	7.9																																																							
計	220	100	419	100																																																							
特記事項	平成18年度改定による新規指標 平成19年度改定で基準値設定																																																										

評価シート

領域項目	4 たばこ 8 循環器 9 がん					
目標項目	4-2 喫煙が健康に及ぼす影響について知っている人の割合の増加					
目標値	基準値		中間評価		直近実績値	
	20歳以上		20歳以上		20歳以上 参考： 中学生以上	
すべての疾患について 100%	肺がん	63.5%	65.2%	67.3%	73.2%	73.3%
	喘息	41.9%	45.1%	45.9%	49.1%	48.9%
	気管支炎	44.1%	46.8%	48.2%	50.5%	50.2%
	心臓病	30.7%	38.4%	38.7%	39.9%	40.1%
	脳卒中	25.7%	37.6%	39.1%	42.0%	42.5%
	胃潰瘍	27.8%	29.6%	30.0%	32.1%	32.3%
	妊娠	72.4%	66.6%	68.1%	74.6%	74.2%
	歯周病	24.4%	25.5%	27.6%	29.5%	30.6%
平成24年度	平成13年度 県民健康度調査		平成17年度 県民健康・栄養調査		平成22年度 県民健康・栄養調査	
<b>コメント</b>						
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各疾患とも割合は増加しているが、有意な増加となった疾患は、肺がん(P=0.001)と妊娠(P=0.001)のみであり、各疾患とも目標値に達していない。(20歳以上)</li> <li>・各疾患とも割合は増加しているが、有意な増加となった疾患は、肺がん(P=0.008)と妊娠(P=0.007)のみであり、各疾患とも目標値に達していない。(中学生以上)</li> </ul>					
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準値である平成13年度の調査では、20歳以上を対象としていたが、平成17年度の調査からは対象を中学生以上とし、中間評価値は中学生以上のデータを利用していった。</li> </ul>					
(3)その他データ分析に係るコメント	有意な増加がみられなかった項目についても、喫煙による健康影響があることを学校の学習の中でも取り上げていく必要がある。					
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	喫煙が健康に及ぼす影響について知っている人の割合は増加しているものの、各疾患別に有意に増加している疾患は少なく、目標値に達していない。				C	
(5)今後の課題及び対策の抽出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校において学習指導要領に基づく指導が行われているが、今後はその内容について充実させていく必要がある。</li> <li>・特に、妊娠に及ぼす影響について知っている人の割合は100%となることが望まれる。</li> </ul>					

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	たばこ																																																																								
目標項目	4-2 喫煙が健康に及ぼす影響について知っている人の割合の増加																																																																								
基準値	※「現状値」の平成13年度数値参照																																																																								
現状値	<p>20歳以上</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成13年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん</td> <td>63.5</td> <td>65.2</td> <td>73.2</td> </tr> <tr> <td>喘息</td> <td>41.9</td> <td>45.1</td> <td>49.1</td> </tr> <tr> <td>気管支炎</td> <td>44.1</td> <td>46.8</td> <td>50.5</td> </tr> <tr> <td>心臓病</td> <td>30.7</td> <td>38.4</td> <td>39.9</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>25.7</td> <td>37.6</td> <td>42.0</td> </tr> <tr> <td>胃潰瘍</td> <td>27.8</td> <td>29.6</td> <td>32.1</td> </tr> <tr> <td>妊娠に関連した異常</td> <td>72.4</td> <td>66.6</td> <td>74.6</td> </tr> <tr> <td>歯周病</td> <td>24.4</td> <td>25.5</td> <td>29.5</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small;">(平成13年度県民健康度調査) (平成17年度県民健康・栄養調査) (平成22年度県民健康・栄養調査)</p> <p>中学生以上</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成13年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん</td> <td>—</td> <td>67.3</td> <td>73.3</td> </tr> <tr> <td>喘息</td> <td>—</td> <td>45.9</td> <td>48.9</td> </tr> <tr> <td>気管支炎</td> <td>—</td> <td>48.2</td> <td>50.2</td> </tr> <tr> <td>心臓病</td> <td>—</td> <td>38.7</td> <td>40.1</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>—</td> <td>39.1</td> <td>42.5</td> </tr> <tr> <td>胃潰瘍</td> <td>—</td> <td>30.0</td> <td>32.3</td> </tr> <tr> <td>妊娠に関連した異常</td> <td>—</td> <td>68.1</td> <td>74.2</td> </tr> <tr> <td>歯周病</td> <td>—</td> <td>27.6</td> <td>30.6</td> </tr> </tbody> </table>		平成13年度	平成17年度	平成22年度	肺がん	63.5	65.2	73.2	喘息	41.9	45.1	49.1	気管支炎	44.1	46.8	50.5	心臓病	30.7	38.4	39.9	脳卒中	25.7	37.6	42.0	胃潰瘍	27.8	29.6	32.1	妊娠に関連した異常	72.4	66.6	74.6	歯周病	24.4	25.5	29.5		平成13年度	平成17年度	平成22年度	肺がん	—	67.3	73.3	喘息	—	45.9	48.9	気管支炎	—	48.2	50.2	心臓病	—	38.7	40.1	脳卒中	—	39.1	42.5	胃潰瘍	—	30.0	32.3	妊娠に関連した異常	—	68.1	74.2	歯周病	—	27.6	30.6
		平成13年度	平成17年度	平成22年度																																																																					
肺がん	63.5	65.2	73.2																																																																						
喘息	41.9	45.1	49.1																																																																						
気管支炎	44.1	46.8	50.5																																																																						
心臓病	30.7	38.4	39.9																																																																						
脳卒中	25.7	37.6	42.0																																																																						
胃潰瘍	27.8	29.6	32.1																																																																						
妊娠に関連した異常	72.4	66.6	74.6																																																																						
歯周病	24.4	25.5	29.5																																																																						
	平成13年度	平成17年度	平成22年度																																																																						
肺がん	—	67.3	73.3																																																																						
喘息	—	45.9	48.9																																																																						
気管支炎	—	48.2	50.2																																																																						
心臓病	—	38.7	40.1																																																																						
脳卒中	—	39.1	42.5																																																																						
胃潰瘍	—	30.0	32.3																																																																						
妊娠に関連した異常	—	68.1	74.2																																																																						
歯周病	—	27.6	30.6																																																																						
目標値 (平成24年度)	全ての疾患について100%																																																																								
	<p>* 出典：平成13年度健康行動・健康習慣調査</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あなたは、たばこが健康に与える影響についてどう思いますか。該当する番号に○印をつけてください。</p> <p style="text-align: center;">(20歳以上の方がお答えください)</p> <p>ア 肺がん    イ 喘息    ウ 気管支炎    エ 心臓病    オ 脳卒中    カ 胃潰瘍</p> <p>キ 妊娠への影響（低出生体重児の出生や流産・早産など）    ク 歯周病（歯槽膿漏など）</p> <p>1 たばこを吸うと影響がある      2 どちらともいえない      3 たばこと関係ない</p> <p>4 わからない</p> </div> <p>* 出典：平成17年度県民健康・栄養調査、平成22年度県民健康・栄養調査</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>あなたは、たばこが健康に与える影響についてどう思いますか。該当する番号に○印をつけてください。</p> <p style="text-align: center;">(中学生以上の方がお答えください)</p> <p>ア 肺がん    イ 喘息    ウ 気管支炎    エ 心臓病    オ 脳卒中    カ 胃潰瘍</p> <p>キ 妊娠への影響（低出生体重児の出生や流産・早産など産まれたときの体重が2500g未満の赤ちゃん）</p> <p>ク 歯周病（歯槽膿漏など）</p> <p>1 たばこを吸うとわかりやすくなる（キのみ：影響がある）    2 どちらともいえない</p> </div>																																																																								

根拠データ

		中学生以上				20歳以上				
		平成17年度		平成22年度		平成13年度	平成17年度		平成22年度	
肺がん	関係ある	743	67.3	594	73.3	63.5	651	65.2	553	73.2
	どちらともいえない	81	7.3	95	11.7	15.0	81	8.1	93	12.3
	関係ない	26	2.4	30	3.7	4.7	26	2.6	30	4.0
	わからない	67	6.1	76	9.4	13.8	63	6.3	73	9.7
	未回答	187	16.9	15	1.9	3.0	178	17.8	6	0.8
	計	1,104	100.0	810	100.0	100.0	999	100.0	755	100.0
喘息	関係ある	507	45.9	396	48.9	41.9	451	45.1	371	49.1
	どちらともいえない	170	15.4	189	23.3	20.9	160	16.0	182	24.1
	関係ない	118	10.7	79	9.8	11.0	107	10.7	76	10.1
	わからない	121	11.0	131	16.2	23.0	102	10.2	120	15.9
	未回答	188	17.0	15	1.9	3.2	179	17.9	6	0.8
	計	1104	100.0	810	100.0	100.0	999	100.0	755	100.0
気管支炎	関係ある	532	48.2	407	50.2	44.1	468	46.8	381	50.5
	どちらともいえない	166	15.0	164	20.2	20.8	161	16.1	157	20.8
	関係ない	82	7.4	68	8.4	9.5	77	7.7	66	8.7
	わからない	137	12.4	156	19.3	22.3	115	11.5	145	19.2
	未回答	187	16.9	15	1.9	3.4	178	17.8	6	0.8
	計	1104	100.0	810	100.0	100.0	999	100.0	755	100.0
心臓病	関係ある	427	38.7	325	40.1	30.7	384	38.4	301	39.9
	どちらともいえない	199	18.0	173	21.4	24.4	183	18.3	165	21.9
	関係ない	119	10.8	87	10.7	13.6	107	10.7	82	10.9
	わからない	172	15.6	210	25.9	28.1	147	14.7	201	26.6
	未回答	187	16.9	15	1.9	3.2	178	17.8	6	0.8
	計	1104	100.0	810	100.0	100.0	999	100.0	755	100.0
脳卒中	関係ある	432	39.1	344	42.5	25.7	376	37.6	317	42.0
	どちらともいえない	189	17.1	175	21.6	24.8	179	17.9	167	22.1
	関係ない	114	10.3	82	10.1	15.4	105	10.5	82	10.9
	わからない	180	16.3	193	23.8	30.8	159	15.9	182	24.1
	未回答	189	17.1	16	2.0	3.3	180	18.0	7	0.9
	計	1104	100.0	810	100.0	100.0	999	100.0	755	100.0
胃潰瘍	関係ある	331	30.0	262	32.3	27.8	296	29.6	242	32.1
	どちらともいえない	252	22.8	199	24.6	25.8	233	23.3	193	25.6
	関係ない	140	12.7	126	15.6	13.1	123	12.3	120	15.9
	わからない	192	17.4	204	25.2	30.3	167	16.7	190	25.2
	未回答	189	17.1	19	2.3	3.0	180	18.0	10	1.3
	計	1104	100.0	810	100.0	100.0	999	100.0	755	100.0
妊娠	関係ある	752	68.1	601	74.2	72.4	665	66.6	563	74.6
	どちらともいえない	47	4.3	54	6.7	5.5	47	4.7	53	7.0
	関係ない	11	1.0	16	2.0	1.3	11	1.1	15	2.0
	わからない	103	9.3	123	15.2	16.0	94	9.4	117	15.5
	未回答	191	17.3	16	2.0	5.0	182	18.2	7	0.9
	計	1104	100.0	810	100.0	100.0	999	100.0	755	100.0
歯周病	関係ある	305	27.6	248	30.6	24.4	255	25.5	223	29.5
	どちらともいえない	234	21.2	185	22.8	22.7	220	22.0	180	23.8
	関係ない	135	12.2	127	15.7	13.2	126	12.6	122	16.2
	わからない	242	21.9	233	28.8	35.5	218	21.8	222	29.4
	未回答	188	17.0	17	2.1	4.1	179	17.9	8	1.1
	計	1104	100.0	810	100.0	100.0	999	100.0	755	100.0

特記事項

平成18年度改定の結果、項目名「喫煙が及ぼす健康についての知識の普及(知っている人の割合)」より変更

評価シート

領域項目	4 たばこ 8 循環器 9 がん		
目標項目	4-3 未成年者と妊婦の喫煙率の減少		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
未成年者と妊婦の喫煙率0%	未成年者 中学1年生 男子0.4% 女子0.5% 高校3年生 男子11.6% 女子4.8% 妊婦 20.0%	妊婦 10.3%	未成年者 中学1年生 男子0.4% 女子0.2% 高校3年生 男子2.7% 女子1.1% 妊婦 6.5%
平成24年度	未成年者:平成19年度 小・中・高等学校における 児童生徒の喫煙飲酒 状況調査 妊婦:平成12年度妊婦 連絡票	妊婦:平成17年度妊婦 連絡票	未成年者:平成23年度 小・中・高等学校における 児童生徒の喫煙飲酒 状況調査 妊婦:平成22年度妊婦 連絡票
<b>コメント</b>			
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値がベースライン値 に対してどのような動きになっ ているか。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学1年生、高校3年生の男子、女子ともに喫煙率は有意に減少している。(中1男子:P=0.0008 女子:P=0.000) (高3:男子、女子 P=0.000)</li> <li>・妊婦の喫煙率は、有意に減少している。(P=0.000)</li> <li>・未成年者と妊婦の喫煙率は減少しているものの、目標値に達していない。</li> </ul>		
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に 係るコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未成年者の喫煙率は、平成19年度の調査で把握した値を基準値としている。</li> </ul>		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	未成年者及び妊婦の喫煙率は減少しているが、目標値に達していない。		B
(5)今後の課題及び対 策の抽出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未成年者及び妊婦の喫煙率は0%となるべきである。</li> <li>・妊婦の喫煙はその配偶者の喫煙が大きく関係することから、配偶者の喫煙率についても併せて評価する必要がある。</li> </ul>		



健康あおもり 21 現状値の推移							
領域	たばこ						
目標項目	4-3 未成年者と妊婦の喫煙率の減少						
基準値	未成年者						
	中学1年生	男子	0.4%	女子	0.5%		
現状値	高校3年生	男子	11.6%	女子	4.8%		
	(平成19年度小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査)						
目標値 (平成24年度)	妊婦 20.0% (平成12年度妊婦連絡票)						
	未成年者の喫煙率 中学1年生及び高校3年生の男女とも 0%						
現状値	妊婦 6.5% (平成22年度妊婦連絡票)						
	妊婦の喫煙率 0%						
根拠データ	(人)						
	中学1年生	男子		女子		総計	
		H19	H22	H19	H22	H19	H22
	吸ったことはない	5,130	2,333	5,000	2,428	10,103	4,761
	今は吸っていない	340	100	218	59	558	159
	現在も吸っている	20	9	26	4	46	13
	(空白)	7	7	5	5	12	12
	総計	5,470	2,449	5,249	2,496	10,719	4,945
	(%)						
	中学1年生	男子		女子		総計	
		H19	H22	H19	H22	H19	H22
	吸ったことはない	93.3	95.3	95.3	97.3	94.3	96.3
	今は吸っていない	6.2	4.1	4.2	2.4	5.2	3.2
	現在も吸っている	0.4	0.4	0.5	0.2	0.4	0.3
	(空白)	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.2
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
(人)							
高校3年生	男子		女子		総計		
	H19	H22	H19	H22	H19	H22	
吸ったことはない	3,354	1,327	3,808	1,392	7,162	2,719	
今は吸っていない	930	124	669	88	1,599	212	
現在も吸っている	564	40	228	16	792	56	
(空白)	6	6	6	1	12	7	
総計	4,854	1,497	4,711	1,497	9,565	2,994	
(%)							
高校3年生	男子		女子		総計		
	H19	H22	H19	H22	H19	H22	
吸ったことはない	69.1	88.6	80.8	93.0	74.9	90.8	
今は吸っていない	19.2	8.3	14.2	5.9	16.7	7.1	
現在も吸っている	11.6	2.7	4.8	1.1	8.3	1.9	
(空白)	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.2	
総計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
(平成19, 23年度小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査)							
妊婦喫煙率：妊婦連絡票より (こどもみらい課)							
	喫煙者数		喫煙率		妊婦連絡票枚数		
平成12年度			20.0%		11,254		
平成14年度	1,833		15.2%		12,043		
平成15年度	1,413		12.3%		11,508		
平成16年度	1,282		12.0%		10,641		
平成17年度	1,084		10.3%		10,501		
平成18年度	968		9.6%		10,085		
平成19年度	892		8.8%		10,101		
平成20年度	732		7.7%		9,531		
平成21年度	732		7.4%		9,927		
平成22年度	617		6.5%		9,468		
特記事項	平成18年度改定の結果、項目名「未成年者と妊婦の喫煙率」より変更						

評価シート

領域項目	4 たばこ 8 循環器 9 がん				
目標項目	4-4 公共の場及び職場における禁煙・効果の高い分煙の割合の増加				
目標値	基準値	中間評価		直近実績値	
		禁煙＋分煙	参考：完全禁煙のみ	参考：完全禁煙のみ	
すべての施設で100%	県庁舎	100.0%	52.6%	19.3%	50.9%
	市町村庁舎	49.3%	27.7%	8.5%	45.0%
	文化施設	72.6%	21.8%	12.0%	78.1%
	教育・保育施設	60.9%	91.2%	65.8%	92.0%
	医療	66.6%	70.6%	45.6%	73.3%
	保健センター	90.0%	70.5%	54.5%	86.1%
	体育施設	78.4%	35.9%	33.1%	87.6%
	事業所(50人以上)	55.1%	21.4%	0.0%	17.6%
	事業所(50人未満)	51.1%	24.8%	15.4%	27.5%
平成24年度	平成13年度 たばこに関するアンケート調査	平成17年度 公共の場及び職場等の喫煙対策調査		平成23年度 受動喫煙防止対策状況調査	
<b>コメント</b>					
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内あるいは建物内禁煙としている施設は増加している。</li> <li>・<math>\chi^2</math>乗検定により有意差の検定ができたのは従業員数50人未満の施設であり、有意に増加していた。(P=0.000)</li> <li>・すべての施設において、目標値を下回っている。</li> </ul>				
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成13年度は喫煙対策についての設問(時間禁煙や空気清浄器設置、健康教育の実施など)、平成17年度は受動喫煙防止対策についての設問(敷地内完全禁煙、建物内完全禁煙、煙がもれない分煙など)であり、調査内容に違いがあるため比較できない。</li> <li>・平成17年度と平成23年度の調査項目にも違いがあるが、平成23年度の調査にあわせて、平成17年度調査結果を敷地内あるいは施設内禁煙の施設の割合とすると比較可能となる。よって、中間評価に参考として、敷地内あるいは施設内禁煙の施設の割合を算出し、直近実績値と比較している。</li> </ul>				
(3)その他データ分析に係るコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育・保育施設には、スポーツ健康課で実施している公立小・中学校の施設内禁煙に関する調査のデータを加えている。</li> </ul>				
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	中間評価値と比較して、敷地内禁煙と施設内禁煙を実施している職場は増加しているが、目標値に達していない。		B		
(5)今後の課題及び対策の抽出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少なくとも建物内禁煙は100%となるべきであり、今後も完全禁煙の施設を増加させるよう対策を推進していく必要がある。</li> </ul>				

健康あおもり 2 1 現状値の推移

領域	たばこ																																				
目標項目	4-4 公共の場及び職場における禁煙・効果の高い分煙の割合の増加																																				
基準値	<table border="1"> <tr><td>県庁舎</td><td>100.0%</td></tr> <tr><td>市町村庁舎</td><td>49.3%</td></tr> <tr><td>文化施設（ホール等）</td><td>72.6%</td></tr> <tr><td>教育・保育施設</td><td>60.9%</td></tr> <tr><td>医療・保健施設</td><td></td></tr> <tr><td>    医療</td><td>66.6%</td></tr> <tr><td>    保健</td><td>90.0%</td></tr> <tr><td>体育施設</td><td>78.4%</td></tr> <tr><td>事業所等</td><td></td></tr> <tr><td>    従業員50人以上</td><td>55.1%</td></tr> <tr><td>    従業員50人未満</td><td>51.1%</td></tr> <tr><td>公共交通機関</td><td>100.0%</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">（平成13年度たばこに関するアンケート調査）</p>	県庁舎	100.0%	市町村庁舎	49.3%	文化施設（ホール等）	72.6%	教育・保育施設	60.9%	医療・保健施設		医療	66.6%	保健	90.0%	体育施設	78.4%	事業所等		従業員50人以上	55.1%	従業員50人未満	51.1%	公共交通機関	100.0%												
県庁舎	100.0%																																				
市町村庁舎	49.3%																																				
文化施設（ホール等）	72.6%																																				
教育・保育施設	60.9%																																				
医療・保健施設																																					
医療	66.6%																																				
保健	90.0%																																				
体育施設	78.4%																																				
事業所等																																					
従業員50人以上	55.1%																																				
従業員50人未満	51.1%																																				
公共交通機関	100.0%																																				
現状値	<table border="1"> <tr><td colspan="3">&lt;禁煙のみ&gt;</td></tr> <tr><td>県庁舎</td><td></td><td>50.9%</td></tr> <tr><td>市町村庁舎</td><td></td><td>45.0%</td></tr> <tr><td>文化施設（ホール等）</td><td></td><td>78.1%</td></tr> <tr><td>教育・保育施設</td><td></td><td>82.9%</td></tr> <tr><td>医療・保健施設</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>    医療（病院・診療所）</td><td></td><td>73.3%</td></tr> <tr><td>    保健（保健センター）</td><td></td><td>86.1%</td></tr> <tr><td>体育施設</td><td></td><td>87.6%</td></tr> <tr><td>事業所等</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>    従業員50人以上</td><td></td><td>17.6%</td></tr> <tr><td>    従業員50人未満</td><td></td><td>27.5%</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">（平成23年受動喫煙防止対策実施状況調査）</p>	<禁煙のみ>			県庁舎		50.9%	市町村庁舎		45.0%	文化施設（ホール等）		78.1%	教育・保育施設		82.9%	医療・保健施設			医療（病院・診療所）		73.3%	保健（保健センター）		86.1%	体育施設		87.6%	事業所等			従業員50人以上		17.6%	従業員50人未満		27.5%
<禁煙のみ>																																					
県庁舎		50.9%																																			
市町村庁舎		45.0%																																			
文化施設（ホール等）		78.1%																																			
教育・保育施設		82.9%																																			
医療・保健施設																																					
医療（病院・診療所）		73.3%																																			
保健（保健センター）		86.1%																																			
体育施設		87.6%																																			
事業所等																																					
従業員50人以上		17.6%																																			
従業員50人未満		27.5%																																			
目標値 (平成24年度)	全ての施設で100%																																				
	<p>&lt;各年度による質問項目の違い&gt;</p> <p><u>平成13年たばこに関するアンケート調査</u> 問5 喫煙対策の方法はどれですか？ 1 完全禁煙である    2 時間による禁煙である（禁煙タイム（AM ~ 、PM ~ ） 3 喫煙場所を別に設けている    4 換気扇・空気清浄機等を設置している 5 知識の普及啓発のための健康教育を実施している    6 その他</p> <p><u>平成17年度公共の場及び職場等の喫煙対策調査</u> 問5 あなたの職場は現在、どのような受動喫煙防止対策を行っていますか。 1 敷地内完全禁煙である    2 施設内完全禁煙である 3 施設内分煙を行っているが、非喫煙場所に煙が漏れていない状態 4 施設内分煙を行っているが、非喫煙場所に煙が漏れている状態 5 分煙は行っていない</p> <p><u>平成23年度受動喫煙防止対策実施状況調査</u> 問4 あなたの職場は、現在どのような受動喫煙防止対策を行っていますか。 1 敷地内完全禁煙である    2 施設内完全禁煙である 3 施設内分煙を行っている    4 分煙を行っていない</p>																																				

根拠データ

出典：平成17年度 公共の場及び職場等の喫煙対策調査

(施設、数)

平成17年度	総数	敷地内完全禁煙 (A)	施設内完全禁煙 (B)	施設内分煙 (煙が漏れていない) (C)	施設内分煙 (煙が漏れている)	分煙は行っていない	その他	不明	(再掲) 効果的な受動喫煙対策 (A) ~ (C)	(再掲) 効果的な受動喫煙対策 (A) ~ (B)
県庁舎	114	3	19	38	54	0		0	60	22
市町村庁舎	47	0	4	9	34	0		0	13	4
文化施設	92	1	10	9	62	10		0	20	11
教育・保育施設	772	394	114	196	56	6		6	704	508
医療 (病院・診療所)	180	15	67	45	40	13		0	127	82
保健センター	44	1	23	7	13	0	0	0	31	24
体育施設	145	0	48	4	70	21	2	0	52	48
事業所 (50人以上)	14	0	0	3	8	3		0	3	0
事業所 (50人未満)	318	15	34	30	44	193		2	79	49

(%)

平成17年度	総数	敷地内完全禁煙 (A)	施設内完全禁煙 (B)	施設内分煙 (煙が漏れていない) (C)	施設内分煙 (煙が漏れている)	分煙は行っていない	その他	不明	(再掲) 効果的な受動喫煙対策 (A) ~ (C)	(再掲) 効果的な受動喫煙対策 (A) ~ (B)
県庁舎	100	2.6	16.7	33.3	47.4	0.0		0.0	52.6	19.3
市町村庁舎	100	0.0	8.5	19.1	72.3	0.0		0.0	27.7	8.5
文化施設	100	1.1	10.9	9.8	67.4	10.9		0.0	21.8	12.0
教育・保育施設	100	51.0	14.8	25.4	7.3	0.8		0.8	91.2	65.8
医療 (病院・診療所)	100	8.3	37.2	25.0	22.2	7.2		0.0	70.6	45.6
保健センター	100	2.3	52.3	15.9	29.5	0.0	0.0	0.0	70.5	54.5
体育施設	100	0.0	33.1	2.8	48.3	14.5	1.4	0.0	35.9	33.1
事業所 (50人以上)	100	0.0	0.0	21.4	57.1	21.4		0.0	21.4	0.0
事業所 (50人未満)	100	4.7	10.7	9.4	13.8	60.7		0.6	24.8	15.4

出典：平成23年度 受動喫煙実施状況調査

(施設、数)

根拠データ

平成23年度	総数	敷地内 完全禁煙 (A)	施設内 完全禁煙 (B)	施設内 分煙 (C)	分煙は行っ ていない (D)	その他	不明	(再掲) 効果的な受動 喫煙対策 (A)～(B)
県庁舎	57	2	27	28				29
市町村庁舎	40	1	17	22				18
文化施設	128	10	90	24	3	1		100
教育・保育施設	622	463	109	42	2		6	572
(再掲) 調査のみ	123	58	44	13	2		6	102
(再掲) スポーツ健康課アンケート 上：小学校 下：中学校	333	275	43	15				318
	166	130	22	14				152
医療（病院・診療所）	172	54	72	40	4		2	126
保健センター	36	9	22	5	0			31
体育施設	186	13	150	13	8	2		163
事業所 (50人以上)	17	1	2	13	1			3
事業所 (50人未満)	316	17	70	111	114		4	87

(%)

平成23年度	総数	敷地内 完全禁煙 (A)	施設内 完全禁煙 (B)	施設内 分煙 (C)	分煙は行っ ていない (D)	その他	不明	(再掲) 効果的な受動 喫煙対策 (A)～(B)
県庁舎	100	3.5	47.4	49.1	0.0	0.0	0.0	50.9
市町村庁舎	100	2.5	42.5	55.0	0.0	0.0	0.0	45.0
文化施設	100	7.8	70.3	18.8	2.3	0.8	0.0	78.1
教育・保育施設	100	74.4	17.5	6.8	0.3	0.0	1.0	92.0
(再掲) 調査のみ	123	47.2	35.8	10.6	1.6		4.9	82.9
(再掲) スポーツ健康課アンケート 上：小学校 下：中学校	333	82.6	12.9	4.5				95.5
	166	78.3	13.3	8.4				91.6
医療（病院・診療所）	100	31.4	41.9	23.3	2.3	0.0	1.2	73.3
保健センター	100	25.0	61.1	13.9	0.0	0.0	0.0	86.1
体育施設	100	7.0	80.6	7.0	4.3	1.1	0.0	87.6
事業所（50人以上）	100	5.9	11.8	76.5	5.9	0.0	0.0	17.6
事業所（50人未満）	100	5.4	22.2	35.1	36.1	0.0	1.3	27.5

特記事項

基準値とした平成13年度の調査と平成17年度の調査では、調査の質問項目に違いがあるため比較はできない。  
平成17年度と平成23年度の調査項目に違いがあるので、単純に比較できない。

評価シート

領域項目	4 たばこ 8 循環器 9 がん			
目標項目	4-5 防煙・禁煙(喫煙防止教育)支援プログラムの普及			
目標値	基準値	中間評価	直近実績値	
すべての施設で100%	小学校	64.1%	67.7%	100.0%
	中学校	81.4%	89.6%	99.4%
	高等学校	87.9%	89.5%	95.1%
	その他の学校	61.9%	57.5%	37.0%
	保育所・幼稚園	11.7%	12.9%	19.5%
	市町村	40.7%	72.3%	57.5%
	医療機関	34.1%	37.2%	19.9%
平成24年度	平成13年度 たばこに関するアンケート調査	平成17年度 公共の場及び職場等の 喫煙対策調査	平成23年度 受動喫煙防止対策実施 状況調査	
<b>コメント</b>				
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値がベースライン値 に対してどのような動きになっ ているか。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、中学校において、防煙教育の普及率が有意に増加しているが、高等学校、その他の学校、保育所・幼稚園では有意な変化は見られなかった。(高等学校P=0.175 その他の学校P=0.0989 保育所等P=0.2225)</li> <li>・医療機関における禁煙プログラムの普及は有意に減少し(P=0.0007)、市町村においても減少したが、有意な減少ではなかった(P=0.1467)。</li> <li>・小学校のみ目標値を達成している。</li> </ul>			
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準値(平成13年度調査)と比較できないので、中間評価値(平成17年度)と比較している。</li> </ul>			
(3)その他データ分析に 係るコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立小・中・高等学校においては、学習指導要領に基づき防煙教育を実施していることから、本調査を実施せず、県内の全学校で実施していると判断している。</li> <li>・調査は、私立中・高等学校のみに調査を実施し、データ数には公立学校をプラスし、計算している。</li> <li>・市町村にあつては、基準値(平成13年度)、中間評価値(平成17年度)、直近実績値(平成23年度)において、市町村数が異なるため評価困難(平成13年度:67市町村、平成17年度:47市町村、平成23年度:40市町村)</li> <li>・医療機関は平成18年から保険適用による禁煙治療を実施しており、平成24年1月現在、122施設で実施している。(全医療機関750施設中約16%)</li> </ul>			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における防煙支援プログラムの普及は進んできているものの、他の施設においてはまだ十分とはいえない。</li> <li>・すべての施設で目標値に達していない。</li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border-left: 1px dashed black; padding-left: 5px; margin-left: 10px;">                 小学校 A                  中学校 B                  高等学校 B                  その他の学校 C                  幼稚園・保育園等 B                  市町村 E                  医療機関 D             </div> </div>			
(5)今後の課題及び対 策の抽出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての施設(特に教育機関)において、防煙教室のプログラムをより一層充実させ、正しい知識を普及する必要がある。</li> </ul>			

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	たばこ				
目標項目	4-5 防煙・禁煙（喫煙防止教育）支援プログラムの普及				
基準値	※「現状値」の平成13年度数値参照				
現状値	（喫煙防止教育を行っている学校等の割合）（%）				
		平成13年度	平成17年度	平成23年度	
	小学校	64.1	67.7	100.0	
	中学校	81.4	89.6	99.4	
	高等学校	87.9	89.5	95.1	
	短大・大学・その他の学校	61.9	57.5	37.0	
	幼稚園・保育所等	11.7	12.9	19.5	
	（禁煙支援プログラムが提供されている機関の割合）（%）				
		平成13年度	平成17年度	平成23年度	
	市町村	40.7	72.3	57.5	
医療機関	34.1	37.2	19.9		
（平成13年度「たばこに関するアンケート調査」） （平成17年度「公共の場及び職場等の喫煙対策調査」） （平成23年度「受動喫煙防止対策実施状況調査」）					
目標値 (平成24年度)	全ての施設で100%				
根拠データ	＜学校等＞				
		平成13年度 実施している(%)			
	小学校	64.1			
	中学校	81.4			
	高等学校	87.9			
	その他学校	61.9			
	保育所・幼稚園	11.7			
	（平成13年度「たばこに関するアンケート調査」）				
		平成17年度			
		実施数	未実施数	不明	計
	小学校	258	123	0	381
	中学校	155	17	1	173
	高等学校	77	9	0	86
	その他学校	27	19	1	47
	保育所・幼稚園	11	72	2	85
計	528	240	4	772	
				実施率	
小学校				67.7	
中学校				89.6	
高等学校				89.5	
その他学校				57.4	
保育所・幼稚園				12.9	
計				68.4	
（平成17年度「公共の場及び職場等の喫煙対策調査」）					
	平成23年度				
	実施数	未実施数	不明	計	
小学校	333			333	
中学校	168	1	0	169	
高等学校	78	4	0	82	
その他学校	10	16	1	27	
保育所・幼稚園	15	58	4	77	
計	604	79	10	688	
				実施率	
小学校				100.0	
中学校				99.4	
高等学校				95.1	
その他学校				37.0	
保育所・幼稚園				19.5	
計				87.8	
（平成23年度「受動喫煙防止対策実施状況調査」）					
＜市町村＞					
市町村	提供	未提供	不明	計	
平成13年度	—	—	—	—	
平成17年度	34	13	0	47	
平成23年度	23	17	0	40	
				提供率	
平成13年度				40.7	
平成17年度				72.3	
平成23年度				57.5	
＜病院・診療所＞					
平成13年度	提供されている(%)		合計の平均(%)		
病院	33.7		34.1		
診療所	34.8				
平成17年度	提供	未提供	不明	計	
病院	34	63	0	97	
診療所	33	50	0	83	
計	67	113	0	180	
				提供率	
平成17年度				35.1	
平成23年度				39.8	
平成23年度	提供	未提供	不明	計	
病院	22	63	4	89	
診療所	12	68	2	82	
計	34	131	6	171	
				提供率	
平成23年度				24.7	
平成23年度				14.6	
平成23年度				19.9	
*H24年1月現在：122医療機関で保険適用による禁煙治療を実施。（全診療所数750）					
特記事項	平成18年度改定の結果、項目名「防煙・禁煙（喫煙防止教育）支援プログラムの普及」中「喫煙防止教育を行っている学校等の割合」及び「禁煙支援プログラムが提供されている機関の割合」より変更				

# アルコール



評価シート

領域項目	5 アルコール 8 循環器 9 がん		
目標項目	5-1 多量飲酒者の割合の減少(1日に平均純アルコールで60g(日本酒で約3合)を超えて飲酒する人) * 多量飲酒者は3合以上飲酒者		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
男性 6.6%以下 女性 0.3%以下	男性 13.2% 女性 0.7%	男性 7.7% 女性 0.5%	男性 8.1% 女性 1.4%
平成24年度	平成8年度 県民栄養調査	平成17年度 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
<b>コメント</b>			
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	<p>○直近実績値は、男女とも目標値に到達していない。</p> <p>○基準値の調査件数が不明であることから、検定は実施できなかった。</p> <p>○直近実績値を、中間評価値と比較すると、 男性は、0.4ポイント増加した。(P=0.456 有意差なし。)</p> <p>平成17年度n=141、対象割合7.8%、平成22年度n=334、対象割合8.1%</p> <p>女性は、0.9ポイント増加した。(P=0.114 有意差なし。)</p> <p>平成17年度n=220、対象割合0.5%、平成22年度n=415、対象割合1.4%</p>		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○県民健康・栄養調査では、過去に飲酒習慣があった者(現在は飲んでいない者)の飲酒量も数値としていたため、基準値との比較はできなかった。		
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○男性は、基準値と比較して減少しているが、目標には到達していない。 ○女性は、基準と比較して増加している。		男性 B 女性 C
(5)今後の課題及び対策の抽出	○女性の多量飲酒の割合の増加が懸念される。多量飲酒については、男女とも、啓発活動を続けていく。		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	アルコール								
目標項目	5-1 多量飲酒者の割合の減少（1日に平均純アルコールで60g（日本酒で約3合）を超えて飲酒する人）								
基準値	男性 13.2 % 女性 0.7 % *多量飲酒者は3合以上飲酒者（平成8年度県民栄養調査）								
現状値	男性 8.1 % 女性 1.4 %（平成22年度県民健康・栄養調査（生活習慣調査））								
目標値 (平成24年度)	男性 6.6 %以下 女性 0.3 %以下								
根拠データ	*出典：平成17年度県民健康・栄養調査（身体状況調査）								
	飲酒習慣の状況（飲酒習慣）								
	実数								
	性別	飲んでいる	以前は飲んでいた	飲んでいない	合計				
	男性	86	12	44	142				
	女性	24	5	192	221				
	合計	110	17	236	363				
	飲酒習慣の状況（飲酒量）								
	飲んでいる者の飲酒量								
	性別	1合	2合	3合以上	量未回答	合計			
男性	48	26	11	1	86				
女性	18	4	1	1	24				
飲んでいる者の飲酒割合									
性別	1合	2合	3合以上	量未回答	合計	以前は飲酒今はなし	飲んでいない	合計	
男性	33.8%	18.3%	7.7%	0.7%	60.6%	8.5%	31.0%	100.0%	
女性	8.1%	1.8%	0.5%	0.5%	10.9%	2.3%	86.9%	100.0%	
*出典：平成22年度県民健康・栄養調査（身体状況調査）									
飲酒習慣の状況（飲酒習慣）									
実数									
性別	飲んでいる	以前は飲んでいた	飲んでいない	合計					
男性	227	19	89	335					
女性	106	10	304	420					
合計	333	29	393	755					
飲酒習慣の状況（飲酒量）									
飲んでいる者の飲酒量									
	1合未満	1~2合	2~3合	3合以上	量未回答	合計			
男性	63	83	53	27	1	227			
女性	57	28	10	6	5	106			
飲んでいる者の飲酒割合									
性別	1合未満	1~2合	2~3合	3合以上	量未回答	合計	以前は飲酒今はなし	飲んでいない	合計
男性	18.8%	24.8%	15.8%	8.1%	0.3%	67.8%	5.7%	26.6%	100.0%
女性	13.6%	6.7%	2.4%	1.4%	1.2%	25.2%	2.4%	72.4%	100.0%
特記事項									

評価シート

領域項目	5 アルコール 8 循環器 9 がん		
目標項目	5-2 未成年者の飲酒割合の減少（現在も時々飲んでいる児童生徒の割合）		
目標値	平成19年度調査値		平成23年度調査値
0 %	小学5年生 3.6% 中学1年生 6.7% 中学3年生 12.7% 高校3年生 33.8%		小学5年生 2.5% 中学1年生 4.1% 中学3年生 8.2% 高校3年生 14.6%
平成24年度	平成19年度 小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査		平成23年度 小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (平成23年度調査値が平成19年度調査値に対してどのような動きになっているか。)	○平成23年度調査値は、各階層とも、目標値には到達していない。 ○平成19年度調査値と比較して、小学5年生1.1ポイント、中学1年生2.6ポイント、4.5ポイント、19.2ポイントで、すべての階層で減少した。 ○検定の結果、各階層ともP=0.00(有意差あり)。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。			
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○基準値と比較して改善傾向にあるが、目標値には到達していない。		B
(5)今後の課題及び対策の抽出	○学校や家庭、地域への啓発活動を続けていく。		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	アルコール						
目標項目	5-2 未成年者の飲酒割合の減少						
基準値	飲酒経験者の状況 現在も時々飲んでいる児童生徒の割合			小学校5年生 中学校1年生 中学校3年生 高校3年生	3.6% 6.7% 12.7% 33.8%		
(平成19年 小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査)							
現状値	飲酒経験者の状況 現在も時々飲んでいる児童生徒の割合			小学校5年生 中学校1年生 中学校3年生 高校3年生	2.5% 4.1% 8.2% 14.6%		
(平成23年 小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査)							
目標値 (平成24年度)	0%						
根拠データ	*出典 平成19年度 小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査結果から						
	質問11 今まで一口でも、お酒を飲んだことがありますか。 1. 飲んだことはない    2. 飲んだことはあるが、今は飲まない    3. 現在も時々飲んでいる の質問で、 <u>3</u> と回答した数。						
	小学5年生 n=11,487	男子		女子		総計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
	飲んだことはない	3,629	61.7%	3,664	66.0%	7,293	63.8%
	飲んだことはあるが今はない	1,947	33.1%	1,629	29.3%	3,576	31.3%
	現在も時々飲んでいる	219	3.7%	196	3.5%	<b>415</b>	<b>3.6%</b>
	未回答	85	1.4%	63	1.1%	148	1.3%
	計	5,880	100.0%	5,552	100.0%	11,432	100.0%
	中学1年生 n=10,719	男子		女子		総計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
	飲んだことはない	3,511	64.2%	3,261	62.1%	6,772	63.2%
	飲んだことはあるが今はない	1,506	27.5%	1,494	28.5%	3,000	28.0%
	現在も時々飲んでいる	314	5.7%	406	7.7%	<b>720</b>	<b>6.7%</b>
	未回答	139	2.5%	88	1.7%	227	2.1%
計	5,470	100.0%	5,249	100.0%	10,719	100.0%	
中学3年生 n=11,485	男子		女子		総計		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
飲んだことはない	3,008	56.8%	2,668	51.4%	5,676	54.1%	
飲んだことはあるが今はない	1,664	31.4%	1,645	31.7%	3,309	31.6%	
現在も時々飲んでいる	524	9.9%	807	15.5%	<b>1,331</b>	<b>12.7%</b>	
未回答	99	1.9%	70	1.3%	169	1.6%	
計	5,295	100.0%	5,190	100.0%	10,485	100.0%	
高校3年生 n=9,565	男子		女子		総計		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
飲んだことはない	1,584	29.9%	1,605	30.9%	3,189	33.3%	
飲んだことはあるが今はない	1,537	29.0%	1,510	29.1%	3,047	31.9%	
現在も時々飲んでいる	1,688	31.9%	1,548	29.8%	<b>3,236</b>	<b>33.8%</b>	
未回答	45	0.8%	48	0.9%	93	1.0%	
計	4,854	91.7%	4,711	90.8%	9,565	100.0%	

\*出典

平成23年度 小・中・高等学校における児童生徒の喫煙・飲酒状況調査結果から

質問10 今まで一口でも、お酒を飲んだことがありますか。

1. 飲んだことはない 2. 飲んだことはあるが、今は飲まない 3. 現在も時々飲んでいる  
の質問で、3と回答した数。

根拠データ

小学5年生 n=3,964	男子		女子		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
飲んだことはない	1,289	21.9%	1,409	25.4%	2,698	68.1%
飲んだことはあるが今はない	586	10.0%	523	9.4%	1,109	28.0%
現在も時々飲んでいる	69	1.2%	32	0.6%	<b>101</b>	<b>2.5%</b>
未回答	25	0.4%	31	0.6%	56	1.4%
計	1,969	33.5%	1,995	35.9%	3,964	100.0%

中学1年生 n=4,945	男子		女子		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
飲んだことはない	1,754	32.1%	1,832	34.9%	3,586	72.5%
飲んだことはあるが今はない	573	10.5%	517	9.8%	1,090	22.0%
現在も時々飲んでいる	81	1.5%	120	2.3%	<b>201</b>	<b>4.1%</b>
未回答	41	0.7%	27	0.5%	68	1.4%
計	2,449	44.8%	2,496	47.6%	4,945	100.0%

中学3年生 n=5,030	男子		女子		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
飲んだことはない	1,773	33.5%	1,541	29.7%	3,314	65.9%
飲んだことはあるが今はない	638	12.0%	614	11.8%	1,252	24.9%
現在も時々飲んでいる	183	3.5%	229	4.4%	<b>412</b>	<b>8.2%</b>
未回答	35	0.7%	17	0.3%	52	1.0%
計	2,629	49.7%	2,401	46.3%	5,030	100.0%

高校3年生 n=2,994	男子		女子		総計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
飲んだことはない	880	16.6%	921	17.7%	1,801	60.2%
飲んだことはあるが今はない	364	6.9%	359	6.9%	723	24.1%
現在も時々飲んでいる	232	4.4%	205	3.9%	<b>437</b>	<b>14.6%</b>
未回答	21	0.4%	12	0.2%	33	1.1%
計	1,497	28.3%	1,497	28.8%	2,994	100.0%

特記事項

平成18年度改定の結果、項目名「未成年者の飲酒」より変更

評価シート

領域項目	5 アルコール 8 循環器 9 がん		
目標項目	5-3 節度ある適度な飲酒について知っている人の割合の増加		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
100 %	46.0%	65.7 %	61.9 %
平成24年度	平成13年 県民健康・栄養調査	平成17年 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
	コメント		
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 直近実績値は、目標値に到達していない。</li> <li>○ 直近実績値は、中間評価時と比較して、3.8ポイント減少した。</li> <li>○ 直近実績値と、基準値を比較すると、P=0.00(有意差あり)だった。</li> </ul>		
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に 係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○基準値と比較して増加しているが、目標値には到達していない。		B
(5)今後の課題及び対策の抽出	○今後も啓発活動を推進していく。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	アルコール						
目標項目	5-3 節度ある適度な飲酒について知っている人の割合の増加						
基準値	46.0% (平成13年度県民健康・栄養調査(生活習慣調査))						
現状値	61.9% (平成22年度県民健康・栄養調査)						
目標値	100%						
根拠データ	*平成13年度県民健康・栄養調査(生活習慣調査)						
		ビール中1	ビール中2	ビール中3	わからない	不明	総計
	男性(人)	315	104	34	141	43	637
	女性(人)	343	41	4	354	50	792
	計	658	145	38	495	93	1,429
	割合(%)	46.0%	10.1%	2.7%	34.6%	6.5%	
	*平成17年度県民健康・栄養調査(生活習慣調査)						
		ビール中1	ビール中2	ビール中3	わからない	不明	総計
	男性(人)	252	46	6	66	19	389
	女性(人)	307	18	2	111	24	462
	計	559	64	8	177	43	851
	割合(%)	65.7%	7.5%	0.9%	20.8%	5.1%	
*平成22年度県民健康・栄養調査(生活習慣調査)							
	ビール中1	ビール中2	ビール中3	わからない	不明	総計	
男性(人)	219	45	12	58	0	334	
女性(人)	248	21	0	150	1	420	
計	467	66	12	208	1	754	
割合(%)	61.9%	8.8%	1.6%	27.6%	0.1%		
<p>&lt;質問事項&gt;</p> <p>1日の節度ある適度な飲酒量について次のうち正しいものはどれだと思いますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。</p> <p>1 ビール中ビン1本(500ml)、または日本酒1合、またはウイスキーダブル1杯(60ml)、または焼酎(25度)110ml、またはワイン2杯(240ml)以内</p> <p>2 ビール中ビン2本(1000ml)、または日本酒2合、またはウイスキーダブル2杯(120ml)、または焼酎(25度)220ml、またはワイン4杯(360ml)以内</p> <p>3 ビール中ビン3本(1500ml)、または日本酒3合、またはウイスキーダブル3杯(180ml)、または焼酎(25度)330ml、またはワイン6杯(720ml)以内</p>							
特記事項	平成18年度改定の結果、項目名「節度ある適度な飲酒の知識の普及(知っている人の割合)」より変更						

# 歯の健康



評価シート

領域項目	6 歯の健康		
目標項目	6-1 むし歯のない幼児の割合の増加		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
1歳6ヶ月児 96%以上 3歳児 70%以上	1歳6ヶ月児 92.64% 3歳児 42.80%	1歳6ヶ月児 95.64% 3歳児 55.60%	1歳6ヶ月児 96.40% 3歳児 62.55%
	平成10年度市町村幼児 歯科健康診査結果	平成18年度市町村幼児 歯科健康診査結果	平成22年度市町村幼児 歯科健康診査結果
<b>コメント</b>			
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対し てどのような動きになっている か。)	1歳6ヶ月児の直近実績値は基準値と比較すると有意に増加した(片側P値<0.01)。 3歳児の直近実績値は基準値と比較すると有意に増加した(片側P値<0.01)。		
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。			
(3)その他データ分析に 係るコメント	<p>&lt;国(3歳児)の指標&gt; 目標値 全国平均80%以上 基準値:59.5% 中間評価値:68.7% 直近実績値:77.1% 基準値に対して直近実績値では17.6ポイント高い。</p> <p>&lt;国との比較&gt; 全国の直近実績値と比較すると14.5ポイント低い。</p>		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	1歳6ヶ月児は、目標値に達した。 3歳児は、改善傾向にはあるが、目標値に達して いない。		A B
(5)今後の課題及び対 策の抽出	目標達成のためには、全市町村で1歳6ヶ月児と3歳児の間での取組が必要 ではないか。 保護者の同意を前提として早い段階でのフッ化物塗布の取組が必要ではな いか。		

健康あおもり 2.1 現状値の推移

領域	歯の健康																																																																													
目標項目	6-1 むし歯のない幼児の割合の増加																																																																													
基準値	1歳6ヶ月児	92.64%	3歳児	42.80%																																																																										
	(平成10年度市町村幼児歯科健康診査結果：こどもみらい課)																																																																													
現状値	1歳6ヶ月児	96.40%	3歳児	62.55%																																																																										
	(平成22年度市町村幼児歯科健康診査結果：こどもみらい課)																																																																													
目標値 (平成24年度)	1歳6ヶ月児	96%以上	3歳児	70%以上																																																																										
根拠データ	<p>* 青森県1歳6ヶ月児及び3歳児歯科健康診査結果</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">1歳6ヶ月児</th> <th colspan="2">3歳児</th> </tr> <tr> <th>むし歯のない人数・(%)</th> <th>受診者数</th> <th>むし歯のない人数・(%)</th> <th>受診者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成10年度</td><td>11,910人(92.64)</td><td>12,856人</td><td>5,624人(42.84)</td><td>13,127人</td></tr> <tr><td>平成11年度</td><td>11,813人(92.59)</td><td>12,759人</td><td>5,500人(43.79)</td><td>12,560人</td></tr> <tr><td>平成12年度</td><td>11,635人(93.18)</td><td>12,486人</td><td>6,280人(49.14)</td><td>12,781人</td></tr> <tr><td>平成13年度</td><td>11,307人(94.01)</td><td>12,028人</td><td>6,303人(49.80)</td><td>12,657人</td></tr> <tr><td>平成14年度</td><td>11,473人(93.85)</td><td>12,225人</td><td>6,282人(50.71)</td><td>12,388人</td></tr> <tr><td>平成15年度</td><td>11,335人(94.77)</td><td>11,961人</td><td>6,057人(51.15)</td><td>11,842人</td></tr> <tr><td>平成16年度</td><td>10,626人(94.76)</td><td>11,214人</td><td>6,420人(53.31)</td><td>12,043人</td></tr> <tr><td>平成17年度</td><td>10,384人(95.21)</td><td>10,906人</td><td>6,645人(55.97)</td><td>11,873人</td></tr> <tr><td>平成18年度</td><td>9,588人(95.64)</td><td>10,025人</td><td>6,190人(55.60)</td><td>11,134人</td></tr> <tr><td>平成19年度</td><td>9,645人(95.89)</td><td>10,058人</td><td>6,371人(59.84)</td><td>10,646人</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>9,511人(95.91)</td><td>9,917人</td><td>6,121人(60.70)</td><td>10,084人</td></tr> <tr><td>平成21年度</td><td>9,525人(96.53)</td><td>9,867人</td><td>6,218人(62.51)</td><td>9,948人</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>8,903人(96.4)</td><td>9,232人</td><td>6,114人(62.55)</td><td>9,775人</td></tr> </tbody> </table>				年度	1歳6ヶ月児		3歳児		むし歯のない人数・(%)	受診者数	むし歯のない人数・(%)	受診者数	平成10年度	11,910人(92.64)	12,856人	5,624人(42.84)	13,127人	平成11年度	11,813人(92.59)	12,759人	5,500人(43.79)	12,560人	平成12年度	11,635人(93.18)	12,486人	6,280人(49.14)	12,781人	平成13年度	11,307人(94.01)	12,028人	6,303人(49.80)	12,657人	平成14年度	11,473人(93.85)	12,225人	6,282人(50.71)	12,388人	平成15年度	11,335人(94.77)	11,961人	6,057人(51.15)	11,842人	平成16年度	10,626人(94.76)	11,214人	6,420人(53.31)	12,043人	平成17年度	10,384人(95.21)	10,906人	6,645人(55.97)	11,873人	平成18年度	9,588人(95.64)	10,025人	6,190人(55.60)	11,134人	平成19年度	9,645人(95.89)	10,058人	6,371人(59.84)	10,646人	平成20年度	9,511人(95.91)	9,917人	6,121人(60.70)	10,084人	平成21年度	9,525人(96.53)	9,867人	6,218人(62.51)	9,948人	平成22年度	8,903人(96.4)	9,232人	6,114人(62.55)	9,775人
年度	1歳6ヶ月児		3歳児																																																																											
	むし歯のない人数・(%)	受診者数	むし歯のない人数・(%)	受診者数																																																																										
平成10年度	11,910人(92.64)	12,856人	5,624人(42.84)	13,127人																																																																										
平成11年度	11,813人(92.59)	12,759人	5,500人(43.79)	12,560人																																																																										
平成12年度	11,635人(93.18)	12,486人	6,280人(49.14)	12,781人																																																																										
平成13年度	11,307人(94.01)	12,028人	6,303人(49.80)	12,657人																																																																										
平成14年度	11,473人(93.85)	12,225人	6,282人(50.71)	12,388人																																																																										
平成15年度	11,335人(94.77)	11,961人	6,057人(51.15)	11,842人																																																																										
平成16年度	10,626人(94.76)	11,214人	6,420人(53.31)	12,043人																																																																										
平成17年度	10,384人(95.21)	10,906人	6,645人(55.97)	11,873人																																																																										
平成18年度	9,588人(95.64)	10,025人	6,190人(55.60)	11,134人																																																																										
平成19年度	9,645人(95.89)	10,058人	6,371人(59.84)	10,646人																																																																										
平成20年度	9,511人(95.91)	9,917人	6,121人(60.70)	10,084人																																																																										
平成21年度	9,525人(96.53)	9,867人	6,218人(62.51)	9,948人																																																																										
平成22年度	8,903人(96.4)	9,232人	6,114人(62.55)	9,775人																																																																										
特記事項	平成18年度中間評価改定の結果、項目を「むし歯のない幼児の割合の増加」に変更。																																																																													

評価シート

領域項目	6 歯の健康		
目標項目	6-2 1人当たりのむし歯数の減少		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
1歳6ヶ月児 0.12歯以下 3歳児 1.80歯以下	1歳6ヶ月児 0.24歯 3歳児 2.98歯	1歳6ヶ月児 0.14歯 3歳児 2.11歯	1歳6ヶ月児 0.11歯 3歳児 1.53歯
	平成10年度市町村幼児 歯科健康診査結果	平成18年度市町村幼児 歯科健康診査結果	平成22年度市町村幼児 歯科健康診査結果
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対し てどのような動きになっている か。)	1歳6ヶ月児は基準値に対して直近実績値では0.13歯減っている。 3歳児は基準値に対して直近実績値では1.45歯減っている。		
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。	むし歯のある幼児のむし歯数が課題であることを考えれば、むし歯なしの幼 児を含む1人当たりのむし歯数が項目として妥当か検討が必要。		
(3)その他データ分析に 係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	1歳6ヶ月児は、目標値に達した。 3歳児は、目標値に達した。		A A
(5)今後の課題及び対 策の抽出	目標を達成したが、全国に比べると1人当たりのむし歯の本数が多い。 目標の設定は今の実態を表していないので、集団の平均を出すのではなく多 数う歯である幼児の実態を把握するべきではないか。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	歯の健康				
目標項目	6-2 1人当たりのむし歯数の減少				
基準値	1歳6ヶ月児	0.24 歯			
	3歳児	2.98 歯			
	(平成10年度市町村幼児歯科健康診査結果：こどもみらい課)				
現状値	1歳6ヶ月児	0.11 歯			
	3歳児	1.53 歯			
	(平成22年度市町村幼児歯科健康診査結果：こどもみらい課)				
目標値 (平成24年度)	1歳6ヶ月児	0.12 歯以下			
	3歳児	1.80 歯以下			
根拠データ	* 青森県1歳6ヶ月児及び3歳児歯科健康診査結果				
	年度	1歳6ヶ月児		3歳児	
	平成10年度	0.24	12,856人 3,025本	2.98	13,127人 39,060本
	平成11年度	0.24	12,759人 3,040本	2.92	12,560人 36,649本
	平成12年度	0.16	12,486人 1,980本	2.52	12,781人 32,255本
	平成13年度	0.19	12,028人 2,251本	2.49	12,657人 31,494本
	平成14年度	0.19	12,225人 2,350本	2.49	12,388人 30,811本
	平成15年度	0.17	11,961人 2,036本	2.35	11,843人 27,840本
	平成16年度	0.17	11,214人 1,954本	2.29	12,043人 27,637本
	平成17年度	0.14	10,906人 1,580本	2.11	11,873人 25,037本
	平成18年度	0.14	10,025人 1,354本	2.11	11,134人 23,490本
	平成19年度	0.13	10,058人 1,317本	1.83	10,646人 19,471本
	平成20年度	0.13	9,917人 1,258本	1.71	10,084人 17,224本
	平成21年度	0.11	9,867人 1,037本	1.54	9,948人 15,354本
	平成22年度	0.11	9,232人 1,023本	1.53	9,775人 14,932本
特記事項	平成18年度中間評価改定の結果、項目名を「1人当たりのむし歯数の減少」に変更。				

評価シート

領域項目	6 歯の健康			
目標項目	6-3 むし歯のない児童生徒の割合の増加			
目標値	基準値	中間評価		直近実績値
小学生 30% 中学生 30% 高校生 30%	小学生 14.69% 中学生 17.24% 高校生 10.89%	小学生 21.7% 中学生 32.5% 高校生 22.8%	小学生 30.2% 中学生 41.7% 高校生 31.5%	
	平成11年度学校統計調査	平成18年度 児童生徒の健康・体力： 学校保健調査		平成23年度 児童生徒の健康・体力： 学校保健調査
<b>コメント</b>				
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対し てどのような動きになっている か。)	基準値、中間評価値、直近実績値の実数値がないため、検定はできなかったが、基準値に比べ、直近実績値では、小学生で15.5ポイント、中学生で24.5ポイント、高校生で20.6ポイント虫歯のない児童生徒の割合が増加している。			
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)	データ分析にあたっては、実数値が重要であることから実数値での提供を求める必要がある。			
(3)その他データ分析に 係るコメント				
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	小学生は、目標値に達した。 中学生は、目標値に達した。 高校生は、目標値に達した。		A A A	
(5)今後の課題及び対 策の抽出	実数把握を行った後検定を行い、新たな目標値の設定を行う必要がある。			

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	歯の健康																																																																												
目標項目	6-3 むし歯のない児童生徒の割合の増加																																																																												
基準値	小学生 14.96% 参考値(14.3%) 中学生 17.24% (18.5%) 高校生 10.89% (10.8%) (平成11年度学校保健統計調査(参考値:平成11年度学校保健調査結果))																																																																												
現状値	小学生 30.2% 中学生 41.7% 高校生 31.5% (平成23年度児童生徒の健康・体力:学校保健調査)																																																																												
目標値 (平成24年度)	小学生 30%以上 中学生 30%以上 高校生 30%以上																																																																												
根拠データ	<p>* 学校保健統計調査結果:年齢別疾病・異常被患率(むし歯(う歯)%を除いたもの) (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th>高校生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成11年度</td> <td>14.96</td> <td>17.24</td> <td>10.89</td> </tr> <tr> <td>平成12年度</td> <td>17.57</td> <td>19.25</td> <td>12.24</td> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td>18.55</td> <td>27.82</td> <td>13.25</td> </tr> <tr> <td>平成14年度</td> <td>17.84</td> <td>21.99</td> <td>13.39</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 文部科学省がまとめた「平成14年度学校保健統計調査速報」の一部(青森県分)を要約した報告書から抜粋したもの。確定値の報告書から抽出したものではない。</p> <p>● 策定時の値とした「学校保健統計調査」については、都道府県データが平成16年度以降公表されなくなったので、教育委員会で所管している「学校保健調査」に切り替えた。(平成15年度健康寿命アップ計画推進委員会にて決定)</p> <p>* 学校保健調査結果:校種別う歯なし者の率(男女合計)の年次推移 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th>高校生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成11年度</td> <td>14.3</td> <td>18.5</td> <td>10.8</td> </tr> <tr> <td>平成12年度</td> <td>15.2</td> <td>20.8</td> <td>10.6</td> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td>16.4</td> <td>22.2</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>平成14年度</td> <td>17.5</td> <td>24.3</td> <td>14.9</td> </tr> <tr> <td>平成15年度</td> <td>18.6</td> <td>27.9</td> <td>18.2</td> </tr> <tr> <td>平成16年度</td> <td>20.4</td> <td>29.7</td> <td>20.9</td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>20.7</td> <td>31.1</td> <td>21.6</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>21.7</td> <td>32.5</td> <td>22.8</td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>23.2</td> <td>33.8</td> <td>25.9</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>25.7</td> <td>34.4</td> <td>26.5</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>27.1</td> <td>36.7</td> <td>26.0</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>29.1</td> <td>39.3</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>30.2</td> <td>41.7</td> <td>31.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>小学校・中学校の全生徒及び高等学校の全生徒(全日制過程及び定時制課程に在籍する満18歳以上の生徒、並びに通信制過程の生徒は除く)</p>	年度	小学生	中学生	高校生	平成11年度	14.96	17.24	10.89	平成12年度	17.57	19.25	12.24	平成13年度	18.55	27.82	13.25	平成14年度	17.84	21.99	13.39	年度	小学生	中学生	高校生	平成11年度	14.3	18.5	10.8	平成12年度	15.2	20.8	10.6	平成13年度	16.4	22.2	12.9	平成14年度	17.5	24.3	14.9	平成15年度	18.6	27.9	18.2	平成16年度	20.4	29.7	20.9	平成17年度	20.7	31.1	21.6	平成18年度	21.7	32.5	22.8	平成19年度	23.2	33.8	25.9	平成20年度	25.7	34.4	26.5	平成21年度	27.1	36.7	26.0	平成22年度	29.1	39.3	30.0	平成23年度	30.2	41.7	31.5
年度	小学生	中学生	高校生																																																																										
平成11年度	14.96	17.24	10.89																																																																										
平成12年度	17.57	19.25	12.24																																																																										
平成13年度	18.55	27.82	13.25																																																																										
平成14年度	17.84	21.99	13.39																																																																										
年度	小学生	中学生	高校生																																																																										
平成11年度	14.3	18.5	10.8																																																																										
平成12年度	15.2	20.8	10.6																																																																										
平成13年度	16.4	22.2	12.9																																																																										
平成14年度	17.5	24.3	14.9																																																																										
平成15年度	18.6	27.9	18.2																																																																										
平成16年度	20.4	29.7	20.9																																																																										
平成17年度	20.7	31.1	21.6																																																																										
平成18年度	21.7	32.5	22.8																																																																										
平成19年度	23.2	33.8	25.9																																																																										
平成20年度	25.7	34.4	26.5																																																																										
平成21年度	27.1	36.7	26.0																																																																										
平成22年度	29.1	39.3	30.0																																																																										
平成23年度	30.2	41.7	31.5																																																																										
特記事項	平成18年度中間評価改定版の結果、項目名を「むし歯のない児童生徒の割合の増加」に変更。																																																																												

評価シート

領域項目	6 歯の健康		
目標項目	6-4 1人当たりのむし歯数の減少(12歳児)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
1.5歯以下	3.1歯 <参考> 3.44歯	2.13歯	1.74歯
	平成10年度学校保健統計調査 <参考>平成10年度学校保健調査	平成18年度児童生徒の健康・体力:学校保健調査	平成23年度児童生徒の健康・体力:学校保健調査
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	基準値(参考)と比べ直近実績値では1.7歯むし歯が減っている。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント	全国との比較では、平成22年度の直近実績値1.29歯に対し0.45歯高い。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	改善傾向にはあるが、目標値に達していない。		B
(5)今後の課題及び対策の抽出	年々、減少しているが、今後もさらなる取組を進めていく必要がある。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	歯の健康																																										
目標項目	6-4 1人あたりのむし歯数の減少（12歳児）																																										
基準値	3.1歯 <参考> 3.44歯 (平成10年度学校保健統計調査) (平成10年度学校保健調査)																																										
現状値	1.74歯 (平成23年度児童生徒の健康・体力：学校保健調査)																																										
目標値 (平成24年度)	1.5歯以下																																										
根拠データ	<p>* 学校保健統計調査結果：年齢別疾病・異常被患率等 (永久歯の1人あたり平均むし歯(う歯)数)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>中学1年生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成10年度</td><td>3.1</td></tr> <tr><td>平成11年度</td><td>2.9</td></tr> <tr><td>平成12年度</td><td>2.94</td></tr> <tr><td>平成13年度</td><td>2.44</td></tr> <tr><td>平成14年度</td><td>2.72</td></tr> </tbody> </table> <p>▼</p> <p>● 策定時の値とした「学校保健統計調査」については、都道府県データが平成16年度以降公表されなくなったので、教育委員会で所管している「学校保健調査」に切り替えた。(平成15年度健康寿命アップ計画推進委員会にて決定)</p> <p>* 学校保健調査結果：12歳児永久歯の一人あたり平均う歯等数(う歯+喪失歯) (本)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>12歳児</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成10年度</td><td>3.44</td></tr> <tr><td>平成11年度</td><td>3.04</td></tr> <tr><td>平成12年度</td><td>2.85</td></tr> <tr><td>平成13年度</td><td>2.81</td></tr> <tr><td>平成14年度</td><td>2.66</td></tr> <tr><td>平成15年度</td><td>2.36</td></tr> <tr><td>平成16年度</td><td>2.31</td></tr> <tr><td>平成17年度</td><td>2.18</td></tr> <tr><td>平成18年度</td><td>2.13</td></tr> <tr><td>平成19年度</td><td>2.03</td></tr> <tr><td>平成20年度</td><td>2.00</td></tr> <tr><td>平成21年度</td><td>1.75</td></tr> <tr><td>平成22年度</td><td>1.75</td></tr> <tr><td>平成23年度</td><td>1.74</td></tr> </tbody> </table> <p>小学校・中学校の全生徒及び高等学校の全生徒(全日制過程及び定時制課程に在籍する満18歳以上の生徒、並びに通信制過程の生徒は除く)</p>	年度	中学1年生	平成10年度	3.1	平成11年度	2.9	平成12年度	2.94	平成13年度	2.44	平成14年度	2.72	年度	12歳児	平成10年度	3.44	平成11年度	3.04	平成12年度	2.85	平成13年度	2.81	平成14年度	2.66	平成15年度	2.36	平成16年度	2.31	平成17年度	2.18	平成18年度	2.13	平成19年度	2.03	平成20年度	2.00	平成21年度	1.75	平成22年度	1.75	平成23年度	1.74
年度	中学1年生																																										
平成10年度	3.1																																										
平成11年度	2.9																																										
平成12年度	2.94																																										
平成13年度	2.44																																										
平成14年度	2.72																																										
年度	12歳児																																										
平成10年度	3.44																																										
平成11年度	3.04																																										
平成12年度	2.85																																										
平成13年度	2.81																																										
平成14年度	2.66																																										
平成15年度	2.36																																										
平成16年度	2.31																																										
平成17年度	2.18																																										
平成18年度	2.13																																										
平成19年度	2.03																																										
平成20年度	2.00																																										
平成21年度	1.75																																										
平成22年度	1.75																																										
平成23年度	1.74																																										
特記事項	平成18年度中間評価改定版の結果、項目名を「一人あたりのむし歯数の減少(12歳児)」に変更。																																										



評価シート

領域項目	6 歯の健康		
目標項目	6-5 歯肉の経過観察及び治療を要する児童生徒の割合の減少(小中学生の平均)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
10%以下	18.31%	19.15% ※(小学校2.5%、中学校5.9%)	青森市21.91% 八戸市3.5% ※(小学校1.6%、中学校4.5%)
	平成13年度青森市及び八戸市の歯肉炎と歯肉炎になる可能性のある要観察及び要指導児の割合	平成17年度青森市及び八戸市の歯肉炎と歯肉炎になる可能性のある要観察及び要指導児の割合(平成19年度八戸市小中学校の割合16.72%) ※(平成19年度学校保健調査)	平成23年度青森市及び八戸市の歯肉炎と歯肉炎になる可能性のある要観察及び要指導児の割合 ※(平成23年度学校保健調査)
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	基準値に対して直近実績値は5.61ポイント低い。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	青森市と八戸市のデータだけで県としての評価を行うというのは困難であると思われる。 参考として、教育委員会所管の学校保健調査の平成19年度と平成23年度を比較すると、小学生では2.5%から1.6%と0.9ポイント、中学生では5.9%から4.9%と1.0%それぞれ減少している。		
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	中間評価時に新たに設定した指標又は把握方法が異なるため、評価が困難。		E
(5)今後の課題及び対策の抽出	歯周炎の判断は難しいものがある。 歯周炎の診断基準を明確にしたうえで、指標にすべきか検討する必要がある。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	歯の健康																																																																											
目標項目	6-5 歯肉の経過観察及び治療を要する児童生徒の割合の減少（小中学生の平均）																																																																											
基準値	18.31% （平成13年度 青森市及び八戸市の歯肉炎と歯肉炎になる可能性のある要観察及び要指導児の割合：県教育委員会資料）																																																																											
現状値	12.70% （平成23年度 青森市及び八戸市の歯肉炎と歯肉炎になる可能性のある要観察及び要指導児の割合：県教育委員会資料）																																																																											
目標値 （平成24年度）	10%以下																																																																											
根拠データ	* 青森市及び八戸市の歯肉炎と歯肉炎になる可能性のある要観察及び要指導児の割合：県教育委員会資料 （%）																																																																											
	<table border="1"> <tr> <th>年度</th> <th></th> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td>18.31</td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>19.15</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>青森市 21.91 八戸市 3.5</td> </tr> </table>	年度		平成13年度	18.31	平成17年度	19.15	平成23年度	青森市 21.91 八戸市 3.5																																																																			
	年度																																																																											
	平成13年度	18.31																																																																										
	平成17年度	19.15																																																																										
	平成23年度	青森市 21.91 八戸市 3.5																																																																										
	<参考1> 八戸市の小学校中学校の状況 人（%）																																																																											
	<table border="1"> <tr> <th>平成19年度</th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th colspan="2">小中合計</th> </tr> <tr> <td>炎症なし</td> <td>12,742</td> <td>5,317</td> <td>18,059</td> <td>83.28</td> </tr> <tr> <td>経過観察</td> <td>1,356</td> <td>1,201</td> <td>2,557</td> <td></td> </tr> <tr> <td>要治療</td> <td>474</td> <td>595</td> <td>1,069</td> <td>16.72</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14,572</td> <td>7,113</td> <td>21,685</td> <td></td> </tr> <tr> <th>平成20年度</th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th colspan="2">小中合計</th> </tr> <tr> <td>炎症なし</td> <td>12,768</td> <td>6,378</td> <td>19,146</td> <td>87.1</td> </tr> <tr> <td>経過観察</td> <td>1,209</td> <td>1,033</td> <td>2,242</td> <td></td> </tr> <tr> <td>要治療</td> <td>277</td> <td>317</td> <td>594</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>14,254</td> <td>7,728</td> <td>21,982</td> <td></td> </tr> <tr> <th>平成21年度</th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> <th colspan="2">小中合計</th> </tr> <tr> <td>炎症なし</td> <td>12,328</td> <td>6,420</td> <td>18,748</td> <td>87.47</td> </tr> <tr> <td>経過観察</td> <td>1,205</td> <td>877</td> <td>2,082</td> <td></td> </tr> <tr> <td>要治療</td> <td>292</td> <td>311</td> <td>603</td> <td>12.53</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>13,825</td> <td>7,608</td> <td>21,433</td> <td></td> </tr> </table>	平成19年度	小学生	中学生	小中合計		炎症なし	12,742	5,317	18,059	83.28	経過観察	1,356	1,201	2,557		要治療	474	595	1,069	16.72	計	14,572	7,113	21,685		平成20年度	小学生	中学生	小中合計		炎症なし	12,768	6,378	19,146	87.1	経過観察	1,209	1,033	2,242		要治療	277	317	594	12.9	計	14,254	7,728	21,982		平成21年度	小学生	中学生	小中合計		炎症なし	12,328	6,420	18,748	87.47	経過観察	1,205	877	2,082		要治療	292	311	603	12.53	計	13,825	7,608	21,433	
	平成19年度	小学生	中学生	小中合計																																																																								
	炎症なし	12,742	5,317	18,059	83.28																																																																							
経過観察	1,356	1,201	2,557																																																																									
要治療	474	595	1,069	16.72																																																																								
計	14,572	7,113	21,685																																																																									
平成20年度	小学生	中学生	小中合計																																																																									
炎症なし	12,768	6,378	19,146	87.1																																																																								
経過観察	1,209	1,033	2,242																																																																									
要治療	277	317	594	12.9																																																																								
計	14,254	7,728	21,982																																																																									
平成21年度	小学生	中学生	小中合計																																																																									
炎症なし	12,328	6,420	18,748	87.47																																																																								
経過観察	1,205	877	2,082																																																																									
要治療	292	311	603	12.53																																																																								
計	13,825	7,608	21,433																																																																									
<参考2>																																																																												
歯肉の状態が専門医（歯科医師）による診断が必要と判断された者の割合（経過観察は含まない）：学校保健調査（%）																																																																												
<table border="1"> <tr> <th>年 度</th> <th></th> <th>小学生</th> <th>中学生</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">平成19年度</td> <td>県</td> <td>2.5</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>2.2</td> <td>5.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">平成23年度</td> <td>県</td> <td>1.6</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>全国</td> <td>1.9</td> <td>4.8</td> </tr> </table>	年 度		小学生	中学生	平成19年度	県	2.5	5.9	全国	2.2	5.4	平成23年度	県	1.6	4.5	全国	1.9	4.8																																																										
年 度		小学生	中学生																																																																									
平成19年度	県	2.5	5.9																																																																									
	全国	2.2	5.4																																																																									
平成23年度	県	1.6	4.5																																																																									
	全国	1.9	4.8																																																																									
	※全国値は学校保健統計調査																																																																											
特記事項	平成18年度中間評価改定版の結果、項目名を「歯肉の経過観察及び治療を要する児童生徒の割合の減少（小中学生の平均）」に変更。																																																																											

評価シート

領域項目	6 歯の健康		
目標項目	6-6 進行した歯周炎を有する人の割合の減少		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
35～44歳 25%以下 45～54歳 31%以下 55～64歳 36%以下	35～44歳 36.36%(28.05%) 45～54歳 45.45%(30.99%) 55～64歳 52.78%(37.51%)	35～44歳 25.00% 45～54歳 51.85% 55～64歳 54.11%	35～44歳 22.73% 45～54歳 46.35% 55～64歳 53.43%
	平成11年度市町村成人 歯科健康診査及び平成 11年歯科疾患実態調査 (平成12年度歯科疾患 実態調査)	平成17年度県民健康・ 栄養調査: 歯科疾患実 態調査	平成22年度県民健康・ 栄養調査: 歯科疾患実 態調査
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対 してどのような動きになっ ているか。)	基準値と直近実績値では調査方法が異なり、比較することは困難であるため、 基準値の( )書き平成12年度歯科疾患実態調査と直近実測値の比較では、 35～44歳では優位な変化は見られなかった(片側P値=0.292)。 45～54歳では歯肉炎を有する人が有意に増えている(片側P値=0.036)。 55～64歳でも有意に増えている。(片側P値=0.014)。		
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に 係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	35～44歳は、目標値に達した。 45～54歳は、悪化した。 55～64歳は、悪化した。		A D D
(5)今後の課題及び対 策の抽出	各年代の調査客体数が年々減少している。 調査手法等の検討が必要と思われる。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	歯の健康			
目標項目	6-6 進行した歯周炎を有する人の割合の減少			
基準値	35～44歳	36.36%	(平成11年度市町村成人歯科健康調査 及び平成11年歯科疾患実態調査)	
	45～54歳	45.45%		
	55～64歳	52.78%		
基準値	35～44歳	(28.05%)	(平成12年度歯科疾患実態調査)	
	45～54歳	(30.99%)		
	55～64歳	(37.51%)		
現状値	35～44歳	22.73%	(平成22年度県民健康・栄養調査：歯科疾患実態調査)	
	45～54歳	46.35%		
	55～64歳	53.43%		
目標値 (平成24年度)	35～44歳	25%以下		
	45～54歳	31%以下		
	55～64歳	36%以下		
根拠データ	* 平成12年度歯科疾患実態調査 歯肉の所見あり、年齢階級別（5歳以上・永久歯）			
		歯周ポケット 4mm以上 6mm未満 (a)	歯周ポケット6mm 以上 (b)	計 (a+b)
	35～44歳 139人	30	9	39
	45～54歳 171人	44	9	53
	55～64歳 128人	36	12	48
	35～44歳	21.58	6.47	28.05
	45～54歳	25.73	5.26	30.99
	55～64歳	28.13	9.38	37.51
	* 平成17年度県民健康・栄養調査（歯科疾患実態調査） 歯肉の所見あり、年齢階級別（5歳以上・永久歯）			
		歯周ポケット 4mm以上 6mm未満 (a)	歯周ポケット6mm 以上 (b)	計 (a+b)
	35～44歳 52人	12	1	13
	45～54歳 54人	20	13	33
	55～64歳 68人	22	15	37
	35～44歳	23.08	1.92	25.00
	45～54歳	37.04	14.81	51.85
55～64歳	32.35	22.06	54.41	
* 平成22年度県民健康・栄養調査（歯科疾患実態調査） 歯肉の所見あり、年齢階級別（5歳以上・永久歯）				
	歯周ポケット 4mm以上 6mm未満 (a)	歯周ポケット6mm 以上 (b)	計 (a+b)	
35～44歳 22人	3	2	5	
45～54歳 41人	14	5	19	
55～64歳 73人	30	9	39	
35～44歳	13.64	9.09	22.73	
45～54歳	34.15	12.2	46.35	
55～64歳	41.1	12.33	53.43	
特記事項	平成18年度中間評価改定版の結果、項目名を「進行した歯周炎を有する人の割合の減少」に変更。			

評価シート

領域項目	6 歯の健康					
目標項目	6-7 20歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加(75~84歳) 24歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加(55~64歳)					
目標値	基準値		中間評価		直近実績値	
75~84歳 20%以上 55~64歳 50%以上	75~84歳 18.18%	55~64歳 40.30%	75~84歳 7.7%	55~64歳 44.1%	75~84歳 22.0%	55~64歳 37.0%
	平成11年度市町村成人 歯科健康診査及び平成 11年歯科疾患実態調査		平成17年度県民健康・ 栄養調査: 歯科疾患実 態調査		平成22年度県民健康・ 栄養調査: 歯科疾患実 態調査	
	<b>コメント</b>					
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対し てどのような動きになっている か。)	基準値と直近実績値では調査方法が異なる為、比較することは困難であるため、中間評価値と比較したところ、 75~84歳で20歯以上自分の歯を有する人の割合は、有意に増加した(片側P値=0.019)。 55~64歳で24歯以上自分の歯を有する人の割合は、有意な変化はみられなかった(片側P値=0.195)。					
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)						
(3)その他データ分析に 係るコメント						
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	75~84歳は、目標値に達した。 55~64歳は、変わらない。				A C	
(5)今後の課題及び対 策の抽出	55~64歳の喪失歯の予防をどのように取り組むかが課題である。					

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	歯の健康																																																									
目標項目	6-7 20 歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加 (75~84 歳) 24 歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加 (55~64 歳)																																																									
基準値	75~84 歳	18.18%																																																								
	55~64 歳	40.30%																																																								
	(平成11年度市町村成人歯科健康調査及び平成11年歯科疾患実態調査)																																																									
現状値	75~84 歳	22.0%																																																								
	55~64 歳	37.0%																																																								
	(平成22年度県民健康・栄養調査：歯科疾患実態調査)																																																									
目標値 (平成24年度)	75~84 歳	20%以上																																																								
	55~64 歳	50%以上																																																								
根拠データ	<p>平成17年度歯科疾患実態調査から(実施数432人:男性184人、女性:234人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">男女計</th> <th rowspan="2">総数(人)</th> <th colspan="2">現在歯</th> <th rowspan="2">割合</th> </tr> <tr> <th>24歯以上</th> <th>20歯以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55~59歳</td> <td>34</td> <td>19</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60~64歳</td> <td>34</td> <td>11</td> <td></td> <td>44.1</td> </tr> <tr> <td>75~79歳</td> <td>28</td> <td></td> <td>3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80~84歳</td> <td>11</td> <td></td> <td>0</td> <td>7.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成22年度歯科疾患実態調査結果(実施数319人:男性124人、女性195人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">男女計</th> <th rowspan="2">総数(人)</th> <th colspan="2">現在歯</th> <th rowspan="2">割合</th> </tr> <tr> <th>24歯以上</th> <th>20歯以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55~59歳</td> <td>33</td> <td>16</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>60~64歳</td> <td>40</td> <td>11</td> <td></td> <td>37.0</td> </tr> <tr> <td>75~79歳</td> <td>34</td> <td></td> <td>6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>80~84歳</td> <td>25</td> <td></td> <td>7</td> <td>22.0</td> </tr> </tbody> </table>				男女計	総数(人)	現在歯		割合	24歯以上	20歯以上	55~59歳	34	19			60~64歳	34	11		44.1	75~79歳	28		3		80~84歳	11		0	7.7	男女計	総数(人)	現在歯		割合	24歯以上	20歯以上	55~59歳	33	16			60~64歳	40	11		37.0	75~79歳	34		6		80~84歳	25		7	22.0
男女計	総数(人)	現在歯		割合																																																						
		24歯以上	20歯以上																																																							
55~59歳	34	19																																																								
60~64歳	34	11		44.1																																																						
75~79歳	28		3																																																							
80~84歳	11		0	7.7																																																						
男女計	総数(人)	現在歯		割合																																																						
		24歯以上	20歯以上																																																							
55~59歳	33	16																																																								
60~64歳	40	11		37.0																																																						
75~79歳	34		6																																																							
80~84歳	25		7	22.0																																																						
特記事項	平成18年度中間評価改定版の結果、項目名を「20 歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加」(75~84 歳)及び「24 歯以上の自分の歯を有する人の割合の増加」(55~64 歳)に変更。																																																									

評価シート

領域項目	6 歯の健康		
目標項目	6-9 フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の割合の増加		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
3歳児 40%以上	29.0% (27.9%)	34.9%	48.3%
	平成13年度青森市・弘前市・八戸市の3歳児歯科健康診査 (平成13年度幼児間食摂取状況等調査)	平成18年度幼児間食摂取状況等調査	平成22年度幼児間食摂取状況等調査
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	直近実績値は基準値と比較すると有意に増加した(片側P値<0.001)。なお、検定に当たっては、n=3歳児健診受診数(フッ化物歯面塗布あり+なし+わからない+無回答)として計算した。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント	全国の目標値は50%以上としており、平成21年国民健康・栄養調査の直近実績値では64%と目標を達成している。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	目標値に達した。		A
(5)今後の課題及び対策の抽出	例えば、過去6ヶ月の間にフッ化物歯面塗布を受けているかどうかを問う設問にした方が実態を捉えているのではないか。 目標値は達成したが、さらなる努力が必要である。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	歯の健康																																																																																																			
目標項目	6-9 フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の割合の増加																																																																																																			
基準値	3歳児 29.0% (平成13年度青森市・弘前市・八戸市の3歳児歯科健康診査)																																																																																																			
	(27.9%) (平成13年度幼児間食摂取状況等調査結果)																																																																																																			
現状値	3歳児 48.3% (平成22年度幼児間食摂取状況等調査)																																																																																																			
目標値 (平成24年度)	3歳児 40%以上																																																																																																			
根拠データ	<p>* 幼児間食摂取状況等調査結果 (3歳児)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">3歳児</th> </tr> <tr> <th>受診者数</th> <th>ある</th> <th>ない</th> <th>わからない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成13年度</td> <td>7,388</td> <td>2,062</td> <td>5,178</td> <td>49</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>11,118</td> <td>3,879</td> <td>6,777</td> <td>258</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>9,787</td> <td>4,728</td> <td>4,898</td> <td>103</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td>100.0</td> <td>27.9</td> <td>70.1</td> <td>0.7</td> <td>1.3</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>100.0</td> <td>34.9</td> <td>61.0</td> <td>2.3</td> <td>1.8</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>100.0</td> <td>48.3</td> <td>50.0</td> <td>1.1</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;参考&gt;1歳6ヶ月児</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数</th> <th>ある</th> <th>ない</th> <th>わからない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成13年度</td> <td>6,742</td> <td>430</td> <td>6,165</td> <td>33</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>10,019</td> <td>929</td> <td>8,574</td> <td>178</td> <td>338</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>9,234</td> <td>1,235</td> <td>7,805</td> <td>153</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td>100.0</td> <td>6.4</td> <td>91.4</td> <td>0.5</td> <td>1.7</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>100.1</td> <td>10.0</td> <td>84.9</td> <td>1.8</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>100.0</td> <td>13.4</td> <td>84.5</td> <td>1.7</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>設問：フッ化物歯面塗布をうけたことがあるか</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="5">お子さんは、これまでむし歯予防のために歯科医院等で「フッ化物歯面塗布」を受けたことがありますか。</td> </tr> <tr> <td>1 ある</td> <td>2 ない</td> <td>3 わからない</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table> <p>* 基準値のデータが総受診者数に対する割合で算出していることから、検定に当たってもn＝総受診者数として算出した。</p>		3歳児					受診者数	ある	ない	わからない	無回答	平成13年度	7,388	2,062	5,178	49	99	平成18年度	11,118	3,879	6,777	258	204	平成22年度	9,787	4,728	4,898	103	58	平成13年度	100.0	27.9	70.1	0.7	1.3	平成18年度	100.0	34.9	61.0	2.3	1.8	平成22年度	100.0	48.3	50.0	1.1	0.6		受診者数	ある	ない	わからない	無回答	平成13年度	6,742	430	6,165	33	114	平成18年度	10,019	929	8,574	178	338	平成22年度	9,234	1,235	7,805	153	41	平成13年度	100.0	6.4	91.4	0.5	1.7	平成18年度	100.1	10.0	84.9	1.8	3.4	平成22年度	100.0	13.4	84.5	1.7	0.4	お子さんは、これまでむし歯予防のために歯科医院等で「フッ化物歯面塗布」を受けたことがありますか。					1 ある	2 ない	3 わからない		
			3歳児																																																																																																	
受診者数		ある	ない	わからない	無回答																																																																																															
平成13年度	7,388	2,062	5,178	49	99																																																																																															
平成18年度	11,118	3,879	6,777	258	204																																																																																															
平成22年度	9,787	4,728	4,898	103	58																																																																																															
平成13年度	100.0	27.9	70.1	0.7	1.3																																																																																															
平成18年度	100.0	34.9	61.0	2.3	1.8																																																																																															
平成22年度	100.0	48.3	50.0	1.1	0.6																																																																																															
	受診者数	ある	ない	わからない	無回答																																																																																															
平成13年度	6,742	430	6,165	33	114																																																																																															
平成18年度	10,019	929	8,574	178	338																																																																																															
平成22年度	9,234	1,235	7,805	153	41																																																																																															
平成13年度	100.0	6.4	91.4	0.5	1.7																																																																																															
平成18年度	100.1	10.0	84.9	1.8	3.4																																																																																															
平成22年度	100.0	13.4	84.5	1.7	0.4																																																																																															
お子さんは、これまでむし歯予防のために歯科医院等で「フッ化物歯面塗布」を受けたことがありますか。																																																																																																				
1 ある	2 ない	3 わからない																																																																																																		
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度中間評価改定の結果、項目名を「フッ化物歯面塗布を受けたことのある幼児の割合の増加」に変更。</li> <li>基準値のデータを当初は青森市と八戸市の3歳児健康診査結果を使用していたが、現状値と比較するため同様のデータを活用した。</li> </ul>																																																																																																			



評価シート

領域項目	6 歯の健康		
目標項目	6-10 間食として甘味食品を頻回摂取する幼児の割合の減少		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
1歳6ヶ月児 20%以下	27.3%	24.3%	21.6%
	平成13年度幼児間食摂取状況等調査	平成18年度幼児間食摂取状況等調査	平成22年度幼児間食摂取状況等調査
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	基準値に対して直近実績値は有意に減少した(片側P値<0.001)。なお、検定に当たっては、n=1歳6ヶ月児健診受診数(甘味食品3回以上飲食する習慣あり+なし+無回答)として計算した。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	改善傾向にはあるが、目標値に達していない。		B
(5)今後の課題及び対策の抽出	保護者等の認識を確認する設問である。		

健康あおもり 2.1 現状値の推移																																																																							
領域	歯の健康																																																																						
目標項目	6-10 間食として甘味食品を頻回摂取する幼児の割合の減少																																																																						
基準値	1歳6ヶ月児 27.3% (平成13年度幼児間食摂取状況等調査)																																																																						
現状値	1歳6ヶ月児 21.6% (平成22年度幼児間食摂取状況等調査)																																																																						
目標値 (平成24年度)	1歳6ヶ月児 20%以下																																																																						
根拠データ	<p>* 甘味食品を3回以上飲食する習慣 (1歳6ヶ月児)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数</th> <th>ある</th> <th>ない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成13年度</td> <td>6,742</td> <td>1,840</td> <td>4,445</td> <td>457</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>10,019</td> <td>2,431</td> <td>7,238</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>9,234</td> <td>1,993</td> <td>7,178</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td>100.0</td> <td>27.3</td> <td>65.9</td> <td>6.8</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>100.0</td> <td>24.3</td> <td>72.2</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>100.0</td> <td>21.6</td> <td>77.7</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;参考&gt;3歳児</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数</th> <th>ある</th> <th>ない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成13年度</td> <td>7,388</td> <td>2,587</td> <td>4,270</td> <td>531</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>11,118</td> <td>3,074</td> <td>7,837</td> <td>207</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>9,787</td> <td>2,628</td> <td>7,095</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td>100.0</td> <td>35</td> <td>57.8</td> <td>7.2</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>100.0</td> <td>27.6</td> <td>70.5</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>100.0</td> <td>26.9</td> <td>72.4</td> <td>0.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>質問項目 甘味食品を3回以上飲食する習慣</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>お子さんは、間食として甘味食品・甘味飲料を1日3回以上、飲食する習慣がありますか。</p> <p>1 はい                      2 いいえ</p> </div> <p>* 基準値のデータが総受診者数に対する割合で算出していることから、検定に当たってもn=総受診者数として算出した。</p>		受診者数	ある	ない	無回答	平成13年度	6,742	1,840	4,445	457	平成18年度	10,019	2,431	7,238	350	平成22年度	9,234	1,993	7,178	63	平成13年度	100.0	27.3	65.9	6.8	平成18年度	100.0	24.3	72.2	3.5	平成22年度	100.0	21.6	77.7	0.7		受診者数	ある	ない	無回答	平成13年度	7,388	2,587	4,270	531	平成18年度	11,118	3,074	7,837	207	平成22年度	9,787	2,628	7,095	64	平成13年度	100.0	35	57.8	7.2	平成18年度	100.0	27.6	70.5	1.9	平成22年度	100.0	26.9	72.4	0.7
	受診者数	ある	ない	無回答																																																																			
平成13年度	6,742	1,840	4,445	457																																																																			
平成18年度	10,019	2,431	7,238	350																																																																			
平成22年度	9,234	1,993	7,178	63																																																																			
平成13年度	100.0	27.3	65.9	6.8																																																																			
平成18年度	100.0	24.3	72.2	3.5																																																																			
平成22年度	100.0	21.6	77.7	0.7																																																																			
	受診者数	ある	ない	無回答																																																																			
平成13年度	7,388	2,587	4,270	531																																																																			
平成18年度	11,118	3,074	7,837	207																																																																			
平成22年度	9,787	2,628	7,095	64																																																																			
平成13年度	100.0	35	57.8	7.2																																																																			
平成18年度	100.0	27.6	70.5	1.9																																																																			
平成22年度	100.0	26.9	72.4	0.7																																																																			
特記事項	<p>・平成18年度中間評価改定の結果、項目名を「間食として甘味食品を頻回摂取する幼児の割合の減少」に変更。</p>																																																																						

評価シート

領域項目	6 歯の健康		
目標項目	6-11 間食に時間を決めている幼児の割合の増加		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
1歳6ヶ月児 70%	50.66% (53.1%)	63.5%	70.3%
	平成12年度 青森市・弘前市・八戸市 1歳6ヶ月児健診 (平成13年度幼児間食摂 取状況等調査)	平成18年度幼児間食摂取 状況等調査	平成22年度幼児間食摂取 状況等調査
	コメント		
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対し てどのような動きになっている か。)	基準値( )書きの平成13年度幼児間食摂取状況調査と直近実績値との比較 では有意に増加した(片側P値<0.001)。 なお、検定に当たっては、n=1歳6ヶ月児健診受診数(間食に時間を決めて いる+いない+無回答)として計算した。		
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。			
(3)その他データ分析に 係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	目標値に達した。		A
(5)今後の課題及び対 策の抽出	保護者等がいかの間食の時間を決めて与えているかを意識付けさせるかを 問う設問にするべきである。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	歯の健康																																																																						
目標項目	6-11 間食に時間を決めている幼児の割合の増加																																																																						
基準値	1歳6ヶ月児 50.66% (平成12年度青森市・弘前市・八戸市1歳6ヶ月児健診) (53.1%) (平成13年度幼児間食摂取状況等調査)																																																																						
現状値	1歳6ヶ月児 70.3% (平成22年度幼児間食摂取状況等調査)																																																																						
目標値 (平成24年度)	1歳6ヶ月児 70%以上																																																																						
根拠データ	<p>* 間食を与える時間を決めている (1歳6ヶ月児)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数</th> <th>いる</th> <th>いない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成13年度</td> <td>6,742</td> <td>3,581</td> <td>3,133</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>10,019</td> <td>6,363</td> <td>3,321</td> <td>335</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>9,234</td> <td>6,488</td> <td>2,710</td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td>100.0</td> <td>53.1</td> <td>46.5</td> <td>0.4</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>100.0</td> <td>63.5</td> <td>33.2</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>100.0</td> <td>70.3</td> <td>29.3</td> <td>0.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;参考&gt;3歳児</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>受診者数</th> <th>ある</th> <th>ない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成13年度</td> <td>7,388</td> <td>4,069</td> <td>3,138</td> <td>181</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>11,118</td> <td>6,897</td> <td>4,039</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>9,787</td> <td>6,538</td> <td>3,200</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td>100.0</td> <td>55.1</td> <td>42.5</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>99.9</td> <td>62.0</td> <td>36.3</td> <td>1.6</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>100.0</td> <td>66.8</td> <td>32.7</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>質問項目 間食を与える時間を決めている お子さんは、間食を与える時刻を、だいたい決めていますか。 1 はい                      2 いいえ</p> <p>* 基準値のデータが総受診者数に対する割合で算出していることから、検定に当たっても n = 総受診者数として算出した。</p>		受診者数	いる	いない	無回答	平成13年度	6,742	3,581	3,133	28	平成18年度	10,019	6,363	3,321	335	平成22年度	9,234	6,488	2,710	46	平成13年度	100.0	53.1	46.5	0.4	平成18年度	100.0	63.5	33.2	3.3	平成22年度	100.0	70.3	29.3	0.4		受診者数	ある	ない	無回答	平成13年度	7,388	4,069	3,138	181	平成18年度	11,118	6,897	4,039	182	平成22年度	9,787	6,538	3,200	49	平成13年度	100.0	55.1	42.5	2.4	平成18年度	99.9	62.0	36.3	1.6	平成22年度	100.0	66.8	32.7	0.5
	受診者数	いる	いない	無回答																																																																			
平成13年度	6,742	3,581	3,133	28																																																																			
平成18年度	10,019	6,363	3,321	335																																																																			
平成22年度	9,234	6,488	2,710	46																																																																			
平成13年度	100.0	53.1	46.5	0.4																																																																			
平成18年度	100.0	63.5	33.2	3.3																																																																			
平成22年度	100.0	70.3	29.3	0.4																																																																			
	受診者数	ある	ない	無回答																																																																			
平成13年度	7,388	4,069	3,138	181																																																																			
平成18年度	11,118	6,897	4,039	182																																																																			
平成22年度	9,787	6,538	3,200	49																																																																			
平成13年度	100.0	55.1	42.5	2.4																																																																			
平成18年度	99.9	62.0	36.3	1.6																																																																			
平成22年度	100.0	66.8	32.7	0.5																																																																			
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年度中間評価改定の結果、項目名を「間食に時間を決めている幼児の割合の増加」に変更。</li> <li>検定に当たって、基準値下段に平成13年度の幼児間食摂取状況調査を記載した。</li> </ul>																																																																						

評価シート

領域項目	6 歯の健康		
目標項目	6-12 毎日2回以上歯磨きをする人の割合の増加		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
80%以上	57.76% (67.2%)	73.31%	75.55%
	平成11年度市町村成人 歯科健康調査及び平成 11年歯科疾患実態調査 (平成12年度歯科疾患 実態調査)	平成17年度県民健康・ 栄養調査: 歯科疾患実 態調査	平成22年度県民健康・ 栄養調査: 歯科疾患実 態調査
	コメント		
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対し てどのような動きになっている か。)	基準値と直近実績値では調査方法が異なる為、基準値( )書きの平成12年 度歯科疾患実態調査と直近実績値との比較では有意に増加した。(片側P値 =0.001) なお、検定に当たっては、n=総数(毎日歯磨きする人+時々磨く+磨かない) として計算した。		
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に 係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	改善傾向にはあるが、目標値に達していない。		B
(5)今後の課題及び対 策の抽出	調査客体数が年々減少している。 調査手法等の検討が必要と思われる。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	歯の健康																																																					
目標項目	6-12 毎日2回以上歯磨きをする人の割合の増加																																																					
基準値	57.76% (平成11年度市町村成人歯科健康調査及び平成11年歯科疾患実態調査)																																																					
	(67.2%) (平成12年度歯科疾患実態調査)																																																					
現状値	75.55% (平成22年度県民健康・栄養調査：歯科疾患実態調査)																																																					
目標値 (平成24年度)	80%以上																																																					
根拠データ	<p>* 青森県歯科疾患実態調査：歯ブラシの使用状況 単位（上段：人 下段：%）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">毎日磨く</th> <th rowspan="2">時々磨く</th> <th rowspan="2">磨かない</th> </tr> <tr> <th>計</th> <th>1回</th> <th>2回</th> <th>3回以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成12年度</td> <td>1,456</td> <td>429</td> <td>676</td> <td>351</td> <td>62</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>総数1,528人</td> <td>95.28</td> <td>28.07</td> <td>44.24</td> <td>22.97</td> <td>4.05</td> <td>0.66</td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>417</td> <td>101</td> <td>211</td> <td>105</td> <td>12</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>総数431人</td> <td>96.74</td> <td>23.43</td> <td>48.95</td> <td>24.36</td> <td>2.78</td> <td>0.46</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>311</td> <td>70</td> <td>153</td> <td>88</td> <td>5</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>総数319人</td> <td>97.49</td> <td>21.94</td> <td>47.96</td> <td>27.59</td> <td>1.57</td> <td>0.94</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">H22年度 75.55%</p> <p>なお、検定に当たっては、n＝総数（毎日歯磨きする人＋時々磨く＋磨かない）として計算した。</p>		毎日磨く				時々磨く	磨かない	計	1回	2回	3回以上	平成12年度	1,456	429	676	351	62	10	総数1,528人	95.28	28.07	44.24	22.97	4.05	0.66	平成17年度	417	101	211	105	12	2	総数431人	96.74	23.43	48.95	24.36	2.78	0.46	平成22年度	311	70	153	88	5	3	総数319人	97.49	21.94	47.96	27.59	1.57	0.94
	毎日磨く				時々磨く	磨かない																																																
	計	1回	2回	3回以上																																																		
平成12年度	1,456	429	676	351	62	10																																																
総数1,528人	95.28	28.07	44.24	22.97	4.05	0.66																																																
平成17年度	417	101	211	105	12	2																																																
総数431人	96.74	23.43	48.95	24.36	2.78	0.46																																																
平成22年度	311	70	153	88	5	3																																																
総数319人	97.49	21.94	47.96	27.59	1.57	0.94																																																
特記事項	平成18年度中間評価改定の結果、項目名を「毎日2回以上歯磨きする人の割合の増加」に変更。																																																					

評価シート

領域項目	6 歯の健康					
目標項目	6-13 歯間部清掃用器具を使用する人の割合の増加					
目標値	基準値		中間評価		直近実績値	
30～39歳 35%以上	30～39歳	23.9%	30～39歳	25.5%	30～39歳	25.7%
40～49歳 40%以上	40～49歳	21.9%	40～49歳	30.4%	40～49歳	28.1%
50～59歳 45%以上	50～59歳	20.2%	50～59歳	22.3%	50～59歳	30.2%
	平成13年度健康行動・健康習慣調査		平成17年度県民健康・栄養調査：歯科疾患実態調査		平成22年度県民健康・栄養調査：歯科疾患実態調査	
	コメント					
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値が基準値に対してどのような動きになっているか。)	基準値と直近実績値の比較では、 30～39歳では、有意な変化はみられなかった(片側P値=0.382)。 40～49歳では、有意な変化はみられなかった(片側P値=0.120)。 50～59歳では有意に増加した(片側P値=0.019)。					
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)						
(3)その他データ分析に係るコメント						
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	30～39歳は、変わらない。 40～49歳は、変わらない。 50～59歳は、変わらない。				C C C	
(5)今後の課題及び対策の抽出	目標達成のためには、歯科衛生士等による専門的なアプローチが必要である。					

健康あおもり 2 1 現状値の推移

領域	歯の健康											
目標項目	6-13 歯間部清掃用器具を使用する人の割合の増加											
基準値	30～39歳	23.9%										
	40～49歳	21.9%										
	50～59歳	20.2% (平成13年度健康行動・健康習慣調査)										
現状値	30歳代	25.7%										
	40歳代	28.1%										
	50歳代	30.2% (平成22年度県民健康・栄養調査：生活習慣調査)										
目標値 (平成24年度)	30～39歳	35%以上										
	40～49歳	40%以上										
	50～59歳	45%以上										
根拠データ	* 平成13年度健康行動・健康習慣調査 (問12) (%)											
		総数	1～5歳	6～11歳	12～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～
	使用している	15.4	4.5	8.8	17.1	10.7	10.7	23.9	21.9	20.2	12.8	11.9
	使用していない	80.2	88.1	82.4	73.2	80.5	80.5	72.8	76.7	77.9	83.3	82.2
	未記入	4.4	7.5	8.8	9.8	8.7	8.7	3.3	1.4	2.0	3.9	5.9
	質問項目 あなたは、歯間ブラシや糸ようじを使用して歯磨きをしていますか。 該当する番号に○をつけてください。 * 歯ブラシ以外の歯の清掃器具の利用状況をおたずねします。 1 使用している 2 使用していない											
	* 平成17年度県民健康・栄養調査 (生活習慣調査)											
		総数	1～5歳	6～11歳	12～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～
	使用している	207	4	11	6	2	14	38	42	35	36	19
	使用していない	849	56	70	38	58	63	99	92	116	104	153
未記入	48	3	4	0	1	4	12	4	6	6	8	
使用している	18.8	6.3	12.9	13.6	3.3	17.3	25.5	30.4	22.3	24.7	10.6	
使用していない	76.9	88.9	82.4	86.4	95.1	77.8	66.4	66.7	73.9	71.2	85.0	
未記入	4.3	4.8	4.7	0.0	1.6	4.9	8.1	2.9	3.8	4.1	4.4	
質問項目 あなたは、歯間ブラシや糸ようじを使用して歯磨きをしていますか。 該当する番号に○をつけてください。 1 使用している 2 使用していない												
* 平成22年度県民健康・栄養調査 (生活習慣調査)												
	総数	1～5歳	6～11歳	12～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	
使用している	191	6	11	2	1	7	19	32	38	31	44	
使用していない	698	25	39	25	27	45	55	82	87	114	199	
未記入	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
使用している	21.4	19.4	22.0	7.4	3.6	13.5	25.7	28.1	30.2	21.4	18.0	
使用していない	78.3	80.6	78.0	95.6	96.4	86.5	74.3	71.9	69.0	78.6	81.6	
未記入	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.4	
特記事項	平成18年度中間評価改定版の結果、出典を変更し、出典の変更に伴い以下のように変更した。 変更前 ・項目名 歯間部清掃用器具を使用する人の割合 ・年齢区分 35～44歳 35%以上 45～54歳 40%以上 変更後 ・項目名 歯間部清掃用器具を使用する人の割合の増加 ・年齢区分 30～39歳 35%以上 40～49歳 40%以上											



評価シート

領域項目	6 歯の健康		
目標項目	6-14 定期的に歯科健康診査のために歯科医療機関を受診する人の割合		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
30%以上	15.6%	19.0%	17.4%
	平成11年度 事業所歯科健康診査	平成17年度県民健康・ 栄養調査：歯科疾患実 態調査	平成22年度県民健康・ 栄養調査：歯科疾患実 態調査
	コメント		
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値が基準値に対し てどのような動きになっている か。)	基準値と直近実績値では調査方法が異なる為、比較することは困難であるため、中間評価値と比較してみたが、有意な変化は認められない(片側P値=0.287)。		
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。			
(3)その他データ分析に 係るコメント	「定期的な歯科健康診査」あるいは「歯科医療機関での定期健診」どちらを主とするか確認する際、迷うような項目となっている。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	変わらない。		C
(5)今後の課題及び対 策の抽出	歯周病予防の重要性を踏まえて項目や調査対象を決める必要がある。		

健康あおり 2.1 現状値の推移

領域	歯の健康												
目標項目	6-14 定期的に歯科健康診査のために歯科医療機関を受診する人の割合												
基準値	15.6% (平成11年度事業所歯科健康診査：県歯科医師会提供)												
現状値	17.4% 小学生 40.0%      小学生は6～11歳 中学生 37.0%      中学生は12～14歳 高校生 21.4%      高校生は15～19歳 成人 14.0% (平成22年度県民健康・栄養調査：生活習慣調査)												
目標値 (平成24年度)	30%以上												
根拠データ	* 平成17年度県民健康・栄養調査 (生活習慣調査)												
		総数	1～5歳	6～11歳	12～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	再掲20歳以上
	受診している	210	18	35	12	13	12	19	30	28	24	19	132
	受診していない	848	42	47	32	47	64	118	103	123	117	155	680
	未記入	46	3	3	0	1	5	12	5	6	5	6	39
	受診している	19.0	28.6	41.2	27.3	21.3	14.8	12.8	21.7	17.8	16.4	10.6	15.5
	受診していない	76.8	66.7	55.3	72.7	77.0	79.0	79.2	74.6	78.3	80.1	86.1	79.9
	未記入	4.2	4.8	3.5	0.0	1.6	6.2	8.1	3.6	3.8	3.4	3.3	4.6
	質問項目	あなたは、定期的に歯科を受診していますか。 該当する番号に○をつけてください。 * 1年間に於ける歯科の定期健診受診状況についておたずねします。 ただし、乳幼児歯科健診、妊婦歯科健診、学校歯科健診、企業歯科健診は除きます。 1 受診している                                  2 受診していない											
	* 平成22年度県民健康・栄養調査 (生活習慣調査)												
	総数	1～5歳	6～11歳	12～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	再掲20歳以上	
受診している	155	13	20	10	6	7	5	26	14	24	30	106	
受診していない	734	18	30	17	22	45	69	88	112	121	212	647	
未記入	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
受診している	17.4	41.9	40.0	37.0	21.4	13.5	6.8	22.8	11.1	16.6	12.3	14.0	
受診していない	82.4	58.1	60.0	63.0	78.6	86.5	93.2	77.2	88.9	83.4	86.9	85.7	
未記入	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.3	
特記事項	平成18年度中間評価改定版の結果、項目名を「定期的に歯科健康診査のために歯科医療機関を受診する人の割合」に変更。												

# 糖尿病

評価シート

領域項目	7 糖尿病 8 循環器病		
目標項目	7-3 糖尿病にかかわる健診の促進（健診受診者の増加） ※参考値扱い（8-10）		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
517,000人以上	344,600人	371,241人	※参考値 85,021人
	平成10年度 基本健康診査受診者、労働安全衛生規則に基づく報告、政府所管健康保険生活習慣病予防健診、全国労働衛生団体連合会の健診、国民健康保険保険者の健康診査の合計	平成17年度 基本健康診査受診者、労働安全衛生規則に基づく報告、政府所管健康保険生活習慣病予防健診、全国労働衛生団体連合会の健診、国民健康保険保険者の健康診査の合計	平成22年度特定健康診査・特定保健指導実施状況（市町村国保分）
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○平成20年度から、特定健診・特定保健指導が導入され、調査データソースが変わったため、基準値との比較はできない。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○比較するためには、目標値設定が実数となっているが、健診受診率とした方がよい。 ○特定健診等のデータについては、平成20年度は医療保険者別・都道府県別データが公表されているが、21、22年度は市町村国保分のみが公表されている。		
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○新たな制度の導入により、対象者も変わったため評価は困難。		E
(5)今後の課題及び対策の抽出	○市町村国保以外のデータ収集方法を検討するとともに、比較検討可能な指標の設定が必要。		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	糖尿病								
目標項目	7-3 糖尿病にかかわる健診の促進（健診受診者の増加） ※参考値（8-10）								
基準値	平成10年度基本健康診査受診者数				149,749人				
	平成10年度労働安全衛生法に基づく報告（50人以上の事業所）				103,481人				
	平成11年度政府管掌健康保険生活習慣病予防健診				35,000人弱				
	平成11年度全国労働衛生団体連合会の健診				56,633人				
	計 344,600人								
現状値	平成20年度特定健康診査受診者数				198,564人				
	(平成22年度特定健康診査受診者数（市町村国保分）				85,021人)				
目標値 (平成24年)	517,000人以上								
根拠データ						職域健診			
	基本健康診査：注1	国民健康保険保険者の保健事業における健康診査（国保特別会計分）：注2			労働安全衛生規則第52条に基づく報告：注3	青森総合健診センター事業所定期健康診断：注4	政府管掌健康保険生活習慣病予防健診：注5	全国労働衛生団体連合会の健診：注6	
					計	計	計	計	
	計	基本健康診査	総合健診	人間ドック	計	計	計	計	
	10年度	149,479	/	/	/	103,481	/	36,670	64,112
	11年度	151,772	/	/	/	111,690	33,556	40,852	56,633
	12年度	153,497	8,657	34	6,799	113,312	32,607	42,886	56,154
	13年度	154,563	7,486	27	8,145	119,892	32,126	43,277	47,219
	14年度	155,575	6,877	22	7,921	116,931	32,703	45,036	49,780
	15年度	158,116	7,961	27	8,983	114,725	31,705	43,050	43,276
	16年度	153,900	7,578	0	10,261	118,718	31,950	43,411	43,357
	17年度	154,454	4,002	1064	9,521	118,679	32,921	44,776	41,875
	18年度	/	14,499	-	-	118,416	33,162	48,610	40,839
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 注1：基本健康診査健康診査結果報告集計表：健康診査データ集計システム</li> <li>● 注2：国民健康保険保険者の保健事業における健康診査実施状況に関する調べ：高齢福祉保険課 平成18年度は、人間ドック等総合的に複数の検診を行っている場合、基本健康診査等の各検査に振り分けられ、それぞれにカウントされることから、基本健康診査の数を計上している。</li> <li>● 注3：労働安全衛生規則第52条（健康診断結果報告）に基づく報告（年単位）：青森労働局 常時50人以上の労働者を使用する事業者は健康診断を行った時は定期健康診断報告書を所轄労働基準監督署に提出しなければならない。</li> <li>● 注4：事業所定期健康診断：青森県総合健診センター 事業所従業員を対象に実施している健診の中で、血糖検査を含むCコースの受診者数 Cコース内容：身長、体重、視力、聴力、胸部X線、血圧、尿、聴打診、心電図、貧血、肝機能、血中脂質、血糖</li> <li>● 注5：政府管掌健康保険生活習慣病予防健診：青森社会保険事務局 対象：40歳以上の被保険者及び被扶養配偶者並びに35歳以上40歳未満の者で生活習慣改善指導を受けることを希望する被保険者 平成10年度から平成13年度の数是一般健診＋日帰り人間ドックの計、平成14年度は日帰り人間ドックが休止となり一般健診のみ計上。</li> <li>● 注6：全国労働衛生団体連合会の健診：（財）全日本労働福祉協会青森健診センター実施分を計上している。</li> </ul>								
	平成20年度特定健康診査・特定保健指導実施状況								
						男性	女性	合計	
	青森県合計（全保険者分）					101,864	96,700	198,564	
	○特定健康診査・特定保健指導実施状況（厚生労働省 市町村国保分のみ）								
			平成21年度			平成22年度			
	対象人数	受診者数		対象人数	受診者数				
全国	22,519,423	7,073,811		22,419,244	7,169,761				
青森県	306,701	83,923		301,682	85,021				
特記事項	<p>平成18年度改定の結果、項目名「糖尿病にかかわる検診の促進（検診受診者の増加）」より変更 平成20年度から、特定健診・特定保健指導が導入され、対象者が変わった。比較が困難。</p> <p>平成21、22年度の実績値において、市町村国保以外の保険者については、都道府県別実施率が公表されていない。</p>								

評価シート

領域項目	7 糖尿病 8 循環器		
目標項目	7-4 糖尿病にかかわる健診受診後の事後指導の促進(異常所見者事後指導受診率の増加) ※参考値扱い (8-10)		
目標値	基準値	中間評価値	直近実績値
100%	54.4%	71.9%	※参考値 32.4%
	平成10年度基本健康診査後の生活習慣改善指導実施率	平成16年度老人保健事業実績補足調書	平成22年度特定健康診査・特定保健指導実施状況(市町村国保分)
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○平成20年度から、特定健診・特定保健指導が導入され、調査データソースが変わったため、基準値との比較はできない。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○目標値設定が実数となっている。健診受診率とした方がよい。 ○特定健診等のデータについては、平成20年度は医療保険者別・都道府県別データが公表されているが、21、22年度は市町村国保分のみが公表されている。		
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○新たな制度の導入により、対象者も変わったため評価は困難。		E
(5)今後の課題及び対策の抽出	○特定健診・特定保健指導の課題を分析した上での対応が必要。 ○市町村国保以外のデータ収集方法を検討するとともに、比較検討可能な指標の設定が必要。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	糖尿病																																																																																																														
目標項目	7-4 糖尿病にかかわる健診受診後の事後指導の促進（異常所見者事後指導受診率の増加） ※参考値（8－10）																																																																																																														
基準値	54.4% (平成10年度基本健康診査後の生活習慣改善指導実施率)																																																																																																														
現状値	9.8%（積極的支援及び動機づけ支援終了者） (平成20年度特定健康診査・特定保健指導実施状況) (32.4%（積極的支援及び動機づけ支援終了者）) (平成22年度特定健康診査・特定保健指導実施状況（市町村国保分）)																																																																																																														
目標値 (平成24年度)	100%																																																																																																														
根拠データ	<p>*出典：平成16年度老人保健事業実績補足調査</p> <p>IV-2 基本健診における有所見者の出現状況及び事後指導について</p> <p>糖尿病抜粋</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">老人保健事業実績補足調査</th> <th>健康診査結果報告集計表</th> </tr> <tr> <th>有所見者数(注1)</th> <th>指導者数</th> <th>有所見者事後指導受診率(注2)</th> <th>有所見者数(注3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成10年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>19,527</td> </tr> <tr> <td>平成11年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>17,469</td> </tr> <tr> <td>平成12年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>17,083</td> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>17,326</td> </tr> <tr> <td>平成14年度</td> <td>19,539</td> <td>11,354</td> <td>58.1</td> <td>18,412</td> </tr> <tr> <td>平成15年度</td> <td>17,249</td> <td>11,774</td> <td>68.3</td> <td>20,244</td> </tr> <tr> <td>平成16年度</td> <td>18,214</td> <td>13,090</td> <td>71.9</td> <td>23,108</td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>19,185</td> <td>12,084</td> <td>63.0</td> <td>22,248</td> </tr> </tbody> </table> <p>●注1：有所見者は要指導者+要医療者の数である ●注2：有所見者事後指導受診率＝（指導者数）÷（有所見者数）×100（小数点以下第2位四捨五入）で算出 ●注3：基本健康診査健康診査結果報告集計表（健康診査データ集計システム）から糖尿病「要指導」と「要医療」を足した数</p> <p>●平成15年度には、弘前市、八戸市、田舎館村が含まれていない。（データ未把握とのこと） ●平成16年度には、八戸市、風間浦村が含まれていない。（データ未把握とのこと） ●平成17年度には、八戸市が含まれていない。（データ未把握とのこと）</p> <p>&lt;参考資料&gt; 血糖値分類基準：平成14年4月1日老老発第0401002号「糖尿病に関する検査の取扱いについて」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>空腹時血糖値（血漿）</th> <th>110mg/dl未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異常なし</td> <td>随時血糖（血漿）</td> <td>140mg/dl未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">要指導</td> <td>空腹時血糖値（血漿）</td> <td>110mg/dl以上126mg/dl</td> </tr> <tr> <td>随時血糖（血漿）</td> <td>140mg/dl以上200mg/dl</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">要医療</td> <td>空腹時血糖値（血漿）</td> <td>126mg/dl以上</td> </tr> <tr> <td>随時血糖（血漿）</td> <td>200mg/dl以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>○特定健康診査・特定保健指導実施状況(厚生労働省 市町村国保分のみ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">20年度</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>終了者数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>1,151,732</td> <td>162,430</td> <td>14.1%</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>11,615</td> <td>2,163</td> <td>18.6%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">21年度</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>終了者数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>1,080,690</td> <td>210,449</td> <td>19.5%</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>10,815</td> <td>3,392</td> <td>31.4%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">22年度</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>終了者数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>953,535</td> <td>198,778</td> <td>20.8%</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>10,089</td> <td>3,265</td> <td>32.4%</td> </tr> </tbody> </table>		老人保健事業実績補足調査			健康診査結果報告集計表	有所見者数(注1)	指導者数	有所見者事後指導受診率(注2)	有所見者数(注3)	平成10年度				19,527	平成11年度				17,469	平成12年度				17,083	平成13年度				17,326	平成14年度	19,539	11,354	58.1	18,412	平成15年度	17,249	11,774	68.3	20,244	平成16年度	18,214	13,090	71.9	23,108	平成17年度	19,185	12,084	63.0	22,248		空腹時血糖値（血漿）	110mg/dl未満	異常なし	随時血糖（血漿）	140mg/dl未満	要指導	空腹時血糖値（血漿）	110mg/dl以上126mg/dl	随時血糖（血漿）	140mg/dl以上200mg/dl	要医療	空腹時血糖値（血漿）	126mg/dl以上	随時血糖（血漿）	200mg/dl以上		20年度			対象人数	終了者数	実施率	全国	1,151,732	162,430	14.1%	青森県	11,615	2,163	18.6%		21年度			対象人数	終了者数	実施率	全国	1,080,690	210,449	19.5%	青森県	10,815	3,392	31.4%		22年度			対象人数	終了者数	実施率	全国	953,535	198,778	20.8%	青森県	10,089	3,265	32.4%
	老人保健事業実績補足調査			健康診査結果報告集計表																																																																																																											
	有所見者数(注1)	指導者数	有所見者事後指導受診率(注2)	有所見者数(注3)																																																																																																											
平成10年度				19,527																																																																																																											
平成11年度				17,469																																																																																																											
平成12年度				17,083																																																																																																											
平成13年度				17,326																																																																																																											
平成14年度	19,539	11,354	58.1	18,412																																																																																																											
平成15年度	17,249	11,774	68.3	20,244																																																																																																											
平成16年度	18,214	13,090	71.9	23,108																																																																																																											
平成17年度	19,185	12,084	63.0	22,248																																																																																																											
	空腹時血糖値（血漿）	110mg/dl未満																																																																																																													
異常なし	随時血糖（血漿）	140mg/dl未満																																																																																																													
要指導	空腹時血糖値（血漿）	110mg/dl以上126mg/dl																																																																																																													
	随時血糖（血漿）	140mg/dl以上200mg/dl																																																																																																													
要医療	空腹時血糖値（血漿）	126mg/dl以上																																																																																																													
	随時血糖（血漿）	200mg/dl以上																																																																																																													
	20年度																																																																																																														
	対象人数	終了者数	実施率																																																																																																												
全国	1,151,732	162,430	14.1%																																																																																																												
青森県	11,615	2,163	18.6%																																																																																																												
	21年度																																																																																																														
	対象人数	終了者数	実施率																																																																																																												
全国	1,080,690	210,449	19.5%																																																																																																												
青森県	10,815	3,392	31.4%																																																																																																												
	22年度																																																																																																														
	対象人数	終了者数	実施率																																																																																																												
全国	953,535	198,778	20.8%																																																																																																												
青森県	10,089	3,265	32.4%																																																																																																												
特記事項	平成18年度改定の結果、項目名「糖尿病にかかわる健診受診後の事後指導の促進（異常所見者事後指導受診率）」より変更 平成20年度から、特定健診・特定保健指導が導入され、対象者が変わった。比較が困難。 平成21、22年度の実績値において、市町村国保以外の保険者については、都道府県別実施率が公表されていない。																																																																																																														

評価シート

領域項目	7 糖尿病 8 循環器病		
目標項目	7-8 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念を知っている人の割合(8-11)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
80.0%	男性 42.3 % 女性 45.1 %		
上段は、20歳～で集計 下段は、40～74歳で集計	(男性 41.3 %) (女性 48.5 %)		(男性 53.3%) (女性 65.6%)
	平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査		平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○基準値(調査対象年齢20歳代～)を、直近実績値(調査対象年齢40歳～74歳)と同じ年齢層にして、再計算した。その結果、 ○直近実績値は、基準値と比較して、男女とも有意に増加している。 (片側P値(vs.ベースライン時)<0.05)		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント	○23年度は基準値と同じ対象での調査とはならなかった。特定健診対象者で調査を行った。		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○20～30代について評価はできないが、40～74歳で改善傾向にある。		B
(5)今後の課題及び対策の抽出	○腹囲の啓発はできているが、糖尿病や循環器病、慢性腎臓病といった関連まで含めた概念を知っているかについては疑問が残るので、引き続き普及啓発が必要である。		



## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	糖尿病								
目標項目	7-8 普及啓発による知識浸透率 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の概念を知っている人の割合（8-11）								
基準値	男性 42.3% 女性 45.1% (男性 41.3% 女性 48.5%) (平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査)								
現状値	男性 53.3% 女性 65.6% (平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査)								
目標値 (平成24年度)	80%								
根拠データ	<p>* 出典：平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査 10 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の概念を知っている者の割合 問2 内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）とは、「内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常をおこしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ、心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態」のことです。この内容を知っていますか。</p> <p>※ 平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査</p>								
	性別	年齢区分	人数	1 内容を知っている		2 言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない		3 知らない	
				数	%	数	%	数	%
	男性	40～49歳	601	289		243		69	
		50～59歳	896	397		316		183	
		60～69歳	884	349		342		193	
		70～74歳	514	161		124		229	
		合計	<b>2,895</b>	<b>1,196</b>	<b>41.3%</b>	<b>1,025</b>	<b>35.4%</b>	<b>674</b>	<b>23.3%</b>
	女性	40～49歳	1,146	595		437		114	
		50～59歳	2,159	1,107		797		255	
		60～69歳	2,140	1,048		686		406	
		70～74歳	809	281		253		275	
		合計	<b>6,254</b>	<b>3,031</b>	<b>48.5%</b>	<b>2,173</b>	<b>34.7%</b>	<b>1,050</b>	<b>16.8%</b>
	<p>※ 平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査</p>								
	性別	年齢区分	人数	1 内容を知っている		2 言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない		3 知らない	
			数	%	数	%	数	%	
男性	40～49歳	413	225		171		17		
	50～59歳	656	356		267		33		
	60～69歳	1,395	762		537		96		
	70～74歳	617	300		258		59		
	合計	<b>3,081</b>	<b>1,643</b>	<b>53.3%</b>	<b>1,233</b>	<b>40.0%</b>	<b>205</b>	<b>6.7%</b>	
女性	40～49歳	459	286		164		9		
	50～59歳	1,019	671		329		19		
	60～69歳	2,080	1,426		584		70		
	70～74歳	751	443		249		59		
	合計	<b>4,309</b>	<b>2,826</b>	<b>65.6%</b>	<b>1,326</b>	<b>30.8%</b>	<b>157</b>	<b>3.6%</b>	
特記事項	平成19年度改定による新規指標 平成18年度は20歳～で掲載して、基準値としていたので、40～74歳で再計算した。								

評価シート

領域項目	7 糖尿病 8 循環器病		
目標項目	7-10 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)予備群の推定数(8-13)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
平成20年度比 10%減少	男性 80,000人 女性 38,000人	— —	男性 143,622人 女性 143,469人
(上段は、国民健康・栄養調査で示された基準による推定数) (下段は、参酌標準による推定数)		— —	男性 53,489人 女性 27,474人
	平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査		平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○目標値の対平成20年度比については、20年度データがないので、比較はできない。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査では、中性脂肪と血糖値が未検査なため、その判定基準は、平成18年国民健康・栄養調査を基にしている。		
(3)その他データ分析に係るコメント	○H20年度の高齢福祉保険課のデータによると、実数は23,806人		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○目標値は平成20年度の数値と比較しており、データがないので、評価は困難。		E
(5)今後の課題及び対策の抽出			

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	糖尿病																																																																																																									
目標項目	7-10 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予備群の推定数（8-13）																																																																																																									
基準値	男性 80,000人 女性 38,000人 *対象年齢は40～74歳。平成20年度を基準とするので、参考値扱い。 （平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査）																																																																																																									
現状値	男性 143,622人 女性 143,469人 *対象年齢は40～74歳。平成20年度を基準とするので、参考値扱い。 （平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ）																																																																																																									
目標値 （平成24年度）	10%減少 （平成20年度比）																																																																																																									
	<p>*出典：平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査</p> <p>1 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者 項目（リスク）①に該当し、かつ、項目（リスク）②～④のうち2項目以上に該当する者</p> <p>2 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の可能性が考えられる者 項目（リスク）①に該当し、かつ、項目（リスク）②～④のうち1項目に該当する者</p> <p>① 腹囲（ウエスト周囲径）〔男性：85cm上 女性：90cm以上〕</p> <p>② 血圧〔収縮期血圧が130mmHg以上 かつ/または拡張期血圧が85mmHg以上、または、血圧を下げる薬服用〕</p> <p>③ 血中脂質〔HDLコレステロール値が40mg/dl未満、または、コレステロールを下げる薬服用〕</p> <p>④ 血糖〔ヘモグロビンA1cが5.5%以上、または、インスリン注射または血糖を下げる薬服用〕</p> <p style="text-align: right;">単位：千人、%</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>年齢区分</th> <th>2005年人口 （平成17年国勢調査）</th> <th>該当者の割合 （メタボリックシンドローム予備群）</th> <th>2006年（平成18年）推定数</th> <th>該当者の割合 （メタボリックシンドローム該当者）</th> <th>2006年（平成18年）推定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">男性</td> <td>40～44歳</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">25.0%</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">5.4%</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>45～49歳</td> <td style="text-align: center;">47</td> <td style="text-align: center;">20.2%</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">7.3%</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>50～54歳</td> <td style="text-align: center;">54</td> <td style="text-align: center;">26.3%</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">13.2%</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>55～59歳</td> <td style="text-align: center;">56</td> <td style="text-align: center;">31.3%</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">16.4%</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td>60～64歳</td> <td style="text-align: center;">42</td> <td style="text-align: center;">23.4%</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">17.6%</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>65～69歳</td> <td style="text-align: center;">41</td> <td style="text-align: center;">22.6%</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">15.5%</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td style="text-align: center;">39</td> <td style="text-align: center;">21.7%</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">23.2%</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">324</td> <td style="text-align: center;">24.7%</td> <td style="text-align: center;"><b>80</b></td> <td style="text-align: center;">13.9%</td> <td style="text-align: center;">45</td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center;">女性</td> <td>40～44歳</td> <td style="text-align: center;">46</td> <td style="text-align: center;">2.9%</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1.5%</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>45～49歳</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">7.4%</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">0.6%</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>50～54歳</td> <td style="text-align: center;">57</td> <td style="text-align: center;">8.9%</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5.4%</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>55～59歳</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">10.4%</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7.3%</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>60～64歳</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">15.3%</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">10.8%</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>65～69歳</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">13.7%</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">12.4%</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td style="text-align: center;">51</td> <td style="text-align: center;">13.6%</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">11.2%</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">364</td> <td style="text-align: center;">10.4%</td> <td style="text-align: center;"><b>38</b></td> <td style="text-align: center;">7.1%</td> <td style="text-align: center;">26</td> </tr> </tbody> </table>	性別	年齢区分	2005年人口 （平成17年国勢調査）	該当者の割合 （メタボリックシンドローム予備群）	2006年（平成18年）推定数	該当者の割合 （メタボリックシンドローム該当者）	2006年（平成18年）推定数	男性	40～44歳	44	25.0%	11	5.4%	2	45～49歳	47	20.2%	9	7.3%	3	50～54歳	54	26.3%	14	13.2%	7	55～59歳	56	31.3%	18	16.4%	9	60～64歳	42	23.4%	10	17.6%	7	65～69歳	41	22.6%	9	15.5%	6	70～74歳	39	21.7%	8	23.2%	9	合計	324	24.7%	<b>80</b>	13.9%	45	女性	40～44歳	46	2.9%	1	1.5%	1	45～49歳	50	7.4%	4	0.6%	0	50～54歳	57	8.9%	5	5.4%	3	55～59歳	60	10.4%	6	7.3%	4	60～64歳	50	15.3%	8	10.8%	5	65～69歳	50	13.7%	7	12.4%	6	70～74歳	51	13.6%	7	11.2%	6	合計	364	10.4%	<b>38</b>	7.1%	26
性別	年齢区分	2005年人口 （平成17年国勢調査）	該当者の割合 （メタボリックシンドローム予備群）	2006年（平成18年）推定数	該当者の割合 （メタボリックシンドローム該当者）	2006年（平成18年）推定数																																																																																																				
男性	40～44歳	44	25.0%	11	5.4%	2																																																																																																				
	45～49歳	47	20.2%	9	7.3%	3																																																																																																				
	50～54歳	54	26.3%	14	13.2%	7																																																																																																				
	55～59歳	56	31.3%	18	16.4%	9																																																																																																				
	60～64歳	42	23.4%	10	17.6%	7																																																																																																				
	65～69歳	41	22.6%	9	15.5%	6																																																																																																				
	70～74歳	39	21.7%	8	23.2%	9																																																																																																				
	合計	324	24.7%	<b>80</b>	13.9%	45																																																																																																				
女性	40～44歳	46	2.9%	1	1.5%	1																																																																																																				
	45～49歳	50	7.4%	4	0.6%	0																																																																																																				
	50～54歳	57	8.9%	5	5.4%	3																																																																																																				
	55～59歳	60	10.4%	6	7.3%	4																																																																																																				
	60～64歳	50	15.3%	8	10.8%	5																																																																																																				
	65～69歳	50	13.7%	7	12.4%	6																																																																																																				
	70～74歳	51	13.6%	7	11.2%	6																																																																																																				
	合計	364	10.4%	<b>38</b>	7.1%	26																																																																																																				

根拠データ

\*出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ）

性別	年齢区分	該当者数	予備群者数	非該当者数	計	H22.10月1日 推計人口
男性	40～49歳	375	1,237	1,933	3,545	84,402
	50～59歳	1,286	2,943	2,475	6,704	97,297
	60～69歳	5,048	7,996	3,577	16,621	92,839
	70～74歳	3,270	4,500	1,485	9,255	36,589
	合計	9,979	16,676	9,470	36,125	311,127
	%	27.6	46.2	26.2	100.0	143,622
女性	40～49歳	155	778	2,828	3,761	88,859
	50～59歳	1,300	3,466	4,406	9,172	104,583
	60～69歳	7,406	11,129	7,379	25,914	107,479
	70～74歳	4,601	5,793	2,211	12,605	47,834
	合計	13,462	21,166	16,824	51,452	348,755
	%	26.2	41.1	32.7	100.0	143,469

<参考>

\*出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ）

ウエスト周囲径（男性：85cm以上 女性：90cm以上）かつ、次の3項目のうち1つ該当する者（40～74歳）

①中性脂肪150/dl以上、または、HDLコレステロール40/dl未満、若しくはコレステロールを下げる薬服用

②収縮期血圧130mmHg以上 かつ/または拡張期血圧が85mmHg以上、若しくは血圧を下げる薬服用

③空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c5.5%以上、若しくはインスリン注射または血糖を下げる薬服用

性別	年齢区分	該当者数	予備群者数	非該当者数	計	H22.10月1日 推計人口
男性	40～49歳	596	624	2,318	3,538	84,402
	50～59歳	1,426	1,135	4,136	6,697	97,297
	60～69歳	3,772	2,789	10,052	16,613	92,839
	70～74歳	2,169	1,659	5,428	9,256	36,589
	合計	7,963	6,207	21,934	36,104	311,127
	%	22.1	17.2	60.8	100.0	53,489
女性	40～49歳	90	195	3,473	3,758	88,859
	50～59歳	517	625	8,022	9,164	104,583
	60～69歳	2,356	2,012	21,552	25,920	107,479
	70～74歳	1,565	1,221	9,820	12,606	47,834
	合計	4,528	4,053	42,867	51,448	348,755
	%	8.8	7.9	83.3	100.0	27,474

特記事項

平成19年度改定による新規指標

評価シート

領域項目	7 糖尿病 8 循環器病		
目標項目	7-11 糖尿病予備群の推定数 (8-14)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
<b>10%減少</b> (上段は、国民健康・栄養調査で示された基準による推定数) (下段は、参酌標準による推定数)	男性 44,000人 女性 49,000人	— —	男性 40,842人 女性 49,378人
			男性 57,053人 女性 58,170人
	平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査		平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)
<b>コメント</b>			
<b>(1)直近実績値に係るデータ分析</b> (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○基準値と直近実績値を比較すると、男性の糖尿病予備群の推定数が減少しており、女性では増加している。		
<b>(2)データ等分析上の課題</b> (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。	○直近実績値の下段は、中性脂肪と血糖値のデータも入れた参酌標準を基にして再計算している。		
<b>(3)その他データ分析に係るコメント</b>			
<b>(4)最終評価</b> 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○男性は基準値に比較し、改善傾向にある ○女性では悪化(増加)している		男性 B 女性 D
<b>(5)今後の課題及び対策の抽出</b>	○男女ともに50代に予備群が増加している。壮年層にターゲットを絞った、地域・職域における対策が必要。		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	糖尿病						
目標項目	7-11 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数 糖尿病予備群の推定数 (8-14)						
基準値	男性 44,000人 女性 49,000人 *対象年齢は40～74歳 (平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査)						
現状値	男性 40,842人 女性 49,376人 (男性 57,053人 女性 58,170人) *参酌基準 *対象年齢は40～74歳 (平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査)						
目標値 (平成24年)	10%減少						
根拠データ	*出典：平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査 <span style="float: right;">単位：千人、%</span>						
	性別	年齢区分	2005年人口 (平成17年 国勢調査)	該当者の割合 (糖尿病 予備群)	2006年(平 成18年)推 定数	該当者の割合 (糖尿病有病 者)	2006年(平成 18年)推定数
	男性	40～44歳	44	9.8%	4	3.3%	1
		45～49歳	47	8.9%	4	7.3%	3
		50～54歳	54	9.6%	5	14.4%	8
		55～59歳	56	17.4%	10	14.4%	8
		60～64歳	42	12.6%	5	18.4%	8
		65～69歳	41	19.3%	8	15.2%	6
		70～74歳	39	18.0%	7	13.2%	5
		合計	324	13.5%	44	12.3%	40
	女性	40～44歳	46	3.6%	2	1.5%	1
		45～49歳	50	8.0%	4	1.8%	1
		50～54歳	57	14.8%	8	8.4%	5
		55～59歳	60	15.0%	9	9.8%	6
		60～64歳	50	16.6%	8	14.5%	7
65～69歳		50	18.4%	9	15.4%	8	
70～74歳		51	17.2%	9	18.0%	9	
合計		364	13.6%	49	10.0%	36	
<p>●糖尿病予備群：ヘモグロビンA1cが5.5以上6.1未満(但し、インスリン使用・血糖を下げる薬服用者を除く)</p> <p>●糖尿病有病者：ヘモグロビンA1cが6.1以上または、インスリン注射または血糖を下げる薬服用者</p>							
*出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ：●の定義使用)							
性別	年齢区分	有病者	予備群者数	非糖尿病者数	計	H22.10月1日 推計人口	
男性	40～49歳	171	275	3,092	3,538	84,402	
	50～59歳	637	713	5,333	6,683	97,297	
	60～69歳	2,309	2,371	11,927	16,607	92,839	
	70～74歳	1,502	1,378	6,378	9,258	36,589	
	合計	4,619	4,737	26,730	36,086	311,127	
	%	12.8	13.1	74.1	100.0	40,842	
女性	40～49歳	72	187	3,495	3,754	88,859	
	50～59歳	445	995	7,717	9,157	104,583	
	60～69歳	2,019	4,032	19,864	25,915	107,479	
	70～74歳	1,220	2,068	9,319	12,607	47,834	
	合計	3,756	7,282	40,395	51,433	348,755	
	%	7.3	14.2	78.5	100.0	49,378	

<参考>\*出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ）参酌基準

性別	年齢区分	有病者	予備群者数	非糖尿病患者数	計	H22.10月1日 推計人口
男性	40～49歳	225	398	2,922	3,545	84,402
	50～59歳	841	1,091	4,772	6,704	97,297
	60～69歳	2,837	3,334	10,450	16,621	92,839
	70～74歳	1,772	1,802	5,684	9,258	36,589
	合計	5,675	6,625	23,828	36,128	311,127
	%	15.7	18.3	66.0	100.0	57,053
女性	40～49歳	87	227	3,447	3,761	88,859
	50～59歳	521	1,217	7,436	9,174	104,583
	60～69歳	2,283	4,740	18,900	25,923	107,479
	70～74歳	1,398	2,400	8,809	12,607	47,834
	合計	4,289	8,584	38,592	51,465	348,755
	%	8.3	16.7	75.0	100.0	58,170

◎糖尿病予備群：空腹時血糖110mg/dl以上126mg/dl未満又はヘモグロビンA1cが5.5以上6.1未満（但し、インスリン使用・血糖を下げる薬服用者を除く）

◎糖尿病有病者：空腹時血糖126mg/dl以上又はヘモグロビンA1cが6.1以上であるか、または、インスリン注射または血糖を下げる薬服用者

特記事項

平成19年度改定による新規指標

評価シート

領域項目	7 糖尿病 8 循環器病		
目標項目	7-12 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者の推定数(8-16)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
<b>対20年度比10%減</b> (上段は、内臓脂肪症候群実態調査のデータから集計) (下段は、参酌標準による推定数)	男性 45,000人 女性 26,000人	— —	男性 85,944人 女性 91,249人
			男性 68,621人 女性 30,694人
	平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査		平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)
<b>コメント</b>			
<b>(1)直近実績値に係るデータ分析</b> (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○目標値の対平成20年度比については、20年度データがないので、比較はできない。 ○男女とも、直近実績値は、増加している。		
<b>(2)データ等分析上の課題</b> (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。			
<b>(3)その他データ分析に係るコメント</b>			
<b>(4)最終評価</b> 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○平成20年度のデータがないため、評価困難		E
<b>(5)今後の課題及び対策の抽出</b>			



## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	糖尿病																																																																																																									
目標項目	7-12 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者の推定数（8-16）																																																																																																									
基準値	男性 45,000人 女性 26,000人 *対象年齢は40～74歳。平成20年度を基準とするので、参考値扱い。 （平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査）																																																																																																									
現状値	男性 85,944人 女性 91,249人 *対象年齢は40～74歳。平成20年度を基準とするので、参考値扱い。 （平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ））																																																																																																									
目標値 （平成24年度）	10%減少 （平成20年度比）																																																																																																									
	<p>* 出典：平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査</p> <p>1 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者 項目（リスク）①に該当し、かつ、項目（リスク）②～④のうち2項目以上に該当する者</p> <p>2 メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の可能性が考えられる者 項目（リスク）①に該当し、かつ、項目（リスク）②～④のうち1項目に該当する者</p> <p>①腹囲（ウエスト周囲径）〔男性：85cm上 女性：90cm以上〕 ②血圧〔収縮期血圧が130mmHg以上 かつ／または拡張期血圧が85mmHg以上、または、血圧を下げる薬服用〕 ③血中脂質〔HDLコレステロール値が40mg/dl未満、または、コレステロールを下げる薬服用〕 ④血糖〔ヘモグロビンA1cが5.5%以上、または、インスリン注射または血糖を下げる薬服用〕</p> <p style="text-align: right;">単位：千人、%</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>年齢区分</th> <th>2005年人口 （平成17年 国勢調査）</th> <th>該当者の割合 （メタボ リックシ ンドローム予 備群）</th> <th>2006年（平 成18年）推 定数</th> <th>該当者の割合 （メタボリッ クシンドローム 該当者）</th> <th>2006年（平 成18年）推 定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center; vertical-align: middle;">男性</td> <td>40～44歳</td> <td style="text-align: center;">44</td> <td style="text-align: center;">25.0%</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">5.4%</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>45～49歳</td> <td style="text-align: center;">47</td> <td style="text-align: center;">20.2%</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">7.3%</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>50～54歳</td> <td style="text-align: center;">54</td> <td style="text-align: center;">26.3%</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">13.2%</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>55～59歳</td> <td style="text-align: center;">56</td> <td style="text-align: center;">31.3%</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">16.4%</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td>60～64歳</td> <td style="text-align: center;">42</td> <td style="text-align: center;">23.4%</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td style="text-align: center;">17.6%</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>65～69歳</td> <td style="text-align: center;">41</td> <td style="text-align: center;">22.6%</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">15.5%</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td style="text-align: center;">39</td> <td style="text-align: center;">21.7%</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">23.2%</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">324</td> <td style="text-align: center;">24.7%</td> <td style="text-align: center;">80</td> <td style="text-align: center;">13.9%</td> <td style="text-align: center;"><b>45</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="8" style="text-align: center; vertical-align: middle;">女性</td> <td>40～44歳</td> <td style="text-align: center;">46</td> <td style="text-align: center;">2.9%</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">1.5%</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>45～49歳</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">7.4%</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">0.6%</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>50～54歳</td> <td style="text-align: center;">57</td> <td style="text-align: center;">8.9%</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5.4%</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>55～59歳</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">10.4%</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7.3%</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> <tr> <td>60～64歳</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">15.3%</td> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">10.8%</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>65～69歳</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">13.7%</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">12.4%</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td style="text-align: center;">51</td> <td style="text-align: center;">13.6%</td> <td style="text-align: center;">7</td> <td style="text-align: center;">11.2%</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: center;">364</td> <td style="text-align: center;">10.4%</td> <td style="text-align: center;">38</td> <td style="text-align: center;">7.1%</td> <td style="text-align: center;"><b>26</b></td> </tr> </tbody> </table>	性別	年齢区分	2005年人口 （平成17年 国勢調査）	該当者の割合 （メタボ リックシ ンドローム予 備群）	2006年（平 成18年）推 定数	該当者の割合 （メタボリッ クシンドローム 該当者）	2006年（平 成18年）推 定数	男性	40～44歳	44	25.0%	11	5.4%	2	45～49歳	47	20.2%	9	7.3%	3	50～54歳	54	26.3%	14	13.2%	7	55～59歳	56	31.3%	18	16.4%	9	60～64歳	42	23.4%	10	17.6%	7	65～69歳	41	22.6%	9	15.5%	6	70～74歳	39	21.7%	8	23.2%	9	合計	324	24.7%	80	13.9%	<b>45</b>	女性	40～44歳	46	2.9%	1	1.5%	1	45～49歳	50	7.4%	4	0.6%	0	50～54歳	57	8.9%	5	5.4%	3	55～59歳	60	10.4%	6	7.3%	4	60～64歳	50	15.3%	8	10.8%	5	65～69歳	50	13.7%	7	12.4%	6	70～74歳	51	13.6%	7	11.2%	6	合計	364	10.4%	38	7.1%	<b>26</b>
性別	年齢区分	2005年人口 （平成17年 国勢調査）	該当者の割合 （メタボ リックシ ンドローム予 備群）	2006年（平 成18年）推 定数	該当者の割合 （メタボリッ クシンドローム 該当者）	2006年（平 成18年）推 定数																																																																																																				
男性	40～44歳	44	25.0%	11	5.4%	2																																																																																																				
	45～49歳	47	20.2%	9	7.3%	3																																																																																																				
	50～54歳	54	26.3%	14	13.2%	7																																																																																																				
	55～59歳	56	31.3%	18	16.4%	9																																																																																																				
	60～64歳	42	23.4%	10	17.6%	7																																																																																																				
	65～69歳	41	22.6%	9	15.5%	6																																																																																																				
	70～74歳	39	21.7%	8	23.2%	9																																																																																																				
	合計	324	24.7%	80	13.9%	<b>45</b>																																																																																																				
女性	40～44歳	46	2.9%	1	1.5%	1																																																																																																				
	45～49歳	50	7.4%	4	0.6%	0																																																																																																				
	50～54歳	57	8.9%	5	5.4%	3																																																																																																				
	55～59歳	60	10.4%	6	7.3%	4																																																																																																				
	60～64歳	50	15.3%	8	10.8%	5																																																																																																				
	65～69歳	50	13.7%	7	12.4%	6																																																																																																				
	70～74歳	51	13.6%	7	11.2%	6																																																																																																				
	合計	364	10.4%	38	7.1%	<b>26</b>																																																																																																				

根拠データ

\* 出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ）

性別	年齢区分	該当者数	予備群者数	非該当者数	計	判定不能	H22.10月1日 推計人口
男性	40～49歳	375	1,237	1,933	3,545	0	84,402
	50～59歳	1,286	2,943	2,475	6,704	0	97,297
	60～69歳	5,048	7,996	3,577	16,621	0	92,839
	70～74歳	3,270	4,500	1,485	9,255	3	36,589
	合計	9,979	16,676	9,470	36,125	3	311,127
	%	27.6	46.2	26.2	100.0		85,944
女性	40～49歳	155	778	2,828	3,761	0	88,859
	50～59歳	1,300	3,466	4,406	9,172	2	104,583
	60～69歳	7,406	11,129	7,379	25,914	10	107,479
	70～74歳	4,601	5,793	2,211	12,605	2	47,834
	合計	13,462	21,166	16,824	51,452	14	348,755
	%	26.2	41.1	32.7	100.0		91,249

<参考>

\* 出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ）

ウエスト周囲径（男性：85cm以上 女性：90cm以上）かつ、次の3項目のうち

2つ該当する者（40～74歳）

①中性脂肪150/dl以上、または、HDLコレステロール40/dl未満、若しくはコレステロールを下げる薬服用

②収縮期血圧130mmHg以上 かつ/または拡張期血圧が85mmHg以上、若しくは血圧を下げる薬服用

③空腹時血糖110mg/dl以上またはHbA1c5.5%以上、若しくはインスリン注射または血糖を下げる薬服用

性別	年齢区分	該当者数	予備群者数	非該当者数	計	判定不能	H22.10月1日 推計人口
男性	40～49歳	596	624	2,318	3,538	7	84,402
	50～59歳	1,426	1,135	4,136	6,697	7	97,297
	60～69歳	3,772	2,789	10,052	16,613	8	92,839
	70～74歳	2,169	1,659	5,428	9,256	2	36,589
	合計	7,963	6,207	21,934	36,104	24	311,127
	%	22.1	17.2	60.8	100.0		68,621
女性	40～49歳	90	195	3,473	3,758	3	88,859
	50～59歳	517	625	8,022	9,164	10	104,583
	60～69歳	2,356	2,012	21,552	25,920	4	107,479
	70～74歳	1,565	1,221	9,820	12,606	1	47,834
	合計	4,528	4,053	42,867	51,448	18	348,755
	%	8.8	7.9	83.3	100.0		30,694

特記事項

平成19年度改定による新規指標

評価シート

領域項目	7 糖尿病 8 循環器病		
目標項目	7-13 糖尿病有病者の推定数(8-17)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
10%減少	男性 40,000人 女性 36,000人	— —	男性 39,824人 女性 25,469人
			男性 48,872人 女性 29,065人
	平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査		平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)
<b>コメント</b>			
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○直近実績値は、基準値と比較して減少している。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○男性はほぼ横ばいで、変わらない ○女性は目標の10%減より下がっている(30%減)		男性 C 女性 A
(5)今後の課題及び対策の抽出	○男性に対する指導の徹底。予備群から有病者になる率を減少させるためには、男性の発病予防対策の充実・強化が必要である。		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	糖尿病
目標項目	7-13 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数 糖尿病有病者の推定数 (8-17)
基準値	男性 40,000人 女性 36,000人 *対象年齢は40～74歳 (平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査)
現状値	男性 39,824人 女性 25,469人 (男性 48,872人 女性 29,065人) 参酌標準使用 *対象年齢は40～74歳 (平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査)
目標値 (平成24年度)	10%減少

\*出典：平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査

単位：千人、%

性別	年齢区分	2005年人口 (平成17年 国勢調査)	該当者の割合 (糖尿病予備 群)	2006年(平 成18年)推 定数	該当者の割合 (糖尿病有病 者)	2006年(平 成18年)推 定数
男性	40～44歳	44	9.8%	4	3.3%	1
	45～49歳	47	8.9%	4	7.3%	3
	50～54歳	54	9.6%	5	14.4%	8
	55～59歳	56	17.4%	10	14.4%	8
	60～64歳	42	12.6%	5	18.4%	8
	65～69歳	41	19.3%	8	15.2%	6
	70～74歳	39	18.0%	7	13.2%	5
	合計	324	13.5%	44	<b>12.3%</b>	<b>40</b>
女性	40～44歳	46	3.6%	2	1.5%	1
	45～49歳	50	8.0%	4	1.8%	1
	50～54歳	57	14.8%	8	8.4%	5
	55～59歳	60	15.0%	9	9.8%	6
	60～64歳	50	16.6%	8	14.5%	7
	65～69歳	50	18.4%	9	15.4%	8
	70～74歳	51	17.2%	9	18.0%	9
	合計	364	13.6%	49	<b>10.0%</b>	<b>36</b>

●糖尿病予備群：ヘモグロビンA1cが5.5以上6.1未満(但し、インスリン使用・血糖を下げる薬服用者を除く)

●糖尿病有病者：ヘモグロビンA1cが6.1以上または、インスリン注射または血糖を下げる薬服用者

\*出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ：●の定義使用)

根拠データ

性別	年齢区分	有病者	予備群者数	非糖尿病者数	計	H22.10月1日推計人口
男性	40～49歳	171	275	3,092	3,538	84,402
	50～59歳	637	713	5,333	6,683	97,297
	60～69歳	2,309	2,371	11,927	16,607	92,839
	70～74歳	1,502	1,378	6,378	9,258	36,589
	合計	4,619	4,737	26,730	36,086	311,127
	%	12.8	13.1	74.1	100.0	39,824
女性	40～49歳	72	187	3,495	3,754	88,859
	50～59歳	445	995	7,717	9,157	104,583
	60～69歳	2,019	4,032	19,864	25,915	107,479
	70～74歳	1,220	2,068	9,319	12,607	47,834
	合計	3,756	7,282	40,395	51,433	348,755
	%	7.3	14.2	78.5	100.0	25,469

<参考>\*出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ）参酌基準使用

性別	年齢区分	有病者	予備群者数	非糖尿病患者数	計	H22.10月1日推計人口
男性	40～49歳	225	398	2,922	3,545	84,402
	50～59歳	841	1,091	4,772	6,704	97,297
	60～69歳	2,837	3,334	10,450	16,621	92,839
	70～74歳	1,772	1,802	5,684	9,258	36,589
	合計	5,675	6,625	23,828	36,128	311,127
	%	15.7	18.3	66.0	100.0	48,872
女性	40～49歳	87	227	3,447	3,761	88,859
	50～59歳	521	1,217	7,436	9,174	104,583
	60～69歳	2,283	4,740	18,900	25,923	107,479
	70～74歳	1,398	2,400	8,809	12,607	47,834
	合計	4,289	8,584	38,592	51,465	348,755
	%	8.3	16.7	75.0	100.0	29,065

●糖尿病予備群：空腹時血糖100mg/dl以上126mg/dl未満又はヘモグロビンA1cが5.5以上6.1未満（但し、インスリン使用・血糖を下げる薬服用者を除く）

●糖尿病有病者：空腹時血糖126mg/dl以上又はヘモグロビンA1cが6.1以上であるか、または、インスリン注射または血糖を下げる薬服用者

特記事項

平成19年度改定による新規指標

評価シート

領域項目	7 糖尿病 8 循環器病		
目標項目	7-16 健診・保健指導の実績 特定健診実施率(8-24)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
68%	33.5%	—	※参考値 28.2%
	平成20年度特定健康診 査・特定保健指導実施 状況	—	平成22年度特定健康診 査・特定保健指導実施 状況(市町村国保分)
	コメント		
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値がベースライン値 に対してどのような動きになっ ているか。)	○基準値は、医療保険者別・都道府県別データによるものであるが、直近実 績値は市町村国保分のみである。		
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)	○特定健診等のデータについては、平成20年度は医療保険者別・都道府県 別データが公表されているが、21、22年度は市町村国保分のみが公表され ている。  ※ 過去1年間に、特定健康診査を受診した者の割合(40～74歳)。 平成20年度以降は健診データにより、特定健診受診者の割合を求める。		
(3)その他データ分析に 係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	○基準値と直近実績値において、把握されている 対象者が異なるため評価は困難。		E
(5)今後の課題及び対 策の抽出	○市町村国保以外のデータ収集方法を検討するとともに、比較検討可能な 指標の設定が必要。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	<b>糖尿病</b>																																													
目標項目	<b>7-16 健診・保健指導の実績</b> <b>特定健診実施率(8-24) ※参考値</b>																																													
基準値	33.5% (平成20年度特定健康診査・特定保健指導実施状況) (26.0% (平成20年度特定健康診査・特定保健指導実施状況(市町村国保分)))																																													
現状値	33.5% (平成20年度特定健康診査・特定保健指導実施状況) (28.2% (平成22年度特定健康診査・特定保健指導実施状況(市町村国保分)))																																													
目標値 (平成24年度)	68%																																													
根拠データ	<p>○特定健康診査・特定保健指導実施状況(厚生労働省 市町村国保分のみ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">20年度</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>22,516,991</td> <td>6,968,843</td> <td>30.9%</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>315,217</td> <td>81,814</td> <td>26.0%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">21年度</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>22,519,423</td> <td>7,073,811</td> <td>31.4%</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>306,701</td> <td>83,923</td> <td>27.4%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">22年度</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>受診者数</th> <th>受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>22,419,244</td> <td>7,169,761</td> <td>32.0%</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>301,682</td> <td>85,021</td> <td>28.2%</td> </tr> </tbody> </table>		20年度			対象人数	受診者数	受診率	全国	22,516,991	6,968,843	30.9%	青森県	315,217	81,814	26.0%		21年度			対象人数	受診者数	受診率	全国	22,519,423	7,073,811	31.4%	青森県	306,701	83,923	27.4%		22年度			対象人数	受診者数	受診率	全国	22,419,244	7,169,761	32.0%	青森県	301,682	85,021	28.2%
	20年度																																													
	対象人数	受診者数	受診率																																											
全国	22,516,991	6,968,843	30.9%																																											
青森県	315,217	81,814	26.0%																																											
	21年度																																													
	対象人数	受診者数	受診率																																											
全国	22,519,423	7,073,811	31.4%																																											
青森県	306,701	83,923	27.4%																																											
	22年度																																													
	対象人数	受診者数	受診率																																											
全国	22,419,244	7,169,761	32.0%																																											
青森県	301,682	85,021	28.2%																																											
特記事項	<p>平成19年度改定による新規指標</p> <p>平成21、22年度の実績値において、国保以外の保険者については、都道府県別実施率が公表されていない。</p>																																													

評価シート

領域項目	7 糖尿病 8 循環器病		
目標項目	7-17 特定保健指導実施率(8-25)		
目標値	平成20年度実績値	中間評価	直近実績値
45.0%	9.8%	—	※参考値 32.4%
	平成20年度特定健康診 査・特定保健指導実施 状況	—	平成22年度特定健康診 査・特定保健指導実施 状況(市町村国保分)
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値がベースライン値 に対してどのような動きになっ ているか。)	○基準値は、医療保険者別・都道府県別データによるものであるが、直近実 績値は市町村国保分のみである。		
(2)データ等分析上の 課題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)	○特定健診等のデータについては、平成20年度は医療保険者別・都道府県 別データが公表されているが、21, 22年度は市町村国保分のみが公表され ている。  ※ 特定健康診査において、保健指導(動機づけ支援又は積極的支援)の対象となった者のう ち、特定保健指導を受けた者の割合。		
(3)その他データ分析に 係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	○基準値と直近実績値において、把握されている 対象者が異なるため評価は困難。		E
(5)今後の課題及び対 策の抽出	○市町村国保以外のデータ収集方法を検討するとともに、比較検討可能な 指標の設定が必要。		



健康あおもり 21 現状値の推移

領域	糖尿病																																															
目標項目	7-17 健診・保健指導の実績 ※参考値 特定保健指導実施率(8-25)																																															
基準値	9.8% (積極的支援及び動機づけ支援終了者) (平成20年度特定健康診査・特定保健指導実施状況) (18.6% (積極的支援及び動機づけ支援終了者)) (平成20年度特定健康診査・特定保健指導実施状況(市町村国保分))																																															
現状値	9.8% (積極的支援及び動機づけ支援終了者) (平成20年度特定健康診査・特定保健指導実施状況) (32.4% (積極的支援及び動機づけ支援終了者)) (平成22年度特定健康診査・特定保健指導実施状況(市町村国保分))																																															
目標値 (平成24年度)	45%																																															
根拠データ	<p>○特定健康診査・特定保健指導実施状況(厚生労働省 市町村国保分のみ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">20年度</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>終了者数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>1,151,732</td> <td>162,430</td> <td>14.1%</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>11,615</td> <td>2,163</td> <td>18.6%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">21年度</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>終了者数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>1,080,690</td> <td>210,449</td> <td>19.5%</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>10,815</td> <td>3,392</td> <td>31.4%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">22年度</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>終了者数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>953,535</td> <td>198,778</td> <td>20.8%</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>10,089</td> <td>3,265</td> <td>32.4%</td> </tr> </tbody> </table>				20年度			対象人数	終了者数	実施率	全国	1,151,732	162,430	14.1%	青森県	11,615	2,163	18.6%		21年度			対象人数	終了者数	実施率	全国	1,080,690	210,449	19.5%	青森県	10,815	3,392	31.4%		22年度			対象人数	終了者数	実施率	全国	953,535	198,778	20.8%	青森県	10,089	3,265	32.4%
	20年度																																															
	対象人数	終了者数	実施率																																													
全国	1,151,732	162,430	14.1%																																													
青森県	11,615	2,163	18.6%																																													
	21年度																																															
	対象人数	終了者数	実施率																																													
全国	1,080,690	210,449	19.5%																																													
青森県	10,815	3,392	31.4%																																													
	22年度																																															
	対象人数	終了者数	実施率																																													
全国	953,535	198,778	20.8%																																													
青森県	10,089	3,265	32.4%																																													
特記事項	<p>平成19年度改定による新規指標</p> <p>平成21、22年度の実績値において、国保以外の保険者については、都道府県別実施率が公表されていない。</p>																																															

評価シート

領域項目	7 糖尿病 8 循環器病		
目標項目	7-18 医療機関受診率(8-26)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
90%	男性 55.1% 女性 78.7%	— —	
参酌標準に基づき再計算	男性 62.0% 女性 81.7%		男性 84.1% 女性 89.1%
	平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査		平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○都道府県健康増進計画ガイドラインで示した参酌標準による数値(下段)で基準値と直近実績値を比較すると、男性は、片側P値(vs.ベースライン時)<0.05で有意に増加しているが、女性は増加しているものの有意差はなかった。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○男性は参酌標準に基づき再計算したデータは、目標値には達していないが、改善が認められた。 ○女性は目標値には達していないが、改善傾向にある。		男性 B 女性 B
(5)今後の課題及び対策の抽出	○40代の男性の受診率は平成18年度では33.3%から、平成23年度では67.2%とほぼ倍増したが、他の年齢層や女性に比べ、低値であり、受診率向上の対策が必要である。 ○医療機関受診後の糖尿病管理・治療の継続も重要		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	<b>糖尿病</b>																																																																																																				
目標項目	<b>7-18 健診・保健指導の実績 医療機関受診率 (8-26)</b>																																																																																																				
基準値	男性 55.1% 女性 78.7% (男性 62.0% 女性 81.7%) *対象年齢は40～74歳 (平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査)																																																																																																				
現状値	男性 84.1% 女性 89.1% *対象年齢は40～74歳 (平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査)																																																																																																				
目標値 (平成24年度)	90%																																																																																																				
根拠データ	<p>&lt;参酌標準に基づき、再計算&gt;                  ※ 都道府県健康栄養調査の自記式質問票(健診後、医療機関を受診するように勧められた者であって、「その後、医療機関に行きましたか」において、「はい」と答えた者。</p> <p>*出典：平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査</p> <p>問1 あなたは過去1年間に、健診(健康診断や健康診査)や人間ドッグを受けたことがありますか。 1 ある 2 ない ↓</p> <p>(問1-1) 健診の結果、肥満、高血圧症(血圧が高い)、糖尿病(血糖が高い)、血中の脂質異常[総コレステロール、LDL(悪玉)コレステロールや中性脂肪が高い、または、HDL(善玉)コレステロールが低い]に関する指摘を受けましたか。 1 はい 2 いいえ ↓</p> <p>(問1-1-2) 指摘を受けたことについて、保健指導(食事や生活習慣の改善の指導)を受けましたか。 1 はい 2 いいえ ↓</p> <p>(問1-1-3) 最終的に、医療機関を受診するように勧められましたか。 <u>1 はい</u> 2 いいえ ↓</p> <p>(付問) その後、医療機関に行きましたか。 <u>1 はい</u> 2 いいえ</p> <p>※ 平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">性別</th> <th rowspan="2">年齢区分</th> <th>問1-1-3 はい</th> <th>付問</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th colspan="2">数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">男性</td> <td>40～49歳</td> <td>111</td> <td>37</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>265</td> <td>116</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>270</td> <td>220</td> <td></td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>132</td> <td>109</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td><b>778</b></td> <td><b>482</b></td> <td><b>62.0%</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">女性</td> <td>40～49歳</td> <td>71</td> <td>55</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>381</td> <td>292</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>574</td> <td>486</td> <td></td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>268</td> <td>224</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td><b>1,294</b></td> <td><b>1,057</b></td> <td><b>81.7%</b></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">性別</th> <th rowspan="2">年齢区分</th> <th>問1-1-3 はい</th> <th>付問</th> <th>割合</th> </tr> <tr> <th colspan="2">数</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">男性</td> <td>40～49歳</td> <td>61</td> <td>41</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>134</td> <td>96</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>318</td> <td>282</td> <td></td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>140</td> <td>130</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td><b>653</b></td> <td><b>549</b></td> <td><b>84.1%</b></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">女性</td> <td>40～49歳</td> <td>33</td> <td>22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>50～59歳</td> <td>179</td> <td>148</td> <td></td> </tr> <tr> <td>60～69歳</td> <td>479</td> <td>439</td> <td></td> </tr> <tr> <td>70～74歳</td> <td>152</td> <td>142</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td><b>843</b></td> <td><b>751</b></td> <td><b>89.1%</b></td> </tr> </tbody> </table>	性別	年齢区分	問1-1-3 はい	付問	割合	数		%	男性	40～49歳	111	37		50～59歳	265	116		60～69歳	270	220		70～74歳	132	109		合計	<b>778</b>	<b>482</b>	<b>62.0%</b>	女性	40～49歳	71	55		50～59歳	381	292		60～69歳	574	486		70～74歳	268	224		合計	<b>1,294</b>	<b>1,057</b>	<b>81.7%</b>	性別	年齢区分	問1-1-3 はい	付問	割合	数		%	男性	40～49歳	61	41		50～59歳	134	96		60～69歳	318	282		70～74歳	140	130		合計	<b>653</b>	<b>549</b>	<b>84.1%</b>	女性	40～49歳	33	22		50～59歳	179	148		60～69歳	479	439		70～74歳	152	142		合計	<b>843</b>	<b>751</b>	<b>89.1%</b>
性別	年齢区分			問1-1-3 はい	付問	割合																																																																																															
		数		%																																																																																																	
男性	40～49歳	111	37																																																																																																		
	50～59歳	265	116																																																																																																		
	60～69歳	270	220																																																																																																		
	70～74歳	132	109																																																																																																		
	合計	<b>778</b>	<b>482</b>	<b>62.0%</b>																																																																																																	
女性	40～49歳	71	55																																																																																																		
	50～59歳	381	292																																																																																																		
	60～69歳	574	486																																																																																																		
	70～74歳	268	224																																																																																																		
	合計	<b>1,294</b>	<b>1,057</b>	<b>81.7%</b>																																																																																																	
性別	年齢区分	問1-1-3 はい	付問	割合																																																																																																	
		数		%																																																																																																	
男性	40～49歳	61	41																																																																																																		
	50～59歳	134	96																																																																																																		
	60～69歳	318	282																																																																																																		
	70～74歳	140	130																																																																																																		
	合計	<b>653</b>	<b>549</b>	<b>84.1%</b>																																																																																																	
女性	40～49歳	33	22																																																																																																		
	50～59歳	179	148																																																																																																		
	60～69歳	479	439																																																																																																		
	70～74歳	152	142																																																																																																		
	合計	<b>843</b>	<b>751</b>	<b>89.1%</b>																																																																																																	
特記事項	平成19年度改定による新規指標																																																																																																				

評価シート

領域項目	7 糖尿病		
目標項目	7-20 糖尿病による人工透析新規導入率(人口対10万人対)		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
10% 減少	13.1		14.6
	日本透析医学会糖尿病性腎症による新規導入透析患者数(2006年)		日本透析医学会糖尿病性腎症による新規導入透析患者数(2010年)
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○直近実績値は、目標値に到達していない。 ○直近実績値は、基準値より増加しているが、有意差はない。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント	<参考> 全国データ 2006年 新規糖尿病性腎症患者数 14,968人 2010年 新規糖尿病性腎症患者数 16,414人		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○基準値に比較し、変わらず、目標値に達していない		C
(5)今後の課題及び対策の抽出	○新規透析患者の中で、糖尿病性腎症によるものの割合が年々高くなってきている ○慢性腎臓病も含めた普及啓発の取組の強化 ○糖尿病診断時の患者教育の充実強化 ○地域における糖尿病医療連携の推進		

## 健康あおもり 2.1 現状値の推移

領域	<b>糖尿病</b>																																																												
目標項目	<b>7-20 合併症率 糖尿病による人工透析新規導入率（人口10万対）</b>																																																												
基準値	13.1																																																												
現状値	14.6																																																												
目標値 (平成24年度)	10%減少																																																												
根拠データ	<p>* 出典：日本透析医学会資料</p> <p>1 糖尿病性腎症による新規導入透析患者数 <span style="float: right;">単位：人、%</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>項目</th> <th>青森県</th> <th>全国</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2004</td> <td>新規透析患者数 A</td> <td rowspan="3" style="border: none;">/</td> <td>33,729</td> </tr> <tr> <td>新規糖尿病性腎症患者数 B</td> <td>13,920</td> </tr> <tr> <td>割合 B/A</td> <td>41.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2005</td> <td>新規透析患者数 A</td> <td>481</td> <td>34,157</td> </tr> <tr> <td>新規糖尿病性腎症患者数 B</td> <td>169</td> <td>14,350</td> </tr> <tr> <td>割合 B/A</td> <td>35.1%</td> <td>42.0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2006</td> <td>新規透析患者数 A</td> <td>468</td> <td>34,877</td> </tr> <tr> <td>新規糖尿病性腎症患者数 B</td> <td>187</td> <td>14,968</td> </tr> <tr> <td>割合 B/A</td> <td>40.0%</td> <td>42.9%</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2010</td> <td>新規透析患者数 A</td> <td>469</td> <td>36,908</td> </tr> <tr> <td>新規糖尿病性腎症患者数 B</td> <td>201</td> <td>16,414</td> </tr> <tr> <td>割合 B/A</td> <td>42.9%</td> <td>44.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>出典：（社）日本透析医学会 統計調査委員会 「わが国の慢性透析療法の現況」</p> <p>2 糖尿病による人工透析新規導入率 <span style="float: right;">単位：人口10万対</span> 青森県</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>糖尿病性腎症による新規導入透析患者数</th> <th>現状値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2005</td> <td>169</td> <td>11.8</td> </tr> <tr> <td>2006</td> <td>187</td> <td>13.1</td> </tr> <tr> <td>2010</td> <td>201</td> <td>14.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(算出方法) 糖尿病性腎症による新規導入透析患者数÷人口(※)×100,000</p> <p>※青森県人口（総務省） <span style="float: right;">単位：人</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tbody> <tr> <td>平成17年国勢調査</td> <td>1,436,657</td> </tr> <tr> <td>平成18年10月1日現在推計人口</td> <td>1,423,000</td> </tr> <tr> <td>平成22年国勢調査</td> <td>1,373,339</td> </tr> </tbody> </table>	年	項目	青森県	全国	2004	新規透析患者数 A	/	33,729	新規糖尿病性腎症患者数 B	13,920	割合 B/A	41.3%	2005	新規透析患者数 A	481	34,157	新規糖尿病性腎症患者数 B	169	14,350	割合 B/A	35.1%	42.0%	2006	新規透析患者数 A	468	34,877	新規糖尿病性腎症患者数 B	187	14,968	割合 B/A	40.0%	42.9%	2010	新規透析患者数 A	469	36,908	新規糖尿病性腎症患者数 B	201	16,414	割合 B/A	42.9%	44.5%	年	糖尿病性腎症による新規導入透析患者数	現状値	2005	169	11.8	2006	187	13.1	2010	201	14.6	平成17年国勢調査	1,436,657	平成18年10月1日現在推計人口	1,423,000	平成22年国勢調査	1,373,339
年	項目	青森県	全国																																																										
2004	新規透析患者数 A	/	33,729																																																										
	新規糖尿病性腎症患者数 B		13,920																																																										
	割合 B/A		41.3%																																																										
2005	新規透析患者数 A	481	34,157																																																										
	新規糖尿病性腎症患者数 B	169	14,350																																																										
	割合 B/A	35.1%	42.0%																																																										
2006	新規透析患者数 A	468	34,877																																																										
	新規糖尿病性腎症患者数 B	187	14,968																																																										
	割合 B/A	40.0%	42.9%																																																										
2010	新規透析患者数 A	469	36,908																																																										
	新規糖尿病性腎症患者数 B	201	16,414																																																										
	割合 B/A	42.9%	44.5%																																																										
年	糖尿病性腎症による新規導入透析患者数	現状値																																																											
2005	169	11.8																																																											
2006	187	13.1																																																											
2010	201	14.6																																																											
平成17年国勢調査	1,436,657																																																												
平成18年10月1日現在推計人口	1,423,000																																																												
平成22年国勢調査	1,373,339																																																												
特記事項	<p>平成19年度改定による新規指標</p> <p>※ 出典（社）日本透析医学会統計調査委員会「わが国の慢性透析療法の現況2010年12月31日現在 CD-ROM版」より</p>																																																												

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	糖尿病																																																																																																														
目標項目	7-4 糖尿病にかかわる健診受診後の事後指導の促進（異常所見者事後指導受診率の増加） ※参考値（8－10）																																																																																																														
基準値	54.4% (平成10年度基本健康診査後の生活習慣改善指導実施率)																																																																																																														
現状値	9.8%（積極的支援及び動機づけ支援終了者） (平成20年度特定健康診査・特定保健指導実施状況) (32.4%（積極的支援及び動機づけ支援終了者）) (平成22年度特定健康診査・特定保健指導実施状況（市町村国保分）)																																																																																																														
目標値 (平成24年度)	100%																																																																																																														
根拠データ	<p>*出典：平成16年度老人保健事業実績補足調査</p> <p>IV-2 基本健診における有所見者の出現状況及び事後指導について</p> <p>糖尿病抜粋</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">老人保健事業実績補足調査</th> <th>健康診査結果報告集計表</th> </tr> <tr> <th>有所見者数(注1)</th> <th>指導者数</th> <th>有所見者事後指導受診率(注2)</th> <th>有所見者数(注3)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>平成10年度</td><td></td><td></td><td></td><td>19,527</td></tr> <tr><td>平成11年度</td><td></td><td></td><td></td><td>17,469</td></tr> <tr><td>平成12年度</td><td></td><td></td><td></td><td>17,083</td></tr> <tr><td>平成13年度</td><td></td><td></td><td></td><td>17,326</td></tr> <tr><td>平成14年度</td><td>19,539</td><td>11,354</td><td>58.1</td><td>18,412</td></tr> <tr><td>平成15年度</td><td>17,249</td><td>11,774</td><td>68.3</td><td>20,244</td></tr> <tr><td>平成16年度</td><td>18,214</td><td>13,090</td><td>71.9</td><td>23,108</td></tr> <tr><td>平成17年度</td><td>19,185</td><td>12,084</td><td>63.0</td><td>22,248</td></tr> </tbody> </table> <p>●注1：有所見者は要指導者＋要医療者の数である ●注2：有所見者事後指導受診率＝（指導者数）÷（有所見者数）×100（小数点以下第2位四捨五入）で算出 ●注3：基本健康診査健康診査結果報告集計表（健康診査データ集計システム）から糖尿病「要指導」と「要医療」を足した数</p> <p>●平成15年度には、弘前市、八戸市、田舎館村が含まれていない。（データ未把握とのこと） ●平成16年度には、八戸市、風間浦村が含まれていない。（データ未把握とのこと） ●平成17年度には、八戸市が含まれていない。（データ未把握とのこと）</p> <p>&lt;参考資料&gt; 血糖値分類基準：平成14年4月1日老老発第0401002号「糖尿病に関する検査の取扱いについて」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>空腹時血糖値（血漿）</th> <th>110mg/dl未満</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異常なし</td> <td>随時血糖（血漿）</td> <td>140mg/dl未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">要指導</td> <td>空腹時血糖値（血漿）</td> <td>110mg/dl以上126mg/dl</td> </tr> <tr> <td>随時血糖（血漿）</td> <td>140mg/dl以上200mg/dl</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">要医療</td> <td>空腹時血糖値（血漿）</td> <td>126mg/dl以上</td> </tr> <tr> <td>随時血糖（血漿）</td> <td>200mg/dl以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>○特定健康診査・特定保健指導実施状況(厚生労働省 市町村国保分のみ)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">20年度</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>終了者数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>1,151,732</td> <td>162,430</td> <td>14.1%</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>11,615</td> <td>2,163</td> <td>18.6%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">21年度</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>終了者数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>1,080,690</td> <td>210,449</td> <td>19.5%</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>10,815</td> <td>3,392</td> <td>31.4%</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">22年度</th> </tr> <tr> <th>対象人数</th> <th>終了者数</th> <th>実施率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国</td> <td>953,535</td> <td>198,778</td> <td>20.8%</td> </tr> <tr> <td>青森県</td> <td>10,089</td> <td>3,265</td> <td>32.4%</td> </tr> </tbody> </table>		老人保健事業実績補足調査			健康診査結果報告集計表	有所見者数(注1)	指導者数	有所見者事後指導受診率(注2)	有所見者数(注3)	平成10年度				19,527	平成11年度				17,469	平成12年度				17,083	平成13年度				17,326	平成14年度	19,539	11,354	58.1	18,412	平成15年度	17,249	11,774	68.3	20,244	平成16年度	18,214	13,090	71.9	23,108	平成17年度	19,185	12,084	63.0	22,248		空腹時血糖値（血漿）	110mg/dl未満	異常なし	随時血糖（血漿）	140mg/dl未満	要指導	空腹時血糖値（血漿）	110mg/dl以上126mg/dl	随時血糖（血漿）	140mg/dl以上200mg/dl	要医療	空腹時血糖値（血漿）	126mg/dl以上	随時血糖（血漿）	200mg/dl以上		20年度			対象人数	終了者数	実施率	全国	1,151,732	162,430	14.1%	青森県	11,615	2,163	18.6%		21年度			対象人数	終了者数	実施率	全国	1,080,690	210,449	19.5%	青森県	10,815	3,392	31.4%		22年度			対象人数	終了者数	実施率	全国	953,535	198,778	20.8%	青森県	10,089	3,265	32.4%
	老人保健事業実績補足調査			健康診査結果報告集計表																																																																																																											
	有所見者数(注1)	指導者数	有所見者事後指導受診率(注2)	有所見者数(注3)																																																																																																											
平成10年度				19,527																																																																																																											
平成11年度				17,469																																																																																																											
平成12年度				17,083																																																																																																											
平成13年度				17,326																																																																																																											
平成14年度	19,539	11,354	58.1	18,412																																																																																																											
平成15年度	17,249	11,774	68.3	20,244																																																																																																											
平成16年度	18,214	13,090	71.9	23,108																																																																																																											
平成17年度	19,185	12,084	63.0	22,248																																																																																																											
	空腹時血糖値（血漿）	110mg/dl未満																																																																																																													
異常なし	随時血糖（血漿）	140mg/dl未満																																																																																																													
要指導	空腹時血糖値（血漿）	110mg/dl以上126mg/dl																																																																																																													
	随時血糖（血漿）	140mg/dl以上200mg/dl																																																																																																													
要医療	空腹時血糖値（血漿）	126mg/dl以上																																																																																																													
	随時血糖（血漿）	200mg/dl以上																																																																																																													
	20年度																																																																																																														
	対象人数	終了者数	実施率																																																																																																												
全国	1,151,732	162,430	14.1%																																																																																																												
青森県	11,615	2,163	18.6%																																																																																																												
	21年度																																																																																																														
	対象人数	終了者数	実施率																																																																																																												
全国	1,080,690	210,449	19.5%																																																																																																												
青森県	10,815	3,392	31.4%																																																																																																												
	22年度																																																																																																														
	対象人数	終了者数	実施率																																																																																																												
全国	953,535	198,778	20.8%																																																																																																												
青森県	10,089	3,265	32.4%																																																																																																												
特記事項	平成18年度改定の結果、項目名「糖尿病にかかわる健診受診後の事後指導の促進（異常所見者事後指導受診率）」より変更平成20年度から、特定健診・特定保健指導が導入され、対象者が変わった。比較が困難。 平成21、22年度の実績値において、市町村国保以外の保険者については、都道府県別実施率が公表されていない。																																																																																																														

# 循環器病

評価シート

領域項目	8 循環器病		
目標項目	8-2 一日のカリウム摂取量の増加		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
3,500mg/日	男性 3,000mg/日 女性 2,900mg/日	男性 2,373mg/日 女性 2,194mg/日	男性 2,222mg/日 女性 2,046mg/日
平成24年度	平成8年県民栄養調査	平成17年度 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
	<b>コメント</b>		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○基準値と比較し、直近実績値は減少している。 ○中間評価値と直近実績値との比較では、男女とも有意に減少している。(男性:片側P値<0.022、女性:片側P値<0.007)		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント	○<参考>野菜の摂取量の変化は次のとおり 学齢期:154.3g(平成8年度)→253g(平成22年度) 青少年期以降:289.2g(平成8年度)→266g(平成22年度)		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○男性、女性とも悪化してる		男性 D 女性 D
(5)今後の課題及び対策の抽出	○簡単で手軽に野菜が摂取できるように調理方法等について行政栄養士等が普及啓発する必要がある。 ○学校における食育(栄養指導)の徹底		



健康あおもり 2 1 現状値の推移

領域	循環器病																																																																																																																																	
目標項目	8-2 1日のカリウム摂取量の増加																																																																																																																																	
基準値	男性 3,000mg/日 女性 2,900mg/日 (平成8年度県民栄養調査)																																																																																																																																	
現状値	男性 2,222mg/日 女性 2,046mg/日 (平成22年度県民健康・栄養調査)																																																																																																																																	
目標値 (平成22年度)	3,500mg/日以上																																																																																																																																	
根拠データ	<p>*出典：平成8年度県民栄養調査</p> <p>年代別カリウム摂取状況 (mg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>～9歳</th> <th>10～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> <th>全年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>2,089</td> <td>2,992</td> <td>2,753</td> <td>2,887</td> <td>3,369</td> <td>3,436</td> <td>3,282</td> <td>2,978</td> <td>3,037</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>2,080</td> <td>2,660</td> <td>2,465</td> <td>2,802</td> <td>3,085</td> <td>3,185</td> <td>3,173</td> <td>2,769</td> <td>2,853</td> </tr> </tbody> </table> <p>*出典：平成13年度県民健康度調査</p> <p>年代別カリウム摂取状況 (mg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> <th>全年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>1,861</td> <td>2,618</td> <td>2,345</td> <td>2,229</td> <td>2,376</td> <td>2,334</td> <td>3,012</td> <td>3,019</td> <td>2,449</td> <td>2,544</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>1,860</td> <td>2,339</td> <td>1,889</td> <td>1,922</td> <td>2,144</td> <td>2,316</td> <td>2,696</td> <td>2,564</td> <td>2,401</td> <td>2,340</td> </tr> </tbody> </table> <p>*出典：平成17年度県民健康・栄養調査</p> <p>年代別カリウム摂取状況 (mg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> <th>全年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>1,863 (35)</td> <td>2,346 (59)</td> <td>2,414 (27)</td> <td>2,074 (37)</td> <td>2,231 (56)</td> <td>2,384 (62)</td> <td>2,463 (70)</td> <td>2,826 (56)</td> <td>2,487 (56)</td> <td>2,373 (468)</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>1,602 (40)</td> <td>2,116 (41)</td> <td>1,724 (28)</td> <td>2,036 (37)</td> <td>2,118 (70)</td> <td>2,039 (63)</td> <td>2,540 (77)</td> <td>2,662 (75)</td> <td>2,183 (90)</td> <td>2,194 (521)</td> </tr> </tbody> </table> <p>*出典：平成22年度県民健康・栄養調査</p> <p>年代別カリウム摂取状況 (mg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1～6歳</th> <th>7～14歳</th> <th>15～19歳</th> <th>20～29歳</th> <th>30～39歳</th> <th>40～49歳</th> <th>50～59歳</th> <th>60～69歳</th> <th>70歳～</th> <th>全年齢</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>1,723 (19)</td> <td>2,129 (33)</td> <td>2,400 (16)</td> <td>1,888 (15)</td> <td>2,107 (36)</td> <td>1,984 (58)</td> <td>2,434 (54)</td> <td>2,565 (57)</td> <td>2,241 (99)</td> <td>2,222 (387)</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>1,635 (18)</td> <td>2,202 (35)</td> <td>1,498 (10)</td> <td>1,757 (33)</td> <td>1,844 (38)</td> <td>1,996 (55)</td> <td>2,158 (66)</td> <td>2,309 (76)</td> <td>2,046 (133)</td> <td>2,046 (464)</td> </tr> </tbody> </table>		～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢	男	2,089	2,992	2,753	2,887	3,369	3,436	3,282	2,978	3,037	女	2,080	2,660	2,465	2,802	3,085	3,185	3,173	2,769	2,853		1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢	男	1,861	2,618	2,345	2,229	2,376	2,334	3,012	3,019	2,449	2,544	女	1,860	2,339	1,889	1,922	2,144	2,316	2,696	2,564	2,401	2,340		1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢	男	1,863 (35)	2,346 (59)	2,414 (27)	2,074 (37)	2,231 (56)	2,384 (62)	2,463 (70)	2,826 (56)	2,487 (56)	2,373 (468)	女	1,602 (40)	2,116 (41)	1,724 (28)	2,036 (37)	2,118 (70)	2,039 (63)	2,540 (77)	2,662 (75)	2,183 (90)	2,194 (521)		1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢	男	1,723 (19)	2,129 (33)	2,400 (16)	1,888 (15)	2,107 (36)	1,984 (58)	2,434 (54)	2,565 (57)	2,241 (99)	2,222 (387)	女	1,635 (18)	2,202 (35)	1,498 (10)	1,757 (33)	1,844 (38)	1,996 (55)	2,158 (66)	2,309 (76)	2,046 (133)	2,046 (464)
	～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢																																																																																																																									
男	2,089	2,992	2,753	2,887	3,369	3,436	3,282	2,978	3,037																																																																																																																									
女	2,080	2,660	2,465	2,802	3,085	3,185	3,173	2,769	2,853																																																																																																																									
	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢																																																																																																																								
男	1,861	2,618	2,345	2,229	2,376	2,334	3,012	3,019	2,449	2,544																																																																																																																								
女	1,860	2,339	1,889	1,922	2,144	2,316	2,696	2,564	2,401	2,340																																																																																																																								
	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢																																																																																																																								
男	1,863 (35)	2,346 (59)	2,414 (27)	2,074 (37)	2,231 (56)	2,384 (62)	2,463 (70)	2,826 (56)	2,487 (56)	2,373 (468)																																																																																																																								
女	1,602 (40)	2,116 (41)	1,724 (28)	2,036 (37)	2,118 (70)	2,039 (63)	2,540 (77)	2,662 (75)	2,183 (90)	2,194 (521)																																																																																																																								
	1～6歳	7～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢																																																																																																																								
男	1,723 (19)	2,129 (33)	2,400 (16)	1,888 (15)	2,107 (36)	1,984 (58)	2,434 (54)	2,565 (57)	2,241 (99)	2,222 (387)																																																																																																																								
女	1,635 (18)	2,202 (35)	1,498 (10)	1,757 (33)	1,844 (38)	1,996 (55)	2,158 (66)	2,309 (76)	2,046 (133)	2,046 (464)																																																																																																																								
特記事項																																																																																																																																		

評価シート

領域項目	8 循環器病		
目標項目	8-5 高血圧の改善 ※参考値		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
平均最大血圧値の低下 125.5mg	129.7mg	131.2mg	126.8mg
	青森県総合健診センター 健診データより	青森県総合健診センター 健診データより	特定健康診査健診デー タ(市町村国保)
高血圧者の割合の減少 男性 14.0%以下 女性 10.0%以下	男性 28.7% 女性 20.7%	男性 47.5% 女性 34.1%	男性 50.8% 女性 35.6% ※基準値の変更あり
	平成8年度 県民栄養調査	平成17年度 県民健康・栄養調査	平成22年度 県民健康・栄養調査
	コメント		
(1)直近実績値に係る データ分析 (直近実績値がベースライン値 に対してどのような動きになっ ているか。)	○最大平均血圧値は、直近実績値は、基準値と比較して低下している。 ○高血圧者の割合については、「血圧の分類」変更により、基準値と中間評 価及び直近実績値との比較はできないが、中間評価値と直近実測値との比 較では、男女ともに割合は増加している。(検定なし)		
(2)データ等分析上の課 題 (調査分析をする上での課題 (調査手段、方法、分析材料 等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に 係るコメント	○基本健診と特定健診では、対象者が異なる。(基本健診のほうが高齢者が 多く含まれる)		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改 善したか、悪化したか等を簡 潔に記載。	○平均最大血圧値は基準値と比較し改善傾向に あるが、目標値には達していない		B
(5)今後の課題及び対 策の抽出	○調査対象者が少なくなっているため、県民健康・栄養調査結果での比 較が難しくなっている ○血圧のコントロール、生活習慣(食生活・運動・ストレスなど)の改善が大切 である。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	循環器病									
目標項目	8-5 高血圧の改善（平均最大血圧値の低下・高血圧者の割合の減少）【参考値】									
策定時の値	平均最大血圧値の低下 129.7 mmHg (青森県総合健診センター基本健康診査データから集計計算)									
	高血圧者の割合の減少 男性 28.7% 女性 20.7% (平成8年度県民栄養調査)									
現状値 (参考値)	平均最大血圧値の低下 市町村国保 特定健康診査 87,590名の平均 126.8 mmHg (平成22年国保連提供データから)									
	高血圧者の割合の減少（*基準値の変更あり） 男性 50.8% 女性 35.6% (平成22年度県民健康・栄養調査)									
目標値 (平成22年度)	平均最大血圧値の低下 125.5 mmHg 高血圧者の割合の減少 男性 14.0%以下 女性 10.0%以下									
根拠データ	*出典：平成8年度県民栄養調査 高血圧出現率（満15歳以上）									
			15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢
	男	S61 <参考>	2	2.9	12.7	22.8	34.7	35.1	55	23.7
		H3 <参考>	3.7	14.3	22.9	15	23.5	35	40.5	23.8
		H8	—	—	24.2	22.9	34.8	39.7	30.9	28.7
	女	S61 <参考>	—	—	5	14	26.5	30.2	47.5	18.5
		H3 <参考>	—	—	1	12.8	21.5	26	40	16.6
		H8	—	—	1.7	16.7	31.3	24.6	33	20.7
	高血圧の分類： 最高血圧160 mmHg以上、または最低血圧95 mmHg以上									
	*出典：平成17年度県民健康・栄養調査 高血圧の割合（満15歳以上）									
		15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢	
男	H13	0	7.7	31.8	49.1	53.1	75.4	67.6	54.8	
	H17	0	12.5	33.3	31.8	60	53.3	67.6	47.5	
女	H13	0	0	0	26	42.4	60.9	60.2	39.8	
	H17	0	0	11.8	15.4	44.2	47.8	58	34.1	
高血圧の分類： 軽症高血圧以上（最高血140 mmHg以上、または最低血圧90 mmHg以上）										
*出典：平成22年度県民健康・栄養調査 高血圧の割合（満15歳以上）										
		15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢	
男	高血圧者	0	0	1	7	11	14	27	60	
	正常	3	2	3	6	6	14	24	58	
	小計	3	2	4	13	17	28	51	118	
	出現率								50.8%	
女	高血圧者				4	11	18	34	67	
	正常	2	8	11	14	28	25	33	121	
	小計	2	8	11	18	39	43	67	188	
	出現率								35.6%	
高血圧の分類： 軽症高血圧以上（最高血140mmHg以上、または最低血圧90mmHg以上）										

<参考資料>

血圧の分類：日本高血圧学会2000(平成12年)

	最高血圧 (mmHg)	最低血圧 (mmHg)
至適血圧	120未満	かつ 80未満
正常血圧	130未満	かつ 85未満
正常高値	130～139	または 85～89
軽症高血圧	140～159	または 90～99
中等度高血圧	160～179	または 100～109
重症高血圧	180以上	または 110以上

\* 出典：青森県総合健診センター基本健康診査データ

平均最大血圧値

平成12年度	129.7mmHg
平成13年度	136.0mmHg
平成14年度	133.3mmHg
平成15年度	133.2mmHg
平成16年度	133.2mmHg
平成17年度	133.6mmHg
平成18年度	131.2mmHg

<参考データ>

性・年齢階級別平均最大血圧値

		15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	80以上	全年齢
男	平成12年度	113.4	115.5	118.4	119.6	120.5	123.2	125.9	128.9	133.3	136.8	139.8	140.4	141.1	141.4	134.6
	平成13年度	116.8	118.6	120.8	120.4	121.9	124.1	126.3	129.9	134.3	137.4	140.1	141.5	142.3	143.5	135.6
	平成14年度	118.2	120.4	117.9	119.9	122.0	123.2	127.2	129.8	133.7	136.8	139.6	141.0	141.2	142.4	135.3
	平成15年度	120.6	119.9	118.6	119.2	121.2	123.4	126.6	130.1	134.3	136.9	140.2	141.5	142.7	143.9	135.8
	平成16年度	118.9	118.9	120.2	120.7	121.5	123.4	126.3	129.9	133.1	136.7	139.4	140.5	141.8	143.3	135.4
	平成17年度	118.6	121.2	119.6	120.8	121.5	123.5	127.1	130.3	133.7	137.0	139.8	141.5	142.6	143.0	136.2
女	平成12年度	105.6	107.4	109.4	110.3	113.0	116.9	122.4	126.9	130.8	135.3	139.2	141.8	144.3	145.4	132.0
	平成13年度	108.7	110.8	109.9	111.1	113.8	117.6	122.9	127.4	131.5	135.6	139.5	142.4	143.9	146.0	132.6
	平成14年度	107.5	108.7	107.5	110.5	113.2	117.2	122.5	126.9	131.2	134.6	138.9	141.7	143.2	143.9	132.3
	平成15年度	105.3	109.2	110.5	110.3	113.6	116.7	121.3	126.1	130.5	134.3	138.9	141.7	143.1	144.0	132.1
	平成16年度	105.2	107.8	108.9	111.1	114.4	116.8	121.5	126.3	130.0	133.5	138.0	141.4	142.6	145.9	132.1
	平成17年度	102.3	108.4	109.0	110.8	113.5	116.9	121.8	126.7	129.8	134.2	138.0	141.0	143.2	145.5	132.5

<参考データ>

\* 出典：平成13年度県民健康栄養調査：血圧（満15歳以上）

最高血圧平均値（2回の測定値の平均値）

		15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢
男	S61	122.2	127.5	131.5	138.8	146.8	146.5	151.8	138.2
	H3	122.1	124.7	134.7	133.2	143.6	151.1	150.8	139.7
	H8	118.0	124.4	131.8	138.6	145.6	149.9	148.2	142.2
女	S61	117.3	117.0	122.9	135.5	142.6	148.3	157.3	135.7
	H3	108.8	118.5	122.5	131.8	141.9	146.9	154.0	135.4
	H8	114.7	118.5	118.0	133.9	143.6	145.8	150.7	137.9

血圧の状況（性・年齢階級別）

(%)

		15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	全年齢
男	高血圧	0.0	12.5	33.3	31.8	60.0	53.3	67.6	47.5
	正常血圧	100.0	87.5	67.7	68.2	40.0	46.7	32.4	52.5
女	高血圧	0.0	0.0	0.0	15.4	44.2	47.8	58.0	34.1
	正常血圧	100.0	100.0	100.0	84.6	55.8	52.2	42.0	65.9

血圧値の経年推移 (mmHg)			
	最高血圧	最低血圧	
男	S61	138	81
	H3	140	82
	H8	142	84
	H13	139	85
女	S61	136	79
	H3	136	78
	H8	138	81
	H13	134	80

特記事項	<p>平成18年度改定の結果、項目名「高血圧の改善」、目標値「平均最大血圧値の低下125.5mmHg、高血圧者の割合 男性14.0% 女性10.0%」より変更</p> <p>平成8年度は、高血圧の分類が「最高血圧160mmHg以上、または最低血圧95mmHg以上」であったが、平成13年度は、軽症高血圧から重症高血圧（最高血圧140～159mmHg以上または最低血圧90～99mmHg以上）を含んだものを高血圧者としている。</p> <p>→「高血圧者の割合の低下」は、基準値の変更有りとは明記して、このまま扱う。</p>
------	---

評価シート

領域項目	8 循環器病		
目標項目	8-15 高血圧症予備群の推定数		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
10%減少	男性 58,000人 女性 49,000人		(男性 40,241人) (女性 41,010人)
平成24年度	平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査		平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○基準値と直近実績値では高血圧症予備群の判定基準がことなることから比較できない。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント	・平成18年度内臓脂肪症候群実態調査と、平成23年度内臓脂肪症候群実態調査では、調査の判定内容が異なる		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○予備群の判定基準が厳しくなっているため、単純に基準値と比較することはできないため評価困難		E
(5)今後の課題及び対策の抽出	○男性の40代の予備群の割合が高く、特定保健指導の他、集団指導なども含めた対策が必要		

## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	<b>循環器病</b>							
目標項目	<b>8-15 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数 高血圧症予備群の推定数</b>							
基準値	男性 58,000人 女性 49,000人 *対象年齢は40～74歳 (平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査)							
現状値	男性 40,241人 女性 41,010人 *対象年齢は40～74歳 (平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査)							
目標値 (平成24年度)	10%減少							
	*出典：平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査							
	単位：千人、%							
	性別	年齢区分	2005年人口 (平成17年国勢調査)	該当者の割合 (高血圧症予備群)	2006年(平成18年)推定数	該当者の割合 (高血圧症有病者)	2006年(平成18年)推定数	
	男性	40～44歳	44	14.1%	6	20.7%	9	
		45～49歳	47	17.7%	8	29.8%	14	
		50～54歳	54	21.0%	11	32.9%	18	
		55～59歳	56	20.4%	11	48.3%	27	
		60～64歳	42	18.8%	8	46.4%	20	
		65～69歳	41	14.9%	6	52.0%	21	
		70～74歳	39	15.8%	6	59.2%	23	
		合計	324	17.8%	<b>58</b>	40.8%	132	
	女性	40～44歳	46	9.5%	4	8.0%	4	
		45～49歳	50	12.3%	6	13.5%	7	
		50～54歳	57	13.8%	8	31.5%	18	
		55～59歳	60	18.0%	11	32.4%	20	
		60～64歳	50	16.1%	8	43.5%	22	
		65～69歳	50	11.1%	6	55.1%	28	
		70～74歳	51	12.8%	7	64.0%	33	
		合計	364	13.5%	<b>49</b>	35.6%	130	
	<p>●高血圧症予備群： 140&gt;SBP≥130かつは90&gt;DBP≥85mmHg（血圧を下げる薬服用者を除く）</p> <p>●高血圧症有病者： SBP≥140mmHgまたはDBP≥90mmHgであるか、または血圧を下げる薬服用者</p> <p>*出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ）</p>							
	性別	年齢区分	有病者数	予備群者数	非高血圧数	計	未回答	H22.10月1日 推計人口
	男性	40～49歳	850	483	2,204	3,537	8	84,402
		50～59歳	2,677	976	3,030	6,683	21	97,297
		60～69歳	9,324	2,154	5,127	16,605	16	92,839
		70～74歳	5,920	1,054	2,284	9,258	0	36,589
		合計	18,771	4,667	12,645	36,083	45	311,127
		%	52.0	12.9	35.0	100.0		40,241
	女性	40～49歳	442	336	2,975	3,753	0	88,859
		50～59歳	2,700	1,143	5,312	9,155	0	104,583
		60～69歳	12,005	3,135	10,771	25,911	1	107,479
		70～74歳	7,596	1,433	3,576	12,605	0	47,834
		合計	22,743	6,047	22,634	51,424	0	348,755
		%	44.2	11.8	44.0	100.0		41,010
	<p>●高血圧症予備群：①140mmHg&gt;SBP≥130mmHgかつ90&gt;DBP ②140mmHg&gt;SBPかつ90mmHg&gt;DBP≥85mmHg（但し、血圧を下げる薬服用者を除く）</p> <p>●高血圧症有病者：SBP≥140mmHgまたはDBP≥90mmHg、若しくは血圧を下げる薬服用者</p>							
特記事項	平成19年度改定による新規指標							

評価シート

領域項目	8 循環器病		
目標項目	8-18 高血圧症有病者の推定数		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
10%減少	男性 132,000人 女性 130,000人	— —	男性 161,786人 女性 154,150人
平成24年度	平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査		平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○直近実績値は、基準値と比較して増加している。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○男女ともに悪化している		男性 D 女性 D
(5)今後の課題及び対策の抽出	○かかりつけ医等による血圧管理を徹底し悪化させないようにする必要がある ○予備群から有病者に移行しないように、生活習慣(食生活・運動)の改善の普及啓発の継続		



## 健康あおもり 21 現状値の推移

領域	循環器病																																																																																																																																																																																															
目標項目	8-18 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数 高血圧症有病者の推定数(7-15)																																																																																																																																																																																															
基準値	男性 132,000人 女性 130,000人 *対象年齢は40～74歳 (平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査)																																																																																																																																																																																															
現状値	男性 161,786人 女性 154,150人 *対象年齢は40～74歳 (平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査)																																																																																																																																																																																															
目標値 (平成24年度)	10%減少																																																																																																																																																																																															
根拠データ	<p>*出典：平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査 <span style="float: right;">単位：千人、%</span></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>年齢区分</th> <th>2005年人口 (平成17年 国勢調査)</th> <th>該当者の割合 (高血圧 症予備群)</th> <th>2006年(平 成18年)推 定数</th> <th>該当者の割合 (高血圧症有 病者)</th> <th>2006年(平 成18年)推 定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="8">男性</td><td>40～44歳</td><td>44</td><td>14.1%</td><td>6</td><td>20.7%</td><td>9</td></tr> <tr><td>45～49歳</td><td>47</td><td>17.7%</td><td>8</td><td>29.8%</td><td>14</td></tr> <tr><td>50～54歳</td><td>54</td><td>21.0%</td><td>11</td><td>32.9%</td><td>18</td></tr> <tr><td>55～59歳</td><td>56</td><td>20.4%</td><td>11</td><td>48.3%</td><td>27</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>42</td><td>18.8%</td><td>8</td><td>46.4%</td><td>20</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>41</td><td>14.9%</td><td>6</td><td>52.0%</td><td>21</td></tr> <tr><td>70～74歳</td><td>39</td><td>15.8%</td><td>6</td><td>59.2%</td><td>23</td></tr> <tr><td>合計</td><td>324</td><td>17.8%</td><td>58</td><td>40.8%</td><td>132</td></tr> <tr><td rowspan="8">女性</td><td>40～44歳</td><td>46</td><td>9.5%</td><td>4</td><td>8.0%</td><td>4</td></tr> <tr><td>45～49歳</td><td>50</td><td>12.3%</td><td>6</td><td>13.5%</td><td>7</td></tr> <tr><td>50～54歳</td><td>57</td><td>13.8%</td><td>8</td><td>31.5%</td><td>18</td></tr> <tr><td>55～59歳</td><td>60</td><td>18.0%</td><td>11</td><td>32.4%</td><td>20</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td>50</td><td>16.1%</td><td>8</td><td>43.5%</td><td>22</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td>50</td><td>11.1%</td><td>6</td><td>55.1%</td><td>28</td></tr> <tr><td>70～74歳</td><td>51</td><td>12.8%</td><td>7</td><td>64.0%</td><td>33</td></tr> <tr><td>合計</td><td>364</td><td>13.5%</td><td>49</td><td>35.6%</td><td>130</td></tr> </tbody> </table> <p>●高血圧症予備群：140&gt;SBP≧130または90&gt;DBP≧85mmHg(血圧を下げる薬服用者を除く)</p> <p>●高血圧症有病者：SBP≧140mmHgまたはDBP≧90mmHgであるか、または血圧を下げる薬服用者</p> <p>*出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>性別</th> <th>年齢区分</th> <th>有病者数</th> <th>予備群者数</th> <th>非該当者数</th> <th>計</th> <th>H22.10月1日推計人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="6">男性</td><td>40～49歳</td><td>850</td><td>483</td><td>2,204</td><td>3,537</td><td>84,402</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>2,677</td><td>976</td><td>3,030</td><td>6,683</td><td>97,297</td></tr> <tr><td>60～69歳</td><td>9,324</td><td>2,154</td><td>5,127</td><td>16,605</td><td>92,839</td></tr> <tr><td>70～74歳</td><td>5,920</td><td>1,054</td><td>2,284</td><td>9,258</td><td>36,589</td></tr> <tr><td>合計</td><td>18,771</td><td>4,667</td><td>12,645</td><td>36,083</td><td>311,127</td></tr> <tr><td>%</td><td>52.0</td><td>12.9</td><td>35.0</td><td>100.0</td><td>161,786</td></tr> <tr><td rowspan="6">女性</td><td>40～49歳</td><td>442</td><td>336</td><td>2,975</td><td>3,753</td><td>88,859</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td>2,700</td><td>1,143</td><td>5,312</td><td>9,155</td><td>104,583</td></tr> <tr><td>60～69歳</td><td>12,005</td><td>3,135</td><td>10,771</td><td>25,911</td><td>107,479</td></tr> <tr><td>70～74歳</td><td>7,596</td><td>1,433</td><td>3,576</td><td>12,605</td><td>47,834</td></tr> <tr><td>合計</td><td>22,743</td><td>6,047</td><td>22,634</td><td>51,424</td><td>348,755</td></tr> <tr><td>%</td><td>44.2</td><td>11.8</td><td>44.0</td><td>100.0</td><td>154,150</td></tr> </tbody> </table> <p>●高血圧症予備群：①140mmHg&gt;SBP≧130mmHgかつ90&gt;DBP ②140mmHg&gt;SBPかつ90mmHg&gt;DBP≧85mmHg(但し、血圧を下げる薬服用者を除く)</p> <p>●高血圧症有病者：SBP≧140mmHgまたはDBP≧90mmHg、若しくは血圧を下げる薬服用者</p>						性別	年齢区分	2005年人口 (平成17年 国勢調査)	該当者の割合 (高血圧 症予備群)	2006年(平 成18年)推 定数	該当者の割合 (高血圧症有 病者)	2006年(平 成18年)推 定数	男性	40～44歳	44	14.1%	6	20.7%	9	45～49歳	47	17.7%	8	29.8%	14	50～54歳	54	21.0%	11	32.9%	18	55～59歳	56	20.4%	11	48.3%	27	60～64歳	42	18.8%	8	46.4%	20	65～69歳	41	14.9%	6	52.0%	21	70～74歳	39	15.8%	6	59.2%	23	合計	324	17.8%	58	40.8%	132	女性	40～44歳	46	9.5%	4	8.0%	4	45～49歳	50	12.3%	6	13.5%	7	50～54歳	57	13.8%	8	31.5%	18	55～59歳	60	18.0%	11	32.4%	20	60～64歳	50	16.1%	8	43.5%	22	65～69歳	50	11.1%	6	55.1%	28	70～74歳	51	12.8%	7	64.0%	33	合計	364	13.5%	49	35.6%	130	性別	年齢区分	有病者数	予備群者数	非該当者数	計	H22.10月1日推計人口	男性	40～49歳	850	483	2,204	3,537	84,402	50～59歳	2,677	976	3,030	6,683	97,297	60～69歳	9,324	2,154	5,127	16,605	92,839	70～74歳	5,920	1,054	2,284	9,258	36,589	合計	18,771	4,667	12,645	36,083	311,127	%	52.0	12.9	35.0	100.0	161,786	女性	40～49歳	442	336	2,975	3,753	88,859	50～59歳	2,700	1,143	5,312	9,155	104,583	60～69歳	12,005	3,135	10,771	25,911	107,479	70～74歳	7,596	1,433	3,576	12,605	47,834	合計	22,743	6,047	22,634	51,424	348,755	%	44.2	11.8	44.0	100.0	154,150
性別	年齢区分	2005年人口 (平成17年 国勢調査)	該当者の割合 (高血圧 症予備群)	2006年(平 成18年)推 定数	該当者の割合 (高血圧症有 病者)	2006年(平 成18年)推 定数																																																																																																																																																																																										
男性	40～44歳	44	14.1%	6	20.7%	9																																																																																																																																																																																										
	45～49歳	47	17.7%	8	29.8%	14																																																																																																																																																																																										
	50～54歳	54	21.0%	11	32.9%	18																																																																																																																																																																																										
	55～59歳	56	20.4%	11	48.3%	27																																																																																																																																																																																										
	60～64歳	42	18.8%	8	46.4%	20																																																																																																																																																																																										
	65～69歳	41	14.9%	6	52.0%	21																																																																																																																																																																																										
	70～74歳	39	15.8%	6	59.2%	23																																																																																																																																																																																										
	合計	324	17.8%	58	40.8%	132																																																																																																																																																																																										
女性	40～44歳	46	9.5%	4	8.0%	4																																																																																																																																																																																										
	45～49歳	50	12.3%	6	13.5%	7																																																																																																																																																																																										
	50～54歳	57	13.8%	8	31.5%	18																																																																																																																																																																																										
	55～59歳	60	18.0%	11	32.4%	20																																																																																																																																																																																										
	60～64歳	50	16.1%	8	43.5%	22																																																																																																																																																																																										
	65～69歳	50	11.1%	6	55.1%	28																																																																																																																																																																																										
	70～74歳	51	12.8%	7	64.0%	33																																																																																																																																																																																										
	合計	364	13.5%	49	35.6%	130																																																																																																																																																																																										
性別	年齢区分	有病者数	予備群者数	非該当者数	計	H22.10月1日推計人口																																																																																																																																																																																										
男性	40～49歳	850	483	2,204	3,537	84,402																																																																																																																																																																																										
	50～59歳	2,677	976	3,030	6,683	97,297																																																																																																																																																																																										
	60～69歳	9,324	2,154	5,127	16,605	92,839																																																																																																																																																																																										
	70～74歳	5,920	1,054	2,284	9,258	36,589																																																																																																																																																																																										
	合計	18,771	4,667	12,645	36,083	311,127																																																																																																																																																																																										
	%	52.0	12.9	35.0	100.0	161,786																																																																																																																																																																																										
女性	40～49歳	442	336	2,975	3,753	88,859																																																																																																																																																																																										
	50～59歳	2,700	1,143	5,312	9,155	104,583																																																																																																																																																																																										
	60～69歳	12,005	3,135	10,771	25,911	107,479																																																																																																																																																																																										
	70～74歳	7,596	1,433	3,576	12,605	47,834																																																																																																																																																																																										
	合計	22,743	6,047	22,634	51,424	348,755																																																																																																																																																																																										
	%	44.2	11.8	44.0	100.0	154,150																																																																																																																																																																																										
特記事項	平成19年度改定による新規指標																																																																																																																																																																																															

評価シート

領域項目	8 循環器病		
目標項目	8-19 高脂血症有病者の推定数		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
10%減少	男性 41,000 人 女性 33,000 人	— —	男性 51,723 人 女性 78,218 人
参酌標準に基づく推定数			男性 151,208 人 女性 183,096 人
平成24年度	平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査		平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査(平成22年度市町村特定健康診査データ)
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○直近実績値は、基準値と比較して男女とも増加している。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○基準値と直近実績値における高脂血症有病者の判定は、HDLコレステロール値(40/dl未満又はコレステロール下げる服薬者)を使っている。 ○国がガイドラインで示している参酌標準では中性脂肪、LDLコレステロールも入れたものとなっている。(直近実績値:下段)		
(3)その他データ分析に係るコメント	※ 中性脂肪150mg/dl以上、またはHDLコレステロールが40mg/dl未満、または、LDL140mg/dl以上、若しくはコレステロールを下げる薬を服用している者(40~74歳)。※3		
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○男女とも悪化している		男性 D 女性 D
(5)今後の課題及び対策の抽出	○50代以降の中年女性に、卵や牛乳の摂り過ぎなど食事のバランスが偏らないように、ターゲットを絞った対策の強化を行う。		

## 健康あおもり 2 1 現状値の推移

領域	<b>循環器病</b>																																																																																																																																											
目標項目	<b>8-19 内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病の有病者・予備群の数 高脂血症有病者の推定数</b>																																																																																																																																											
基準値	男性 41,000人 女性 33,000人 *対象年齢は40～74歳 (平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査)																																																																																																																																											
現状値	男性 51,723人 女性 78,218人 (男性 151,208人 女性 183,096人) *参酌基準利用 *対象年齢は40～74歳 (平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査)																																																																																																																																											
目標値 (平成24年度)	10%減少																																																																																																																																											
根拠データ	*出典：平成18年度内臓脂肪症候群等実態調査 単位：千人、% <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">性別</th> <th style="width: 15%;">年齢区分</th> <th style="width: 15%;">2005年人口 (平成17年 国勢調査)</th> <th style="width: 15%;">該当者の割合 (高脂血症 有病者)</th> <th style="width: 10%;">2006年(平成 18年)推定数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="8" style="text-align: center;">男性</td><td>40～44歳</td><td style="text-align: center;">44</td><td style="text-align: center;">5.4%</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td>45～49歳</td><td style="text-align: center;">47</td><td style="text-align: center;">12.1%</td><td style="text-align: center;">6</td></tr> <tr><td>50～54歳</td><td style="text-align: center;">54</td><td style="text-align: center;">12.0%</td><td style="text-align: center;">6</td></tr> <tr><td>55～59歳</td><td style="text-align: center;">56</td><td style="text-align: center;">11.9%</td><td style="text-align: center;">7</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td style="text-align: center;">42</td><td style="text-align: center;">16.7%</td><td style="text-align: center;">7</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td style="text-align: center;">41</td><td style="text-align: center;">14.9%</td><td style="text-align: center;">6</td></tr> <tr><td>70～74歳</td><td style="text-align: center;">39</td><td style="text-align: center;">17.6%</td><td style="text-align: center;">7</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: center;">324</td><td style="text-align: center;">12.8%</td><td style="text-align: center;">41</td></tr> <tr><td rowspan="8" style="text-align: center;">女性</td><td>40～44歳</td><td style="text-align: center;">46</td><td style="text-align: center;">1.5%</td><td style="text-align: center;">1</td></tr> <tr><td>45～49歳</td><td style="text-align: center;">50</td><td style="text-align: center;">3.7%</td><td style="text-align: center;">2</td></tr> <tr><td>50～54歳</td><td style="text-align: center;">57</td><td style="text-align: center;">4.9%</td><td style="text-align: center;">3</td></tr> <tr><td>55～59歳</td><td style="text-align: center;">60</td><td style="text-align: center;">11.0%</td><td style="text-align: center;">7</td></tr> <tr><td>60～64歳</td><td style="text-align: center;">50</td><td style="text-align: center;">13.7%</td><td style="text-align: center;">7</td></tr> <tr><td>65～69歳</td><td style="text-align: center;">50</td><td style="text-align: center;">13.5%</td><td style="text-align: center;">7</td></tr> <tr><td>70～74歳</td><td style="text-align: center;">51</td><td style="text-align: center;">15.1%</td><td style="text-align: center;">8</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: center;">364</td><td style="text-align: center;">9.1%</td><td style="text-align: center;">33</td></tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">●高脂血症有病者：HDLコレステロールが40mg/d未満、または、コレステロールを下げる薬服用者</p> *出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">性別</th> <th style="width: 15%;">年齢区分</th> <th style="width: 15%;">有病者数</th> <th style="width: 15%;">非高脂血症数</th> <th style="width: 10%;">計</th> <th style="width: 10%;">H22.10月1日推 計人口</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="6" style="text-align: center;">男性</td><td>40～49歳</td><td style="text-align: center;">420</td><td style="text-align: center;">3,373</td><td style="text-align: center;">3,793</td><td style="text-align: center;">84,402</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td style="text-align: center;">938</td><td style="text-align: center;">6,057</td><td style="text-align: center;">6,995</td><td style="text-align: center;">97,297</td></tr> <tr><td>60～69歳</td><td style="text-align: center;">3,033</td><td style="text-align: center;">14,290</td><td style="text-align: center;">17,323</td><td style="text-align: center;">92,839</td></tr> <tr><td>70～74歳</td><td style="text-align: center;">1,891</td><td style="text-align: center;">7,786</td><td style="text-align: center;">9,677</td><td style="text-align: center;">36,589</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: center;">6,282</td><td style="text-align: center;">31,506</td><td style="text-align: center;">37,788</td><td style="text-align: center;">311,127</td></tr> <tr><td>%</td><td style="text-align: center;">16.6</td><td style="text-align: center;">83.4</td><td style="text-align: center;">100.0</td><td style="text-align: center;">51,723</td></tr> <tr><td rowspan="6" style="text-align: center;">女性</td><td>40～49歳</td><td style="text-align: center;">161</td><td style="text-align: center;">3,638</td><td style="text-align: center;">3,799</td><td style="text-align: center;">88,859</td></tr> <tr><td>50～59歳</td><td style="text-align: center;">1,160</td><td style="text-align: center;">8,077</td><td style="text-align: center;">9,237</td><td style="text-align: center;">104,583</td></tr> <tr><td>60～69歳</td><td style="text-align: center;">6,539</td><td style="text-align: center;">19,618</td><td style="text-align: center;">26,157</td><td style="text-align: center;">107,479</td></tr> <tr><td>70～74歳</td><td style="text-align: center;">3,785</td><td style="text-align: center;">8,944</td><td style="text-align: center;">12,729</td><td style="text-align: center;">47,834</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: center;">11,645</td><td style="text-align: center;">40,277</td><td style="text-align: center;">51,922</td><td style="text-align: center;">348,755</td></tr> <tr><td>%</td><td style="text-align: center;">22.4</td><td style="text-align: center;">77.6</td><td style="text-align: center;">100.0</td><td style="text-align: center;">78,218</td></tr> </tbody> </table>	性別	年齢区分	2005年人口 (平成17年 国勢調査)	該当者の割合 (高脂血症 有病者)	2006年(平成 18年)推定数	男性	40～44歳	44	5.4%	2	45～49歳	47	12.1%	6	50～54歳	54	12.0%	6	55～59歳	56	11.9%	7	60～64歳	42	16.7%	7	65～69歳	41	14.9%	6	70～74歳	39	17.6%	7	合計	324	12.8%	41	女性	40～44歳	46	1.5%	1	45～49歳	50	3.7%	2	50～54歳	57	4.9%	3	55～59歳	60	11.0%	7	60～64歳	50	13.7%	7	65～69歳	50	13.5%	7	70～74歳	51	15.1%	8	合計	364	9.1%	33	性別	年齢区分	有病者数	非高脂血症数	計	H22.10月1日推 計人口	男性	40～49歳	420	3,373	3,793	84,402	50～59歳	938	6,057	6,995	97,297	60～69歳	3,033	14,290	17,323	92,839	70～74歳	1,891	7,786	9,677	36,589	合計	6,282	31,506	37,788	311,127	%	16.6	83.4	100.0	51,723	女性	40～49歳	161	3,638	3,799	88,859	50～59歳	1,160	8,077	9,237	104,583	60～69歳	6,539	19,618	26,157	107,479	70～74歳	3,785	8,944	12,729	47,834	合計	11,645	40,277	51,922	348,755	%	22.4	77.6	100.0	78,218
性別	年齢区分	2005年人口 (平成17年 国勢調査)	該当者の割合 (高脂血症 有病者)	2006年(平成 18年)推定数																																																																																																																																								
男性	40～44歳	44	5.4%	2																																																																																																																																								
	45～49歳	47	12.1%	6																																																																																																																																								
	50～54歳	54	12.0%	6																																																																																																																																								
	55～59歳	56	11.9%	7																																																																																																																																								
	60～64歳	42	16.7%	7																																																																																																																																								
	65～69歳	41	14.9%	6																																																																																																																																								
	70～74歳	39	17.6%	7																																																																																																																																								
	合計	324	12.8%	41																																																																																																																																								
女性	40～44歳	46	1.5%	1																																																																																																																																								
	45～49歳	50	3.7%	2																																																																																																																																								
	50～54歳	57	4.9%	3																																																																																																																																								
	55～59歳	60	11.0%	7																																																																																																																																								
	60～64歳	50	13.7%	7																																																																																																																																								
	65～69歳	50	13.5%	7																																																																																																																																								
	70～74歳	51	15.1%	8																																																																																																																																								
	合計	364	9.1%	33																																																																																																																																								
性別	年齢区分	有病者数	非高脂血症数	計	H22.10月1日推 計人口																																																																																																																																							
男性	40～49歳	420	3,373	3,793	84,402																																																																																																																																							
	50～59歳	938	6,057	6,995	97,297																																																																																																																																							
	60～69歳	3,033	14,290	17,323	92,839																																																																																																																																							
	70～74歳	1,891	7,786	9,677	36,589																																																																																																																																							
	合計	6,282	31,506	37,788	311,127																																																																																																																																							
	%	16.6	83.4	100.0	51,723																																																																																																																																							
女性	40～49歳	161	3,638	3,799	88,859																																																																																																																																							
	50～59歳	1,160	8,077	9,237	104,583																																																																																																																																							
	60～69歳	6,539	19,618	26,157	107,479																																																																																																																																							
	70～74歳	3,785	8,944	12,729	47,834																																																																																																																																							
	合計	11,645	40,277	51,922	348,755																																																																																																																																							
	%	22.4	77.6	100.0	78,218																																																																																																																																							

<参考>\*出典：平成23年度内臓脂肪症候群等実態調査（平成22年度市町村特定健康診査データ：参酌基準利用）

性別	年齢区分	有病者数	非高脂血症数	計	H22.10月1日推計人口
男性	40～49歳	1,945	1,593	3,538	84,402
	50～59歳	3,510	3,173	6,683	97,297
	60～69歳	7,991	8,615	16,606	92,839
	70～74歳	4,122	5,136	9,258	36,589
	合計	17,568	18,517	36,085	311,127
	%	48.7	51.3	100.0	151,208
女性	40～49歳	920	2,834	3,754	88,859
	50～59歳	4,406	4,751	9,157	104,583
	60～69歳	14,606	11,307	25,913	107,479
	70～74歳	7,079	5,528	12,607	47,834
	合計	27,011	24,420	51,431	348,755
	%	52.5	47.5	100.0	183,096

●高脂血症有病者：中性脂肪150mg/dl以上、又はHDLコレステロールが40mg/dl未満、又は、LDLコレステロール140mg/dl以上、若しくはコレステロールを下げる薬服用者

特記事項

平成19年度改定による新規指標

評価シート

領域項目	8 循環器病		
目標項目	8-27 脳血管疾患受療率（人口10万対）		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
10%減少	入院 179 通院 189	—	入院 160 通院 64
平成24年度	平成17年患者調査	—	平成20年患者調査
コメント			
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○基準値と比較し、入院、通院とも直近実績値は減少している。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○入院、通院ともに目標値達成		入院 A 通院 A
(5)今後の課題及び対策の抽出	○かかりつけ医等による血圧管理を徹底し悪化させないようにする必要がある。 ○医療計画との整合性をとっていく必要がある。		

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	循環器病									
目標項目	8-27 脳血管疾患受療率 (人口10万対)									
基準値	入院 179 外来 189 (平成17年患者調査結果)									
現状値	入院 160 外来 64 (平成20年患者調査結果)									
目標値 (平成24年度)	10% 減少									
根拠データ	<p>※ 患者調査 受療率 (人口10万対) 厚生労働省 公表資料より</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>脳血管疾患</th> <th>入院総数</th> <th>外来総数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成17年</td> <td>179</td> <td>189</td> </tr> <tr> <td>平成20年</td> <td>160</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table>	脳血管疾患	入院総数	外来総数	平成17年	179	189	平成20年	160	64
脳血管疾患	入院総数	外来総数								
平成17年	179	189								
平成20年	160	64								
特記事項	平成19年度改定による新規指標									

評価シート

領域項目	8 循環器病		
目標項目	8-28 虚血性心疾患受療率（人口10万対）		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
10%減少	入院 14 通院 76		入院 17 通院 65
平成24年度	平成17年患者調査		平成20年患者調査
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○基準値と比較し、入院は増加し、通院は低下している。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○入院は基準値と比較し増加した。 ○通勤は10%以上減少		入院 D 通院 A
(5)今後の課題及び対策の抽出	○発症率は変わってないが、入院して治療できている人が増加していることは、悪いことではないので、今回入院はD判定であるが、今後は目標の立て方を検討する必要がある。 ○治療できる施設で入院をする。		

健康あおもり 2.1 現状値の推移

領域	循環器病									
目標項目	8-28 虚血性心疾患受療率 (人口10万対)									
基準値	入院 14 外来 76 (平成17年患者調査結果)									
現状値	入院 17 外来 65 (平成20年患者調査結果)									
目標値 (平成24年度)	10% 減少									
根拠データ	<p>※ 患者調査 受療率 (人口10万対) 厚生労働省 公表資料より</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>虚血性心疾患</th> <th>入院総数</th> <th>外来総数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成17年</td> <td>14</td> <td>76</td> </tr> <tr> <td>平成20年</td> <td>17</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	虚血性心疾患	入院総数	外来総数	平成17年	14	76	平成20年	17	65
虚血性心疾患	入院総数	外来総数								
平成17年	14	76								
平成20年	17	65								
特記事項	平成19年度改定による新規指標									



評価シート

領域項目	8 循環器病		
目標項目	8-29 脳卒中による死亡率（人口10万対）		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
35%減少	男性 84.0 女性 45.3		男性 67.1 女性 34.0
平成24年度	平成17年都道府県別年齢調整死亡率の概況		平成22年都道府県別年齢調整死亡率の概況
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○直近実績値は、男女とも低下している。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○男性、女性とも基準値と比較し、低下しているが、目標値には達していない。		男性 B 女性 B
(5)今後の課題及び対策の抽出	○早期受診の啓発継続 ○救急搬送や医療体制の整備、連携の推進		

## 健康あおもり 2.1 現状値の推移

領域	循環器病									
目標項目	8-29 脳卒中による死亡率 (人口10万人対)									
基準値	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%;">男性</td> <td style="width: 10%;">84.0</td> <td style="width: 80%; text-align: right;">(平成17年都道府県別年齢調整死亡率の概況)</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>45.3</td> <td></td> </tr> </table>	男性	84.0	(平成17年都道府県別年齢調整死亡率の概況)	女性	45.3				
男性	84.0	(平成17年都道府県別年齢調整死亡率の概況)								
女性	45.3									
現状値	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%;">男性</td> <td style="width: 10%;">67.1</td> <td style="width: 80%; text-align: right;">(平成22年都道府県別年齢調整死亡率の概況)</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>34.0</td> <td></td> </tr> </table>	男性	67.1	(平成22年都道府県別年齢調整死亡率の概況)	女性	34.0				
男性	67.1	(平成22年都道府県別年齢調整死亡率の概況)								
女性	34.0									
目標値 (平成24年度)	35%減少									
根拠データ	<p>※都道府県別年齢調整死亡率 (人口10万対) 厚生労働省 公表資料より</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">脳血管疾患</th> <th style="text-align: center;">男性</th> <th style="text-align: center;">女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">平成17年</td> <td style="text-align: center;">84.0</td> <td style="text-align: center;">45.3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成22年</td> <td style="text-align: center;">67.1</td> <td style="text-align: center;">34.0</td> </tr> </tbody> </table>	脳血管疾患	男性	女性	平成17年	84.0	45.3	平成22年	67.1	34.0
脳血管疾患	男性	女性								
平成17年	84.0	45.3								
平成22年	67.1	34.0								
特記事項	平成19年度改定による新規指標									

評価シート

領域項目	8 循環器病		
目標項目	8-30 虚血性心疾患による死亡率（人口10万対）		
目標値	基準値	中間評価	直近実績値
35%減少	男性 108.0 女性 50.2		男性 98.8 女性 44.9
平成24年度	平成17年都道府県別年齢調整死亡率の概況		平成22年都道府県別年齢調整死亡率の概況
	コメント		
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○直近実績値は、男女とも低下している。		
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)			
(3)その他データ分析に係るコメント			
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	○男性、女性とも、基準値に対して低下してきているものの、目標値には達していない		男性 B 女性 B
(5)今後の課題及び対策の抽出	○自己管理できない(喫煙)3割に再発があることから、たばこ対策を強化する。 ○早期受診の啓発と、救急搬送・医療連携体制の整備、連携の推進		

健康あおもり 2.1 現状値の推移

領域	循環器病									
目標項目	8-30 虚血性心疾患による死亡率 (人口10万人対)									
基準値	男性 108.0 女性 50.2 (平成17年都道府県別年齢調整死亡率の概況)									
現状値	男性 98.8 女性 44.9 (平成22年都道府県別年齢調整死亡率の概況)									
目標値 (平成24年度)	15%減少									
根拠データ	<p>※都道府県別年齢調整死亡率 (人口10万対) 厚生労働省 公表資料より</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>心疾患</th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成17年</td> <td>108.0</td> <td>50.2</td> </tr> <tr> <td>平成22年</td> <td>98.8</td> <td>44.9</td> </tr> </tbody> </table>	心疾患	男性	女性	平成17年	108.0	50.2	平成22年	98.8	44.9
心疾患	男性	女性								
平成17年	108.0	50.2								
平成22年	98.8	44.9								
特記事項	平成19年度改定による新規指標									

がん

評価シート

領域項目	9 がん				
目標項目	9-7 がん検診の受診者の増加(がん検診の受診率・カバー率)				
目標値	基準値	中間評価	直近実績値		
がん検診カバー率 すべてのがん種について 30%	胃がん(男性)	10.4% (10.3%)	10.2% (10.2%)	10.0%	
	胃がん(女性)	15.8% (15.8%)	13.9% (13.9%)	12.4%	
	大腸がん(男性)	10.7% (10.7%)	11.1% (11.1%)	11.7%	
	大腸がん(女性)	16.4% (16.4%)	15.9% (15.9%)	15.3%	
	肺がん(男性)	11.8% (11.8%)	11.3% (11.2%)	10.1%	
	肺がん(女性)	18.8% (18.6%)	15.7% (15.7%)	12.7%	
	子宮がん	11.9% (12.0%)	14.3% (7.1%)	13.7%	
	乳がん	12.6% (12.7%)	14.7% (7.7%)	10.9%	
		平成11年度地域保健・老人保健事業報告(健康診査データ集計システム)	平成17年度地域保健・老人保健事業報告(健康診査データ集計システム)	平成21年度地域保健・健康増進事業報告	
目標値	基準値	中間評価	直近実績値		
がん検診受診率 すべてのがん種について 50%	胃がん(男性)	22.9%		20.9%	
	胃がん(女性)	28.8%		22.6%	
	大腸がん(男性)	24.9%		24.2%	
	大腸がん(女性)	32.5%		27.7%	
	肺がん(男性)	25.5%		21.2%	
	肺がん(女性)	32.6%		23.3%	
	子宮がん	33.6%		25.8%	
	乳がん	31.6%		18.8%	
		平成17年度 地域保健・老人保健事業報告		平成21年度地域保健・健康増進事業報告	
<b>コメント</b>					
(1)直近実績値に係るデータ分析 (直近実績値がベースライン値に対してどのような動きになっているか。)	○カバー率では、平成11年度と21年度を比較すると、胃がん(男性)ではほぼ横ばい、大腸がん(男性)及び子宮がんで増加傾向が見られるが、その他は減少傾向にある。 ○受診率では、平成17年度と21年度を比較すると、大腸がん(男性)がほぼ横ばいである以外は、すべて減少傾向にある。				
(2)データ等分析上の課題 (調査分析をする上での課題(調査手段、方法、分析材料等)がある場合、記載。)	○カバー率は、検診対象者の国勢調査人口又は推計人口に占める市町村の検診受診者の割合を示すもの。 ○受診率は、各市町村ごとの検診対象人口に占める検診受診者の割合を示すもの。				
(3)その他データ分析に係るコメント					
(4)最終評価 最終値が、目標に向けて、改善したか、悪化したか等を簡潔に記載。	・カバー率、受診率ともに目標値に達していない。		D		
(5)今後の課題及び対策の抽出	・職場健診や個別健診、かかりつけ医での健診など別の機会に検診を受けている人の把握ができていない。(健診受診者の実数の把握) ・未受診者の理由を把握する必要がある。 ・検診は居住地にかかわらず受診できる体制が必要である。 ・検診未受診者を把握し、引き続き啓発活動をする必要がある。				

健康あおもり 21 現状値の推移

領域	がん																																																																																																																				
目標項目	9-7 がん検診の受診者の増加 (がん検診の受診率・カバー率)																																																																																																																				
基準値	<p>がん検診カバー率</p> <table border="0"> <tr> <td>胃がん</td> <td>男性</td> <td>10.4%</td> <td>女性</td> <td>15.8%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>男性</td> <td>10.7%</td> <td>女性</td> <td>16.4%</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>男性</td> <td>11.8%</td> <td>女性</td> <td>18.8%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん</td> <td></td> <td></td> <td>女性</td> <td>11.9%</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td></td> <td></td> <td>女性</td> <td>12.6%</td> </tr> </table> <p>(平成11年度地域保健・老人保健事業報告)</p> <p>がん検診受診率</p> <table border="0"> <tr> <td>胃がん</td> <td>男性</td> <td>22.9%</td> <td>女性</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>男性</td> <td>24.9%</td> <td>女性</td> <td>32.5%</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>男性</td> <td>25.5%</td> <td>女性</td> <td>32.6%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん</td> <td></td> <td></td> <td>女性</td> <td>33.6%</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td></td> <td></td> <td>女性</td> <td>31.6%</td> </tr> </table> <p>(平成17年度地域保健・老人保健事業報告)</p>	胃がん	男性	10.4%	女性	15.8%	大腸がん	男性	10.7%	女性	16.4%	肺がん	男性	11.8%	女性	18.8%	子宮がん			女性	11.9%	乳がん			女性	12.6%	胃がん	男性	22.9%	女性	28.8%	大腸がん	男性	24.9%	女性	32.5%	肺がん	男性	25.5%	女性	32.6%	子宮がん			女性	33.6%	乳がん			女性	31.6%																																																																		
胃がん	男性	10.4%	女性	15.8%																																																																																																																	
大腸がん	男性	10.7%	女性	16.4%																																																																																																																	
肺がん	男性	11.8%	女性	18.8%																																																																																																																	
子宮がん			女性	11.9%																																																																																																																	
乳がん			女性	12.6%																																																																																																																	
胃がん	男性	22.9%	女性	28.8%																																																																																																																	
大腸がん	男性	24.9%	女性	32.5%																																																																																																																	
肺がん	男性	25.5%	女性	32.6%																																																																																																																	
子宮がん			女性	33.6%																																																																																																																	
乳がん			女性	31.6%																																																																																																																	
現状値	<p>がん検診カバー率</p> <table border="0"> <tr> <td>胃がん</td> <td>男性</td> <td>10.0%</td> <td>女性</td> <td>12.4%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>男性</td> <td>11.7%</td> <td>女性</td> <td>15.3%</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>男性</td> <td>10.1%</td> <td>女性</td> <td>12.7%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん</td> <td></td> <td></td> <td>女性</td> <td>13.7%</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td></td> <td></td> <td>女性</td> <td>10.9%</td> </tr> </table> <p>(平成21年度地域保健・老人保健事業報告)</p> <p>がん検診受診率</p> <table border="0"> <tr> <td>胃がん</td> <td>男性</td> <td>20.9%</td> <td>女性</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>男性</td> <td>24.2%</td> <td>女性</td> <td>27.7%</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>男性</td> <td>21.2%</td> <td>女性</td> <td>23.3%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん</td> <td></td> <td></td> <td>女性</td> <td>25.8%</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td></td> <td></td> <td>女性</td> <td>18.8%</td> </tr> </table> <p>(平成21年度地域保健・老人保健事業報告)</p>	胃がん	男性	10.0%	女性	12.4%	大腸がん	男性	11.7%	女性	15.3%	肺がん	男性	10.1%	女性	12.7%	子宮がん			女性	13.7%	乳がん			女性	10.9%	胃がん	男性	20.9%	女性	22.6%	大腸がん	男性	24.2%	女性	27.7%	肺がん	男性	21.2%	女性	23.3%	子宮がん			女性	25.8%	乳がん			女性	18.8%																																																																		
胃がん	男性	10.0%	女性	12.4%																																																																																																																	
大腸がん	男性	11.7%	女性	15.3%																																																																																																																	
肺がん	男性	10.1%	女性	12.7%																																																																																																																	
子宮がん			女性	13.7%																																																																																																																	
乳がん			女性	10.9%																																																																																																																	
胃がん	男性	20.9%	女性	22.6%																																																																																																																	
大腸がん	男性	24.2%	女性	27.7%																																																																																																																	
肺がん	男性	21.2%	女性	23.3%																																																																																																																	
子宮がん			女性	25.8%																																																																																																																	
乳がん			女性	18.8%																																																																																																																	
目標値 (平成24年度)	<p>がん検診受診率：50%以上</p> <p>がん検診カバー率：30%以上</p>																																																																																																																				
	<p>がん検診受診者数：地域保健・老人保健事業報告（H20から地域保健・健康増進事業報告）より</p> <p style="text-align: right;">(人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">胃がん</th> <th colspan="2">大腸がん</th> <th colspan="2">肺がん</th> <th>子宮がん</th> <th>乳がん</th> </tr> <tr> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>男性</th> <th>女性</th> <th>女性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成11年度</td> <td>37,191</td> <td>69,168</td> <td>38,186</td> <td>71,827</td> <td>42,093</td> <td>82,259</td> <td>63,076</td> <td>66,909</td> </tr> <tr> <td>平成12年度</td> <td>36,968</td> <td>68,337</td> <td>37,768</td> <td>71,958</td> <td>41,661</td> <td>80,573</td> <td>61,552</td> <td>66,466</td> </tr> <tr> <td>平成13年度</td> <td>37,668</td> <td>69,437</td> <td>38,980</td> <td>73,849</td> <td>42,156</td> <td>80,004</td> <td>64,569</td> <td>68,420</td> </tr> <tr> <td>平成14年度</td> <td>38,243</td> <td>67,796</td> <td>39,539</td> <td>72,795</td> <td>42,177</td> <td>77,200</td> <td>62,602</td> <td>65,519</td> </tr> <tr> <td>平成15年度</td> <td>39,333</td> <td>68,867</td> <td>41,105</td> <td>74,036</td> <td>43,227</td> <td>76,607</td> <td>63,341</td> <td>63,833</td> </tr> <tr> <td>平成16年度</td> <td>37,532</td> <td>64,795</td> <td>40,829</td> <td>72,790</td> <td>42,178</td> <td>73,748</td> <td>57,579</td> <td>35,132</td> </tr> <tr> <td>平成17年度</td> <td>38,138</td> <td>63,909</td> <td>41,625</td> <td>72,784</td> <td>42,240</td> <td>72,164</td> <td>88,783</td> <td>67,246</td> </tr> <tr> <td>平成18年度</td> <td>37,706</td> <td>61,903</td> <td>42,481</td> <td>73,572</td> <td>39,197</td> <td>67,236</td> <td>74,431</td> <td>60,422</td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>37,264</td> <td>61,091</td> <td>43,100</td> <td>75,617</td> <td>39,633</td> <td>67,697</td> <td>75,763</td> <td>61,829</td> </tr> <tr> <td>平成20年度</td> <td>36,198</td> <td>57,056</td> <td>41,969</td> <td>70,052</td> <td>36,073</td> <td>57,851</td> <td>75,981</td> <td>53,252</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>37,583</td> <td>57,347</td> <td>43,737</td> <td>70,980</td> <td>37,989</td> <td>58,922</td> <td>83,483</td> <td>50,775</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 子宮がん：頸部細胞診。平成16年度より対象年齢が20歳以上、隔年実施。          ● 乳がん：平成16年度より視触診方式+マンモグラフィ併用方式、対象年齢が40歳以上、隔年実施。          ● 以上から、子宮がん及び乳がんの受診者数は、平成17年度から、前年度との2ヵ年合計値から2年連続受診者数を減じた数値。</p>		胃がん		大腸がん		肺がん		子宮がん	乳がん	男性	女性	男性	女性	男性	女性	女性	女性	平成11年度	37,191	69,168	38,186	71,827	42,093	82,259	63,076	66,909	平成12年度	36,968	68,337	37,768	71,958	41,661	80,573	61,552	66,466	平成13年度	37,668	69,437	38,980	73,849	42,156	80,004	64,569	68,420	平成14年度	38,243	67,796	39,539	72,795	42,177	77,200	62,602	65,519	平成15年度	39,333	68,867	41,105	74,036	43,227	76,607	63,341	63,833	平成16年度	37,532	64,795	40,829	72,790	42,178	73,748	57,579	35,132	平成17年度	38,138	63,909	41,625	72,784	42,240	72,164	88,783	67,246	平成18年度	37,706	61,903	42,481	73,572	39,197	67,236	74,431	60,422	平成19年度	37,264	61,091	43,100	75,617	39,633	67,697	75,763	61,829	平成20年度	36,198	57,056	41,969	70,052	36,073	57,851	75,981	53,252	平成21年度	37,583	57,347	43,737	70,980	37,989	58,922	83,483	50,775
	胃がん		大腸がん		肺がん		子宮がん	乳がん																																																																																																													
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	女性	女性																																																																																																													
平成11年度	37,191	69,168	38,186	71,827	42,093	82,259	63,076	66,909																																																																																																													
平成12年度	36,968	68,337	37,768	71,958	41,661	80,573	61,552	66,466																																																																																																													
平成13年度	37,668	69,437	38,980	73,849	42,156	80,004	64,569	68,420																																																																																																													
平成14年度	38,243	67,796	39,539	72,795	42,177	77,200	62,602	65,519																																																																																																													
平成15年度	39,333	68,867	41,105	74,036	43,227	76,607	63,341	63,833																																																																																																													
平成16年度	37,532	64,795	40,829	72,790	42,178	73,748	57,579	35,132																																																																																																													
平成17年度	38,138	63,909	41,625	72,784	42,240	72,164	88,783	67,246																																																																																																													
平成18年度	37,706	61,903	42,481	73,572	39,197	67,236	74,431	60,422																																																																																																													
平成19年度	37,264	61,091	43,100	75,617	39,633	67,697	75,763	61,829																																																																																																													
平成20年度	36,198	57,056	41,969	70,052	36,073	57,851	75,981	53,252																																																																																																													
平成21年度	37,583	57,347	43,737	70,980	37,989	58,922	83,483	50,775																																																																																																													

根拠データ

	胃がん		大腸がん		肺がん		子宮がん	乳がん
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	女性	女性
平成11年度	10.4	15.8	10.7	16.4	11.8	18.8	11.9	12.6
平成12年度	11.0	15.4	11.2	16.3	12.4	18.2	11.5	12.5
平成13年度	10.2	15.6	10.6	16.5	11.4	17.9	12.0	12.7
平成14年度	10.3	15.1	10.7	16.2	11.4	17.2	11.6	12.1
平成15年度	10.6	14.6	11.1	15.7	11.6	16.2	10.9	11.0
平成16年度	10.1	14.2	11.0	16.0	11.3	16.2	9.3	7.7
平成17年度	10.2	13.9	11.1	15.9	11.3	15.7	14.3	14.7
平成18年度	10.1	13.5	11.4	16.0	10.5	14.7	12.0	13.2
平成19年度	10.0	13.3	11.5	16.4	10.6	14.7	12.3	13.4
平成20年度	9.7	12.3	11.2	15.1	9.6	12.5	12.4	11.5
平成21年度	10.0	12.4	11.7	15.3	10.1	12.7	13.7	10.9

● カバー率：市町村単位の受診率をはかる上で考慮すべき指標で、(検診を受診したもの) ÷ (地域の検診対象人口) × 100

● 肺がん：X線読影

● 子宮がん：頸部細胞診。平成16年度より対象年齢が20歳以上、隔年実施。

● 乳がん：平成16年度より視触診方式+マンモグラフィ併用方式、対象年齢が40歳以上、隔年実施。

● 人口：10月1日現在

平成12年、17年は国勢調査結果

その他は、青森県統計分析課「青森県推計人口年報」による

(人)

	40歳以上人口		30歳以上人口	20歳以上人口
	男性	女性	女性	女性
平成11年	356,655	437,409	528,962	
平成12年	336,036	442,734	533,750	
平成13年	368,303	446,397	537,047	
平成14年	370,354	449,439	539,794	
平成15年	371,207	472,504	580,581	
平成16年	372,323	454,743		621,595
平成17年	375,191	458,465		622,682
平成18年	374,250	458,903		619,809
平成19年	374,393	460,807		616,582
平成20年	374,641	462,610		613,582
平成21年	374,921	464,032		610,740

受診率 (%)

	胃がん		大腸がん		肺がん		子宮がん	乳がん
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	女性	女性
平成17年度	22.9	28.8	24.9	32.5	25.5	32.6	33.6	31.6
平成18年度	22.8	27.5	25.5	32.4	23.8	30.0	26.2	26.7
平成19年度	21.5	26.9	24.7	33.0	23.0	29.9	26.5	27.1
平成20年度	20.4	22.7	23.6	27.7	20.4	23.0	23.6	20.3
平成21年度	20.9	22.6	24.2	27.7	21.2	23.3	25.8	18.8

● 受診対象者：地域保健・老人保健事業報告より (人)

	胃がん		大腸がん		肺がん		子宮がん	乳がん
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	女性	女性
平成17年度	166,522	221,543	166,834	223,761	165,513	221,237	264,562	212,598
平成18年度	165,222	224,906	166,901	226,789	164,567	224,240	284,098	225,946
平成19年度	172,972	226,728	174,500	228,877	172,607	226,775	286,278	227,756
平成20年度	177,035	251,283	178,034	253,054	176,554	251,053	322,280	262,956
平成21年度	180,004	254,081	180,969	255,806	179,233	253,401	323,734	269,737

特記事項

平成18年度改定の結果、目標値「30%~40%」から「30%」に変更。



### 3. 健康づくり事業一覧 (平成13～24年度)

健康あおもり21の推進 本県の健康づくり事業一覧(平成13～24年度)

	「健康あおもり21」行動目標等	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
「健康あおもり21」の進捗状況	「健康あおもり21」策定	「健康あおもり21」二次保健医療圏計画策定(～22年度)の追加	設定した現状値の追加 ・平成14年度未成年者の飲酒・喫煙アンケート調査 ・青森県糖尿病有病者治療継続調査	推進方策の検討	推進方策の検討	中間評価に係る調査 ・県民栄養調査 ・歯科疾患実態調査 ・たばこに関する調査	「健康あおもり21」中間評価及び改定 都道府県健康増進計画充実のための調査 市町村会議	医療制度改革に伴う計画期間延長(～24年度)「健康あおもり21」(追補版)作成	<参考>青森県医療費適正化計画(～24年度)推進計画(～24年度)青森県がん対策計画(～24年度)青森県保健医療計画(～24年度)	最終評価に係る調査 ・県民栄養調査集計 ・内臓脂肪症候群実態調査 ・たばこに関する調査	最終評価	最終評価に係る調査・集計	最終評価
	健康あおもり21関連会議・委員会	健康あおもり21の進捗状況について	健康あおもり21の進捗状況について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	医療制度改革に伴う健康あおもり21の改定について健康あおもり21に係る主な事業について			健康あおもり21の今後の予定について健康栄養教材について	
栄養・食生活領域毎の事業	「バランスのよい食生活で、適正体重を」 (1)年齢期に次のことを重点に食に関する教育・指導の充実を図る。 ア食に関する教育・指導を実施し、幼児・児童の保護者に対し、成長期の栄養について正しい知識を普及する。 イ次食をなくするよう、生活リズムの改善に努める食に関する教育・指導の実施に努める。 ウ幼児・児童に対して、「食べた分だけ体を動かす」ことを体験させる食に関する教育・指導の実施に努める。	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について
		健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について	健康あおもり21の進捗について

健康あおもり21の推進 本県の健康づくり事業一覧(平成13～24年度)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
栄養・食生活	平成13年度 ・外食栄養成分表示店定着促進事業 ・市町村栄養改善事業 ・市町村栄養改善事業 ・食生活改善推進員の育成・支援 ・学童朝食欠食改善事業 ・調理師研修会開催事業 ・給食施設栄養管理指導事業			よい食習慣定着促進事業		コンビニde食育推進事業					食生活改善普及事業	
身体活動・運動	運動指導士、健康運動実践指導者の養成	運動指導士の養成	フォローアップ研修									
心身の健康づくり	心のヘルスアップ事業 ・心のヘルスアップ専門家会議 ・心のヘルスアップフォーラム ・心のヘルスアップ研修会 ・自殺予防実態調査	心のヘルスアップ事業 ・心のヘルスアップ専門家会議 ・心のヘルスアップフォーラム ・心のヘルスアップ研修会 ・自殺予防実態調査				自殺対策連絡協議会						

健康あおもり21の推進 本県の健康づくり事業一覧(平成13～24年度)

	「健康あおもり21」行動目標等	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
領域毎の事業	たばこ	<p>一喫煙率を減らそうー ・未成年者の喫煙ゼロ ・分煙の徹底</p> <p>(1)成人喫煙率の低減を図ることにはも とより、特に妊婦と未成年者の禁煙・ 防煙に重点をおいた対策を進める。</p> <p>(2)公共の場及び職場における禁煙・ 初果の高い分煙をすすめる。</p>	<p>禁煙支援促進指 導者養成研修会</p>	<p>医師等調査研究 事業</p> <p>・東セクター (空気もメ ジャー店事業)</p>	<p>空気クリーン施 設(受動喫煙防 止対策実施施 設、空気もメ ジャー店(含む) リレーン車含む) 推進事業</p>	<p>たばこに関する 調査</p> <p>空気クリーン施 設(受動喫煙防 止対策実施施 設、空気もメ ジャー店(含む) リレーン車含む) 推進事業</p>	<p>肺がん予防対策 事業</p>	<p>未成年者の喫煙 調査</p>	<p>青年層の喫煙調 査</p>	<p>未成年者の喫煙 防止対策検討会 禁煙治療医療機 関従事者研修会 親子の喫煙対策 推進事業</p> <p>・産科医療従事 者を対象とした 禁煙継続指導研 修会</p>	<p>平成21年度 自殺対策のため の地域力支援強 化事業 自殺対策緊急強 化事業</p>	<p>平成22年度 地域自殺予防防 報センター事業</p>		
	アルコール	<p>一酒を飲んでも呑まれるな、1合こ えたら要注進一</p> <p>(1)多重飲酒問題を早期に発見し、適 切な対応を行う。 (2)未成年者の飲酒防止を推進す る。 (3)アルコールと健康に関する知識の 普及を図る。</p>				<p>医師等調査研究 事業 ・東セクター (節度ある適度 な飲酒啓発事</p>	<p>アルコール対策 研修会</p>	<p>未成年者の飲酒 調査</p>	<p>青年層の飲酒調 査</p>	<p>市町村庁舎受動 喫煙防止対策実 施状況調査</p> <p>禁煙タクシニーに 関する調査</p>			<p>未成年者の喫煙・ 飲酒実態調査</p>	

健康あおもり21の推進 本県の健康づくり事業一覧(平成13～24年度)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
歯の健康 領域毎の事業	「健康あおもり21」行動目標等 ー自ら進んで歯の健康チェックを受けようー <ol style="list-style-type: none"> <li>8020運動を進めるため、歯の健康づくりを実践する。</li> <li>幼児のむし歯予防対策を推進する。</li> <li>児童生徒のむし歯や歯周疾患の予防対策を推進する。</li> <li>成人のむし歯や歯周疾患の予防対策を推進する。</li> <li>要介護高齢者や障害児者の歯科医療や口腔ケアを推進する。</li> </ol>	平成13年度 むし歯予防対策事業 ・歯の衛生週間、母と子のよい歯のコンクア・よい歯のシニア・コンテスト ・8020運動推進事業 ・知的障害児者歯科保健医療推進事業 ・介護保険等対応歯科保健医療推進事業 ・歯科保健指導者研修会 ・8020運動推進特別事業 ・8020運動推進運営委員会 ・歯科衛生士実態調査 ・乳歯の健全育成運動 ・事業所歯科健診	平成14年度 ・在宅歯科衛生士再教育研修事業 ・「マウスガード」普及推進モデル事業 ・歯科保健普及啓発運動	平成15年度 むし歯予防対策事業 ・歯の衛生週間、母と子のよい歯のコンクア・よい歯のシニア・コンテスト ・知的障害児者歯科保健医療推進事業	平成16年度 ・8020推進隊の育成 ・若年成人歯科保健実態調査	平成17年度 ・若年成人歯科保健実態調査 ・若年成人歯科保健実態調査 ・歯科疾患実態調査	平成18年度 ・8020推進隊の活動 ・口腔疾患予防のための禁煙支援事業	平成19年度 ・乳幼児歯科支援事業	平成20年度 歯周疾患対策事業	平成21年度 成人歯科健診充実強化事業	平成22年度 在宅歯科医療連携 携室整備事業		

健康あおもり21の推進 本県の健康づくり事業一覧(平成13～24年度)

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
「健康あおもり21」行動目標等												
糖尿病 一層減は糖尿病の赤信号 (1)糖尿病の発症を予防する。 (2)糖尿病にかかわる検診を徹底する。 (3)糖尿病合併症を減少させ、死亡率を低下させる。	壮年男性健康アップ推進事業 ・壮年男性健康アップ推進ネットワーク会議 ・小規模事業所健康づくり検討会 ・小規模事業所健康教育	・研修会 ・地域・職域保健連絡会議		地域保健推進特別事業(下北地方健康福祉こどもセクター地域職域保健サビース共有化事業)	糖尿病対策事業 ・糖尿病調査	・糖尿病対策強化事業 ・子どもの健康づくり推進事業 ・糖尿病保健医療連携支援システム構築 ・糖尿病保健指導技術研修事業 ・メタボリックシンドローム研究会 ・肥満予防普及啓発	・糖尿病対策強化事業 ・子どもの健康づくり推進事業 ・糖尿病保健医療連携支援システム構築 ・糖尿病保健指導技術研修事業 ・メタボリックシンドローム研究会 ・肥満予防普及啓発	・事業所における健康度レベルアップ作戦 ・メタボリックシンドローム意識調査 ・シンポジウム開催	親子ヘルスアップ大作戦事業 ・親子の学習・食育推進事業			・糖尿病地域成進断機能強化推進事業 ・糖尿病疾病管理強化推進事業
循環器病 一自分の血圧を知らうー (1)県民一人ひとりが自分の血圧に關心を持ち、自己管理をしていけるようにする。 (2)地域・職場における健康診査受診率の向上を図る。 (3)検診後の事後指導及び必要な医療を継続して受けるよう指導の徹底を図る。	成人病検診管理指導者協議会 成人病検診従事者指導講習会								がん検診等従事者指導講習会	がん検診受診率向上企業連携事業		
がん 一すすんで検診を受けようー (1)がんの一次予防についての予防教育を充実する。 (2)がん検診の受診者の増加と質の向上を図る。	・健康あおもり21推進モデル事業 ・市町村計画の普及・推進をめざす ・健康あおもり21県民講座事業					女性のがん緊急対策事業	生活習慣病管理指導者協議会	がん対策推進事業		がん検診受診率向上企業連携事業	がん対策に係る体制強化推進事業 がん対策推進事業費 がん診療施設情報ネットワーク運営補助 小児がん等がん調査事業 がん対策重点推進事業 がん対策充実強化事業	
その他							地域保健総合推進事業「総合的・総合的に地域診断手法に関する研究」			総合的地域診断手法定着事業		
その他					健康づくり事業 報告書 健康づくり事業功労者表彰 市町村計画策定推進会議 健康づくりチャレンジャー事業							
領域毎の事業												

## 4. 青森県健康寿命アップ計画推進委員会 設置要領・委員名簿

## 青森県健康寿命アップ計画推進委員会設置要領

### (設置)

第1 本県の平均寿命の延伸を図るために策定された「平均寿命アップ計画」(平成11年2月策定。以下「計画」という。)に掲げる課題に数値目標を設定する「健康あおもり21」及び計画の推進状況の評価等を行うために、「健康寿命アップ計画推進委員会」(以下「推進委員会」という。)を設置する。

### (所掌事務)

第2 推進委員会は、次に掲げる事項を所掌する。  
(1) 計画及び「健康あおもり21」の推進に関すること。  
(2) 本県の平均寿命に係る課題の整理に関すること。  
(3) 現行施策の分析や評価方法に関すること。  
(4) その他運営の基本方針に関すること。

### (委員の委嘱)

第3 推進委員会は、別表1の分野の委員40人以内で構成し、知事が委嘱し、又は任命する。

### (委員長)

第4 委員会に委員長を置く。  
2 委員長は、委員の互選により定める。  
3 委員長は、委員会の事務を総理し、委員会を代表する。  
4 委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指定する委員がその職務を代理する。

### (会議)

第5 委員会は、必要に応じて委員長が招集する。  
2 委員長は、会議の議長となる。  
3 委員長は、必要に応じて、関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

### (部会長会議の設置)

第6 委員会に部会長会議を設置する。  
2 部会長会議は、第4に規定する委員長及び第11に規定する部会長で構成する。

### (部会長会議の所掌事項)

第7 部会長会議は、各部会間の総合調整を行うものとする。

### (部会長会議の会議)

第8 部会長会議は、委員長が招集する。  
2 委員長は、部会長会議の議長となる。  
3 委員長は、必要に応じて、関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。  
4 委員長は、部会長会議で検討した結果を推進委員会に報告しなければならない。



(部会の設置)

第9 委員会に専門の事項を協議するために次の部会を置き、それぞれの部会の担当する分野は別表2のとおりとする。

- (1) 栄養・運動部会
- (2) 糖尿病・循環器部会
- (3) がん・たばこ部会
- (4) こころ・アルコール部会
- (5) 歯科部会

2 部会は、第3第1項の委員をもってそれぞれ構成するものとし、その構成については、別表2のとおりとする。

(部会の所掌事務)

第10 部会は、別表2に掲げる部会の担当分野について、第2(所掌事務)に掲げる事項について検討整理する。

(部会長)

第11 部会に部会長を置く。

- 2 部会長は、それぞれの部会構成員の互選により定める。
- 3 部会長に事故あるとき、又は部会長が欠けたときは、あらかじめ部会長が指定する委員がその職務を代理する。

(部会の会議等)

第12 部会の会議は、部会長が招集する。

- 2 部会長は、会議の議長となる。
- 3 部会長は、部会において検討した結果を推進委員会に報告しなければならない。

(庶務)

第13 委員会の庶務は、青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課において行う。

附則

1 この要領は、平成12年5月24日から施行する。

附則

1 この要領は、平成12年10月3日から施行する。

附則

1 この要領は、平成13年4月1日から施行する。

附則

1 この要領は、平成13年5月31日から施行する。

附則

1 この要領は、平成16年4月1日から施行する。

附則

1 この要領は、平成22年6月11日から施行する。

附則

1 この要領は、平成23年6月14日から施行する。

別表 1

委員の分野	
平均寿命アップ計画に係る課題の整理及び「健康あおもり 2 1」の評価等に関する次の分野の医師及び学識経験者等	
1	栄養・運動領域の医師及び学識経験者並びに実践者
2	糖尿病・循環器領域の医師及び学識経験者
3	がん・たばこ領域の医師及び学識経験者
4	こころ・アルコール領域の医師及び学識経験者
5	歯科領域の医師・歯科医師及び学識経験者
6	その他健康あおもり 2 1 の評価等に関係する専門家

別表 2

部会名	部会の担当分野	委員の構成	人数
栄養・運動部会	1 栄養・食生活に関する事項 2 身体活動・運動に関する事項 3 その他関連事項	栄養・運動領域の医師及び学識経験者並びに実践者	6 名以内
糖尿病・循環器部会	1 糖尿病に関する事項 2 循環器病に関する事項 3 その他関連事項	糖尿病・循環器領域の医師及び学識経験者	6 名以内
がん・たばこ部会	1 がんに関する事項 2 たばこに関する事項 3 その他関連事項	がん・たばこ領域の医師及び学識経験者	6 名以内
こころ・アルコール部会	1 休養・こころの健康づくりに関する事項 2 アルコールに関する事項 3 その他関連事項	こころ・アルコール領域の医師及び学識経験者	6 名以内
歯科部会	1 歯の健康に関する事項 2 その他関連事項	歯科領域の医師・歯科医師及び学識経験者	6 名以内

## 健康寿命アップ計画推進委員会委員名簿

(敬称略 部会別・五十音順)

委員氏名	所属 役職名	部会
吉岡 利忠	弘前学院大学学長 (委員長・部会長)	栄養・運動部会
梅田 孝	国立大学法人弘前大学大学院医学研究科 社会医学講座准教授	
中村 渉	(社) 青森県医師会常任理事	
宮川 隆美	三八地域県民局地域健康福祉部長	
山本 春江	青森県立保健大学健康科学部看護学科長	
渡部 一代	(社) 青森県栄養士会	
山中 朋子	中南地域県民局地域健康福祉部長 (部会長)	糖尿病・循環器病部会
工藤 幹彦	工藤内科クリニック院長	
千葉 葉子	八戸市立市民病院看護師長	
藤野 安弘	青森県立中央病院副院長	
高嶋 一敏	医療法人北桜会 弘前メディカルセンター理事長 (部会長)	がん・たばこ部会
工藤 淳子	西北地域県民局地域健康福祉部保健総室長	
須藤 俊之	(財) 青森県総合健診センター常務理事	
蓮尾 豊	弘前女性クリニック院長	
米谷 真紀子	青森県市町村保健師活動協議会副会長	
田崎 博一	(財) 愛成会弘前愛成会病院長 (部会長)	
岩佐 博人	青森県立精神保健福祉センター所長	こころ・アルコール部会
大山 博史	青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科教授	
坂本 隆	津軽保健生活協同組合藤代健生病院名誉院長	
下田 肇	(社) 青森県医師会常任理事	
小西 史人	(社) 青森県歯科医師会常務理事 (部会長)	
石田 菜穂子	青森県歯科衛生士会 会長	歯科部会
平 紅	下北地域県民局地域健康福祉部保健総室長	
高瀬 厚太郎	(社) 青森県歯科医師会理事	
福士 賢治	(社) 青森県歯科医師会常務理事	
村上 明継	東青地域県民局地域健康福祉部保健総室 歯科衛生推進監	

※ 平成24年3月31日現在

青森県健康増進計画「健康あおり21」  
最終評価報告書

平成24年8月発行

発行・編集 青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課  
〒030-8570 青森県青森市長島一丁目1番1号  
電話 017-734-9212 (直通)  
FAX 017-734-8045  
E-mail [gan-seikatsu@pref.aomori.lg.jp](mailto:gan-seikatsu@pref.aomori.lg.jp)